



市民人権意識調査報告



令和2年（2020年）1月

竹田市

表紙に使っているポスターは
令和元年度竹田市人権ポスターで優秀賞、
優良賞を受賞した作品です。

優秀賞
中学生の部
竹田市立南部中学校 1年
小島 悠大さん

優良賞
中学生の部
竹田市立南部中学校 2年
徳尾 美咲さん

優良賞
中学生の部
竹田市立緑ヶ丘中学校 3年
菅 涼菜さん

はじめに

竹田市では、『竹田市あらゆる差別をなくし人権を擁護する条例』を平成17年（2005年）4月に策定するとともに、平成19年（2007年）12月には「竹田市人権教育及び人権啓発基本計画」を策定し、差別や偏見のない住みやすい社会を目指し様々な施策に取り組んでまいりました。

しかし、近年では子どもや高齢者、障がい者、女性に対する暴力・虐待事件が頻発するとともに外国人に対するヘイトスピーチの横行や部落差別を助長するインターネット上での差別書き込みの増加など人権問題は複雑・多様化しています。

このような状況を受け、国は平成28年（2016年）に『障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律』（4月1日施行）、『本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律』（6月3日施行）、『部落差別の解消の推進に関する法律』（12月16日施行）と差別の解消を目的とした法令を施行し、竹田市においても人権施策をより一層推進するため、令和元年（2019年）7月に『竹田市あらゆる差別をなくし人権を擁護する条例』の改正を行いました。

今回、現在の市民の皆様の人権意識の変化を把握し、これまで取り組んできた人権施策の成果と課題を明らかにするため「市民人権意識調査」を行いました。

この調査結果を基に、人権教育、人権啓発の再構築を図りながら差別のないまちづくりに一層努めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、本報告書の作成にあたりまして、本調査にご協力いただきました多くの市民の皆様をはじめ、関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

令和2年（2020年）1月

竹田市長 首藤 勝次

目次

第1章 調査の概要

| | |
|---------------|---|
| 1. 調査の目的 | 1 |
| 2. 調査項目 | 1 |
| 3. 調査の方法及び対象者 | 1 |
| 4. 回収率 | 2 |
| 5. 報告書の見方 | 2 |

第2章 調査の結果

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 1. 回答者の属性 | 4 |
| 2. 調査結果の集計・分析 | |
| I 人権の尊重・人権への関心 | 7 |
| II 部落差別問題 | 26 |
| III 女性の人権 | 52 |
| IV 高齢者の人権 | 68 |
| V 子どもの人権 | 74 |
| VI 障がい者の人権 | 81 |
| VII その他の人権 | 89 |
| (1) 六曜の迷信について | |
| (2) 外国人の人権問題 | |
| (3) 「ヘイトスピーチ解消法」について | |
| (4) エイズ患者・HIV感染者等の人権問題 | |
| (5) ハンセン病患者・回復者やその家族に関する人権問題 | |
| (6) 犯罪被害者やその家族等に関する人権問題 | |
| (7) インターネットでの人権問題 | |
| (8) L G B T Qなど、性的指向や性別違和に関する人権問題 | |
| VIII 地域での啓発活動 | 130 |
| 人権講演会、研修・学習会の効果検証 | |
| IX 自由意見 | 150 |

| | |
|---------|-----|
| 第3章 まとめ | 151 |
|---------|-----|

| | |
|-----------|-----|
| 資料編 (調査票) | 170 |
|-----------|-----|

第1章 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

竹田市では、差別のない、明るく住みやすい社会となるよう様々な施策を実施しています。

本調査は、市民の皆様が人権問題に対して普段どのように考えているかを問い、現状における課題や今後の方向性を明らかにし、人権教育・啓発の施策を効果的に展開するための基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査項目

合計46問で内訳は下記のとおりとなっています。

- (1) 回答者の属性 (3問)
- (2) 人権全般について (7問)
- (3) 部落差別問題について (11問)
- (4) 女性の人権について (3問)
- (5) 高齢者の人権について (2問)
- (6) 子どもの人権について (2問)
- (7) 障がい者の人権について (3問)
- (8) その他の人権について (11問)
- (9) 啓発活動について (3問)
- (10) 自由意見 (1問)

3. 調査の方法及び対象者

- (1) 調査地域：竹田市全域
- (2) 調査対象者：竹田市に居住する18歳以上の男女合計1,500人
- (3) 抽出方法：年齢別の構成比を考慮し、無作為に住民基本台帳から抽出
- (4) 調査方法：郵送による配布・回収
- (5) 調査期間：令和元年9月

4. 回収率

対象者は1,500人で回答者は809人で、回収率は53.9%でした。

| 年齢 | 調査数 | 回収数 | 回収率 | 無効 回答数 | 有効 回答数 | 有効 回収率 |
|--------|-------|-----|-------|-----------|-----------|-----------|
| 18～29歳 | 120 | 36 | 30.0% | 0 | 36 | 30.0% |
| 30～39歳 | 130 | 42 | 32.3% | 1 | 41 | 31.5% |
| 40～49歳 | 160 | 79 | 49.4% | 0 | 79 | 49.4% |
| 50～59歳 | 180 | 94 | 52.2% | 1 | 93 | 51.7% |
| 60～69歳 | 310 | 190 | 61.3% | 5 | 185 | 59.7% |
| 70～79歳 | 280 | 187 | 66.8% | 1 | 186 | 66.4% |
| 80歳以上 | 320 | 177 | 55.3% | 4 | 173 | 54.1% |
| 無回答 | | 4 | - | 4 | 0 | - |
| 全体 | 1,500 | 809 | 53.9% | 16 | 793 | 52.9% |

回答内容が不足のため処理不能件数が合計16件

809人の回答者のうち、回答未記入のものを除いた793人で集計しています。

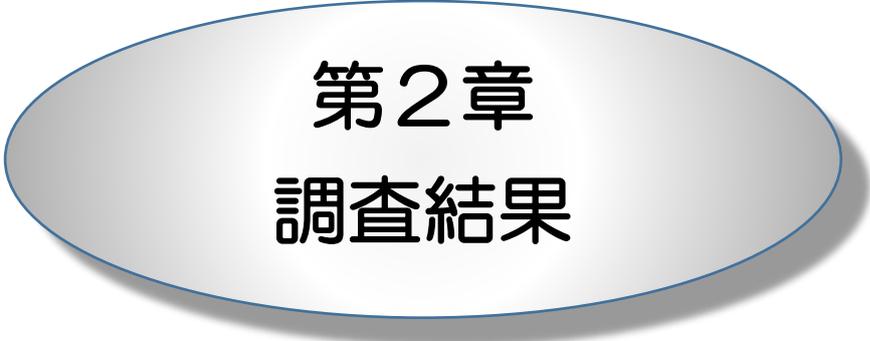
5. 報告書の見方

- (1) 回答結果の割合%は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、合計値が100.0%にならない場合があります。
- (2) 複数回答（複数の回答選択肢から二つ以上の選択肢を選ぶ）の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- (3) 表、グラフにおいて「無回答」とあるものは、回答がない、もしくは回答の判別が困難なものです。
- (4) グラフに表示している「SA」は、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）の有効回答総数、もしくはその設問に答えるべき該当者数を表しています。
「MA」は、複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の有効回答総数、もしくはその設問に答えるべき該当者数を表しています。
グラフに表示している「N」は、有効回答総数、もしくはその設問に答えるべき対象者数を表しています。
- (5) 本文中、表、グラフにおいて、設問の選択肢が長い文の場合、簡略化して表示している場合があります。



- (6)本文中、表、グラフにおいて、大分県調査との比較とあるものは、大分県が平成30年度に調査した「人権に関する県民意識調査」との比較です。

- (7)性別については、「男か女が答えることに抵抗を感じる」と回答した方が10人でしたので、他の質問項目とのクロス集計表には表示していますが、人数が少ないため、分析の対象からは外しました。



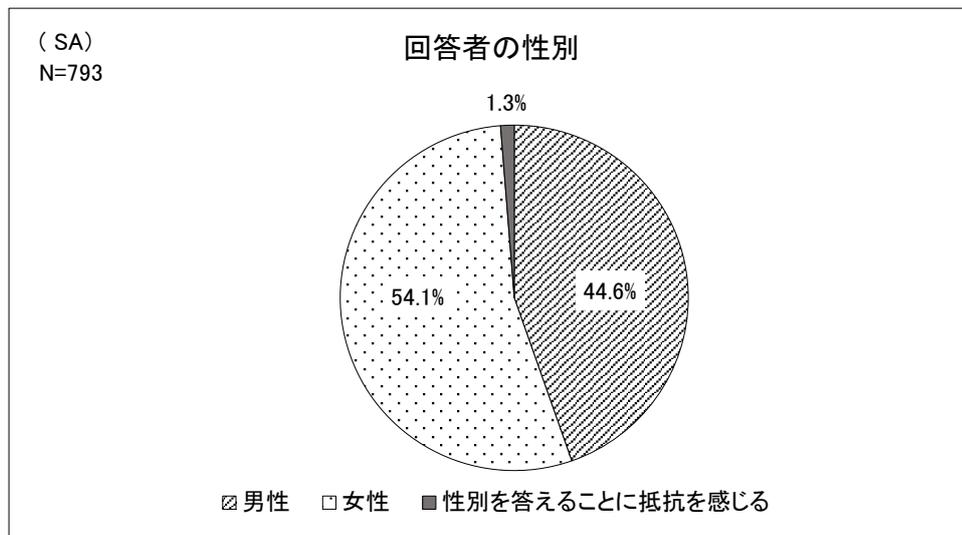
第2章
調査結果

1. 回答者の属性

①回答者の性別

回答者は、男性 354 人（44.6%）、女性 429 人（54.1%）、「性別を答えることに抵抗を感じる」との理由で性別の回答がなかった人が 10 人（1.3%）となっています。

| | 男性 | 女性 | 性別を答えることに抵抗を感じる | 総計 |
|---|-------|-------|-----------------|--------|
| 人 | 354 | 429 | 10 | 793 |
| % | 44.6% | 54.1% | 1.3% | 100.0% |

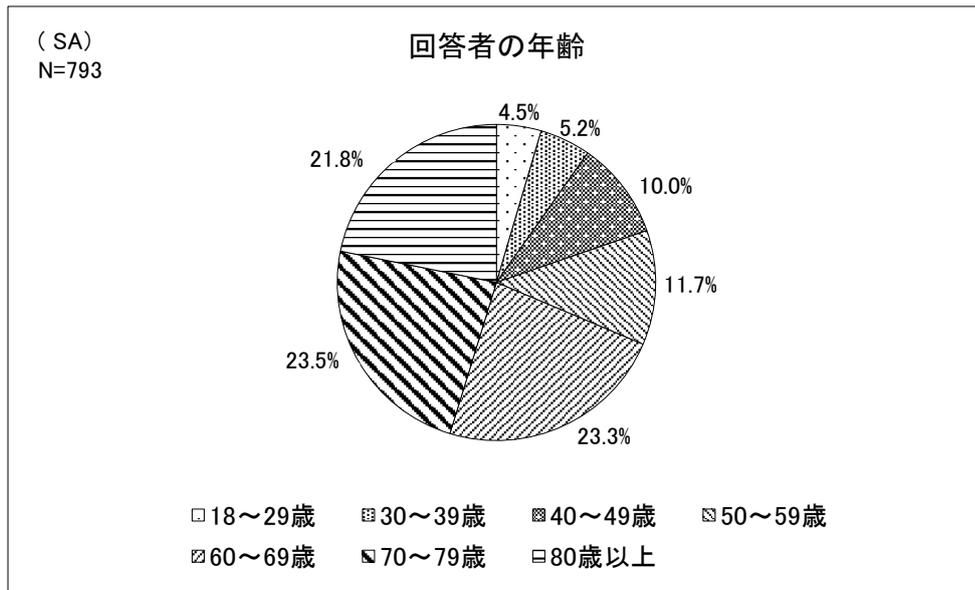


②回答者の年齢

回答者を年代別にみると、60 歳以上が約 6 割を占めています。

男女別にみても、同様です。「性別を答えることに抵抗を感じる」と回答した人も各年代にいることから、特に年齢的な特徴はありません。

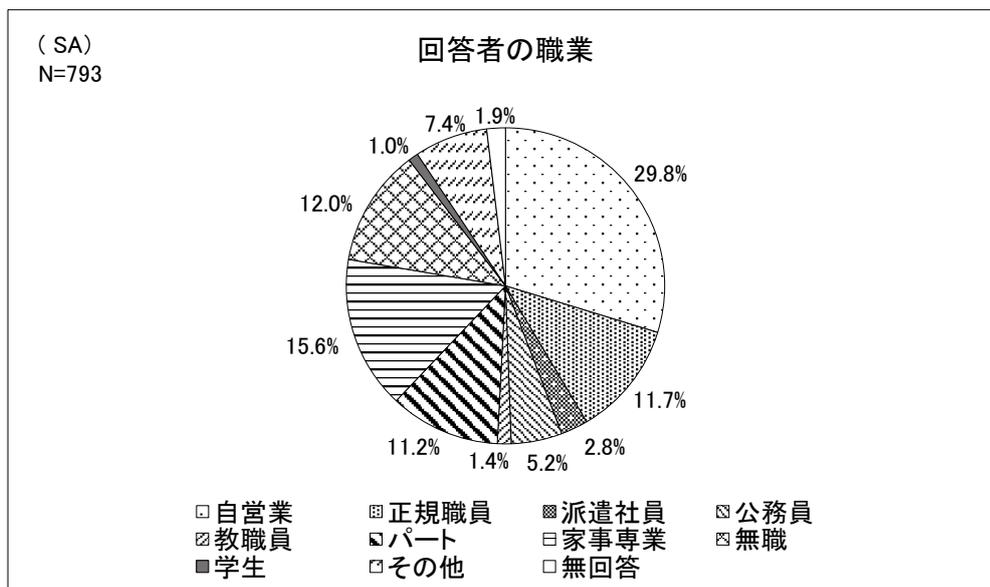
| 問1 性別 | | 問2 年齢 | | | | | | | 総計 |
|-----------------|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|--------|
| | | 18～29 歳 | 30～39 歳 | 40～49 歳 | 50～59 歳 | 60～69 歳 | 70～79 歳 | 80 歳以上 | |
| 男性 | 人 | 25 | 19 | 37 | 38 | 93 | 79 | 63 | 354 |
| | % | 7.1% | 5.4% | 10.5% | 10.7% | 26.3% | 22.3% | 17.8% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 10 | 22 | 40 | 53 | 91 | 104 | 109 | 429 |
| | % | 2.3% | 5.1% | 9.3% | 12.4% | 21.2% | 24.2% | 25.4% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 0 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 10 |
| | % | 10.0% | 0.0% | 20.0% | 20.0% | 10.0% | 30.0% | 10.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 36 | 41 | 79 | 93 | 185 | 186 | 173 | 793 |
| | % | 4.5% | 5.2% | 10.0% | 11.7% | 23.3% | 23.5% | 21.8% | 100.0% |



③回答者の職業

職業別にみると、「1. 自営業(農業・林業・商エサービス業等)または、その家族従業員」が最も多く、29.8%、二番目が「7. 家事専業」で15.6%、三番目は「8. 無職」12.0%、「2. 企業・団体の正社員・正規職員」11.7%で、ほぼ同数でした。

| | | | | | | |
|---|-------|-------|------|------|------|--------|
| | 自営業 | 正規職員 | 派遣社員 | 公務員 | 教職員 | パート |
| 人 | 236 | 93 | 22 | 41 | 11 | 89 |
| % | 29.8% | 11.7% | 2.8% | 5.2% | 1.4% | 11.2% |
| | 家事専業 | 無職 | 学生 | その他 | 無回答 | 総計 |
| 人 | 124 | 95 | 8 | 59 | 15 | 793 |
| % | 15.6% | 12.0% | 1.0% | 7.4% | 1.9% | 100.0% |



男女別にみると、勤め方に差

職業を男女別にみると、正規職員が男性 15.8%、女性 8.6%に対し、パートは男性 5.8%、女性 15.9%と、その勤め方に差があります。

| | | 問3 職業 | | | | | |
|---------------------|---|-------|-------|------|-------|------|--------|
| 問1 性別 | | 自営業 | 正規職員 | 派遣社員 | 公務員 | 教職員 | パート |
| 男性 | 人 | 130 | 56 | 12 | 28 | 7 | 20 |
| | % | 36.7% | 15.8% | 3.4% | 7.9% | 2.0% | 5.6% |
| 女性 | 人 | 103 | 37 | 10 | 13 | 4 | 68 |
| | % | 24.0% | 8.6% | 2.3% | 3.0% | 0.9% | 15.9% |
| 性別を答えることに 抵抗を感じる | 人 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | % | 30.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 10.0% |
| 全体 | 人 | 236 | 93 | 22 | 41 | 11 | 89 |
| | % | 29.8% | 11.7% | 2.8% | 5.2% | 1.4% | 11.2% |
| 問1 性別 | | 家事専業 | 無職 | 学生 | その他 | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 14 | 49 | 5 | 24 | 9 | 354 |
| | % | 4.0% | 13.8% | 1.4% | 6.8% | 2.5% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 109 | 45 | 3 | 31 | 6 | 429 |
| | % | 25.4% | 10.5% | 0.7% | 7.2% | 1.4% | 100.0% |
| 性別を答えることに 抵抗を感じる | 人 | 1 | 1 | 0 | 4 | 0 | 10 |
| | % | 10.0% | 10.0% | 0.0% | 40.0% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 124 | 95 | 8 | 59 | 15 | 793 |
| | % | 15.6% | 12.0% | 1.0% | 7.4% | 1.9% | 100.0% |

2. 調査結果（集計・分析）

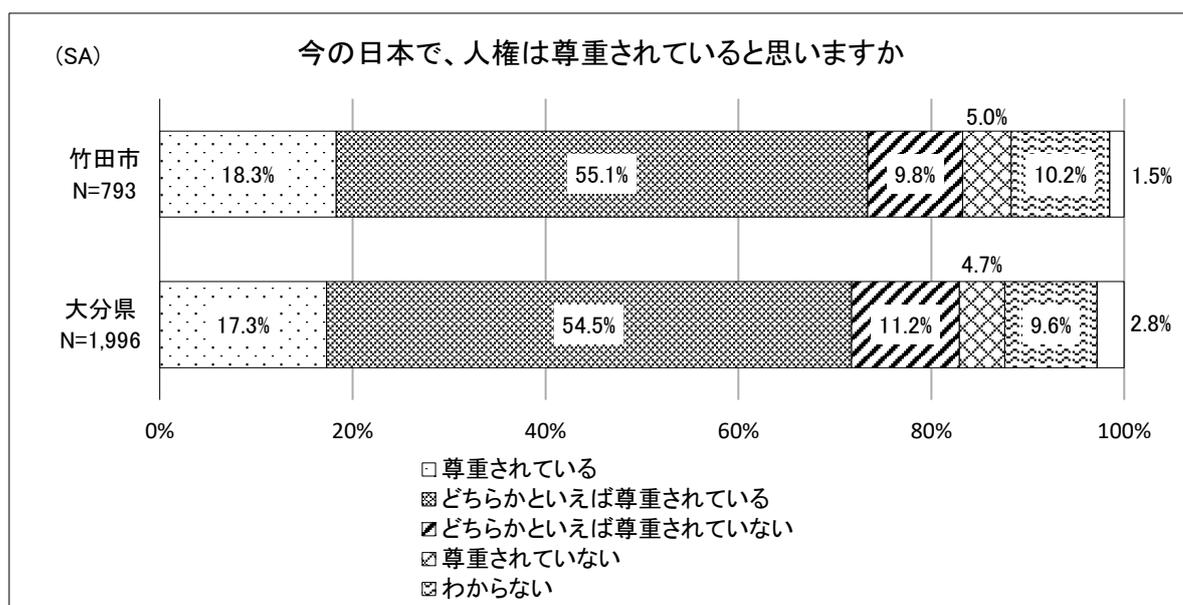
I 人権の尊重・人権への関心

（1）今の日本で、人権は尊重されていると思いますか。

尊重されている（1. 尊重されていると思う＋2. どちらかといえば尊重されていると思う）と思う人が73.4%、尊重されていない（3. どちらかといえば尊重されていないと思う＋4. 尊重されていないと思う）と思う人が14.8%でした。

尊重されている（1. 尊重されていると思う＋2. どちらかといえば尊重されていると思う）と思う人が73.4%は、県（71.8%）を1.6ポイント上回っています。

| | 1. 尊重されている | 2. どちらかといえば尊重されている | 3. どちらかといえば尊重されていない | 4. 尊重されていない | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
|---|------------|--------------------|---------------------|-------------|----------|------|--------|
| 人 | 145 | 437 | 78 | 40 | 81 | 12 | 793 |
| % | 18.3% | 55.1% | 9.8% | 5.0% | 10.2% | 1.5% | 100.0% |



男女間で大きな開き（男性81.0%、女性67.4%）

男女別にみると、男性は尊重されている（1. 尊重されていると思う＋2. どちらかといえば尊重されていると思う）と思う人が81.0%であるのに対し、女性は67.4%しかなく、男女間で大きな開きがあります。

年代別では18～29歳と80歳以上が低い

年代別にみると、尊重されている（1. 尊重されていると思う＋2. どちらかといえば尊重されていると思う）と思う人が、18～29歳69.5%、30～39歳75.6%、40～49歳82.3%、50～59歳78.5%、60～69歳75.1%、70～79歳73.1%、80歳以上65.3%であり、18～29歳と80歳以上で尊重されていると思う人が少なくなっています。

| 問4 今の日本で人権は尊重されていると思いますか | | | | | | | | |
|--------------------------|---|------------|--------------------|---------------------|-------------|----------|------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 尊重されている | 2. どちらかといえば尊重されている | 3. どちらかといえば尊重されていない | 4. 尊重されていない | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 84 | 203 | 33 | 14 | 17 | 3 | 354 |
| | % | 23.7% | 57.3% | 9.3% | 4.0% | 4.8% | 0.8% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 59 | 230 | 45 | 24 | 62 | 9 | 429 |
| | % | 13.8% | 53.6% | 10.5% | 5.6% | 14.5% | 2.1% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 4 | 0 | 2 | 2 | 0 | 10 |
| | % | 20.0% | 40.0% | 0.0% | 20.0% | 20.0% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 145 | 437 | 78 | 40 | 81 | 12 | 793 |
| | % | 18.3% | 55.1% | 9.8% | 5.0% | 10.2% | 1.5% | 100.0% |

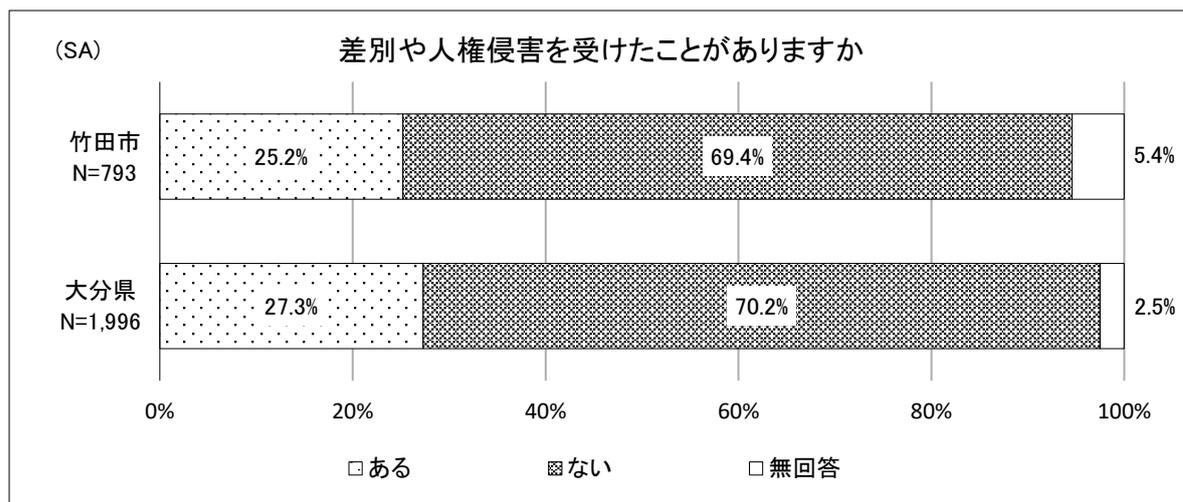
| 問4 今の日本で人権は尊重されていると思いますか | | | | | | | | |
|--------------------------|---|------------|--------------------|---------------------|-------------|----------|------|--------|
| 問2 年齢 | | 1. 尊重されている | 2. どちらかといえば尊重されている | 3. どちらかといえば尊重されていない | 4. 尊重されていない | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
| 18～29 歳 | 人 | 5 | 20 | 6 | 2 | 3 | | 36 |
| | % | 13.9% | 55.6% | 16.7% | 5.6% | 8.3% | 0.0% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 6 | 25 | 4 | 4 | 2 | | 41 |
| | % | 14.6% | 61.0% | 9.8% | 9.8% | 4.9% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 12 | 53 | 7 | 2 | 4 | 1 | 79 |
| | % | 15.2% | 67.1% | 8.9% | 2.5% | 5.1% | 1.3% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 11 | 62 | 9 | 5 | 5 | 1 | 93 |
| | % | 11.8% | 66.7% | 9.7% | 5.4% | 5.4% | 1.1% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 32 | 107 | 21 | 9 | 14 | 2 | 185 |
| | % | 17.3% | 57.8% | 11.4% | 4.9% | 7.6% | 1.1% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 35 | 101 | 18 | 9 | 19 | 4 | 186 |
| | % | 18.8% | 54.3% | 9.7% | 4.8% | 10.2% | 2.2% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 44 | 69 | 13 | 9 | 34 | 4 | 173 |
| | % | 25.4% | 39.9% | 7.5% | 5.2% | 19.7% | 2.3% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 145 | 437 | 78 | 40 | 81 | 12 | 793 |
| | % | 18.3% | 55.1% | 9.8% | 5.0% | 10.2% | 1.5% | 100.0% |

(2) 自分が差別されたり、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

4人に1人の割合で被害にあっている

差別されたり、自分の人権が侵害されたと思ったことがある人が25.2%で、4人に1人います。県（27.3%）に比べると、2.1ポイント下回っています。

| | 1. ある | 2. ない | 無回答 | 総計 |
|---|-------|-------|------|--------|
| 人 | 200 | 550 | 43 | 793 |
| % | 25.2% | 69.4% | 5.4% | 100.0% |



男女間で大きな開き（男性21.8%、女性27.0%）

差別されたり、自分の人権が侵害されたと思ったことがある人を男女別にみると、男性（21.8%）に比べ女性（27.0%）の方が多く、男性は5人に1人、女性は3人に1人。

| | | 問5 差別されたり、人権が侵害された経験の有無 | | | |
|-----------------|---|-------------------------|-------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. ある | 2. ない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 77 | 264 | 13 | 354 |
| | % | 21.8% | 74.6% | 3.7% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 116 | 284 | 29 | 429 |
| | % | 27.0% | 66.2% | 6.8% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 7 | 2 | 1 | 10 |
| | % | 70.0% | 20.0% | 10.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 200 | 550 | 43 | 793 |
| | % | 25.2% | 69.4% | 5.4% | 100.0% |

侵害された経験は30歳代が最多

差別されたり、自分の人権が侵害されたと思ったことがある人を年齢別にみると、30～39歳が39.0%で最も多く、80歳以上が16.2%で最も少なくなっています。傾向的には、30歳代をピークに年齢が上がるにつれ減少しています。

| | | 問5 差別されたり、人権が侵害された経験の有無 | | | |
|---------|---|-------------------------|-------|-------|--------|
| 問2 年齢 | | 1. ある | 2. ない | 無回答 | 総計 |
| 18～29 歳 | 人 | 10 | 25 | 1 | 36 |
| | % | 27.8% | 69.4% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 16 | 24 | 1 | 41 |
| | % | 39.0% | 58.5% | 2.4% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 24 | 54 | 1 | 79 |
| | % | 30.4% | 68.4% | 1.3% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 28 | 64 | 1 | 93 |
| | % | 30.1% | 68.8% | 1.1% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 42 | 138 | 5 | 185 |
| | % | 22.7% | 74.6% | 2.7% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 52 | 121 | 13 | 186 |
| | % | 28.0% | 65.1% | 7.0% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 28 | 124 | 21 | 173 |
| | % | 16.2% | 71.7% | 12.1% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 200 | 550 | 43 | 793 |
| | % | 25.2% | 69.4% | 5.4% | 100.0% |

（3）差別や人権侵害の内容

最も多いのは、「あらぬ噂(うわさ)、他人からの悪口、かげ口」

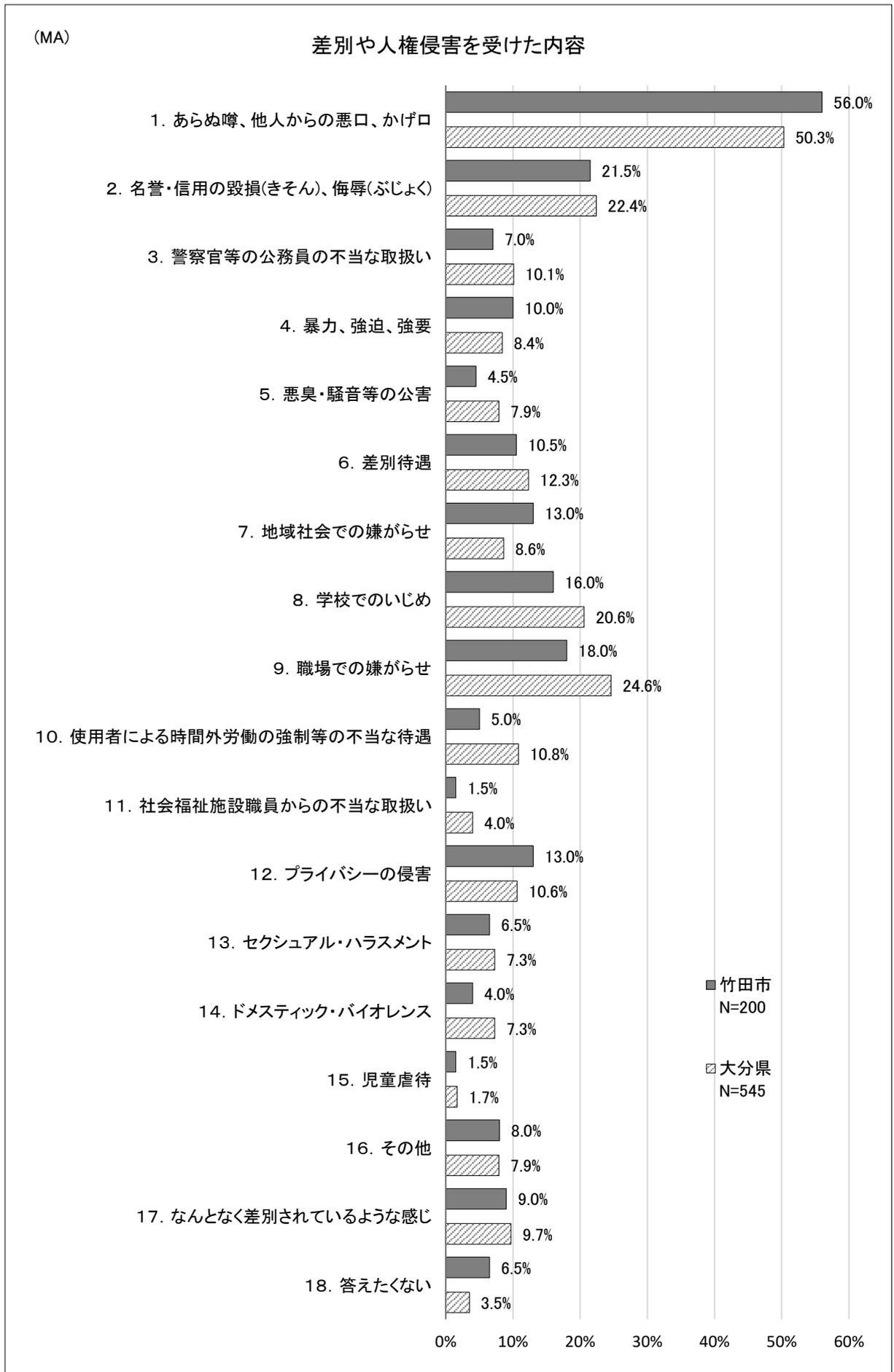
差別されたり、人権が侵害されたと思った事の上位3項目は、「1. あらぬ噂(うわさ)、悪口、かげ口」が最も多く56.0%、次いで「2. 名誉・信用の毀損(きそん)、侮辱(ぶじょく)」が21.5%、三番目が「9. 職場での嫌がらせ」18.0%となっています。

県の上位3項目は、「1. あらぬ噂(うわさ)、他人からの悪口、かげ口」が最も多く50.3%、次いで「9. 職場での嫌がらせ」24.6%、三番目が「2. 名誉・信用の毀損(きそん)、侮辱(ぶじょく)」が22.4%となっています。

竹田市とは、二番目と三番目が入れ替わっています。

| | | | | | | | |
|---|-------------|------------|----------------|-----------------|-------------------|--------------|-----|
| | 1. あらぬ噂 | 2. 名誉棄損 | 3. 警察官等の不当な取扱い | 4. 脅迫 | 5. 公害 | 6. 差別待遇 | |
| 人 | 112 | 43 | 14 | 20 | 9 | 21 | |
| % | 56.0% | 21.5% | 7.0% | 10.0% | 4.5% | 10.5% | |
| | 7. 地域での嫌がらせ | 8. 学校でのいじめ | 9. 職場での嫌がらせ | 10. 利用者による不当な待遇 | 11. 施設職員からの不当な取扱い | 12. プライバシー侵害 | |
| 人 | 26 | 32 | 36 | 10 | 3 | 26 | |
| % | 13.0% | 16.0% | 18.0% | 5.0% | 1.5% | 13.0% | |
| | 13. セクハラ | 14. DV | 15. 児童虐待 | 16. その他 | 17. なんとなく | 18. 答えたくない | 対象者 |
| 人 | 13 | 8 | 3 | 16 | 18 | 13 | 200 |
| % | 6.5% | 4.0% | 1.5% | 8.0% | 9.0% | 6.5% | |

（「差別されたり、人権侵害された経験がある」を選んだ200人で集計）



男女別では、内容に差があり

差別されたり、人権が侵害されたと思った事の一番目の「1. あらぬ噂(うわさ)、他人からの悪口、かげろ」については、男女差は大きくありません。

二番目の「2. 名誉・信用の毀損(きそん)、侮辱(ぶじょく)」については、男性が31.2%、女性が13.8%で大きな開きがあります。

三番目の「9. 職場での嫌がらせ」についても、男性が24.7%、女性が12.1%で大きな開きがあります。

| | | 問 5-1 差別されたり、人権侵害された内容 | | | | | | |
|-----------------|---|------------------------|------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-----|
| 問1 性別 | | 1. あらぬ噂 | 2. 名誉棄損 | 3. 不当な取り扱い | 4. 脅迫 | 5. 公害 | 6. 差別待遇 | |
| 男性 | 人 | 46 | 24 | 7 | 13 | 1 | 11 | |
| | % | 59.7% | 31.2% | 9.1% | 16.9% | 1.3% | 14.3% | |
| 女性 | 人 | 60 | 16 | 6 | 6 | 7 | 9 | |
| | % | 51.7% | 13.8% | 5.2% | 5.2% | 6.0% | 7.8% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 6 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | % | 85.7% | 42.9% | 14.3% | 14.3% | 14.3% | 14.3% | |
| 全体 | 人 | 112 | 43 | 14 | 20 | 9 | 21 | |
| | % | 56.0% | 21.5% | 7.0% | 10.0% | 4.5% | 10.5% | |
| 問1 性別 | | 7. 地域での嫌がらせ | 8. 学校でのいじめ | 9. 職場での嫌がらせ | 10. 不当な待遇 | 11. 不当な取り扱い | 12. プライバシー侵害 | |
| 男性 | 人 | 10 | 12 | 19 | 2 | 0 | 10 | |
| | % | 13.0% | 15.6% | 24.7% | 2.6% | 0.0% | 13.0% | |
| 女性 | 人 | 15 | 19 | 14 | 8 | 2 | 14 | |
| | % | 12.9% | 16.4% | 12.1% | 6.9% | 1.7% | 12.1% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 1 | 3 | 0 | 1 | 2 | |
| | % | 14.3% | 14.3% | 42.9% | 0.0% | 14.3% | 28.6% | |
| 全体 | 人 | 26 | 32 | 36 | 10 | 3 | 26 | |
| | % | 13.0% | 16.0% | 18.0% | 5.0% | 1.5% | 13.0% | |
| 問1 性別 | | 13. セクハラ | 14. DV | 15. 児童虐待 | 16. その他 | 17. なんとなく | 18. 答えたくない | 対象者 |
| 男性 | 人 | 1 | 1 | 0 | 2 | 9 | 5 | 77 |
| | % | 1.3% | 1.3% | 0.0% | 2.6% | 11.7% | 6.5% | |
| 女性 | 人 | 11 | 7 | 2 | 14 | 8 | 6 | 116 |
| | % | 9.5% | 6.0% | 1.7% | 12.1% | 6.9% | 5.2% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | 7 |
| | % | 14.3% | 0.0% | 14.3% | 0.0% | 14.3% | 28.6% | |
| 全体 | 人 | 13 | 8 | 3 | 16 | 18 | 13 | 200 |
| | % | 6.5% | 4.0% | 1.5% | 8.0% | 9.0% | 6.5% | |

年代別では、30歳代に問題が多い

年代別にみると、項目によって対処年齢はバラバラですが、傾向的には年代が上がるにつれて問題は減少する傾向にあります。30歳代に問題が多いといえます。

| | | 問 5-1 差別されたり、人権侵害された内容はどのようなものですか。 | | | | | | |
|--------|---|------------------------------------|------------|-------------|-----------|-------------|--------------|-----|
| 問 2 年齢 | | 1. あらぬ噂 | 2. 名誉棄損 | 3. 不当な取り扱い | 4. 脅迫 | 5. 公害 | 6. 差別待遇 | |
| 18～29歳 | 人 | 8 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| | % | 80.0% | 10.0% | 10.0% | 10.0% | 0.0% | 0.0% | |
| 30～39歳 | 人 | 10 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | % | 62.5% | 18.8% | 12.5% | 12.5% | 12.5% | 12.5% | |
| 40～49歳 | 人 | 17 | 3 | 2 | 3 | 2 | 4 | |
| | % | 70.8% | 12.5% | 8.3% | 12.5% | 8.3% | 16.7% | |
| 50～59歳 | 人 | 18 | 7 | 3 | 5 | 0 | 4 | |
| | % | 64.3% | 25.0% | 10.7% | 17.9% | 0.0% | 14.3% | |
| 60～69歳 | 人 | 19 | 12 | 3 | 4 | 1 | 7 | |
| | % | 45.2% | 28.6% | 7.1% | 9.5% | 2.4% | 16.7% | |
| 70～79歳 | 人 | 25 | 10 | 1 | 4 | 1 | 2 | |
| | % | 48.1% | 19.2% | 1.9% | 7.7% | 1.9% | 3.8% | |
| 80歳以上 | 人 | 15 | 7 | 2 | 1 | 3 | 2 | |
| | % | 53.6% | 25.0% | 7.1% | 3.6% | 10.7% | 7.1% | |
| 全体 | 人 | 112 | 43 | 14 | 20 | 9 | 21 | |
| | % | 56.0% | 21.5% | 7.0% | 10.0% | 4.5% | 10.5% | |
| 問 2 年齢 | | 7. 地域での嫌がらせ | 8. 学校でのいじめ | 9. 職場での嫌がらせ | 10. 不当な待遇 | 11. 不当な取り扱い | 12. プライバシー侵害 | |
| 18～29歳 | 人 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | % | 0.0% | 40.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 10.0% | |
| 30～39歳 | 人 | 2 | 5 | 4 | 3 | 1 | 4 | |
| | % | 12.5% | 31.3% | 25.0% | 18.8% | 6.3% | 25.0% | |
| 40～49歳 | 人 | 3 | 10 | 6 | 3 | 1 | 3 | |
| | % | 12.5% | 41.7% | 25.0% | 12.5% | 4.2% | 12.5% | |
| 50～59歳 | 人 | 3 | 5 | 12 | 1 | 0 | 4 | |
| | % | 10.7% | 17.9% | 42.9% | 3.6% | 0.0% | 14.3% | |
| 60～69歳 | 人 | 5 | 4 | 4 | 2 | 0 | 6 | |
| | % | 11.9% | 9.5% | 9.5% | 4.8% | 0.0% | 14.3% | |
| 70～79歳 | 人 | 8 | 2 | 8 | 1 | 0 | 5 | |
| | % | 15.4% | 3.8% | 15.4% | 1.9% | 0.0% | 9.6% | |
| 80歳以上 | 人 | 5 | 2 | 2 | 0 | 1 | 3 | |
| | % | 17.9% | 7.1% | 7.1% | 0.0% | 3.6% | 10.7% | |
| 全体 | 人 | 26 | 32 | 36 | 10 | 3 | 26 | |
| | % | 13.0% | 16.0% | 18.0% | 5.0% | 1.5% | 13.0% | |
| 問 2 年齢 | | 13. セクハラ | 14. DV | 15. 児童虐待 | 16. その他 | 17. なんとなく | 18. 答えたくない | 対象者 |
| 18～29歳 | 人 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 10 |
| | % | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 10.0% | 20.0% | |
| 30～39歳 | 人 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 16 |
| | % | 6.3% | 6.3% | 6.3% | 6.3% | 6.3% | 6.3% | |
| 40～49歳 | 人 | 3 | 2 | 0 | 1 | 4 | 1 | 24 |
| | % | 12.5% | 8.3% | 0.0% | 4.2% | 16.7% | 4.2% | |
| 50～59歳 | 人 | 3 | 3 | 1 | 3 | 1 | 1 | 28 |
| | % | 10.7% | 10.7% | 3.6% | 10.7% | 3.6% | 3.6% | |
| 60～69歳 | 人 | 3 | 1 | 0 | 4 | 4 | 1 | 42 |
| | % | 7.1% | 2.4% | 0.0% | 9.5% | 9.5% | 2.4% | |
| 70～79歳 | 人 | 1 | 1 | 1 | 4 | 5 | 7 | 52 |
| | % | 1.9% | 1.9% | 1.9% | 7.7% | 9.6% | 13.5% | |
| 80歳以上 | 人 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 28 |
| | % | 3.6% | 0.0% | 0.0% | 10.7% | 7.1% | 0.0% | |
| 全体 | 人 | 13 | 8 | 3 | 16 | 18 | 13 | 200 |
| | % | 6.5% | 4.0% | 1.5% | 8.0% | 9.0% | 6.5% | |

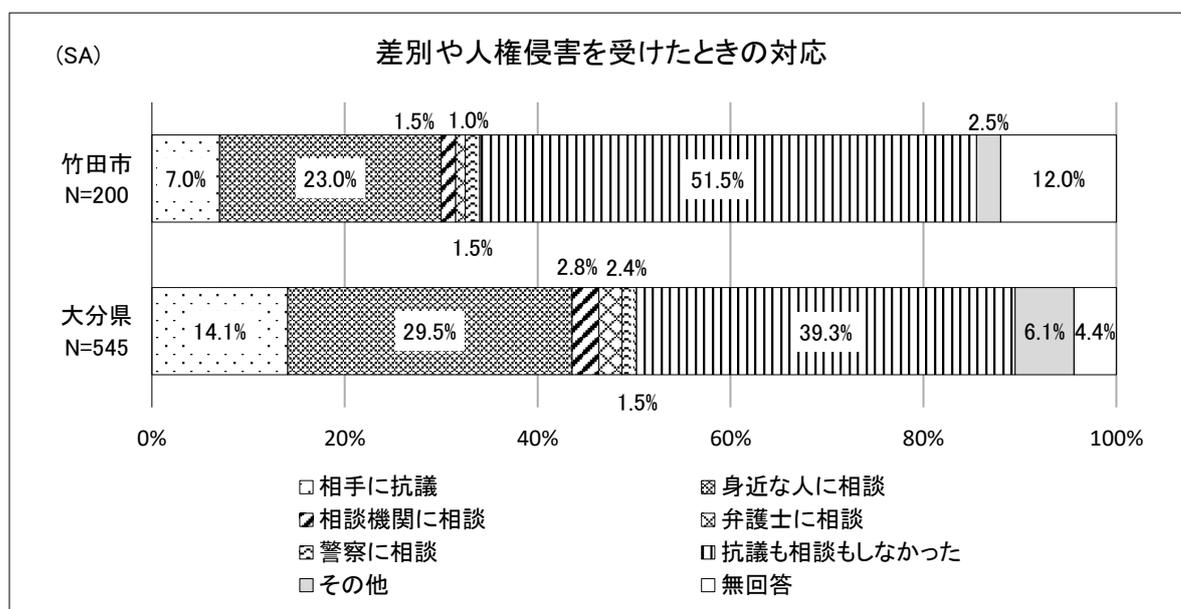
（4）差別や人権侵害を受けたときの対処法

対処法に県と差があり

差別されたり、人権が侵害されたと思った時に、「6. 抗議も相談もしなかった」が51.5%と、半数の人が相手に対して何も対応していないという結果となっています。（様々な対応をした方も、その中の一つに絞って回答してもらっています。）

県では、「6. 抗議も相談もしなかった」は39.3%しかなく、「2. 身近な人に相談」が29.5%、「1. 相手に抗議した」が14.1%あり、対応の仕方に相違がみられます。

| | 1. 相手に抗議した | 2. 身近な人に相談 | 3. 相談機関に相談 | 4. 弁護士に相談 | 5. 警察に相談 | 6. 抗議も相談もしなかった | 7. その他 | 無回答 | 総計 |
|---|------------|------------|------------|-----------|----------|----------------|--------|-------|--------|
| 人 | 14 | 46 | 3 | 2 | 3 | 103 | 5 | 24 | 200 |
| % | 7.0% | 23.0% | 1.5% | 1.0% | 1.5% | 51.5% | 2.5% | 12.0% | 100.0% |



対処法に男女別の差なし

差別されたり、人権が侵害されたと思った時に、「6. 抗議も相談もしなかった」が男女とも最も多く、男性49.4%、女性51.7%となっています。次いで多いのが「2. 身近な人に相談した」で男性22.1%、女性25.0%となっており、対処法に男女差はありません。

年代により対処法に差あり

年代別にみると、「2. 身近な人に相談した」は18～29歳が、「1. 相手に抗議した」は50～59歳が、「6. 抗議も相談もしなかった」は40～49歳が最も多くなっています。

| 問 5-2 差別や人権侵害を受けたときの対応 | | | | | | |
|------------------------|---|----------------|------------|------------|-------------|------------|
| 問1 性別 | | 1. 相手に抗議した | 2. 身近な人に相談 | 3. 相談機関に相談 | 4. 弁護士に相談した | 5. 警察に相談した |
| 男性 | 人 | 5 | 17 | 2 | 2 | 1 |
| | % | 6.5% | 22.1% | 2.6% | 2.6% | 1.3% |
| 女性 | 人 | 8 | 29 | 1 | 0 | 2 |
| | % | 6.9% | 25.0% | 0.9% | 0.0% | 1.7% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | % | 14.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 全体 | 人 | 14 | 46 | 3 | 2 | 3 |
| | % | 7.0% | 23.0% | 1.5% | 1.0% | 1.5% |
| 問1 性別 | | 6. 抗議も相談もしなかった | 7. その他 | 無回答 | 総計 | |
| 男性 | 人 | 38 | 1 | 11 | 77 | |
| | % | 49.4% | 1.3% | 14.3% | 100.0% | |
| 女性 | 人 | 60 | 4 | 12 | 116 | |
| | % | 51.7% | 3.4% | 10.3% | 100.0% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 5 | 0 | 1 | 7 | |
| | % | 71.4% | 0.0% | 14.3% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 103 | 5 | 24 | 200 | |
| | % | 51.5% | 2.5% | 12.0% | 100.0% | |

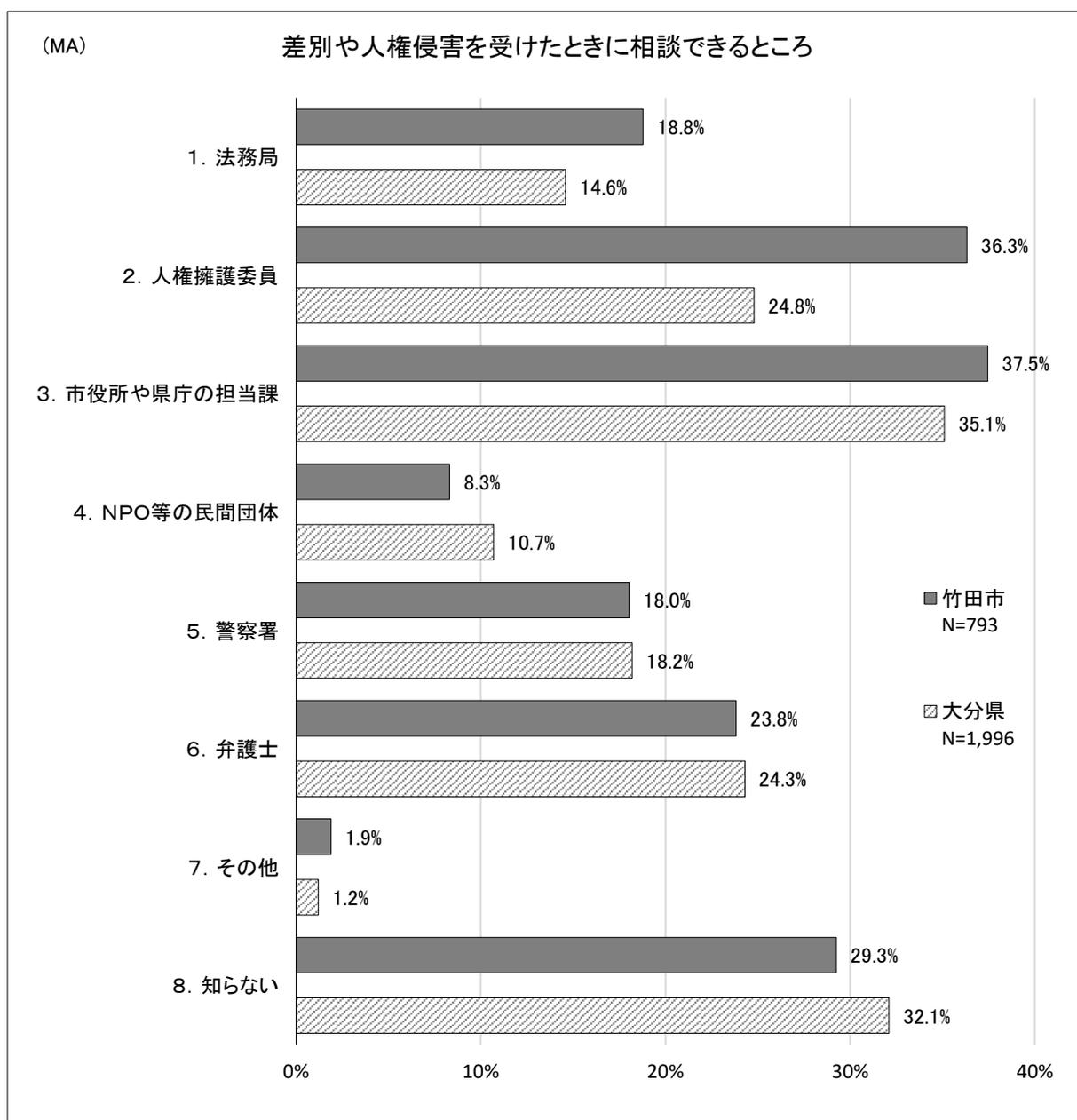
| 問 5-2 差別や人権侵害を受けたときの対応 | | | | | | |
|------------------------|---|----------------|--------------|--------------|-------------|------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 相手に抗議した | 2. 身近な人に相談した | 3. 相談機関に相談した | 4. 弁護士に相談した | 5. 警察に相談した |
| 18～29 歳 | 人 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 |
| | % | 10.0% | 50.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| | % | 0.0% | 37.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 |
| | % | 0.0% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 6 | 7 | 0 | 0 | 0 |
| | % | 21.4% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 2 | 9 | 1 | 0 | 1 |
| | % | 4.8% | 21.4% | 2.4% | 0.0% | 2.4% |
| 70～79 歳 | 人 | 4 | 9 | 0 | 1 | 1 |
| | % | 7.7% | 17.3% | 0.0% | 1.9% | 1.9% |
| 80 歳以上 | 人 | 1 | 4 | 2 | 1 | 1 |
| | % | 3.6% | 14.3% | 7.1% | 3.6% | 3.6% |
| 全体 | 人 | 14 | 46 | 3 | 2 | 3 |
| | % | 7.0% | 23.0% | 1.5% | 1.0% | 1.5% |
| 問 2 年齢 | | 6. 抗議も相談もしなかった | 7. その他 | 無回答 | 総計 | |
| 18～29 歳 | 人 | 3 | 0 | 1 | 10 | |
| | % | 30.0% | 0.0% | 10.0% | 100.0% | |
| 30～39 歳 | 人 | 9 | 0 | 1 | 16 | |
| | % | 56.3% | 0.0% | 6.3% | 100.0% | |
| 40～49 歳 | 人 | 16 | 1 | 1 | 24 | |
| | % | 66.7% | 4.2% | 4.2% | 100.0% | |
| 50～59 歳 | 人 | 12 | 1 | 2 | 28 | |
| | % | 42.9% | 3.6% | 7.1% | 100.0% | |
| 60～69 歳 | 人 | 22 | 1 | 6 | 42 | |
| | % | 52.4% | 2.4% | 14.3% | 100.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 27 | 1 | 9 | 52 | |
| | % | 51.9% | 1.9% | 17.3% | 100.0% | |
| 80 歳以上 | 人 | 14 | 1 | 4 | 28 | |
| | % | 50.0% | 3.6% | 14.3% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 103 | 5 | 24 | 200 | |
| | % | 51.5% | 2.5% | 12.0% | 100.0% | |

（5）差別や人権侵害を受けたときの相談場所を知っていますか

「知らない」が3割

差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関として、最も認知度が高かったのは「3. 市役所や県庁の担当課」で37.5%でした。「8. 知らない」が29.3%ありました。県に比べて、「2. 人権擁護委員」、「3. 市役所や県庁の担当課」を挙げる人が多くみられます。

| | 1. 法務局 | 2. 人権擁護委員 | 3. 市役所や県庁の担当課 | 4. NPO等の民間団体 | 5. 警察署 | 6. 弁護士 | 7. その他 | 8. 知らない | 対象者 |
|---|--------|-----------|---------------|--------------|--------|--------|--------|---------|-----|
| 人 | 149 | 288 | 297 | 66 | 143 | 189 | 15 | 232 | 793 |
| % | 18.8% | 36.3% | 37.5% | 8.3% | 18.0% | 23.8% | 1.9% | 29.3% | |



全体的に男性の方が女性に比べ、相談機関の認知度が高い

差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関として、最も認知度が高かったのは男性では「2. 人権擁護委員」41.5%、次いで「3. 市役所や県庁の担当者」41.2%、三番目が「6. 弁護士」26.3%で、「6. 知らない」は24.3%となっています。

女性では「3. 市役所や県庁の担当者」が最も多く34.7%、次いで「2. 人権擁護委員」32.6%、三番目が「6. 弁護士」21.7%で、「6. 知らない」は33.1%となっています。

| 問6 差別を受けたとき、どこに相談すればよいか知っていますか。 | | | | | | |
|---------------------------------|---|--------|-----------|---------------|--------------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 法務局 | 2. 人権擁護委員 | 3. 市役所や県庁の担当者 | 4. NPO等の民間団体 | 5. 警察署 |
| 男性 | 人 | 92 | 147 | 146 | 30 | 66 |
| | % | 26.0% | 41.5% | 41.2% | 8.5% | 18.6% |
| 女性 | 人 | 57 | 140 | 149 | 35 | 77 |
| | % | 13.3% | 32.6% | 34.7% | 8.2% | 17.9% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 |
| | % | 0.0% | 10.0% | 20.0% | 10.0% | 0.0% |
| 全体 | 人 | 149 | 288 | 297 | 66 | 143 |
| | % | 18.8% | 36.3% | 37.5% | 8.3% | 18.0% |
| 問1 性別 | | 6. 弁護士 | 7. その他 | 8. 知らない | 対象者 | |
| 男性 | 人 | 93 | 6 | 86 | 354 | |
| | % | 26.3% | 1.7% | 24.3% | | |
| 女性 | 人 | 93 | 8 | 142 | 429 | |
| | % | 21.7% | 1.9% | 33.1% | | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 3 | 1 | 4 | 10 | |
| | % | 30.0% | 10.0% | 40.0% | | |
| 全体 | 人 | 189 | 15 | 232 | 793 | |
| | % | 23.8% | 1.9% | 29.3% | | |

年代別にみると69歳までは「3. 市役所や県庁の担当者」 70歳以上は「2. 人権擁護委員」

差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関として、18～69歳までは「3. 市役所や県庁の担当者」の認知度が最も高く、70歳以上は「2. 人権擁護委員」の認知度が最も高くなっています。

「8. 知らない」は、年代が上がるにつれ、減少傾向にあります。「8. 知らない」が最も多いのは、30～39歳で48.8%もあり、二人に1人の割合です。

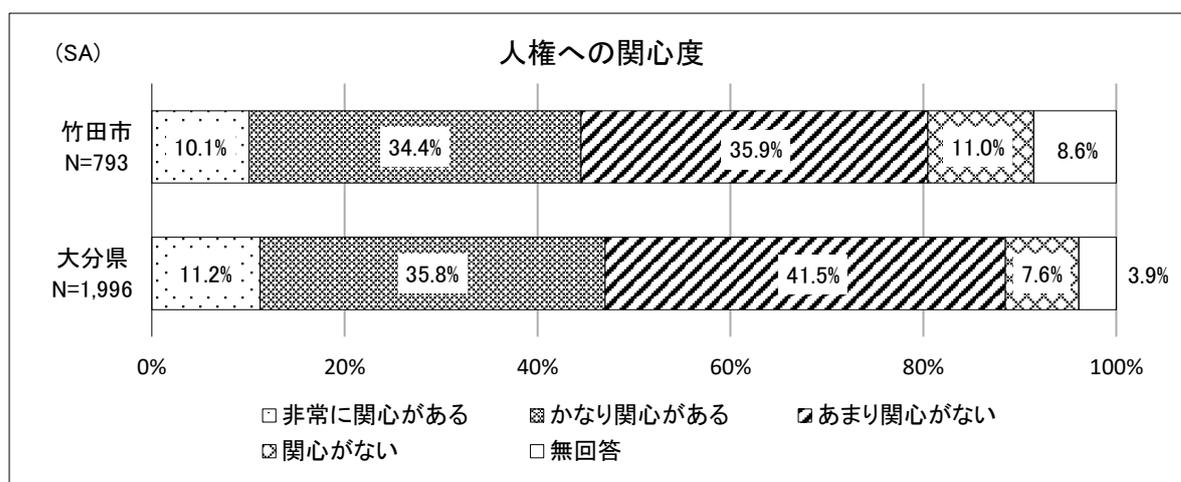
| | | 問 6・1 差別や人権侵害を受けたとき、どこに相談すればよいか知っていますか。 | | | | |
|---------|---|---|---------------|-------------------|------------------|--------|
| 問 2 年齢 | | 1. 法務局 | 2. 人権擁護 委員 | 3. 市役所や 県庁の担当者 | 4. NPO等の 民間団体 | 5. 警察署 |
| 18～29 歳 | 人 | 2 | 6 | 11 | 8 | 3 |
| | % | 5.6% | 16.7% | 30.6% | 22.2% | 8.3% |
| 30～39 歳 | 人 | 3 | 6 | 10 | 6 | 9 |
| | % | 7.3% | 14.6% | 24.4% | 14.6% | 22.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 11 | 18 | 30 | 12 | 10 |
| | % | 13.9% | 22.8% | 38.0% | 15.2% | 12.7% |
| 50～59 歳 | 人 | 21 | 39 | 48 | 11 | 18 |
| | % | 22.6% | 41.9% | 51.6% | 11.8% | 19.4% |
| 60～69 歳 | 人 | 36 | 79 | 80 | 9 | 42 |
| | % | 19.5% | 42.7% | 43.2% | 4.9% | 22.7% |
| 70～79 歳 | 人 | 44 | 76 | 67 | 13 | 35 |
| | % | 23.7% | 40.9% | 36.0% | 7.0% | 18.8% |
| 80 歳以上 | 人 | 32 | 64 | 51 | 7 | 26 |
| | % | 18.5% | 37.0% | 29.5% | 4.0% | 15.0% |
| 全体 | 人 | 149 | 288 | 297 | 66 | 143 |
| | % | 18.8% | 36.3% | 37.5% | 8.3% | 18.0% |
| 問 2 年齢 | | 6. 弁護士 | 7. その他 | 8. 知らない | 対象者 | |
| 18～29 歳 | 人 | 10 | 0 | 16 | 36 | |
| | % | 27.8% | 0.0% | 44.4% | | |
| 30～39 歳 | 人 | 8 | 0 | 20 | 41 | |
| | % | 19.5% | 0.0% | 48.8% | | |
| 40～49 歳 | 人 | 20 | 3 | 30 | 79 | |
| | % | 25.3% | 3.8% | 38.0% | | |
| 50～59 歳 | 人 | 34 | 3 | 23 | 93 | |
| | % | 36.6% | 3.2% | 24.7% | | |
| 60～69 歳 | 人 | 48 | 3 | 48 | 185 | |
| | % | 25.9% | 1.6% | 25.9% | | |
| 70～79 歳 | 人 | 44 | 1 | 52 | 186 | |
| | % | 23.7% | 0.5% | 28.0% | | |
| 80 歳以上 | 人 | 25 | 5 | 43 | 173 | |
| | % | 14.5% | 2.9% | 24.9% | | |
| 全体 | 人 | 189 | 15 | 232 | 793 | |
| | % | 23.8% | 1.9% | 29.3% | | |

(6) 人権に関心がありますか

人権問題への関心は県と同程度

人権問題に「関心がある（1. 非常に関心がある＋2. 少しは関心がある）」と回答した人が44.5%でした。県（47.0%）と比較すると、竹田市民は人権問題への関心度は同程度といえます。

| | 1. 非常に 関心がある | 2. かなり 関心がある | 3. あまり 関心がない | 4. 関心が ない | 無回答 | 総計 |
|---|-----------------|-----------------|-----------------|--------------|------|--------|
| 人 | 80 | 273 | 285 | 87 | 68 | 793 |
| % | 10.1% | 34.4% | 35.9% | 11.0% | 8.6% | 100.0% |



男性比女性の方が人権問題への関心がやや低調

人権問題に「1. 非常に関心がある」と回答した人は男性14.1%に対し女性6.8%でした。「3. あまり関心がない」と回答した人は男性34.5%に対し女性37.1%で、女性の方が人権問題への関心がやや低いといえます。

| | | 問7 人権に関心がありますか。 | | | | | |
|---------------------|---|-----------------|-----------------|-----------------|--------------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 非常に 関心がある | 2. かなり 関心がある | 3. あまり 関心がない | 4. 関心が ない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 50 | 122 | 122 | 36 | 24 | 354 |
| | % | 14.1% | 34.5% | 34.5% | 10.2% | 6.8% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 29 | 148 | 159 | 50 | 43 | 429 |
| | % | 6.8% | 34.5% | 37.1% | 11.7% | 10.0% | 100.0% |
| 性別を答えること に抵抗を感じる | 人 | 1 | 3 | 4 | 1 | 1 | 10 |
| | % | 10.0% | 30.0% | 40.0% | 10.0% | 10.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 80 | 273 | 285 | 87 | 68 | 793 |
| | % | 10.1% | 34.4% | 35.9% | 11.0% | 8.6% | 100.0% |

年代別にみると、18～29歳以外は関心が低い

人権問題に関心がある（「1. 非常に関心がある＋2. かなり関心がある」と回答した人は「18～29歳」61.1%、「30～39歳」39.0%、「40～49歳」48.1%、「50～59歳」44.1%、「60～69歳」44.9%、「70～79歳」47.3%、「80歳以上」37.6%でした。

| 問2 年齢 | | 問7 人権に関心がありますか。 | | | | | 総計 |
|--------|---|-----------------|-----------------|-----------------|--------------|-------|--------|
| | | 1. 非常に 関心がある | 2. かなり 関心がある | 3. あまり 関心がない | 4. 関心が ない | 無回答 | |
| 18～29歳 | 人 | 4 | 18 | 11 | 2 | 1 | 36 |
| | % | 11.1% | 50.0% | 30.6% | 5.6% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39歳 | 人 | 3 | 13 | 20 | 3 | 2 | 41 |
| | % | 7.3% | 31.7% | 48.8% | 7.3% | 4.9% | 100.0% |
| 40～49歳 | 人 | 10 | 28 | 31 | 8 | 2 | 79 |
| | % | 12.7% | 35.4% | 39.2% | 10.1% | 2.5% | 100.0% |
| 50～59歳 | 人 | 10 | 31 | 41 | 6 | 5 | 93 |
| | % | 10.8% | 33.3% | 44.1% | 6.5% | 5.4% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 15 | 68 | 79 | 16 | 7 | 185 |
| | % | 8.1% | 36.8% | 42.7% | 8.6% | 3.8% | 100.0% |
| 70～79歳 | 人 | 19 | 69 | 49 | 26 | 23 | 186 |
| | % | 10.2% | 37.1% | 26.3% | 14.0% | 12.4% | 100.0% |
| 80歳以上 | 人 | 19 | 46 | 54 | 26 | 28 | 173 |
| | % | 11.0% | 26.6% | 31.2% | 15.0% | 16.2% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 80 | 273 | 285 | 87 | 68 | 793 |
| | % | 10.1% | 34.4% | 35.9% | 11.0% | 8.6% | 100.0% |

（7）関心がある人権課題は何ですか

最も関心が高いのは「障がい者」

最も関心が高いのは、「4. 障がい者」で57.5%、次いで「3. 高齢者」で46.7%、三番目が「2. 子ども」で40.9%となっています。県も、最も関心が高いのは、「4. 障がい者」で54.4%ですが、二番目は「1. 女性」・「2. 子ども」で40.3%、三番目が「3. 高齢者」で39.1%となっています。

最も関心が高いものに、男女差あり

男性の方が関心の高いものは「4. 障がい者」で、男性61.6%、女性54.5%、「5. 部落差別問題」で男性33.0%、女性22.3%となっています。

反対に女性の方が関心の高いものは「1. 女性」で女性44.3%、男性25.5%、「3. 高齢者」で女性51.8%、男性41.2%となっています。

男女とも同程度で関心の高いのが、「2. 子ども」で女性42.0%、男性39.5%となっています。

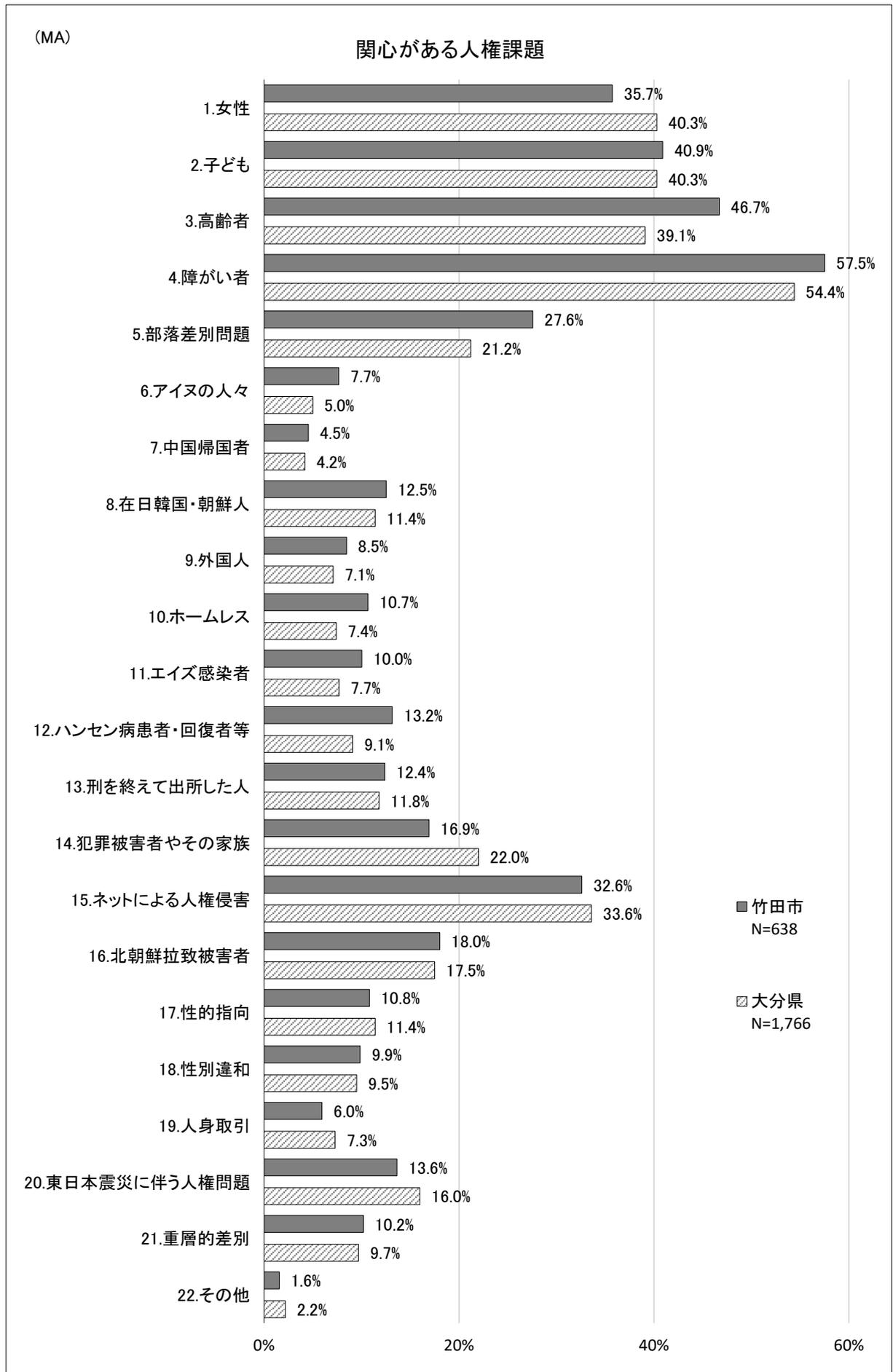
最も関心が高いものに、年代差あり

年齢別に関心がある人権課題をみると、「18～29歳」は「15. ネットによる人権侵害」、「30～39歳」は「2. 子ども」と「4. 障がい者」、「40～49歳」は「15. ネットによる人権侵害」、「50～59歳」と「60～69歳」と「70～79歳」は「4. 障がい者」、「80歳以上」

は「3. 高齢者」でした。

関心がある人権問題

| | | | | | | |
|---|----------------|------------------|----------------|--------------|------------|------------------|
| | 1. 女性 | 2. 子ども | 3. 高齢者 | 4. 障がい者 | 5. 部落差別問題 | 6. アイヌの人々 |
| 人 | 228 | 261 | 298 | 367 | 176 | 49 |
| % | 35.7% | 40.9% | 46.7% | 57.5% | 27.6% | 7.7% |
| | 7. 中国帰国者 | 8. 在日韓国・朝鮮人 | 9. 外国人 | 10. ホームレス | 11. エイズ感染者 | 12. ハンセン病患者・回復者等 |
| 人 | 29 | 80 | 54 | 68 | 64 | 84 |
| % | 4.5% | 12.5% | 8.5% | 10.7% | 10.0% | 13.2% |
| | 13. 刑を終えて出所した人 | 14. 犯罪被害者やその家族 | 15. ネットによる人権侵害 | 16. 北朝鮮拉致被害者 | 17. 性的指向 | 18. 性別違和 |
| 人 | 79 | 108 | 208 | 115 | 69 | 63 |
| % | 12.4% | 16.9% | 32.6% | 18.0% | 10.8% | 9.9% |
| | 19. 人身取引 | 20. 東日本震災に伴う人権問題 | 21. 重層的差別 | 22. その他 | 対象者 | |
| 人 | 38 | 87 | 65 | 10 | 638 | |
| % | 6.0% | 13.6% | 10.2% | 1.6% | | |



| | | 問 7-1 関心がある人権課題は何ですか。 | | | | | |
|-----------------|---|-----------------------|------------------|----------------|--------------|------------|------------------|
| 問1 性別 | | 1. 女性 | 2. 子ども | 3. 高齢者 | 4. 障がい者 | 5. 部落差別問題 | 6. アイヌの人々 |
| 男性 | 人 | 75 | 116 | 121 | 181 | 97 | 26 |
| | % | 25.5% | 39.5% | 41.2% | 61.6% | 33.0% | 8.8% |
| 女性 | 人 | 149 | 141 | 174 | 183 | 75 | 20 |
| | % | 44.3% | 42.0% | 51.8% | 54.5% | 22.3% | 6.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 4 | 3 | 3 | 4 | 3 |
| | % | 50.0% | 50.0% | 37.5% | 37.5% | 50.0% | 37.5% |
| 全体 | 人 | 228 | 261 | 298 | 367 | 176 | 49 |
| | % | 35.7% | 40.9% | 46.7% | 57.5% | 27.6% | 7.7% |
| 問1 性別 | | 7. 中国帰国者 | 8. 在日韓国・朝鮮人 | 9. 外国人 | 10. ホームレス | 11. エイズ感染者 | 12. ハンセン病患者・回復者等 |
| 男性 | 人 | 12 | 46 | 24 | 37 | 32 | 42 |
| | % | 4.1% | 15.6% | 8.2% | 12.6% | 10.9% | 14.3% |
| 女性 | 人 | 15 | 31 | 27 | 30 | 30 | 39 |
| | % | 4.5% | 9.2% | 8.0% | 8.9% | 8.9% | 11.6% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 3 | 3 | 1 | 2 | 3 |
| | % | 25.0% | 37.5% | 37.5% | 12.5% | 25.0% | 37.5% |
| 全体 | 人 | 29 | 80 | 54 | 68 | 64 | 84 |
| | % | 4.5% | 12.5% | 8.5% | 10.7% | 10.0% | 13.2% |
| 問1 性別 | | 13. 刑を終えて出所した人 | 14. 犯罪被害者やその家族 | 15. ネットによる人権侵害 | 16. 北朝鮮拉致被害者 | 17. 性的指向 | 18. 性別違和 |
| 男性 | 人 | 42 | 44 | 93 | 44 | 29 | 25 |
| | % | 14.3% | 15.0% | 31.6% | 15.0% | 9.9% | 8.5% |
| 女性 | 人 | 36 | 62 | 113 | 69 | 38 | 35 |
| | % | 10.7% | 18.5% | 33.6% | 20.5% | 11.3% | 10.4% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| | % | 12.5% | 25.0% | 25.0% | 25.0% | 25.0% | 37.5% |
| 全体 | 人 | 79 | 108 | 208 | 115 | 69 | 63 |
| | % | 12.4% | 16.9% | 32.6% | 18.0% | 10.8% | 9.9% |
| 問1 性別 | | 19. 人身取引 | 20. 東日本震災に伴う人権問題 | 21. 重層的差別 | 22. その他 | 対象者 | |
| 男性 | 人 | 22 | 35 | 27 | 4 | 294 | |
| | % | 7.5% | 11.9% | 9.2% | 1.4% | | |
| 女性 | 人 | 15 | 49 | 36 | 4 | 336 | |
| | % | 4.5% | 14.6% | 10.7% | 1.2% | | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 3 | 2 | 2 | 8 | |
| | % | 12.5% | 37.5% | 25.0% | 25.0% | | |
| 全体 | 人 | 38 | 87 | 65 | 10 | 638 | |
| | % | 6.0% | 13.6% | 10.2% | 1.6% | | |

| | | 問 7-1 関心がある人権課題は何ですか。 | | | | | |
|---------|---|-----------------------|-------------|--------|-----------|------------|------------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 女性 | 2. 子ども | 3. 高齢者 | 4. 障がい者 | 5. 部落差別問題 | 6. アイヌの人々 |
| 18～29 歳 | 人 | 12 | 11 | 7 | 15 | 9 | 3 |
| | % | 36.4% | 33.3% | 21.2% | 45.5% | 27.3% | 9.1% |
| 30～39 歳 | 人 | 21 | 22 | 15 | 22 | 9 | 5 |
| | % | 58.3% | 61.1% | 41.7% | 61.1% | 25.0% | 13.9% |
| 40～49 歳 | 人 | 31 | 36 | 19 | 37 | 21 | 3 |
| | % | 44.9% | 52.2% | 27.5% | 53.6% | 30.4% | 4.3% |
| 50～59 歳 | 人 | 39 | 41 | 37 | 57 | 34 | 9 |
| | % | 47.6% | 50.0% | 45.1% | 69.5% | 41.5% | 11.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 54 | 71 | 79 | 106 | 43 | 10 |
| | % | 33.3% | 43.8% | 48.8% | 65.4% | 26.5% | 6.2% |
| 70～79 歳 | 人 | 46 | 52 | 76 | 81 | 34 | 14 |
| | % | 33.6% | 38.0% | 55.5% | 59.1% | 24.8% | 10.2% |
| 80 歳以上 | 人 | 25 | 28 | 65 | 49 | 26 | 5 |
| | % | 21.0% | 23.5% | 54.6% | 41.2% | 21.8% | 4.2% |
| 全体 | 人 | 228 | 261 | 298 | 367 | 176 | 49 |
| | % | 35.7% | 40.9% | 46.7% | 57.5% | 27.6% | 7.7% |
| 問 2 年齢 | | 7. 中国帰国者 | 8. 在日韓国・朝鮮人 | 9. 外国人 | 10. ホームレス | 11. エイズ感染者 | 12. ハンセン病患者・回復者等 |
| 18～29 歳 | 人 | 2 | 5 | 7 | 5 | 6 | 10 |
| | % | 6.1% | 15.2% | 21.2% | 15.2% | 18.2% | 30.3% |
| 30～39 歳 | 人 | 2 | 7 | 4 | 7 | 7 | 5 |
| | % | 5.6% | 19.4% | 11.1% | 19.4% | 19.4% | 13.9% |
| 40～49 歳 | 人 | 2 | 6 | 5 | 5 | 4 | 6 |
| | % | 2.9% | 8.7% | 7.2% | 7.2% | 5.8% | 8.7% |
| 50～59 歳 | 人 | 6 | 17 | 12 | 9 | 17 | 18 |
| | % | 7.3% | 20.7% | 14.6% | 11.0% | 20.7% | 22.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 5 | 15 | 9 | 18 | 15 | 20 |
| | % | 3.1% | 9.3% | 5.6% | 11.1% | 9.3% | 12.3% |
| 70～79 歳 | 人 | 9 | 21 | 11 | 13 | 9 | 14 |
| | % | 6.6% | 15.3% | 8.0% | 9.5% | 6.6% | 10.2% |
| 80 歳以上 | 人 | 3 | 9 | 6 | 11 | 6 | 11 |
| | % | 2.5% | 7.6% | 5.0% | 9.2% | 5.0% | 9.2% |
| 全体 | 人 | 29 | 80 | 54 | 68 | 64 | 84 |
| | % | 4.5% | 12.5% | 8.5% | 10.7% | 10.0% | 13.2% |

| 問2 年齢 | | 13. 刑を終えて出所した人 | 14. 犯罪被害者やその家族 | 15. ネットによる人権侵害 | 16. 北朝鮮拉致被害者 | 17. 性的指向 | 18. 性別違和 |
|--------|---|----------------|------------------|----------------|--------------|----------|----------|
| 18～29歳 | 人 | 4 | 6 | 21 | 3 | 10 | 10 |
| | % | 12.1% | 18.2% | 63.6% | 9.1% | 30.3% | 30.3% |
| 30～39歳 | 人 | 7 | 7 | 17 | 3 | 11 | 12 |
| | % | 19.4% | 19.4% | 47.2% | 8.3% | 30.6% | 33.3% |
| 40～49歳 | 人 | 9 | 13 | 38 | 6 | 12 | 11 |
| | % | 13.0% | 18.8% | 55.1% | 8.7% | 17.4% | 15.9% |
| 50～59歳 | 人 | 14 | 24 | 39 | 20 | 15 | 18 |
| | % | 17.1% | 29.3% | 47.6% | 24.4% | 18.3% | 22.0% |
| 60～69歳 | 人 | 18 | 26 | 60 | 30 | 12 | 7 |
| | % | 11.1% | 16.0% | 37.0% | 18.5% | 7.4% | 4.3% |
| 70～79歳 | 人 | 15 | 19 | 26 | 34 | 5 | 3 |
| | % | 10.9% | 13.9% | 19.0% | 24.8% | 3.6% | 2.2% |
| 80歳以上 | 人 | 12 | 13 | 7 | 19 | 4 | 2 |
| | % | 10.1% | 10.9% | 5.9% | 16.0% | 3.4% | 1.7% |
| 全体 | 人 | 79 | 108 | 208 | 115 | 69 | 63 |
| | % | 12.4% | 16.9% | 32.6% | 18.0% | 10.8% | 9.9% |
| 問2 年齢 | | 19. 人身取引 | 20. 東日本震災に伴う人権問題 | 21. 重層的差別 | 22. その他 | 対象者 | |
| 18～29歳 | 人 | 2 | 9 | 9 | 1 | 33 | |
| | % | 6.1% | 27.3% | 27.3% | 3.0% | | |
| 30～39歳 | 人 | 2 | 5 | 4 | 0 | 36 | |
| | % | 5.6% | 13.9% | 11.1% | 0.0% | | |
| 40～49歳 | 人 | 4 | 8 | 5 | 2 | 69 | |
| | % | 5.8% | 11.6% | 7.2% | 2.9% | | |
| 50～59歳 | 人 | 7 | 19 | 16 | 1 | 82 | |
| | % | 8.5% | 23.2% | 19.5% | 1.2% | | |
| 60～69歳 | 人 | 10 | 23 | 11 | 1 | 162 | |
| | % | 6.2% | 14.2% | 6.8% | 0.6% | | |
| 70～79歳 | 人 | 9 | 15 | 13 | 2 | 137 | |
| | % | 6.6% | 10.9% | 9.5% | 1.5% | | |
| 80歳以上 | 人 | 4 | 8 | 7 | 3 | 119 | |
| | % | 3.4% | 6.7% | 5.9% | 2.5% | | |
| 全体 | 人 | 38 | 87 | 65 | 10 | 638 | |
| | % | 6.0% | 13.6% | 10.2% | 1.6% | | |

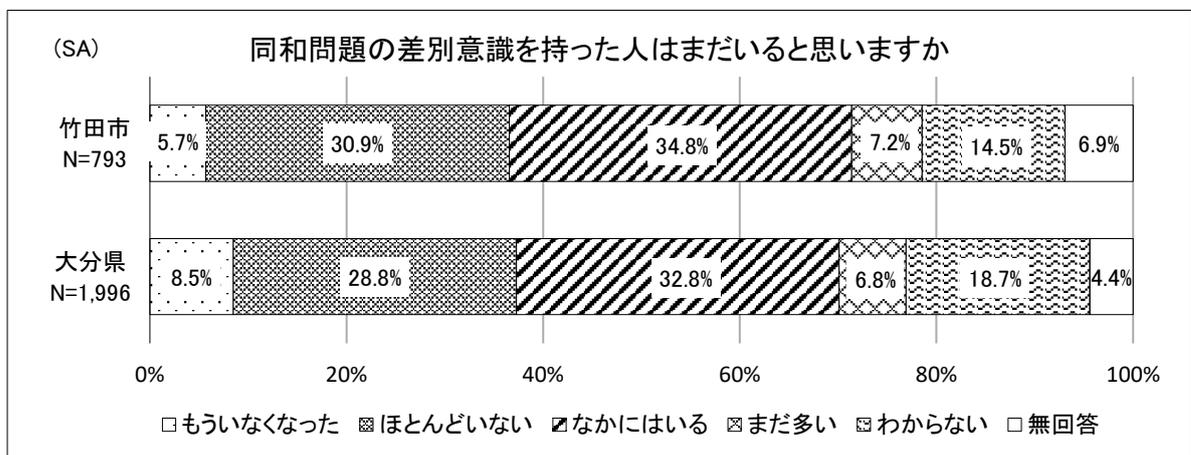
Ⅱ 部落差別問題（同和問題）

（1）被差別部落の人に差別意識を持った人がまだいると思いますか いまだに、いると思う人 > いなくなったと思う人

同和問題での差別意識を持っていないと思う人（「1. 差別意識を持っている人はもういなくなった」＋「2. ほとんどの人が差別意識は持っていない」）は、いまだに36.6%にとどまっています。県も37.3%で差がありません。

まだいる（3. なかにはいる＋4. まだ多い）と思っている人は42.0%おり、いないと思っている人を5.4ポイント上回っています。県も同様に2.3ポイント上回っています。

| | 1. もう いなくなった | 2. ほとん どいない | 3. なかに はいる | 4. まだ多 い | 5. わから ない | 無回答 | 総計 |
|---|-----------------|----------------|---------------|-------------|--------------|------|--------|
| 人 | 45 | 245 | 276 | 57 | 115 | 55 | 793 |
| % | 5.7% | 30.9% | 34.8% | 7.2% | 14.5% | 6.9% | 100.0% |



差別意識が残っていると思っている人は男性の方に多い

同和問題での差別意識を持っていないと思う人（「1. 差別意識を持っている人はもういなくなった」＋「2. ほとんどの人が差別意識は持っていない」）は男女ともに36.4%で差がありません。

しかしながら、差別意識が残っていると思っている人（「3. なかにはいる」＋「4. まだ多い」）は、男性46.3%・女性38.5%で、男性の方が多いという結果です。

| | | 問8 被差別部落の人に対する差別意識を持った人がいると思いますか。 | | | | | | |
|---------------------|---|-----------------------------------|--------------------|---------------|-------------|--------------|------|--------|
| 問1 性別 | | 1. もう いなくな った | 2. ほと んどいな い | 3. なか にはいる | 4. まだ 多い | 5. わか らない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 20 | 109 | 132 | 32 | 37 | 24 | 354 |
| | % | 5.6% | 30.8% | 37.3% | 9.0% | 10.5% | 6.8% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 24 | 132 | 141 | 24 | 77 | 31 | 429 |
| | % | 5.6% | 30.8% | 32.9% | 5.6% | 17.9% | 7.2% | 100.0% |
| 性別を答えること に抵抗を感じる | 人 | 1 | 4 | 3 | 1 | 1 | 0 | 10 |
| | % | 10.0% | 40.0% | 30.0% | 10.0% | 10.0% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 45 | 245 | 276 | 57 | 115 | 55 | 793 |
| | % | 5.7% | 30.9% | 34.8% | 7.2% | 14.5% | 6.9% | 100.0% |

差別意識が残っていると思っている人は30～59歳の方に多い

差別意識が残っていると思っている人（「3. なかにはいる」＋「4. まだ多い」）は、「18～29歳」は30.6%、「30～39歳」は70.7%、「40～49歳」は59.5%、「50～59歳」は57.0%、「60～69歳」47.0%、「70～79歳」は33.9%、「80歳以上」は24.8%でした。

| 問2 年齢 | | 問8 被差別部落の人に対する差別意識を持った人がいると思いますか。 | | | | | | 総計 |
|--------|---|-----------------------------------|------------|-----------|---------|----------|-------|--------|
| | | 1. もういなくなった | 2. ほとんどいない | 3. なかにはいる | 4. まだ多い | 5. わからない | 無回答 | |
| 18～29歳 | 人 | 3 | 11 | 9 | 2 | 9 | 2 | 36 |
| | % | 8.3% | 30.6% | 25.0% | 5.6% | 25.0% | 5.6% | 100.0% |
| 30～39歳 | 人 | 1 | 5 | 21 | 8 | 6 | 0 | 41 |
| | % | 2.4% | 12.2% | 51.2% | 19.5% | 14.6% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49歳 | 人 | 1 | 16 | 40 | 7 | 13 | 2 | 79 |
| | % | 1.3% | 20.3% | 50.6% | 8.9% | 16.5% | 2.5% | 100.0% |
| 50～59歳 | 人 | 3 | 22 | 40 | 13 | 12 | 3 | 93 |
| | % | 3.2% | 23.7% | 43.0% | 14.0% | 12.9% | 3.2% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 10 | 57 | 71 | 16 | 23 | 8 | 185 |
| | % | 5.4% | 30.8% | 38.4% | 8.6% | 12.4% | 4.3% | 100.0% |
| 70～79歳 | 人 | 10 | 71 | 59 | 4 | 25 | 17 | 186 |
| | % | 5.4% | 38.2% | 31.7% | 2.2% | 13.4% | 9.1% | 100.0% |
| 80歳以上 | 人 | 17 | 63 | 36 | 7 | 27 | 23 | 173 |
| | % | 9.8% | 36.4% | 20.8% | 4.0% | 15.6% | 13.3% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 45 | 245 | 276 | 57 | 115 | 55 | 793 |
| | % | 5.7% | 30.9% | 34.8% | 7.2% | 14.5% | 6.9% | 100.0% |

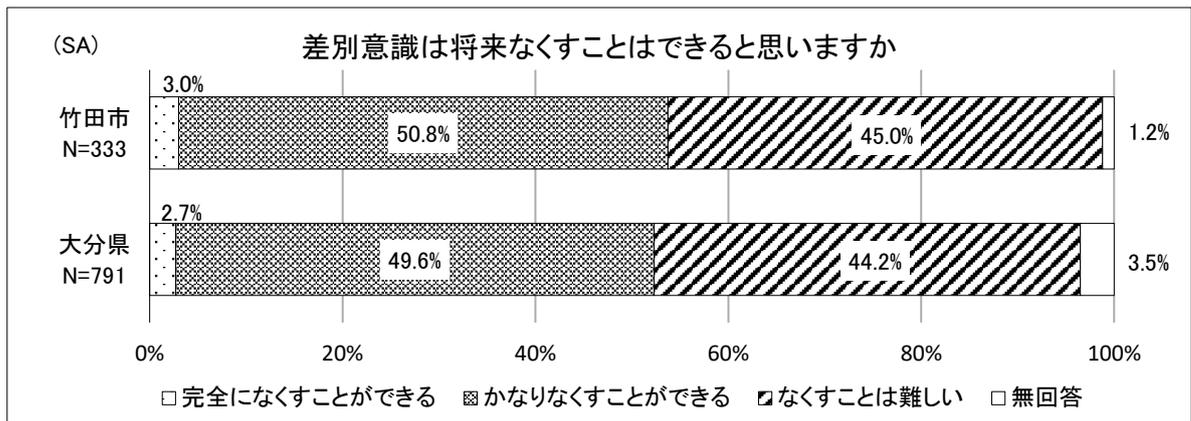
(2) 差別意識は近い将来なくすことができると思いますか

差別意識を近い将来なくすことはできるとしている人は、約半数

近い将来なくすことはできる（「1. 完全になくすことができる」＋「2. かなりなくすことができる」）と考えている人は53.8%で、「1. 完全になくすことができる」は3.0%しかないことをみると、この問題解決の難しさが表れているといえます。

| | 1. 完全になくすことができる | 2. かなりなくすことができる | 3. なくすことは難しい | 無回答 | 総計 |
|---|-----------------|-----------------|--------------|------|--------|
| 人 | 10 | 169 | 150 | 4 | 333 |
| % | 3.0% | 50.8% | 45.0% | 1.2% | 100.0% |

(1)で「3」、「4」と回答した333人で集計しています。



差別意識を近い将来なくすことはできると思っている人は、男女差なし

近い将来なくすことはできる（「1. 完全になくすことができる」＋「2. かなりなくすことができる」）と考えている人も、「3. なくすことは難しい」と考えている人も男女で差はありません。

| | | 問 8-1 差別意識は、近い将来なくすことができると思いますか。 | | | | |
|-----------------|---|----------------------------------|-----------------|--------------|------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 完全になくすことができる | 2. かなりなくすことができる | 3. なくすことは難しい | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 6 | 82 | 73 | 3 | 164 |
| | % | 3.7% | 50.0% | 44.5% | 1.8% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 4 | 86 | 74 | 1 | 165 |
| | % | 2.4% | 52.1% | 44.8% | 0.6% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 1 | 3 | 0 | 4 |
| | % | 0.0% | 25.0% | 75.0% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 10 | 169 | 150 | 4 | 333 |
| | % | 3.0% | 50.8% | 45.0% | 1.2% | 100.0% |

若い人ほど、差別意識を近い将来なくすことはできると思っている人は、少ない

近い将来なくすことはできる（「1. 完全になくすことができる」＋「2. かなりなくすことができる」）と考えている人は、「18～29歳」は27.3%、「30～39歳」は34.5%、「40～49歳」は51.1%、「50～59歳」は47.2%、「60～69歳」57.4%、「70～79歳」は65.0%、「80歳以上」は60.4%でした。

| | | 問 8-1 差別意識は、近い将来なくすことができると思いますか。 | | | | |
|--------|---|----------------------------------|-----------------|--------------|------|--------|
| 問 2 年齢 | | 1. 完全になくすことができる | 2. かなりなくすことができる | 3. なくすことは難しい | 無回答 | 総計 |
| 18～29歳 | 人 | 0 | 3 | 8 | 0 | 11 |
| | % | 0.0% | 27.3% | 72.7% | 0.0% | 100.0% |
| 30～39歳 | 人 | 2 | 8 | 19 | 0 | 29 |
| | % | 6.9% | 27.6% | 65.5% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49歳 | 人 | 2 | 22 | 23 | 0 | 47 |
| | % | 4.3% | 46.8% | 48.9% | 0.0% | 100.0% |
| 50～59歳 | 人 | 0 | 25 | 27 | 1 | 53 |
| | % | 0.0% | 47.2% | 50.9% | 1.9% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 1 | 49 | 36 | 1 | 87 |
| | % | 1.1% | 56.3% | 41.4% | 1.1% | 100.0% |
| 70～79歳 | 人 | 4 | 37 | 21 | 1 | 63 |
| | % | 6.3% | 58.7% | 33.3% | 1.6% | 100.0% |
| 80歳以上 | 人 | 1 | 25 | 16 | 1 | 43 |
| | % | 2.3% | 58.1% | 37.2% | 2.3% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 10 | 169 | 150 | 4 | 333 |
| | % | 3.0% | 50.8% | 45.0% | 1.2% | 100.0% |

(3) 部落差別問題（同和問題）を知ったきっかけ

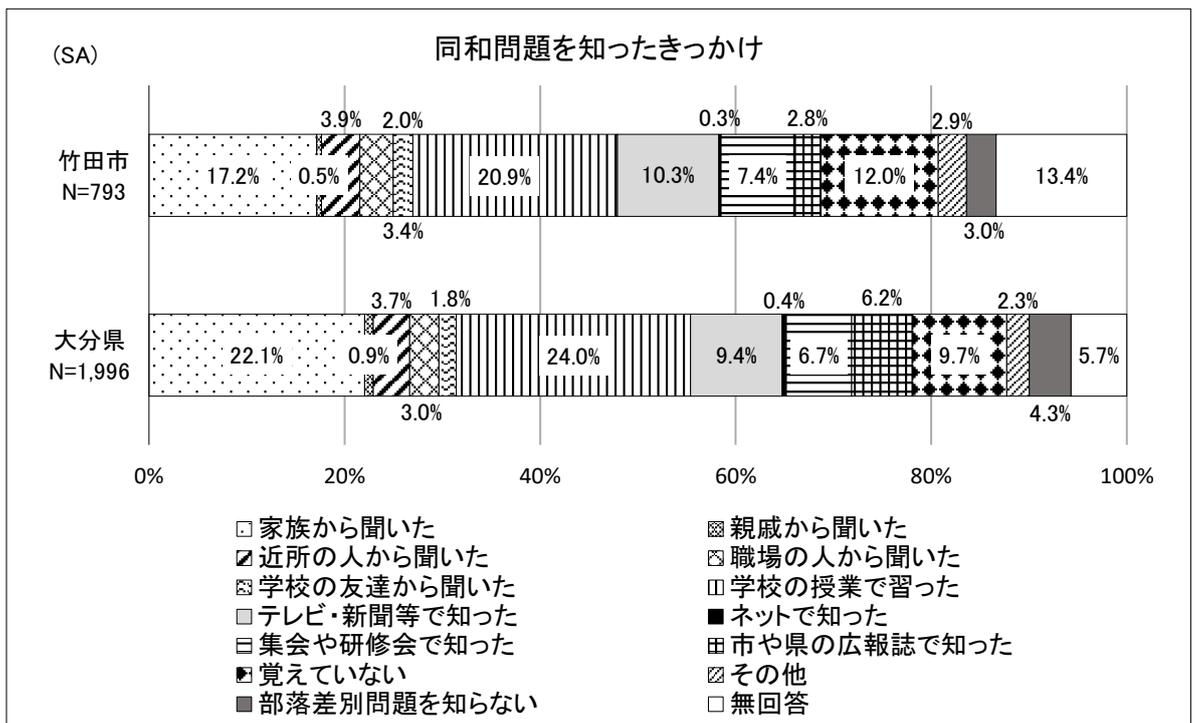
知ったきっかけは、学校の授業が最多

部落差別問題（同和問題）を初めて知ったきっかけで最も多いのは「6. 学校の授業で習った」で20.9%、5人に1人の割合です。次いで、多いのは「1. 家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」で17.2%です。「11. 部落差別問題（同和問題）は知っているがきっかけは覚えていない」という人も12.0%います。

県の調査でも、「6. 学校の授業で習った」が最も多く24.0%、約4人に1人の割合です。次いで、多いのは「1. 家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」で22.1%です。

部落差別問題（同和問題）を知ったきっかけ

| | 1. 家族から聞いた | 2. 親戚から聞いた | 3. 近所の人から聞いた | 4. 職場の人から聞いた | 5. 学校の友達から聞いた | 6. 学校の授業で習った |
|---|-----------------|------------|---------------|-----------------|---------------|--------------|
| 人 | 136 | 4 | 31 | 27 | 16 | 166 |
| % | 17.2% | 0.5% | 3.9% | 3.4% | 2.0% | 20.9% |
| | 7. テレビ・新聞等で知った | 8. ネットで知った | 9. 集会や研修会で知った | 10. 市や県の広報誌で知った | 11. 覚えていない | 12. その他 |
| 人 | 82 | 2 | 59 | 22 | 95 | 23 |
| % | 10.3% | 0.3% | 7.4% | 2.8% | 12.0% | 2.9% |
| | 13. 部落差別問題を知らない | 無回答 | 総計 | | | |
| 人 | 24 | 106 | 793 | | | |
| % | 3.0% | 13.4% | 100.0% | | | |



知ったきっかけは、男女とも学校の授業が最多

男女別にみても、部落差別問題（同和問題）を初めて知ったきっかけで最も多いのは「6. 学校の授業で習った」で、女性 21.7%、男性 20.1%で、差はありません。

| | | 問9 部落差別問題を初めて知ったきっかけは何ですか。 | | | | | |
|-----------------|---|----------------------------|------------|---------------|-----------------|---------------|--------------|
| 問1 性別 | | 1. 家族から聞いた | 2. 親戚から聞いた | 3. 近所の人から聞いた | 4. 職場の人から聞いた | 5. 学校の友達から聞いた | 6. 学校の授業で習った |
| 男性 | 人 | 53 | 2 | 15 | 17 | 7 | 71 |
| | % | 15.0% | 0.6% | 4.2% | 4.8% | 2.0% | 20.1% |
| 女性 | 人 | 82 | 2 | 16 | 10 | 8 | 93 |
| | % | 19.1% | 0.5% | 3.7% | 2.3% | 1.9% | 21.7% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | % | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 10.0% | 20.0% |
| 全体 | 人 | 136 | 4 | 31 | 27 | 16 | 166 |
| | % | 17.2% | 0.5% | 3.9% | 3.4% | 2.0% | 20.9% |
| 問1 性別 | | 7. テレビ・新聞等で知った | 8. ネットで知った | 9. 集会や研修会で知った | 10. 市や県の広報誌で知った | 11. 覚えていない | 12. その他 |
| 男性 | 人 | 34 | 2 | 34 | 9 | 49 | 10 |
| | % | 9.6% | 0.6% | 9.6% | 2.5% | 13.8% | 2.8% |
| 女性 | 人 | 47 | 0 | 24 | 13 | 44 | 13 |
| | % | 11.0% | 0.0% | 5.6% | 3.0% | 10.3% | 3.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 |
| | % | 10.0% | 0.0% | 10.0% | 0.0% | 20.0% | 0.0% |
| 全体 | 人 | 82 | 2 | 59 | 22 | 95 | 23 |
| | % | 10.3% | 0.3% | 7.4% | 2.8% | 12.0% | 2.9% |
| 問1 性別 | | 13. 部落差別問題を知らない | 無回答 | 総計 | | | |
| 男性 | 人 | 9 | 42 | 354 | | | |
| | % | 2.5% | 11.9% | 100.0% | | | |
| 女性 | 人 | 14 | 63 | 429 | | | |
| | % | 3.3% | 14.7% | 100.0% | | | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 1 | 10 | | | |
| | % | 10.0% | 10.0% | 100.0% | | | |
| 全体 | 人 | 24 | 106 | 793 | | | |
| | % | 3.0% | 13.4% | 100.0% | | | |

知ったきっかけは、59歳までは「学校の授業」が最多

年齢別にみると、部落差別問題（同和問題）を初めて知ったきっかけで最も多いのは、18歳から59歳までは「6. 学校の授業で習った」が最も多く、60歳以上では「1. 家族から聞いた」が最も多くなっています。

| | | 問9 部落差別問題を初めて知ったきっかけは何ですか。 | | | | | | | | |
|---------|---|----------------------------|---------------|-----------------|--------------|---------------|-----------------|----------------|--------|--|
| 問2 年齢 | | 1. 家族から聞いた | 2. 親戚から聞いた | 3. 近所の人から聞いた | 4. 職場の人から聞いた | 5. 学校の友達から聞いた | 6. 学校の授業で習った | 7. テレビ・新聞等で知った | | |
| 18～29 歳 | 人 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 24 | 1 | | |
| | % | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.8% | 0.0% | 66.7% | 2.8% | | |
| 30～39 歳 | 人 | 7 | 0 | 0 | 1 | 0 | 26 | 1 | | |
| | % | 17.1% | 0.0% | 0.0% | 2.4% | 0.0% | 63.4% | 2.4% | | |
| 40～49 歳 | 人 | 4 | | 1 | 1 | 2 | 54 | 3 | | |
| | % | 5.1% | 0.0% | 1.3% | 1.3% | 2.5% | 68.4% | 3.8% | | |
| 50～59 歳 | 人 | 18 | 1 | 0 | 2 | 3 | 33 | 5 | | |
| | % | 19.4% | 1.1% | 0.0% | 2.2% | 3.2% | 35.5% | 5.4% | | |
| 60～69 歳 | 人 | 39 | 0 | 2 | 10 | 6 | 21 | 16 | | |
| | % | 21.1% | 0.0% | 1.1% | 5.4% | 3.2% | 11.4% | 8.6% | | |
| 70～79 歳 | 人 | 27 | 1 | 11 | 10 | 2 | 7 | 31 | | |
| | % | 14.5% | 0.5% | 5.9% | 5.4% | 1.1% | 3.8% | 16.7% | | |
| 80 歳以上 | 人 | 41 | 2 | 17 | 2 | 3 | 1 | 25 | | |
| | % | 23.7% | 1.2% | 9.8% | 1.2% | 1.7% | 0.6% | 14.5% | | |
| 全体 | 人 | 136 | 4 | 31 | 27 | 16 | 166 | 82 | | |
| | % | 17.2% | 0.5% | 3.9% | 3.4% | 2.0% | 20.9% | 10.3% | | |
| 問2 年齢 | | 8. ネットで知った | 9. 集会や研修会で知った | 10. 市や県の広報誌で知った | 11. 覚えていない | 12. その他 | 13. 部落差別問題を知らない | 無回答 | 総計 | |
| 18～29 歳 | 人 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 3 | 36 | |
| | % | 2.8% | 0.0% | 2.8% | 2.8% | 5.6% | 5.6% | 8.3% | 100.0% | |
| 30～39 歳 | 人 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 41 | |
| | % | 2.4% | 0.0% | 0.0% | 2.4% | 2.4% | 4.9% | 2.4% | 100.0% | |
| 40～49 歳 | 人 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 8 | 79 | |
| | % | 0.0% | 3.8% | 1.3% | 0.0% | 1.3% | 1.3% | 10.1% | 100.0% | |
| 50～59 歳 | 人 | 0 | 2 | 4 | 6 | 3 | 2 | 14 | 93 | |
| | % | 0.0% | 2.2% | 4.3% | 6.5% | 3.2% | 2.2% | 15.1% | 100.0% | |
| 60～69 歳 | 人 | 0 | 23 | 4 | 32 | 10 | 4 | 18 | 185 | |
| | % | 0.0% | 12.4% | 2.2% | 17.3% | 5.4% | 2.2% | 9.7% | 100.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 0 | 15 | 6 | 33 | 5 | 8 | 30 | 186 | |
| | % | 0.0% | 8.1% | 3.2% | 17.7% | 2.7% | 4.3% | 16.1% | 100.0% | |
| 80 歳以上 | 人 | 0 | 16 | 6 | 22 | 1 | 5 | 32 | 173 | |
| | % | 0.0% | 9.2% | 3.5% | 12.7% | 0.6% | 2.9% | 18.5% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 2 | 59 | 22 | 95 | 23 | 24 | 106 | 793 | |
| | % | 0.3% | 7.4% | 2.8% | 12.0% | 2.9% | 3.0% | 13.4% | 100.0% | |

（4）部落差別問題（同和問題）を知った年代

知った年代は、「6歳～12歳未満」が最多

知った年齢は「6歳～12歳未満」が25.2%で最も多くなっています。これは、知ったきっかけが「学校の授業」が最も多かったことと符合します。

| | 6歳未満 | 6～12歳未満 | 12～15歳未満 | 15～18歳未満 | 18歳以上 | 覚えていない | 無回答 | 総計 |
|---|------|---------|----------|----------|-------|--------|------|--------|
| 人 | 3 | 167 | 105 | 65 | 151 | 131 | 41 | 663 |
| % | 0.5% | 25.2% | 15.8% | 9.8% | 22.8% | 19.8% | 6.2% | 100.0% |

（3）で「1」～「12」を選んだ663人で集計

知った年代、「覚えていない」女性が多い

知った年齢を「覚えていない」と回答したのは女性か23.3%、男性が15.5%で、女性の方が多くなっています。他の年代では、男女差はほとんどありません。

| | | 問9-1 部落差別問題を初めて知ったのはいつ頃ですか。 | | | | | | | |
|-----------------|---|-----------------------------|---------|----------|----------|-------|--------|------|--------|
| 問1 性別 | | 6歳未満 | 6～12歳未満 | 12～15歳未満 | 15～18歳未満 | 18歳以上 | 覚えていない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 0 | 81 | 47 | 35 | 74 | 47 | 19 | 303 |
| | % | 0.0% | 26.7% | 15.5% | 11.6% | 24.4% | 15.5% | 6.3% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 3 | 84 | 57 | 29 | 75 | 82 | 22 | 352 |
| | % | 0.9% | 23.9% | 16.2% | 8.2% | 21.3% | 23.3% | 6.3% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 8 |
| | % | 0.0% | 25.0% | 12.5% | 12.5% | 25.0% | 25.0% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 3 | 167 | 105 | 65 | 151 | 131 | 41 | 663 |
| | % | 0.5% | 25.2% | 15.8% | 9.8% | 22.8% | 19.8% | 6.2% | 100.0% |

18歳から59歳までは「6～12歳未満」で知った人が圧倒的に多い

年齢別にみると、60歳を境として知った年齢が違ってきます。18歳から59歳までは「6～12歳未満」で知った人が圧倒的に多く、60歳以上は「18歳以上」が多くなっています。



| | | 問 9-1 部落差別問題を初めて知ったのはいつ頃ですか。 | | | | | | | |
|---------|---|------------------------------|----------|-----------|-----------|--------|--------|-------|--------|
| 問 2 年齢 | | 6 歳未満 | 6～12 歳未満 | 12～15 歳未満 | 15～18 歳未満 | 18 歳以上 | 覚えていない | 無回答 | 総計 |
| 18～29 歳 | 人 | 0 | 18 | 8 | 0 | 4 | 0 | 1 | 31 |
| | % | 0.0% | 58.1% | 25.8% | 0.0% | 12.9% | 0.0% | 3.2% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 0 | 22 | 7 | 2 | 1 | 6 | 0 | 38 |
| | % | 0.0% | 57.9% | 18.4% | 5.3% | 2.6% | 15.8% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 0 | 49 | 9 | 2 | 3 | 6 | 1 | 70 |
| | % | 0.0% | 70.0% | 12.9% | 2.9% | 4.3% | 8.6% | 1.4% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 0 | 31 | 17 | 2 | 21 | 5 | 1 | 77 |
| | % | 0.0% | 40.3% | 22.1% | 2.6% | 27.3% | 6.5% | 1.3% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 0 | 24 | 31 | 28 | 50 | 21 | 9 | 163 |
| | % | 0.0% | 14.7% | 19.0% | 17.2% | 30.7% | 12.9% | 5.5% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 1 | 6 | 18 | 19 | 49 | 41 | 14 | 148 |
| | % | 0.7% | 4.1% | 12.2% | 12.8% | 33.1% | 27.7% | 9.5% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 2 | 17 | 15 | 12 | 23 | 52 | 15 | 136 |
| | % | 1.5% | 12.5% | 11.0% | 8.8% | 16.9% | 38.2% | 11.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 3 | 167 | 105 | 65 | 151 | 131 | 41 | 663 |
| | % | 0.5% | 25.2% | 15.8% | 9.8% | 22.8% | 19.8% | 6.2% | 100.0% |

（5）現在起きている部落差別問題（同和問題）

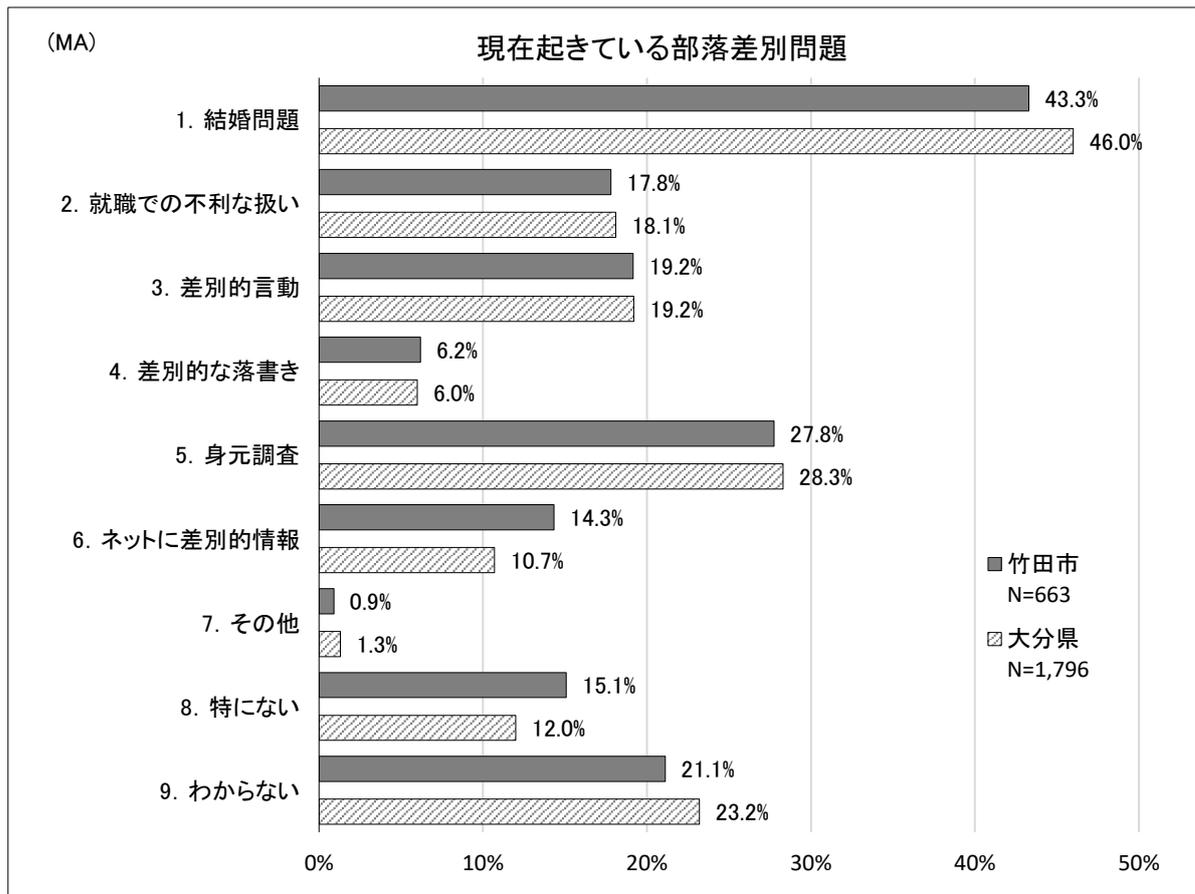
「結婚問題」が最多

現在も部落差別問題（同和問題）として最も問題となるのは、「1. 結婚問題で周囲に反対されること」で43.3%、次いで「5. 身元調査をされること」27.8%となっています。県の調査でも、同様です。

| | 1. 結婚問題 | 2. 就職 | 3. 差別的言動 | 4. 差別的な落書き | 5. 身元調査 | 6. ネットに差別的情報 |
|---|---------|---------|----------|------------|---------|--------------|
| 人 | 287 | 118 | 127 | 41 | 184 | 95 |
| % | 43.3% | 17.8% | 19.2% | 6.2% | 27.8% | 14.3% |
| | 7. その他 | 8. 特にない | 9. わからない | 対象者 | | |
| 人 | 6 | 100 | 140 | 663 | | |
| % | 0.9% | 15.1% | 21.1% | | | |

男女とも「結婚問題」が最多

現在も部落差別問題（同和問題）として最も問題となるのは、「1. 結婚問題で周囲に反対されること」で、男女別にみても差がありません。



問 9-2 部落差別問題でどのような問題が起きていると思いますか。

| 問1 性別 | | 1. 結婚問題で周囲に反対される | 2. 就職・職場で不利な扱いをされる | 3. 差別的言動をされること | 4. 差別的な落書きをされること | 5. 身元調査をされること |
|-----------------|---|--------------------|--------------------|----------------|------------------|---------------|
| 男性 | 人 | 141 | 59 | 69 | 24 | 91 |
| | % | 46.5% | 19.5% | 22.8% | 7.9% | 30.0% |
| 女性 | 人 | 141 | 56 | 56 | 17 | 91 |
| | % | 40.1% | 15.9% | 15.9% | 4.8% | 25.9% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 5 | 3 | 2 | 0 | 2 |
| | % | 62.5% | 37.5% | 25.0% | 0.0% | 25.0% |
| 全体 | 人 | 287 | 118 | 127 | 41 | 184 |
| | % | 43.3% | 17.8% | 19.2% | 6.2% | 27.8% |
| 問1 性別 | | 6. ネットに差別的情報を掲載される | 7. その他 | 8. 特にない | 9. わからない | 対象者 |
| 男性 | 人 | 43 | 4 | 45 | 50 | 303 |
| | % | 14.2% | 1.3% | 14.9% | 16.5% | |
| 女性 | 人 | 51 | 2 | 54 | 87 | 352 |
| | % | 14.5% | 0.6% | 15.3% | 24.7% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 0 | 1 | 3 | 8 |
| | % | 12.5% | 0.0% | 12.5% | 37.5% | |
| 全体 | 人 | 95 | 6 | 100 | 140 | 663 |
| | % | 14.3% | 0.9% | 15.1% | 21.1% | |

30歳から79歳までは「結婚問題」が最多

年齢別にみると、現在も部落差別問題（同和問題）として最も問題となるのは、18～29歳までは「3. 差別的言動をされること」ですが、30～79歳までは「1. 結婚問題で周囲に反対されること」で、80歳以上になると「8. 特にない」という回答になっています。

| | | 問9-2 部落差別問題でどのような問題が起きていますか。 | | | | |
|--------|---|------------------------------|------------------------------|--------------------|--------------------------|-------------------|
| 問2 年齢 | | 1. 結婚問題 で周囲に反対 されること | 2. 就職・職場 で不利な扱い をされること | 3. 差別的言 動をされること | 4. 差別的な 落書きをされ ること | 5. 身元調査 をされること |
| 18～29歳 | 人 | 13 | 11 | 17 | 3 | 12 |
| | % | 41.9% | 35.5% | 54.8% | 9.7% | 38.7% |
| 30～39歳 | 人 | 22 | 13 | 17 | 8 | 14 |
| | % | 57.9% | 34.2% | 44.7% | 21.1% | 36.8% |
| 40～49歳 | 人 | 33 | 20 | 22 | 10 | 28 |
| | % | 47.1% | 28.6% | 31.4% | 14.3% | 40.0% |
| 50～59歳 | 人 | 45 | 15 | 16 | 7 | 35 |
| | % | 58.4% | 19.5% | 20.8% | 9.1% | 45.5% |
| 60～69歳 | 人 | 85 | 32 | 31 | 11 | 46 |
| | % | 52.1% | 19.6% | 19.0% | 6.7% | 28.2% |
| 70～79歳 | 人 | 55 | 19 | 15 | 2 | 28 |
| | % | 37.2% | 12.8% | 10.1% | 1.4% | 18.9% |
| 80歳以上 | 人 | 34 | 8 | 9 | 0 | 21 |
| | % | 25.0% | 5.9% | 6.6% | 0.0% | 15.4% |
| 全体 | 人 | 287 | 118 | 127 | 41 | 184 |
| | % | 43.3% | 17.8% | 19.2% | 6.2% | 27.8% |
| 問2 年齢 | | 6. ネットに差 別的情報を掲 載されること | 7. その他 | 8. 特にない | 9. わからない | 対象者 |
| 18～29歳 | 人 | 10 | 0 | 2 | 5 | 31 |
| | % | 32.3% | 0.0% | 6.5% | 16.1% | |
| 30～39歳 | 人 | 13 | 0 | 2 | 6 | 38 |
| | % | 34.2% | 0.0% | 5.3% | 15.8% | |
| 40～49歳 | 人 | 15 | 0 | 4 | 14 | 70 |
| | % | 21.4% | 0.0% | 5.7% | 20.0% | |
| 50～59歳 | 人 | 25 | 2 | 5 | 12 | 77 |
| | % | 32.5% | 2.6% | 6.5% | 15.6% | |
| 60～69歳 | 人 | 21 | 2 | 20 | 33 | 163 |
| | % | 12.9% | 1.2% | 12.3% | 20.2% | |
| 70～79歳 | 人 | 7 | 1 | 31 | 36 | 148 |
| | % | 4.7% | 0.7% | 20.9% | 24.3% | |
| 80歳以上 | 人 | 4 | 1 | 36 | 34 | 136 |
| | % | 2.9% | 0.7% | 26.5% | 25.0% | |
| 全体 | 人 | 95 | 6 | 100 | 140 | 663 |
| | % | 14.3% | 0.9% | 15.1% | 21.1% | |

（6）子どもの結婚

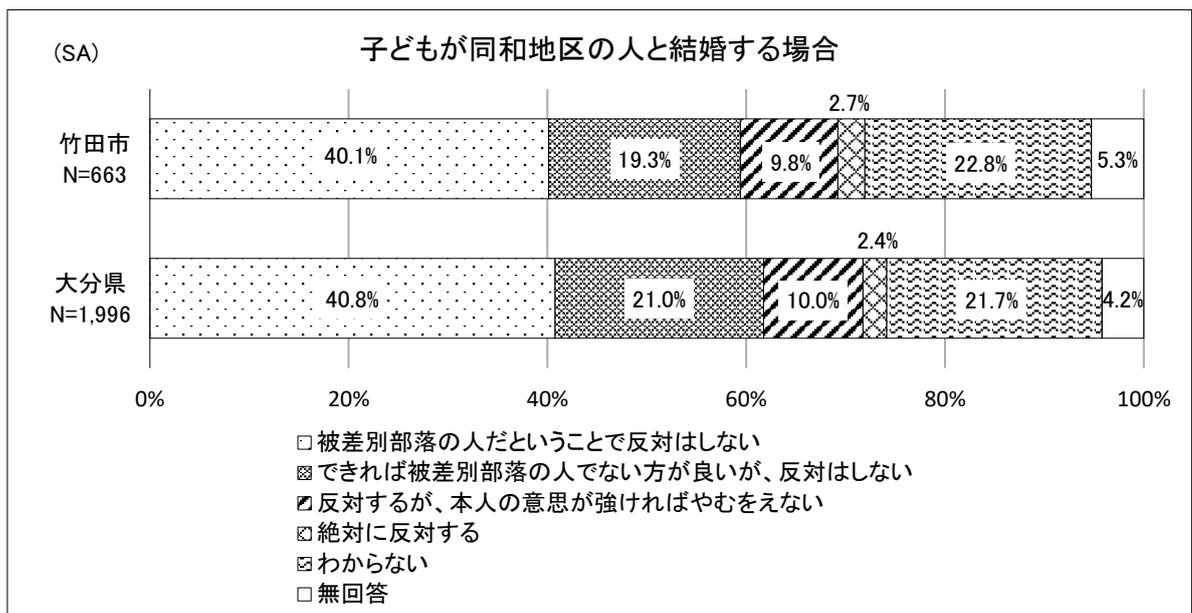
「認める」が7割

「1. 被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」に「2. できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない」、「3. やむを得ない」を合わせると、反対はしないが69.2%で、約7割の人は、結婚を認めるという結果になっています。「4. 絶対に反対する」2.7%、「5. わからない」22.8%、無回答5.3%を合わせると、まだ抵抗のある人が約3割いるというのが現状です。

県の調査でも、同様です。

| | 1. 被差別部落の人だということで反対はしない | 2. できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない | 3. 反対するが、本人の意思が強ければやむを得ない | 4. 絶対に反対する | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
|---|-------------------------|-------------------------------|---------------------------|------------|----------|------|--------|
| 人 | 266 | 128 | 65 | 18 | 151 | 35 | 663 |
| % | 40.1% | 19.3% | 9.8% | 2.7% | 22.8% | 5.3% | 100.0% |

（3）で「1」～「12」を選んだ663人で集計



「認める」は女性よりも男性の方が多い

「1. 被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」に「2. できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない」、「3. やむを得ない」を合わせると、反対はしないが男性73.0%、女性66.2%で、どちらかというとな男性の方が結婚を認めるという結果になっています。

| | | 問 9-3 お子さんが被差別部落の人と結婚するとしたら、どうしますか。 | | | | | | |
|-----------------|---|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------------|------------|----------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 被差別部落の人だということでは反対はしない | 2. できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない | 3. 反対するが、本人の意思が強ければやむをえない | 4. 絶対に反対する | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 133 | 63 | 25 | 8 | 57 | 17 | 303 |
| | % | 43.9% | 20.8% | 8.3% | 2.6% | 18.8% | 5.6% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 130 | 63 | 40 | 9 | 93 | 17 | 352 |
| | % | 36.9% | 17.9% | 11.4% | 2.6% | 26.4% | 4.8% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 3 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 8 |
| | % | 37.5% | 25.0% | 0.0% | 12.5% | 12.5% | 12.5% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 266 | 128 | 65 | 18 | 151 | 35 | 663 |
| | % | 40.1% | 19.3% | 9.8% | 2.7% | 22.8% | 5.3% | 100.0% |

「認める」は年代につれて減少

反対はしない（「1. 被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」＋「2. できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない」）を年齢別にみると、18～29歳は74.2%、30～39歳は68.4%、40～49歳は67.1%、50～59歳は63.7%、60～69歳は63.8%、70～79歳は51.3%、80歳以上は50.7%という回答になっています。

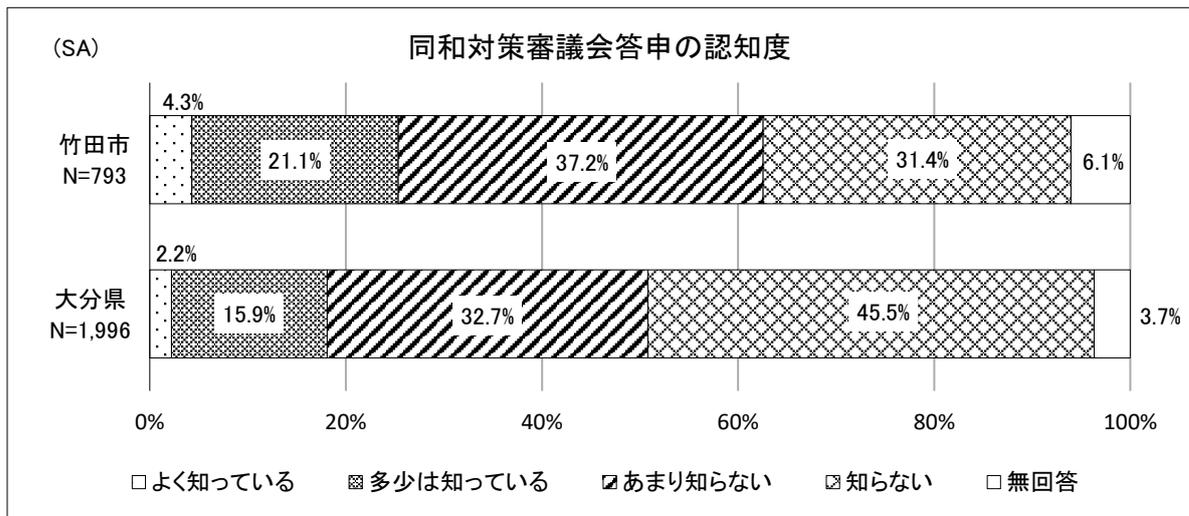
| | | 問 9-3 お子さんが被差別部落の人と結婚するとしたら、どうしますか。 | | | | | | |
|--------|---|-------------------------------------|-------------------------------|---------------------------|------------|----------|-------|--------|
| 問2 年齢 | | 1. 被差別部落の人だということでは反対はしない | 2. できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない | 3. 反対するが、本人の意思が強ければやむをえない | 4. 絶対に反対する | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
| 18～29歳 | 人 | 21 | 2 | 0 | 0 | 8 | 0 | 31 |
| | % | 67.7% | 6.5% | 0.0% | 0.0% | 25.8% | 0.0% | 100.0% |
| 30～39歳 | 人 | 23 | 3 | 1 | 3 | 8 | 0 | 38 |
| | % | 60.5% | 7.9% | 2.6% | 7.9% | 21.1% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49歳 | 人 | 43 | 4 | 2 | 2 | 17 | 2 | 70 |
| | % | 61.4% | 5.7% | 2.9% | 2.9% | 24.3% | 2.9% | 100.0% |
| 50～59歳 | 人 | 35 | 14 | 8 | 0 | 17 | 3 | 77 |
| | % | 45.5% | 18.2% | 10.4% | 0.0% | 22.1% | 3.9% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 64 | 40 | 20 | 4 | 31 | 4 | 163 |
| | % | 39.3% | 24.5% | 12.3% | 2.5% | 19.0% | 2.5% | 100.0% |
| 70～79歳 | 人 | 45 | 31 | 18 | 7 | 36 | 11 | 148 |
| | % | 30.4% | 20.9% | 12.2% | 4.7% | 24.3% | 7.4% | 100.0% |
| 80歳以上 | 人 | 35 | 34 | 16 | 2 | 34 | 15 | 136 |
| | % | 25.7% | 25.0% | 11.8% | 1.5% | 25.0% | 11.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 266 | 128 | 65 | 18 | 151 | 35 | 663 |
| | % | 40.1% | 19.3% | 9.8% | 2.7% | 22.8% | 5.3% | 100.0% |

（7）同和対策審議会答申の認知度

「認知度」は県を上回るものの、25%

「1. よく知っている」に「2. 多少は知っている」を合わせても、「知っている」は25.4%に過ぎません。県の調査では、もっと低く18.1%しかありません。

| | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | 総計 |
|---|------------|-------------|------------|---------|------|--------|
| 人 | 34 | 167 | 295 | 249 | 48 | 793 |
| % | 4.3% | 21.1% | 37.2% | 31.4% | 6.1% | 100.0% |



「認知度」は男性32.5%、女性20.0%

知っている（「1. よく知っている」＋「2. 多少は知っている」）は男性32.5%で、女性20.0%に過ぎません。

| | | 問10 同和対策審議会答申をどの程度知っていますか。 | | | | | |
|-----------------|---|----------------------------|-------------|------------|---------|------|--------|
| 問1 性別 | | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 25 | 90 | 120 | 98 | 21 | 354 |
| | % | 7.1% | 25.4% | 33.9% | 27.7% | 5.9% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 9 | 77 | 171 | 145 | 27 | 429 |
| | % | 2.1% | 17.9% | 39.9% | 33.8% | 6.3% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 0 | 4 | 6 | 0 | 10 |
| | % | 0.0% | 0.0% | 40.0% | 60.0% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 34 | 167 | 295 | 249 | 48 | 793 |
| | % | 4.3% | 21.1% | 37.2% | 31.4% | 6.1% | 100.0% |

「認知度」は年齢が上がるにつれて増加。18～29歳は0.0%

知っている（「1. よく知っている」＋「2. 多少は知っている」）を年齢別にみると、18～29歳は0.0%、30～39歳は14.7%、40～49歳は15.2%、50～59歳は21.5%、60～69歳は29.2%、70～79歳は33.4%、80歳以上は27.1%という回答になっています。

年齢が上がるにつれて、「知っている」がわずかずつですが増加しています。

| | | 問 10 同和対策審議会答申をどの程度知っていますか。 | | | | | |
|---------|---|-----------------------------|-------------|------------|---------|-------|--------|
| 問 2 年齢 | | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | 総計 |
| 18～29 歳 | 人 | 0 | 0 | 10 | 25 | 1 | 36 |
| | % | 0.0% | 0.0% | 27.8% | 69.4% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 2 | 4 | 12 | 22 | 1 | 41 |
| | % | 4.9% | 9.8% | 29.3% | 53.7% | 2.4% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 4 | 8 | 29 | 38 | 0 | 79 |
| | % | 5.1% | 10.1% | 36.7% | 48.1% | 0.0% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 3 | 17 | 31 | 40 | 2 | 93 |
| | % | 3.2% | 18.3% | 33.3% | 43.0% | 2.2% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 8 | 46 | 80 | 48 | 3 | 185 |
| | % | 4.3% | 24.9% | 43.2% | 25.9% | 1.6% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 10 | 52 | 71 | 40 | 13 | 186 |
| | % | 5.4% | 28.0% | 38.2% | 21.5% | 7.0% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 7 | 40 | 62 | 36 | 28 | 173 |
| | % | 4.0% | 23.1% | 35.8% | 20.8% | 16.2% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 34 | 167 | 295 | 249 | 48 | 793 |
| | % | 4.3% | 21.1% | 37.2% | 31.4% | 6.1% | 100.0% |

（8）部落差別解消推進法の認知度

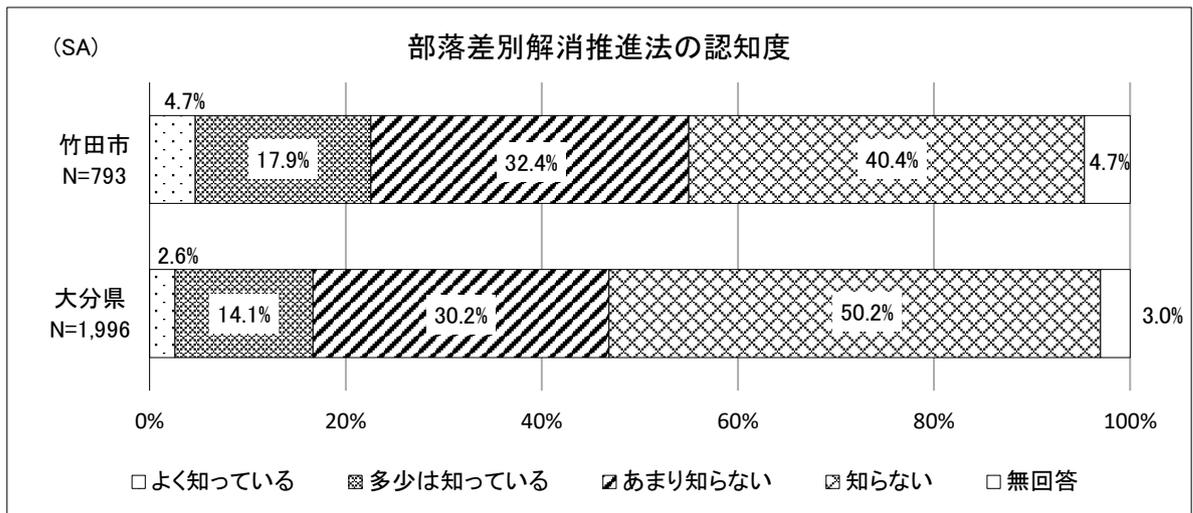
「認知度」は県を上回るものの、23%

「1. よく知っている」に「2. 多少は知っている」を合わせても、「知っている」は22.6%に過ぎません。県の調査では、もっと低く16.7%しかありません。

| | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | 総計 |
|---|------------|-------------|------------|---------|------|--------|
| 人 | 37 | 142 | 257 | 320 | 37 | 793 |
| % | 4.7% | 17.9% | 32.4% | 40.4% | 4.7% | 100.0% |

【◆用語解説—部落差別解消推進法】

現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現することを目的として、平成28年12月に施行されました。



「認知度」は男性 30.8%、女性 16.1%

知っている（「1. よく知っている」＋「2. 多少は知っている」）は男性 30.8%で、女性 16.1%に過ぎません。

問 11 部落差別解消推進法を知っていますか。

| 問1 性別 | | 問 11 部落差別解消推進法を知っていますか。 | | | | 無回答 | 総計 |
|-----------------|---|-------------------------|-------------|------------|---------|------|--------|
| | | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | | |
| 男性 | 人 | 28 | 81 | 99 | 128 | 18 | 354 |
| | % | 7.9% | 22.9% | 28.0% | 36.2% | 5.1% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 9 | 60 | 152 | 189 | 19 | 429 |
| | % | 2.1% | 14.0% | 35.4% | 44.1% | 4.4% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 1 | 6 | 3 | 0 | 10 |
| | % | 0.0% | 10.0% | 60.0% | 30.0% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 37 | 142 | 257 | 320 | 37 | 793 |
| | % | 4.7% | 17.9% | 32.4% | 40.4% | 4.7% | 100.0% |

「認知度」は年齢による差はなく、いずれも 20%程度

知っている（「1. よく知っている」＋「2. 多少は知っている」）を年齢別にみると、18～29歳は 22.3%、30～39歳は 26.8%、40～49歳は 25.3%、50～59歳は 22.6%、60～69歳は 21.0%、70～79歳は 24.2%、80歳以上は 20.2%という回答になっています。いずれの年齢とも、「知っている」は 20%代で差はなく、低調です。



| | | 問 11 部落差別解消推進法を知っていますか。 | | | | | |
|---------|---|-------------------------|-------------|------------|---------|-------|--------|
| 問 2 年齢 | | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | 総計 |
| 18～29 歳 | 人 | 2 | 6 | 8 | 19 | 1 | 36 |
| | % | 5.6% | 16.7% | 22.2% | 52.8% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 3 | 8 | 9 | 21 | 0 | 41 |
| | % | 7.3% | 19.5% | 22.0% | 51.2% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 9 | 11 | 21 | 38 | 0 | 79 |
| | % | 11.4% | 13.9% | 26.6% | 48.1% | 0.0% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 7 | 14 | 28 | 41 | 3 | 93 |
| | % | 7.5% | 15.1% | 30.1% | 44.1% | 3.2% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 6 | 33 | 61 | 81 | 4 | 185 |
| | % | 3.2% | 17.8% | 33.0% | 43.8% | 2.2% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 6 | 39 | 68 | 63 | 10 | 186 |
| | % | 3.2% | 21.0% | 36.6% | 33.9% | 5.4% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 4 | 31 | 62 | 57 | 19 | 173 |
| | % | 2.3% | 17.9% | 35.8% | 32.9% | 11.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 37 | 142 | 257 | 320 | 37 | 793 |
| | % | 4.7% | 17.9% | 32.4% | 40.4% | 4.7% | 100.0% |

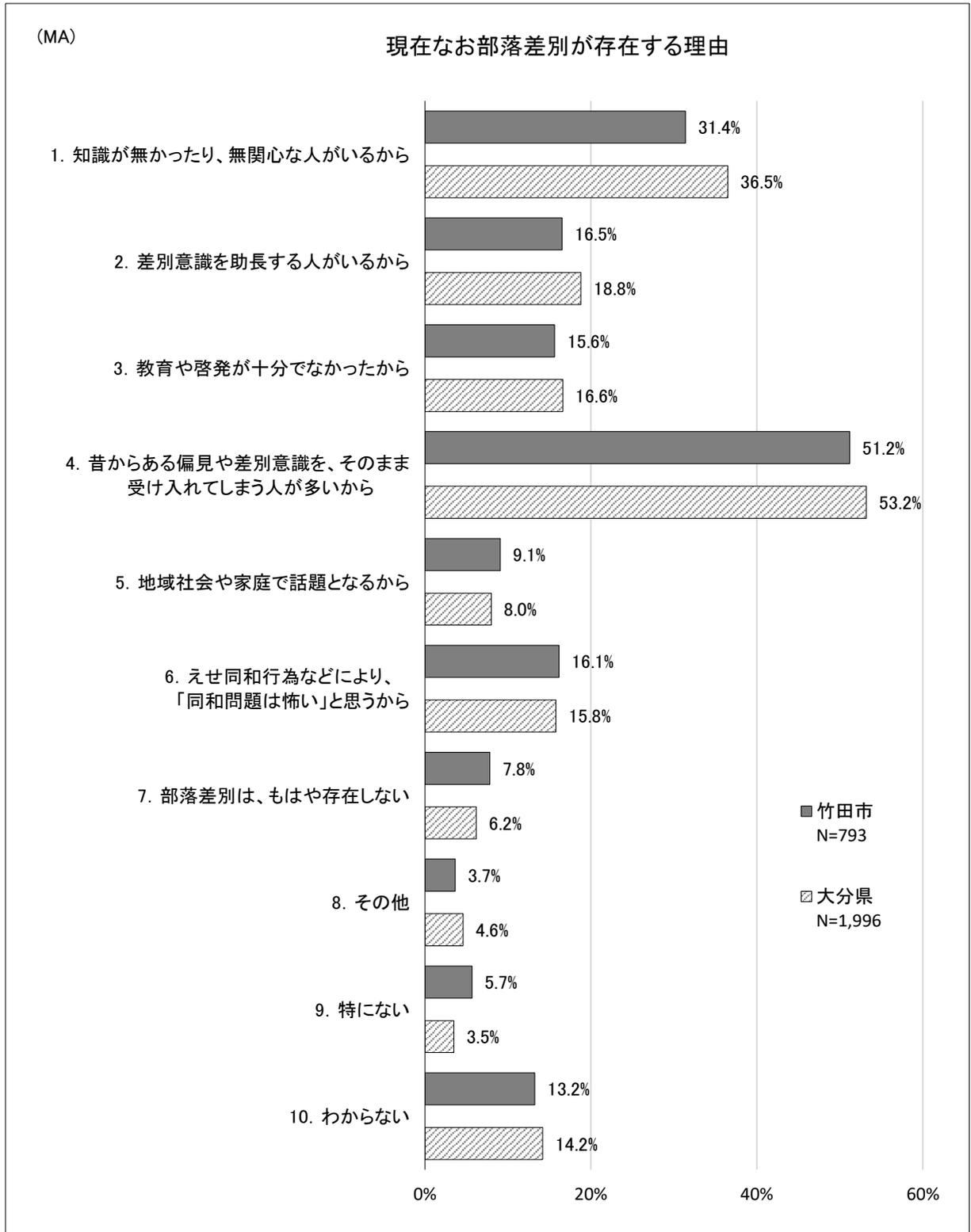
(9) なお部落差別が存在している理由

「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう」がトップ

「4. 昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が51.2%で最も多く、次いで「1. 部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」が31.4%で続いています。

県の調査でも、同様の結果が出ています。

| | | | | | | |
|---|------------------------|--------------------|--------------------|------------------------|--------------------|-------------------------------|
| | 1. 知識が無かったり、無関心な人がいるから | 2. 差別意識を助長する人がいるから | 3. 教育や啓発が十分でなかったから | 4. 偏見や差別意識を受け入れる人が居るから | 5. 地域社会や家庭で話題となるから | 6. えせ同和行為などにより、「同和問題は怖い」と思うから |
| 人 | 249 | 131 | 124 | 406 | 72 | 128 |
| % | 31.4% | 16.5% | 15.6% | 51.2% | 9.1% | 16.1% |
| | 7. 部落差別は、もはや存在しない | 8. その他 | 9. 特にない | 10. わからない | 対象者 | |
| 人 | 62 | 29 | 45 | 105 | 793 | |
| % | 7.8% | 3.7% | 5.7% | 13.2% | | |



「なお部落差別が存在している理由」に男女差なし

「4. 昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が男性 51.4%、女性 51.0%で最も多く、次いで「1. 部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」が男性 33.1%、女性 29.8%で続いています。

| | | 問 12 現在もなお部落差別が存在するのは、なぜだと思いますか。 | | | | | |
|-----------------|---|----------------------------------|--------------------|--------------------|------------------------|--------------------|-------------------------------|
| 問1 性別 | | 1. 知識が無かったり、無関心な人がいるから | 2. 差別意識を助長する人がいるから | 3. 教育や啓発が十分でなかったから | 4. 偏見や差別意識を受け入れる人が居るから | 5. 地域社会や家庭で話題となるから | 6. えせ同和行為などにより、「同和問題は怖い」と思うから |
| 男性 | 人 | 117 | 55 | 65 | 182 | 31 | 74 |
| | % | 33.1% | 15.5% | 18.4% | 51.4% | 8.8% | 20.9% |
| 女性 | 人 | 128 | 71 | 57 | 219 | 40 | 50 |
| | % | 29.8% | 16.6% | 13.3% | 51.0% | 9.3% | 11.7% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 5 | 2 | 5 | 1 | 4 |
| | % | 40.0% | 50.0% | 20.0% | 50.0% | 10.0% | 40.0% |
| 全体 | 人 | 249 | 131 | 124 | 406 | 72 | 128 |
| | % | 31.4% | 16.5% | 15.6% | 51.2% | 9.1% | 16.1% |
| 問1 性別 | | 7. 部落差別は、もはや存在しない | 8. その他 | 9. 特にない | 10. わからない | 対象者 | |
| 男性 | 人 | 32 | 15 | 13 | 36 | 354 | |
| | % | 9.0% | 4.2% | 3.7% | 10.2% | | |
| 女性 | 人 | 29 | 12 | 32 | 69 | 429 | |
| | % | 6.8% | 2.8% | 7.5% | 16.1% | | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 2 | 0 | 0 | 10 | |
| | % | 10.0% | 20.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 全体 | 人 | 62 | 29 | 45 | 105 | 793 | |
| | % | 7.8% | 3.7% | 5.7% | 13.2% | | |

すべての年齢で「偏見や差別意識を受け入れる人が居るから」がトップ

年齢別にみると、「4. 偏見や差別意識を受け入れる人が居るから」がすべての年齢で最も多くなっています。ただし、69歳までは60%台の割合でいますが、70～79歳は42.5%、80歳以上は27.2%と割合は少なくなっています。

問 12 現在もお部落差別が存在するのは、なぜだと思いますか。

| 問 2 年齢 | | 1. 知識が無かったり、無関心な人がいるから | 2. 差別意識を助長する人がいるから | 3. 教育や啓発が十分でなかったから | 4. 偏見や差別意識を受け入れる人が居るから | 5. 地域社会や家庭で話題となるから | 6. えせ同和行為などにより、「同和問題は怖い」と思うから |
|---------|---|------------------------|--------------------|--------------------|------------------------|--------------------|-------------------------------|
| | | 18～29 歳 | 人 | 14 | 13 | 7 | 23 |
| | % | 38.9% | 36.1% | 19.4% | 63.9% | 11.1% | 11.1% |
| 30～39 歳 | 人 | 22 | 18 | 9 | 27 | 3 | 5 |
| | % | 53.7% | 43.9% | 22.0% | 65.9% | 7.3% | 12.2% |
| 40～49 歳 | 人 | 27 | 19 | 11 | 49 | 12 | 12 |
| | % | 34.2% | 24.1% | 13.9% | 62.0% | 15.2% | 15.2% |
| 50～59 歳 | 人 | 36 | 30 | 22 | 62 | 14 | 20 |
| | % | 38.7% | 32.3% | 23.7% | 66.7% | 15.1% | 21.5% |
| 60～69 歳 | 人 | 61 | 30 | 29 | 119 | 22 | 46 |
| | % | 33.0% | 16.2% | 15.7% | 64.3% | 11.9% | 24.9% |
| 70～79 歳 | 人 | 55 | 10 | 30 | 79 | 9 | 25 |
| | % | 29.6% | 5.4% | 16.1% | 42.5% | 4.8% | 13.4% |
| 80 歳以上 | 人 | 34 | 11 | 16 | 47 | 8 | 16 |
| | % | 19.7% | 6.4% | 9.2% | 27.2% | 4.6% | 9.2% |
| 全体 | 人 | 249 | 131 | 124 | 406 | 72 | 128 |
| | % | 31.4% | 16.5% | 15.6% | 51.2% | 9.1% | 16.1% |
| 問 2 年齢 | | 7. 部落差別は、もはや存在しない | 8. その他 | 9. 特にない | 10. わからない | 対象者 | |
| 18～29 歳 | 人 | 1 | 0 | 0 | 5 | 36 | |
| | % | 2.8% | 0.0% | 0.0% | 13.9% | | |
| 30～39 歳 | 人 | 0 | 2 | 1 | 8 | 41 | |
| | % | 0.0% | 4.9% | 2.4% | 19.5% | | |
| 40～49 歳 | 人 | 0 | 7 | 0 | 9 | 79 | |
| | % | 0.0% | 8.9% | 0.0% | 11.4% | | |
| 50～59 歳 | 人 | 1 | 5 | 1 | 7 | 93 | |
| | % | 1.1% | 5.4% | 1.1% | 7.5% | | |
| 60～69 歳 | 人 | 9 | 6 | 4 | 16 | 185 | |
| | % | 4.9% | 3.2% | 2.2% | 8.6% | | |
| 70～79 歳 | 人 | 25 | 6 | 17 | 26 | 186 | |
| | % | 13.4% | 3.2% | 9.1% | 14.0% | | |
| 80 歳以上 | 人 | 26 | 3 | 22 | 34 | 173 | |
| | % | 15.0% | 1.7% | 12.7% | 19.7% | | |
| 全体 | 人 | 62 | 29 | 45 | 105 | 793 | |
| | % | 7.8% | 3.7% | 5.7% | 13.2% | | |

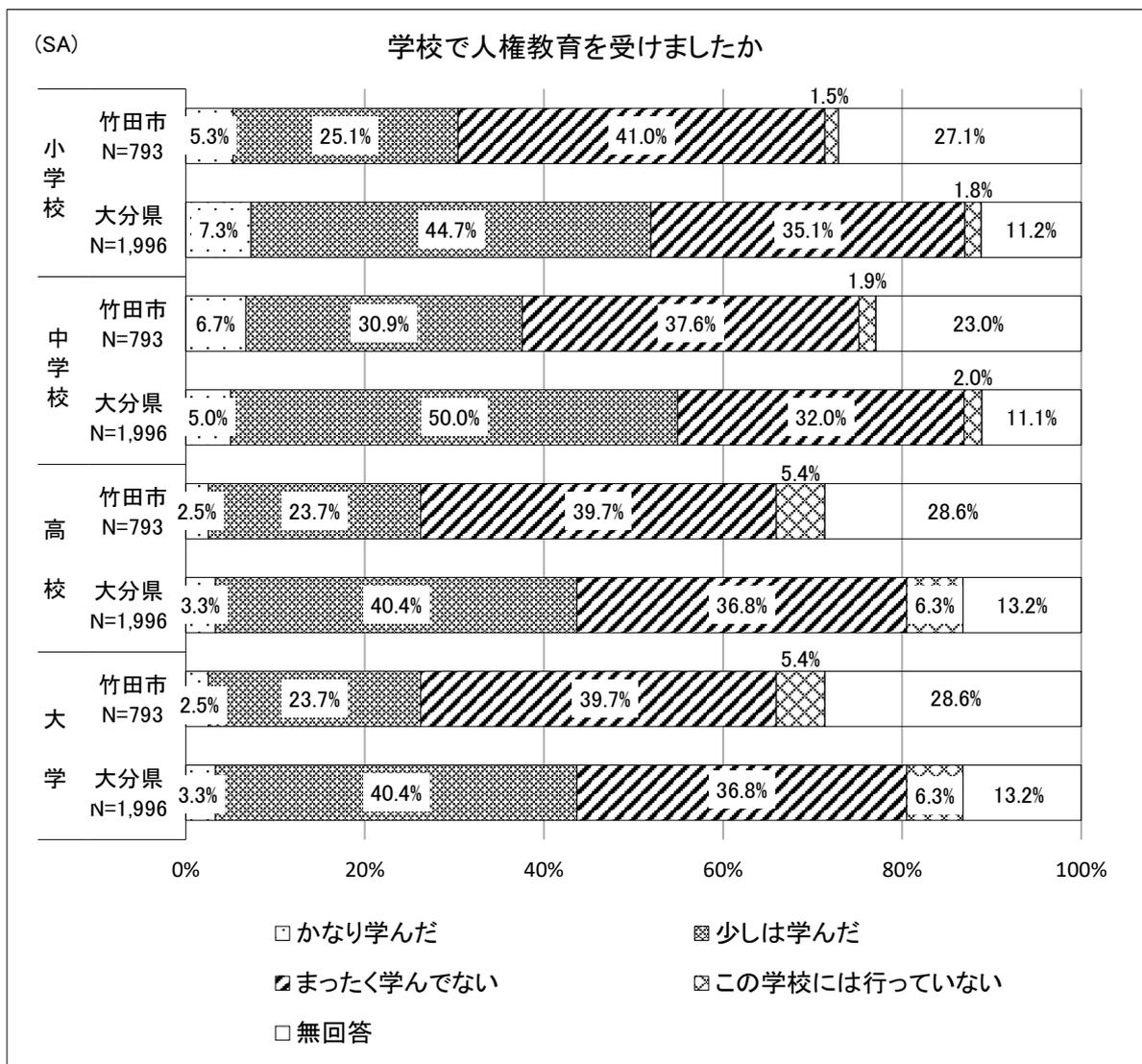
（10）部落差別問題（同和問題）について、学校で教育を受けましたか

小学校で3割・中学校で4割

学んだ（1. かなり学んだ＋2. 少しは学んだ）の割合は、小学校が30.4%、中学校が37.6%、高校が26.2%、大学が4.9%となっており、中学生時代に教育を受けた人が最も多いという結果です。

県に比べると、各学校とも「学んだ」割合が低くなっています。

| 学校 | | 1. かなり学んだ | 2. 少しは学んだ | 3. まったく学んでない | 4. この学校には行ってない | 無回答 | 総計 |
|------|---|-----------|-----------|--------------|----------------|-------|--------|
| ①小学校 | 人 | 42 | 199 | 325 | 12 | 215 | 793 |
| | % | 5.3% | 25.1% | 41.0% | 1.5% | 27.1% | 100.0% |
| ②中学校 | 人 | 53 | 245 | 298 | 15 | 182 | 793 |
| | % | 6.7% | 30.9% | 37.6% | 1.9% | 23.0% | 100.0% |
| ③高校 | 人 | 20 | 188 | 315 | 43 | 227 | 793 |
| | % | 2.5% | 23.7% | 39.7% | 5.4% | 28.6% | 100.0% |
| ④大学 | 人 | 7 | 32 | 184 | 195 | 375 | 793 |
| | % | 0.9% | 4.0% | 23.2% | 24.6% | 47.3% | 100.0% |



各学校とも男女差はなし

学んだ（1. かなり学んだ＋2. 少しは学んだ）の割合は、小学校、中学校、高校、大学とも、男女の差はありません。

| 問1 性別 | | 1. かなり学んだ | 2. 少しは学んだ | 3. まったく学んでない | 4. この学校には行っていない | 無回答 | 総計 |
|-------|-----------------|-----------|-----------|--------------|-----------------|-------|--------|
| | | | | | | | |
| 小学校 | 男性 | 人 | 15 | 89 | 150 | 6 | 354 |
| | | % | 4.2% | 25.1% | 42.4% | 1.7% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 26 | 108 | 171 | 6 | 429 |
| | | % | 6.1% | 25.2% | 39.9% | 1.4% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 2 | 4 | 0 | 10 |
| | | % | 10.0% | 20.0% | 40.0% | 0.0% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 42 | 199 | 325 | 12 | 793 |
| | | % | 5.3% | 25.1% | 41.0% | 1.5% | 100.0% |
| 中学校 | 男性 | 人 | 23 | 112 | 143 | 5 | 354 |
| | | % | 6.5% | 31.6% | 40.4% | 1.4% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 30 | 130 | 151 | 9 | 429 |
| | | % | 7.0% | 30.3% | 35.2% | 2.1% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 3 | 4 | 1 | 10 |
| | | % | 0.0% | 30.0% | 40.0% | 10.0% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 53 | 245 | 298 | 15 | 793 |
| | | % | 6.7% | 30.9% | 37.6% | 1.9% | 100.0% |
| 高校 | 男性 | 人 | 6 | 91 | 147 | 15 | 354 |
| | | % | 1.7% | 25.7% | 41.5% | 4.2% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 14 | 93 | 166 | 27 | 429 |
| | | % | 3.3% | 21.7% | 38.7% | 6.3% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 4 | 2 | 1 | 10 |
| | | % | 0.0% | 40.0% | 20.0% | 10.0% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 20 | 188 | 315 | 43 | 793 |
| | | % | 2.5% | 23.7% | 39.7% | 5.4% | 100.0% |
| 大学 | 男性 | 人 | 4 | 17 | 89 | 84 | 354 |
| | | % | 1.1% | 4.8% | 25.1% | 23.7% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 3 | 15 | 92 | 108 | 429 |
| | | % | 0.7% | 3.5% | 21.4% | 25.2% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 0 | 3 | 3 | 10 |
| | | % | 0.0% | 0.0% | 30.0% | 30.0% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 7 | 32 | 184 | 195 | 793 |
| | | % | 0.9% | 4.0% | 23.2% | 24.6% | 100.0% |

小・中学校では60歳を境に学び方が変化

小学校及び中学校での学び方では18歳から59歳までは、「2.少しは学んだ」が最も多いが、60歳以降では「3.まったく学んでない」が最も多くなっています。

| 問13 | 問2 年齢 | | 1. かなり学んだ | 2. 少しは学んだ | 3. まったく学んでない | 4. この学校には行っていない | 無回答 | 総計 |
|-----|--------|------|-----------|-----------|--------------|-----------------|--------|--------|
| 小学校 | 18～29歳 | 人 | 6 | 20 | 9 | 0 | 1 | 36 |
| | | % | 16.7% | 55.6% | 25.0% | 0.0% | 2.8% | 100.0% |
| | 30～39歳 | 人 | 13 | 22 | 4 | 1 | 1 | 41 |
| | | % | 31.7% | 53.7% | 9.8% | 2.4% | 2.4% | 100.0% |
| | 40～49歳 | 人 | 9 | 56 | 10 | 0 | 4 | 79 |
| | | % | 11.4% | 70.9% | 12.7% | 0.0% | 5.1% | 100.0% |
| | 50～59歳 | 人 | 7 | 47 | 28 | 1 | 10 | 93 |
| | | % | 7.5% | 50.5% | 30.1% | 1.1% | 10.8% | 100.0% |
| | 60～69歳 | 人 | 6 | 32 | 108 | 4 | 35 | 185 |
| | | % | 3.2% | 17.3% | 58.4% | 2.2% | 18.9% | 100.0% |
| | 70～79歳 | 人 | 0 | 15 | 90 | 4 | 77 | 186 |
| | | % | 0.0% | 8.1% | 48.4% | 2.2% | 41.4% | 100.0% |
| | 80歳以上 | 人 | 1 | 7 | 76 | 2 | 87 | 173 |
| | | % | 0.6% | 4.0% | 43.9% | 1.2% | 50.3% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 42 | 199 | 325 | 12 | 215 | 793 | |
| | % | 5.3% | 25.1% | 41.0% | 1.5% | 27.1% | 100.0% | |
| 中学校 | 18～29歳 | 人 | 8 | 17 | 7 | 1 | 3 | 36 |
| | | % | 22.2% | 47.2% | 19.4% | 2.8% | 8.3% | 100.0% |
| | 30～39歳 | 人 | 14 | 23 | 3 | 1 | 0 | 41 |
| | | % | 34.1% | 56.1% | 7.3% | 2.4% | 0.0% | 100.0% |
| | 40～49歳 | 人 | 10 | 49 | 14 | 1 | 5 | 79 |
| | | % | 12.7% | 62.0% | 17.7% | 1.3% | 6.3% | 100.0% |
| | 50～59歳 | 人 | 10 | 54 | 23 | 1 | 5 | 93 |
| | | % | 10.8% | 58.1% | 24.7% | 1.1% | 5.4% | 100.0% |
| | 60～69歳 | 人 | 8 | 48 | 99 | 4 | 26 | 185 |
| | | % | 4.3% | 25.9% | 53.5% | 2.2% | 14.1% | 100.0% |
| | 70～79歳 | 人 | 2 | 37 | 86 | 3 | 58 | 186 |
| | | % | 1.1% | 19.9% | 46.2% | 1.6% | 31.2% | 100.0% |
| | 80歳以上 | 人 | 1 | 17 | 66 | 4 | 85 | 173 |
| | | % | 0.6% | 9.8% | 38.2% | 2.3% | 49.1% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 53 | 245 | 298 | 15 | 182 | 793 | |
| | % | 6.7% | 30.9% | 37.6% | 1.9% | 23.0% | 100.0% | |

高校・大学では「3. まったく学んでない」がほとんどトップ

高校での学び方では18歳～39歳までは、「2. 少しは学んだ」が最も多いが、30～39歳では「3. まったく学んでない」と同率であり、40歳以降は「3. まったく学んでない」が最も多くなっています。大学では69歳まで「3. まったく学んでない」が最も多く、70歳以上では「4. この学校には行っていない」が最も多くなっています。

| 問13 | 問2 年齢 | | 1. かなり学んだ | 2. 少しは学んだ | 3. まったく学んでない | 4. この学校には行っていない | 無回答 | 総計 |
|--------|--------|------|-----------|-----------|--------------|-----------------|--------|--------|
| 高校 | 18～29歳 | 人 | 4 | 14 | 12 | 3 | 3 | 36 |
| | | % | 11.1% | 38.9% | 33.3% | 8.3% | 8.3% | 100.0% |
| | 30～39歳 | 人 | 0 | 19 | 19 | 1 | 2 | 41 |
| | | % | 0.0% | 46.3% | 46.3% | 2.4% | 4.9% | 100.0% |
| | 40～49歳 | 人 | 3 | 28 | 35 | 2 | 11 | 79 |
| | | % | 3.8% | 35.4% | 44.3% | 2.5% | 13.9% | 100.0% |
| | 50～59歳 | 人 | 4 | 30 | 41 | 4 | 14 | 93 |
| | | % | 4.3% | 32.3% | 44.1% | 4.3% | 15.1% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 5 | 53 | 86 | 9 | 32 | 185 | |
| | % | 2.7% | 28.6% | 46.5% | 4.9% | 17.3% | 100.0% | |
| 70～79歳 | 人 | 2 | 32 | 72 | 8 | 72 | 186 | |
| | % | 1.1% | 17.2% | 38.7% | 4.3% | 38.7% | 100.0% | |
| 80歳以上 | 人 | 2 | 12 | 50 | 16 | 93 | 173 | |
| | % | 1.2% | 6.9% | 28.9% | 9.2% | 53.8% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 20 | 188 | 315 | 43 | 227 | 793 | |
| | % | 2.5% | 23.7% | 39.7% | 5.4% | 28.6% | 100.0% | |
| 大学 | 18～29歳 | 人 | 1 | 3 | 18 | 11 | 3 | 36 |
| | | % | 2.8% | 8.3% | 50.0% | 30.6% | 8.3% | 100.0% |
| | 30～39歳 | 人 | 0 | 3 | 21 | 12 | 5 | 41 |
| | | % | 0.0% | 7.3% | 51.2% | 29.3% | 12.2% | 100.0% |
| | 40～49歳 | 人 | 2 | 7 | 31 | 24 | 15 | 79 |
| | | % | 2.5% | 8.9% | 39.2% | 30.4% | 19.0% | 100.0% |
| | 50～59歳 | 人 | 0 | 4 | 26 | 34 | 29 | 93 |
| | | % | 0.0% | 4.3% | 28.0% | 36.6% | 31.2% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 2 | 9 | 46 | 52 | 76 | 185 | |
| | % | 1.1% | 4.9% | 24.9% | 28.1% | 41.1% | 100.0% | |
| 70～79歳 | 人 | 1 | 5 | 26 | 36 | 118 | 186 | |
| | % | 0.5% | 2.7% | 14.0% | 19.4% | 63.4% | 100.0% | |
| 80歳以上 | 人 | 1 | 1 | 16 | 26 | 129 | 173 | |
| | % | 0.6% | 0.6% | 9.2% | 15.0% | 74.6% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 7 | 32 | 184 | 195 | 375 | 793 | |
| | % | 0.9% | 4.0% | 23.2% | 24.6% | 47.3% | 100.0% | |

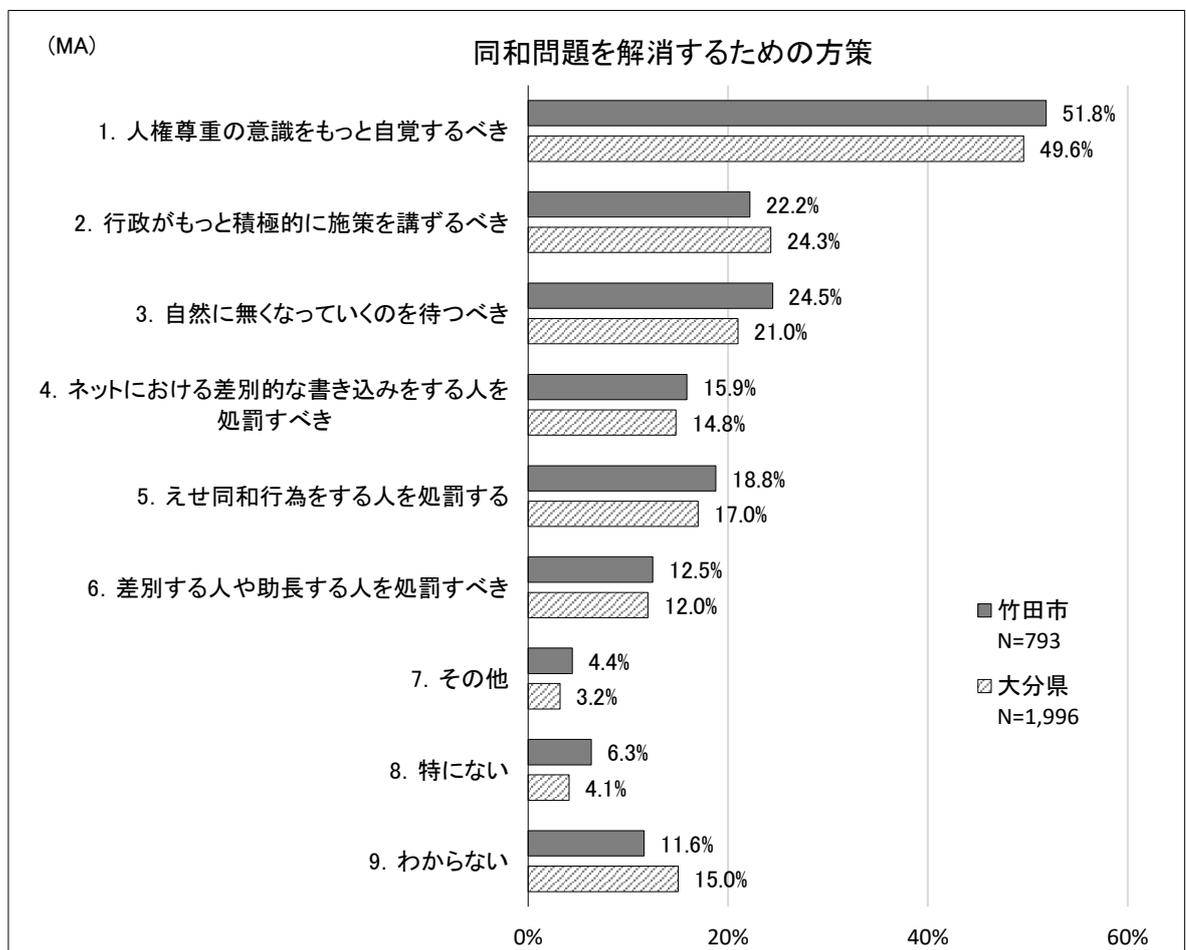
（11）どうすれば部落差別問題（同和問題）は解消できますか

「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」がトップ

部落差別問題（同和問題）を解消するためには、「1. 人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」が最も多く、51.8%。次いで「3. 特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つべき」が24.5%、三番目が「2. 行政がもっと積極的に教育・啓発、相談体制の充実などの施策を講ずべき」で22.2%でした。

県の調査でも、一番は「1. 人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」で49.6%。二番目と三番目が逆で、「2. 行政がもっと積極的に教育・啓発、相談体制の充実などの施策を講ずべき」で24.3%、「3. 特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つべき」が21.0%となっています。

| | 1. 人権尊重の意識をもっと自覚する | 2. 行政がもっと積極的に施策を講ずる | 3. 自然になくなっていくのを待つ | 4. 差別的な書き込みをする人を処罰する | 5. えせ同和行為をする人を処罰する | 6. 差別する人を処罰する |
|---|--------------------|---------------------|-------------------|----------------------|--------------------|---------------|
| 人 | 411 | 176 | 194 | 126 | 149 | 99 |
| % | 51.8% | 22.2% | 24.5% | 15.9% | 18.8% | 12.5% |
| | 7. その他 | 8. 特にない | 9. わからない | 対象者 | | |
| 人 | 35 | 50 | 92 | 793 | | |
| % | 4.4% | 6.3% | 11.6% | | | |



部落差別問題（同和問題）を解消するために必要と考える事に男女差なし

男女別にみても、部落差別問題（同和問題）を解消するためには、「1. 人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」が最も多く、「5. えせ同和行為をする人を処罰する」を除いて男女での差はありません。

| | | 問 14 部落差別問題解消のためには、今後どうすれば良いですか。 | | | | |
|-----------------|---|----------------------------------|---------------------|-------------------|----------------------|--------------------|
| 問1 性別 | | 1. 人権尊重の意識をもっと自覚する | 2. 行政がもっと積極的に施策を講ずる | 3. 自然に無くなっていくのを待つ | 4. 差別的な書き込みをする人を処罰する | 5. えせ同和行為をする人を処罰する |
| 男性 | 人 | 196 | 80 | 88 | 57 | 80 |
| | % | 55.4% | 22.6% | 24.9% | 16.1% | 22.6% |
| 女性 | 人 | 209 | 93 | 104 | 65 | 65 |
| | % | 48.7% | 21.7% | 24.2% | 15.2% | 15.2% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 6 | 3 | 2 | 4 | 4 |
| | % | 60.0% | 30.0% | 20.0% | 40.0% | 40.0% |
| 全体 | 人 | 411 | 176 | 194 | 126 | 149 |
| | % | 51.8% | 22.2% | 24.5% | 15.9% | 18.8% |
| 問1 性別 | | 6. 差別する人を処罰する | 7. その他 | 8. 特にない | 9. わからない | 対象者 |
| 男性 | 人 | 41 | 15 | 19 | 33 | 354 |
| | % | 11.6% | 4.2% | 5.4% | 9.3% | |
| 女性 | 人 | 54 | 18 | 31 | 59 | 429 |
| | % | 12.6% | 4.2% | 7.2% | 13.8% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 2 | 0 | 0 | 10 |
| | % | 40.0% | 20.0% | 0.0% | 0.0% | |
| 全体 | 人 | 99 | 35 | 50 | 92 | 793 |
| | % | 12.5% | 4.4% | 6.3% | 11.6% | |

各年代とも、「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」がトップ

年代別にみても、部落差別問題（同和問題）を解消するためには、「1. 人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」が最も多くなっています。

| | | 問 14 部落差別問題解消のためには、今後どうすれば良いですか。 | | | | |
|---------|---|----------------------------------|---------------------|-------------------|----------------------|--------------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 人権尊重の意識をもっと自覚する | 2. 行政がもっと積極的に施策を講ずる | 3. 自然に無くなっていくのを待つ | 4. 差別的な書き込みをする人を処罰する | 5. えせ同和行為をする人を処罰する |
| 18～29 歳 | 人 | 22 | 18 | 4 | 9 | 7 |
| | % | 61.1% | 50.0% | 11.1% | 25.0% | 19.4% |
| 30～39 歳 | 人 | 27 | 11 | 7 | 14 | 10 |
| | % | 65.9% | 26.8% | 17.1% | 34.1% | 24.4% |
| 40～49 歳 | 人 | 43 | 20 | 16 | 22 | 21 |
| | % | 54.4% | 25.3% | 20.3% | 27.8% | 26.6% |
| 50～59 歳 | 人 | 51 | 22 | 23 | 25 | 22 |
| | % | 54.8% | 23.7% | 24.7% | 26.9% | 23.7% |
| 60～69 歳 | 人 | 100 | 42 | 52 | 24 | 42 |
| | % | 54.1% | 22.7% | 28.1% | 13.0% | 22.7% |
| 70～79 歳 | 人 | 96 | 39 | 48 | 18 | 28 |
| | % | 51.6% | 21.0% | 25.8% | 9.7% | 15.1% |
| 80 歳以上 | 人 | 72 | 24 | 44 | 14 | 19 |
| | % | 41.6% | 13.9% | 25.4% | 8.1% | 11.0% |
| 全体 | 人 | 411 | 176 | 194 | 126 | 149 |
| | % | 51.8% | 22.2% | 24.5% | 15.9% | 18.8% |
| 問 2 年齢 | | 6. 差別する人を処罰する | 7. その他 | 8. 特にない | 9. わからない | 対象者 |
| 18～29 歳 | 人 | 9 | 1 | 1 | 2 | 36 |
| | % | 25.0% | 2.8% | 2.8% | 5.6% | |
| 30～39 歳 | 人 | 15 | 2 | 0 | 4 | 41 |
| | % | 36.6% | 4.9% | 0.0% | 9.8% | |
| 40～49 歳 | 人 | 13 | 3 | 2 | 9 | 79 |
| | % | 16.5% | 3.8% | 2.5% | 11.4% | |
| 50～59 歳 | 人 | 18 | 8 | 6 | 6 | 93 |
| | % | 19.4% | 8.6% | 6.5% | 6.5% | |
| 60～69 歳 | 人 | 18 | 7 | 6 | 14 | 185 |
| | % | 9.7% | 3.8% | 3.2% | 7.6% | |
| 70～79 歳 | 人 | 17 | 10 | 15 | 27 | 186 |
| | % | 9.1% | 5.4% | 8.1% | 14.5% | |
| 80 歳以上 | 人 | 9 | 4 | 20 | 30 | 173 |
| | % | 5.2% | 2.3% | 11.6% | 17.3% | |
| 全体 | 人 | 99 | 35 | 50 | 92 | 793 |
| | % | 12.5% | 4.4% | 6.3% | 11.6% | |

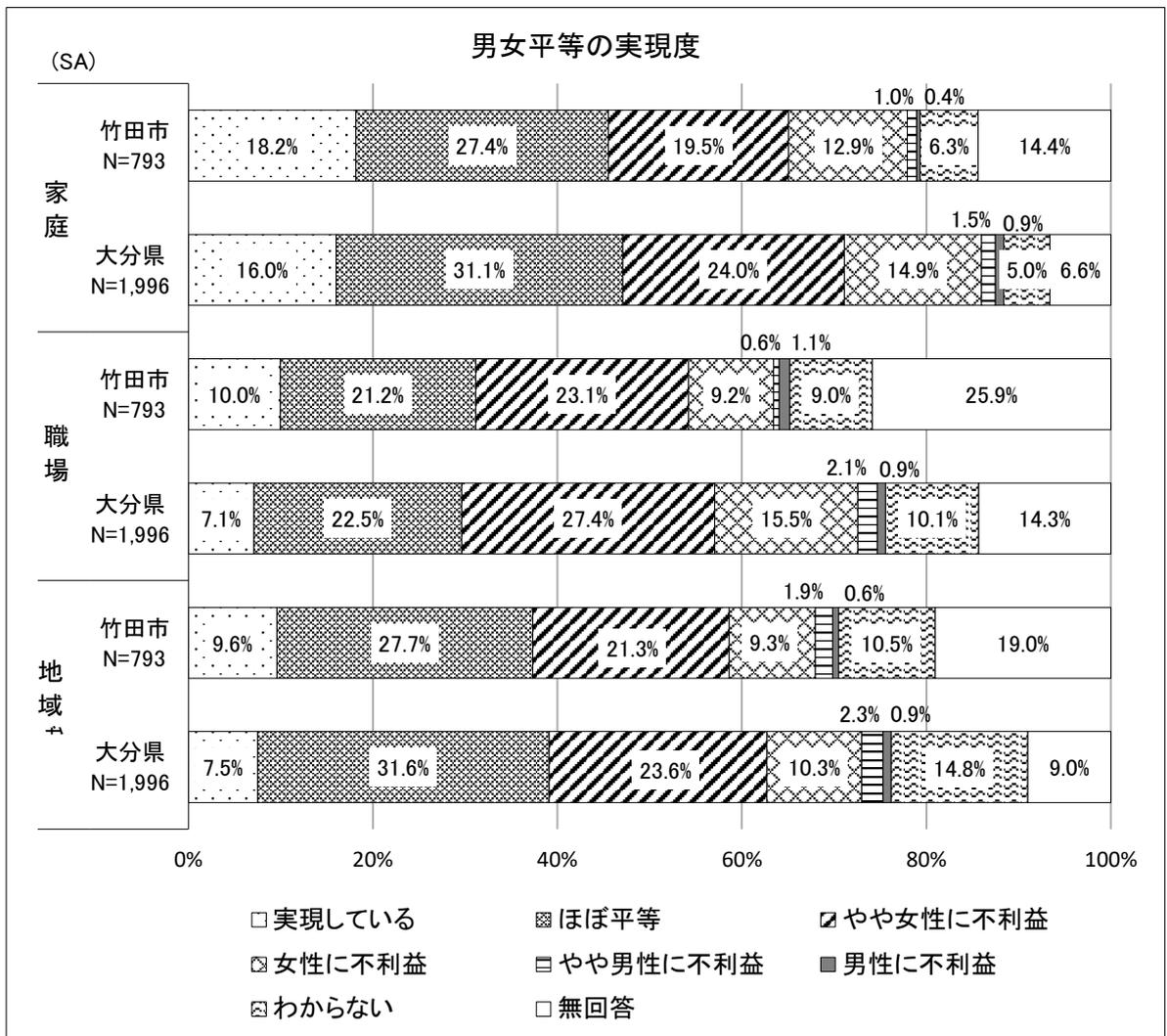
Ⅲ 女性の人権

（1）男女平等の実現度

一番遅れているのは職場での男女平等

男女平等が実現していると思う（1. 男女平等が実現していると思う＋2. ほぼ男女平等だと思う）割合は、①家庭では45.6%、②職場では31.2%、③地域生活では37.3%となっており、職場での男女平等が一番遅れているという結果になっています。大分県の調査でも、同様の結果となっています。

| | | 1. 実現している | 2. ほぼ平等 | 3. やや女性に不利益 | 4. 女性に不利益 | 5. やや男性に不利益 | 6. 男性に不利益 | 7. わからない | 無回答 | 総計 |
|----|---|-----------|---------|-------------|-----------|-------------|-----------|----------|-------|--------|
| 家庭 | 人 | 144 | 217 | 155 | 102 | 8 | 3 | 50 | 114 | 793 |
| | % | 18.2% | 27.4% | 19.5% | 12.9% | 1.0% | 0.4% | 6.3% | 14.4% | 100.0% |
| 職場 | 人 | 79 | 168 | 183 | 73 | 5 | 9 | 71 | 205 | 793 |
| | % | 10.0% | 21.2% | 23.1% | 9.2% | 0.6% | 1.1% | 9.0% | 25.9% | 100.0% |
| 地域 | 人 | 76 | 220 | 169 | 74 | 15 | 5 | 83 | 151 | 793 |
| | % | 9.6% | 27.7% | 21.3% | 9.3% | 1.9% | 0.6% | 10.5% | 19.0% | 100.0% |



男性と女性の思いに大きな乖離

男女別に「1. 男女平等が実現していると思う」割合をみると、①家庭では男性23.2%、女性14.5%、②職場では男性14.4%、女性6.3%、③地域生活では男性13.6%、女性6.3%となっており、いずれの場面でも男性の感じ方と女性の感じ方には大きな乖離がみられます。

| 問1 性別 | | 1. 実現している | 2. ほぼ平等 | 3. やや女性に不利益 | 4. 女性に不利益 | 5. やや男性に不利益 | 6. 男性に不利益 | 7. わからない | 無回答 | 総計 | |
|---------|-----------------|-----------|---------|-------------|-----------|-------------|-----------|----------|--------|--------|--------|
| | | 人 | % | 人 | % | 人 | % | 人 | | | % |
| ①家庭の中では | 男性 | 人 | 82 | 105 | 58 | 26 | 7 | 2 | 21 | 53 | 354 |
| | | % | 23.2% | 29.7% | 16.4% | 7.3% | 2.0% | 0.6% | 5.9% | 15.0% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 62 | 109 | 95 | 74 | 1 | 1 | 27 | 60 | 429 |
| | | % | 14.5% | 25.4% | 22.1% | 17.2% | 0.2% | 0.2% | 6.3% | 14.0% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 3 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 1 | 10 |
| % | 0.0% | 30.0% | 20.0% | 20.0% | 0.0% | 0.0% | 20.0% | 10.0% | 100.0% | | |
| 全体 | 人 | 144 | 217 | 155 | 102 | 8 | 3 | 50 | 114 | 793 | |
| | % | 18.2% | 27.4% | 19.5% | 12.9% | 1.0% | 0.4% | 6.3% | 14.4% | 100.0% | |
| ②職場では | 男性 | 人 | 51 | 79 | 83 | 26 | 4 | 5 | 30 | 76 | 354 |
| | | % | 14.4% | 22.3% | 23.4% | 7.3% | 1.1% | 1.4% | 8.5% | 21.5% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 27 | 87 | 99 | 46 | 1 | 4 | 38 | 127 | 429 |
| | | % | 6.3% | 20.3% | 23.1% | 10.7% | 0.2% | 0.9% | 8.9% | 29.6% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 2 | 10 |
| % | 10.0% | 20.0% | 10.0% | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 30.0% | 20.0% | 100.0% | | |
| 全体 | 人 | 79 | 168 | 183 | 73 | 5 | 9 | 71 | 205 | 793 | |
| | % | 10.0% | 21.2% | 23.1% | 9.2% | 0.6% | 1.1% | 9.0% | 25.9% | 100.0% | |
| ③地域生活では | 男性 | 人 | 48 | 107 | 74 | 19 | 7 | 4 | 37 | 58 | 354 |
| | | % | 13.6% | 30.2% | 20.9% | 5.4% | 2.0% | 1.1% | 10.5% | 16.4% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 27 | 112 | 93 | 53 | 8 | 1 | 44 | 91 | 429 |
| | | % | 6.3% | 26.1% | 21.7% | 12.4% | 1.9% | 0.2% | 10.3% | 21.2% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 | 10 |
| % | 10.0% | 10.0% | 20.0% | 20.0% | 0.0% | 0.0% | 20.0% | 20.0% | 100.0% | | |
| 全体 | 人 | 76 | 220 | 169 | 74 | 15 | 5 | 83 | 151 | 793 | |
| | % | 9.6% | 27.7% | 21.3% | 9.3% | 1.9% | 0.6% | 10.5% | 19.0% | 100.0% | |

家庭、職場、地域とも、年代による差あり

年代別に「1. 男女平等が実現していると思う」割合をみると、

- ①家庭の中では、40歳以降では「2. ほぼ平等」が最も多くなっていますが、18～29歳では「3. やや女性に不利益」が、30～39歳では「4. 女性に不利益」が最も多くなっており、年代による差がみられます。
- ②職場では、年齢によってまちまちの評価になっています。18～39歳までは「3. やや女性に不利益」が多く、40～49歳は「2. ほぼ平等」が多く、60歳以上に

なると、再び「3. やや女性に不利益」が多くなっています。ただし、18～29歳では「1. 実現している」も同数います。また、70～79歳では「2. ほぼ平等」が同数います。

③地域生活では、50～59歳だけが「3. やや女性に不利益」が多く、他の年代では「2. ほぼ平等」が多くなっています。

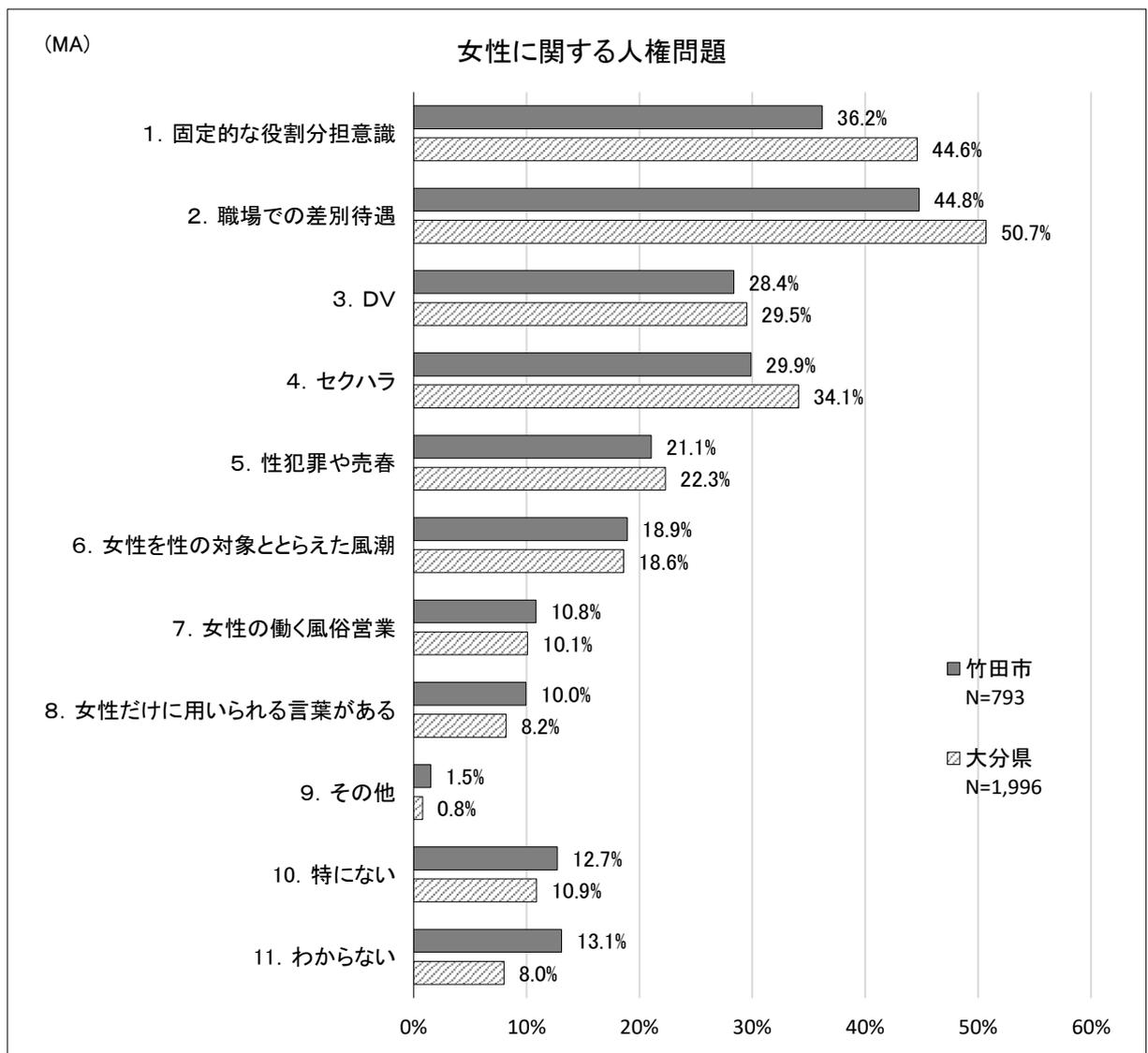
| | 問 2 年齢 | | 1. 実 現して いる | 2. ほ ぼ平等 | 3. や や女性 に不利 益 | 4. 女 性に不 利益 | 5. や や男性 に不利 益 | 6. 男 性に不 利益 | 7. わ からな い | 無回答 | 総計 |
|-----------------|--------|--------|-------------------|--------------|-------------------------|-------------------|-------------------------|-------------------|------------------|--------------|---------------|
| ①家庭 の中 では | 18～29歳 | 人 % | 9 25.0% | 8 22.2% | 10 27.8% | 3 8.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 2 5.6% | 4 11.1% | 36 100.0% |
| | 30～39歳 | 人 % | 5 12.2% | 7 17.1% | 8 19.5% | 14 34.1% | 2 4.9% | 0 0.0% | 3 7.3% | 2 4.9% | 41 100.0% |
| | 40～49歳 | 人 % | 17 21.5% | 18 22.8% | 18 22.8% | 16 20.3% | 1 1.3% | 2 2.5% | 3 3.8% | 4 5.1% | 79 100.0% |
| | 50～59歳 | 人 % | 19 20.4% | 23 24.7% | 22 23.7% | 17 18.3% | 0 0.0% | 0 0.0% | 9 9.7% | 3 3.2% | 93 100.0% |
| | 60～69歳 | 人 % | 29 15.7% | 61 33.0% | 42 22.7% | 30 16.2% | 1 0.5% | 0 0.0% | 6 3.2% | 16 8.6% | 185 100.0% |
| | 70～79歳 | 人 % | 36 19.4% | 53 28.5% | 29 15.6% | 17 9.1% | 3 1.6% | 1 0.5% | 13 7.0% | 34 18.3% | 186 100.0% |
| | 80歳以上 | 人 % | 29 16.8% | 47 27.2% | 26 15.0% | 5 2.9% | 1 0.6% | 0 0.0% | 14 8.1% | 51 29.5% | 173 100.0% |
| | 全体 | 人 % | 144 18.2% | 217 27.4% | 155 19.5% | 102 12.9% | 8 1.0% | 3 0.4% | 50 6.3% | 114 14.4% | 793 100.0% |
| ②職場 では | 18～29歳 | 人 % | 8 22.2% | 5 13.9% | 8 22.2% | 3 8.3% | 1 2.8% | 2 5.6% | 5 13.9% | 4 11.1% | 36 100.0% |
| | 30～39歳 | 人 % | 3 7.3% | 11 26.8% | 13 31.7% | 7 17.1% | 0 0.0% | 2 4.9% | 5 12.2% | 0 0.0% | 41 100.0% |
| | 40～49歳 | 人 % | 13 16.5% | 22 27.8% | 19 24.1% | 13 16.5% | 0 0.0% | 2 2.5% | 5 6.3% | 5 6.3% | 79 100.0% |
| | 50～59歳 | 人 % | 13 14.0% | 29 31.2% | 26 28.0% | 13 14.0% | 2 2.2% | 2 2.2% | 4 4.3% | 4 4.3% | 93 100.0% |
| | 60～69歳 | 人 % | 19 10.3% | 51 27.6% | 62 33.5% | 18 9.7% | 2 1.1% | 1 0.5% | 10 5.4% | 22 11.9% | 185 100.0% |
| | 70～79歳 | 人 % | 13 7.0% | 35 18.8% | 35 18.8% | 11 5.9% | 0 0.0% | 0 0.0% | 16 8.6% | 76 40.9% | 186 100.0% |
| | 80歳以上 | 人 % | 10 5.8% | 15 8.7% | 20 11.6% | 8 4.6% | 0 0.0% | 0 0.0% | 26 15.0% | 94 54.3% | 173 100.0% |
| | 全体 | 人 % | 79 10.0% | 168 21.2% | 183 23.1% | 73 9.2% | 5 0.6% | 9 1.1% | 71 9.0% | 205 25.9% | 793 100.0% |
| ③地域 生活 では | 18～29歳 | 人 % | 6 16.7% | 9 25.0% | 5 13.9% | 5 13.9% | 1 2.8% | 0 0.0% | 8 22.2% | 2 5.6% | 36 100.0% |
| | 30～39歳 | 人 % | 0 0.0% | 17 41.5% | 10 24.4% | 6 14.6% | 0 0.0% | 1 2.4% | 7 17.1% | 0 0.0% | 41 100.0% |
| | 40～49歳 | 人 % | 7 8.9% | 21 26.6% | 18 22.8% | 12 15.2% | 4 5.1% | 2 2.5% | 11 13.9% | 4 5.1% | 79 100.0% |
| | 50～59歳 | 人 % | 7 7.5% | 24 25.8% | 38 40.9% | 7 7.5% | 3 3.2% | 1 1.1% | 13 14.0% | 0 0.0% | 93 100.0% |
| | 60～69歳 | 人 % | 19 10.3% | 61 33.0% | 48 25.9% | 20 10.8% | 3 1.6% | 1 0.5% | 11 5.9% | 22 11.9% | 185 100.0% |
| | 70～79歳 | 人 % | 21 11.3% | 51 27.4% | 29 15.6% | 11 5.9% | 2 1.1% | 0 0.0% | 18 9.7% | 54 29.0% | 186 100.0% |
| | 80歳以上 | 人 % | 16 9.2% | 37 21.4% | 21 12.1% | 13 7.5% | 2 1.2% | 0 0.0% | 15 8.7% | 69 39.9% | 173 100.0% |
| | 全体 | 人 % | 76 9.6% | 220 27.7% | 169 21.3% | 74 9.3% | 15 1.9% | 5 0.6% | 83 10.5% | 151 19.0% | 793 100.0% |

(2) 現在ある女性に関する人権問題

一番問題なのは職場での差別待遇

女性に関する人権問題としては、「2. 職場における差別待遇」を挙げる人が最も多く、44.8%。次いで「1. 男女の固定的な役割分担意識」36.2%となっています。県の調査でも、同様の結果です。

| | 1. 固定的な役割分担意識 | 2. 職場での差別待遇 | 3. DV | 4. セクハラ | 5. 性犯罪や売春 | 6. 女性を性的対象ととらえた風潮 |
|---|---------------|--------------------|--------|----------|-----------|-------------------|
| 人 | 287 | 355 | 225 | 237 | 167 | 150 |
| % | 36.2% | 44.8% | 28.4% | 29.9% | 21.1% | 18.9% |
| | 7. 女性の働く風俗営業 | 8. 女性だけに用いられる言葉がある | 9. その他 | 10. 特にない | 11. わからない | 対象者 |
| 人 | 86 | 79 | 12 | 101 | 104 | 793 |
| % | 10.8% | 10.0% | 1.5% | 12.7% | 13.1% | |



女性に関する人権で問題と考えることに男女差なし

女性に関する人権問題としては、「2. 職場における差別待遇」を挙げる人が最も多く、男性 46.9%、女性 42.7%。次いで「1. 男女の固定的な役割分担意識」が男性 38.1%、女性 34.3%となっており、問題意識に男女差はありません。

| | | 問 16 女性に関することで、どのような人権問題があると思いますか。 | | | | | |
|-----------------|---|------------------------------------|--------------------|--------|----------|-----------|-------------------|
| 問1 性別 | | 1. 固定的な役割分担意識 | 2. 職場での差別待遇 | 3. DV | 4. セクハラ | 5. 性犯罪や売春 | 6. 女性を性の対象ととらえた風潮 |
| 男性 | 人 | 135 | 166 | 101 | 106 | 69 | 59 |
| | % | 38.1% | 46.9% | 28.5% | 29.9% | 19.5% | 16.7% |
| 女性 | 人 | 147 | 183 | 120 | 124 | 94 | 87 |
| | % | 34.3% | 42.7% | 28.0% | 28.9% | 21.9% | 20.3% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 5 | 6 | 4 | 7 | 4 | 4 |
| | % | 50.0% | 60.0% | 40.0% | 70.0% | 40.0% | 40.0% |
| 全体 | 人 | 287 | 355 | 225 | 237 | 167 | 150 |
| | % | 36.2% | 44.8% | 28.4% | 29.9% | 21.1% | 18.9% |
| 問1 性別 | | 7. 女性の働く風俗営業 | 8. 女性だけに用いられる言葉がある | 9. その他 | 10. 特にない | 11. わからない | 対象者 |
| 男性 | 人 | 29 | 26 | 5 | 37 | 41 | 354 |
| | % | 8.2% | 7.3% | 1.4% | 10.5% | 11.6% | |
| 女性 | 人 | 51 | 50 | 7 | 64 | 61 | 429 |
| | % | 11.9% | 11.7% | 1.6% | 14.9% | 14.2% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 6 | 3 | 0 | 0 | 2 | 10 |
| | % | 60.0% | 30.0% | 0.0% | 0.0% | 20.0% | |
| 全体 | 人 | 86 | 79 | 12 | 101 | 104 | 793 |
| | % | 10.8% | 10.0% | 1.5% | 12.7% | 13.1% | |

年代別にみると、「固定的な役割分担意識」と「職場での差別待遇」に分かれる

年齢別にみると、女性に関する人権問題としては、18～29歳と80歳以上で「1. 固定的な役割分担意識」を挙げる人が最くなっています。それ以外の年代は、すべて「2. 職場での差別待遇」を挙げる人が最も多くなっています。

しかしながら、18～29歳と80歳以上でも、「2. 職場での差別待遇」を挙げる人が「1. 固定的な役割分担意識」と同程度いることから、課題は「2. 職場での差別待遇」といえます。

また、「3. DV」や「4. セクハラ」を挙げている人も多いことから、これらの課題への取組も必要です。

| | | 問 16 女性に関することで、どのような人権問題があると思いますか。 | | | | | |
|---------|---|------------------------------------|--------------------------------|--------|--------------|---------------|---------------------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 固定的な 役割分担意 識 | 2. 職場での 差別待遇 | 3. DV | 4. セクハラ | 5. 性犯罪 や売春 | 6. 女性を性 の対象とと らえた風潮 |
| 18～29 歳 | 人 | 21 | 20 | 14 | 20 | 11 | 4 |
| | % | 58.3% | 55.6% | 38.9% | 55.6% | 30.6% | 11.1% |
| 30～39 歳 | 人 | 26 | 33 | 18 | 21 | 19 | 11 |
| | % | 63.4% | 80.5% | 43.9% | 51.2% | 46.3% | 26.8% |
| 40～49 歳 | 人 | 39 | 47 | 32 | 33 | 28 | 15 |
| | % | 49.4% | 59.5% | 40.5% | 41.8% | 35.4% | 19.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 46 | 51 | 48 | 50 | 31 | 26 |
| | % | 49.5% | 54.8% | 51.6% | 53.8% | 33.3% | 28.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 72 | 105 | 59 | 66 | 40 | 40 |
| | % | 38.9% | 56.8% | 31.9% | 35.7% | 21.6% | 21.6% |
| 70～79 歳 | 人 | 50 | 67 | 40 | 33 | 25 | 33 |
| | % | 26.9% | 36.0% | 21.5% | 17.7% | 13.4% | 17.7% |
| 80 歳以上 | 人 | 33 | 32 | 14 | 14 | 13 | 21 |
| | % | 19.1% | 18.5% | 8.1% | 8.1% | 7.5% | 12.1% |
| 全体 | 人 | 287 | 355 | 225 | 237 | 167 | 150 |
| | % | 36.2% | 44.8% | 28.4% | 29.9% | 21.1% | 18.9% |
| 問 2 年齢 | | 7. 女性の 働く風俗営 業 | 8. 女性だけ に用いられ る言葉があ る | 9. その他 | 10. 特にな い | 11. わから ない | 対象者 |
| 18～29 歳 | 人 | 1 | 5 | 0 | 0 | 3 | 36 |
| | % | 2.8% | 13.9% | 0.0% | 0.0% | 8.3% | |
| 30～39 歳 | 人 | 6 | 7 | 2 | 1 | 1 | 41 |
| | % | 14.6% | 17.1% | 4.9% | 2.4% | 2.4% | |
| 40～49 歳 | 人 | 11 | 11 | | 4 | 6 | 79 |
| | % | 13.9% | 13.9% | 0.0% | 5.1% | 7.6% | |
| 50～59 歳 | 人 | 15 | 9 | 2 | 5 | 11 | 93 |
| | % | 16.1% | 9.7% | 2.2% | 5.4% | 11.8% | |
| 60～69 歳 | 人 | 23 | 25 | 2 | 14 | 12 | 185 |
| | % | 12.4% | 13.5% | 1.1% | 7.6% | 6.5% | |
| 70～79 歳 | 人 | 21 | 16 | 4 | 40 | 27 | 186 |
| | % | 11.3% | 8.6% | 2.2% | 21.5% | 14.5% | |
| 80 歳以上 | 人 | 9 | 6 | 2 | 37 | 44 | 173 |
| | % | 5.2% | 3.5% | 1.2% | 21.4% | 25.4% | |
| 全体 | 人 | 86 | 79 | 12 | 101 | 104 | 793 |
| | % | 10.8% | 10.0% | 1.5% | 12.7% | 13.1% | |

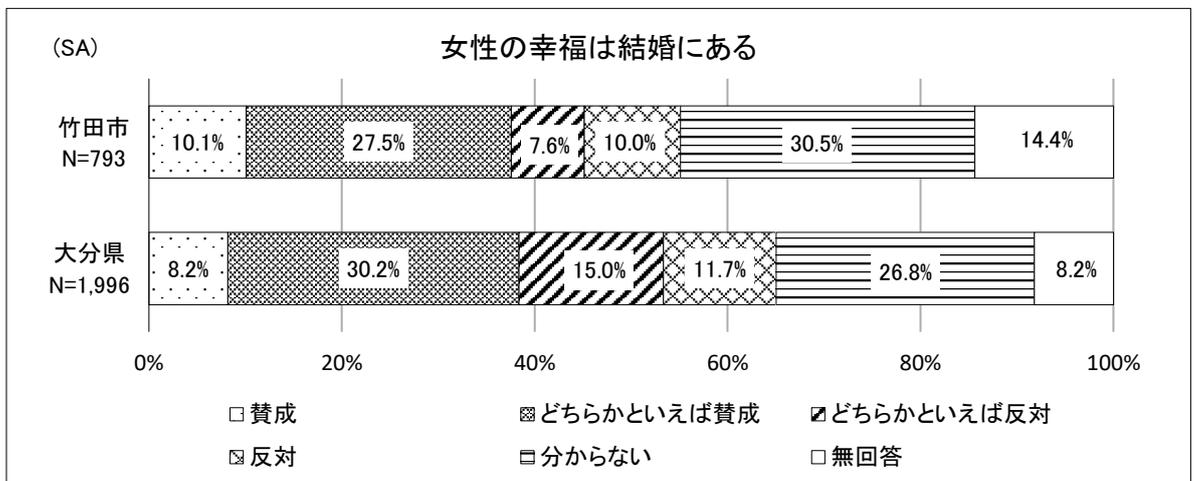
(3) 結婚、家庭、出産、子育てについての考え方

①女性の幸福は結婚にある

賛成が反対を上回る

女性の幸福は結婚にあるに賛成（1. 賛成＋2. どちらかといえば賛成）が37.6%で、反対（3. どちらかといえば反対＋4. 反対）の17.6%を大きく上回っています。県の調査でも、同様の結果です。

| | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
|---|-------|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 人 | 80 | 218 | 60 | 79 | 242 | 114 | 793 |
| % | 10.1% | 27.5% | 7.6% | 10.0% | 30.5% | 14.4% | 100.0% |



女性は男性に比べ賛成が少ない

「女性の幸福は結婚にある」に賛成（1. 賛成＋2. どちらかといえば賛成）が37.6%ですが、男女別みると、男性が42.3%、女性が33.8%で、考え方に8.5ポイントの差があります。

| | | 問 17① 「女性の幸福は結婚にある」について、あなたの意見に近いものはどれですか。 | | | | | | |
|-----------------|---|--|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 43 | 107 | 19 | 23 | 118 | 44 | 354 |
| | % | 12.1% | 30.2% | 5.4% | 6.5% | 33.3% | 12.4% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 36 | 109 | 40 | 55 | 121 | 68 | 429 |
| | % | 8.4% | 25.4% | 9.3% | 12.8% | 28.2% | 15.9% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | 10 |
| | % | 10.0% | 20.0% | 10.0% | 10.0% | 30.0% | 20.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 80 | 218 | 60 | 79 | 242 | 114 | 793 |
| | % | 10.1% | 27.5% | 7.6% | 10.0% | 30.5% | 14.4% | 100.0% |

30～39歳以外は、「どちらかといえば賛成」

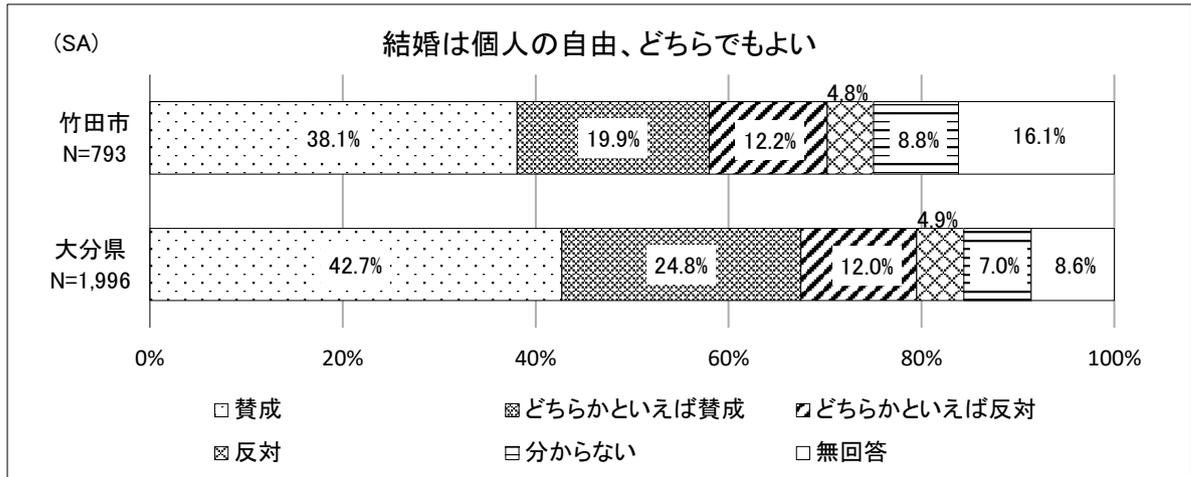
年齢別に「女性の幸福は結婚にある」への考えをみると、30～39歳だけが「3. どちらかといえば反対」が最も多く、他の年代は「2. どちらかといえば賛成」とう消極的賛成が最も多くなっています。70歳以上になると、「1. 賛成」が他の年代よりも積極的賛成が一桁多くなっており、年代による考え方の差が表れています。

| | | 問17①「女性の幸福は結婚にある」について、あなたの意見に近いものはどれですか。 | | | | | | |
|--------|---|--|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 問2 年齢 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
| 18～29歳 | 人 | 1 | 7 | 4 | 6 | 17 | 1 | 36 |
| | % | 2.8% | 19.4% | 11.1% | 16.7% | 47.2% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39歳 | 人 | 3 | 6 | 9 | 6 | 15 | 2 | 41 |
| | % | 7.3% | 14.6% | 22.0% | 14.6% | 36.6% | 4.9% | 100.0% |
| 40～49歳 | 人 | 5 | 18 | 8 | 16 | 30 | 2 | 79 |
| | % | 6.3% | 22.8% | 10.1% | 20.3% | 38.0% | 2.5% | 100.0% |
| 50～59歳 | 人 | 2 | 26 | 9 | 15 | 34 | 7 | 93 |
| | % | 2.2% | 28.0% | 9.7% | 16.1% | 36.6% | 7.5% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 10 | 60 | 16 | 22 | 69 | 8 | 185 |
| | % | 5.4% | 32.4% | 8.6% | 11.9% | 37.3% | 4.3% | 100.0% |
| 70～79歳 | 人 | 29 | 62 | 10 | 7 | 46 | 32 | 186 |
| | % | 15.6% | 33.3% | 5.4% | 3.8% | 24.7% | 17.2% | 100.0% |
| 80歳以上 | 人 | 30 | 39 | 4 | 7 | 31 | 62 | 173 |
| | % | 17.3% | 22.5% | 2.3% | 4.0% | 17.9% | 35.8% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 80 | 218 | 60 | 79 | 242 | 114 | 793 |
| | % | 10.1% | 27.5% | 7.6% | 10.0% | 30.5% | 14.4% | 100.0% |

②結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい賛成が反対を大きく上回る

賛成（1. 賛成＋2. どちらかといえば賛成）が58.0%で、反対（3. どちらかといえば反対＋4. 反対）の17.0%を大きく上回っています。県の調査でも、同様の結果ですが、賛成の割合が67.5%もあります。

| | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
|---|-------|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 人 | 302 | 158 | 97 | 38 | 70 | 128 | 793 |
| % | 38.1% | 19.9% | 12.2% | 4.8% | 8.8% | 16.1% | 100.0% |



男女とも「結婚するかどうかは個人の自由」が約6割

賛成（1. 賛成＋2. どちらかといえば賛成）が58.0%ですが、男女別にみると、男性が56.5%、女性が59.4%となっており、男女とも「結婚するかどうかは個人の自由」と考えており、結婚への考え方に男女差はないといえます。

問 17② 「結婚は個人の自由」について、あなたの意見に近いものはどれですか。

| 問1 性別 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
|-----------------|---|-------|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 男性 | 人 | 129 | 71 | 51 | 19 | 32 | 52 | 354 |
| | % | 36.4% | 20.1% | 14.4% | 5.4% | 9.0% | 14.7% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 170 | 85 | 46 | 18 | 36 | 74 | 429 |
| | % | 39.6% | 19.8% | 10.7% | 4.2% | 8.4% | 17.2% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 3 | 2 | 0 | 1 | 2 | 2 | 10 |
| | % | 30.0% | 20.0% | 0.0% | 10.0% | 20.0% | 20.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 302 | 158 | 97 | 38 | 70 | 128 | 793 |
| | % | 38.1% | 19.9% | 12.2% | 4.8% | 8.8% | 16.1% | 100.0% |

各年代とも「結婚するかどうかは個人の自由」に賛成

年代別に「結婚するかどうかは個人の自由」に「1. 賛成」の割合をみると、各年代とも、最も大きな割合を占めています。しかしながら、18～29歳が69.4%、30～39歳が70.7%、40～49歳が63.3%、50～59歳が47.3%、60～69歳が35.1%、70～79歳が28.5%、80歳以上が20.8%と、50歳以降急激に積極的賛成の割合が減少しており、世代間での「結婚するかどうかは個人の自由」への考え方に格差がみられます。



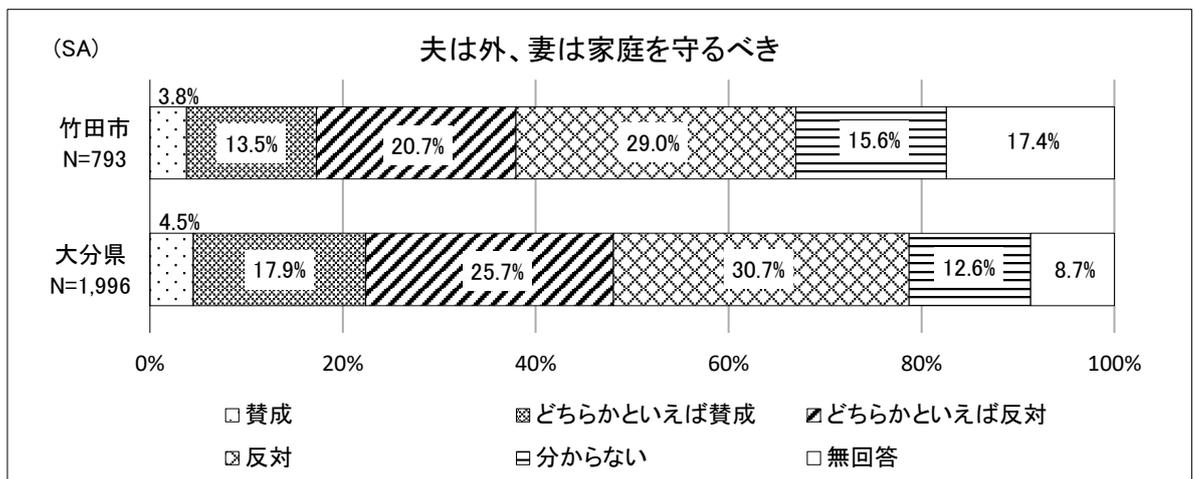
| | | 問 17② 「結婚は個人の自由」について、あなたの意見に近いものはどれですか。 | | | | | | |
|---------|---|---|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 問 2 年齢 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
| 18～29 歳 | 人 | 25 | 5 | 0 | 0 | 5 | 1 | 36 |
| | % | 69.4% | 13.9% | 0.0% | 0.0% | 13.9% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 29 | 7 | 0 | 1 | 4 | 0 | 41 |
| | % | 70.7% | 17.1% | 0.0% | 2.4% | 9.8% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 50 | 12 | 8 | 1 | 6 | 2 | 79 |
| | % | 63.3% | 15.2% | 10.1% | 1.3% | 7.6% | 2.5% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 44 | 21 | 14 | 3 | 7 | 4 | 93 |
| | % | 47.3% | 22.6% | 15.1% | 3.2% | 7.5% | 4.3% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 65 | 57 | 26 | 8 | 21 | 8 | 185 |
| | % | 35.1% | 30.8% | 14.1% | 4.3% | 11.4% | 4.3% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 53 | 37 | 27 | 13 | 14 | 42 | 186 |
| | % | 28.5% | 19.9% | 14.5% | 7.0% | 7.5% | 22.6% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 36 | 19 | 22 | 12 | 13 | 71 | 173 |
| | % | 20.8% | 11.0% | 12.7% | 6.9% | 7.5% | 41.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 302 | 158 | 97 | 38 | 70 | 128 | 793 |
| | % | 38.1% | 19.9% | 12.2% | 4.8% | 8.8% | 16.1% | 100.0% |

③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

反対が賛成を大きく上回る

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるに反対（どちらかといえば反対+反対）が 49.7%で、賛成（賛成+どちらかといえば賛成）17.3%を大きく上回っています。県の調査でも、同様の結果ですが、反対が 56.4%、賛成が 22.4%となっています。

| | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
|---|-------|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 人 | 30 | 107 | 164 | 230 | 124 | 138 | 793 |
| % | 3.8% | 13.5% | 20.7% | 29.0% | 15.6% | 17.4% | 100.0% |



「妻は家庭を守るべき」と考えるのは男性の方が多い

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるに賛成（賛成+どちらかといえば賛成）17.3%ですが、男女別にみると、男性が19.2%、女性が15.6%となっており、男性の方が3.6ポイント多いという結果です。

| | | 問 17③ 「妻は家庭を守るべきである」について、あなたの意見に近いものはどれですか。 | | | | | | |
|-----------------|---|---|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 17 | 51 | 82 | 92 | 59 | 53 | 354 |
| | % | 4.8% | 14.4% | 23.2% | 26.0% | 16.7% | 15.0% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 12 | 55 | 79 | 137 | 63 | 83 | 429 |
| | % | 2.8% | 12.8% | 18.4% | 31.9% | 14.7% | 19.3% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 1 | 3 | 1 | 2 | 2 | 10 |
| | % | 10.0% | 10.0% | 30.0% | 10.0% | 20.0% | 20.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 30 | 107 | 164 | 230 | 124 | 138 | 793 |
| | % | 3.8% | 13.5% | 20.7% | 29.0% | 15.6% | 17.4% | 100.0% |

「妻は家庭を守るべき」は、79歳までは「反対」が多い

年代別みると、18歳から79歳までは、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるに「4. 反対」が多く、80歳以上だけ「1. 賛成」が最も多いという結果です。

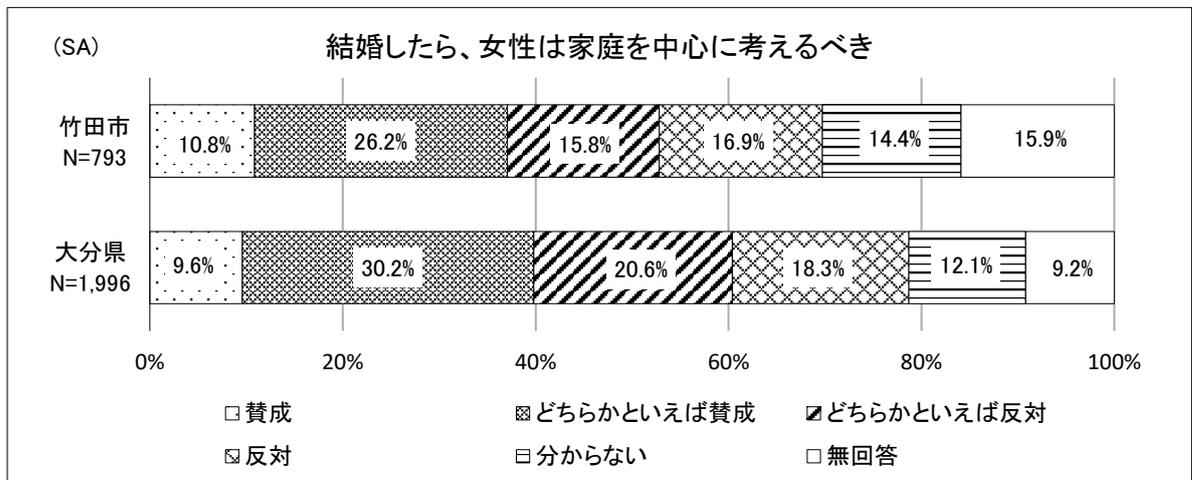
| | | 問 17③ 「妻は家庭を守るべきである」について、あなたの意見に近いものはどれですか。 | | | | | | |
|--------|---|---|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 問2 年齢 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
| 18～29歳 | 人 | 0 | 2 | 10 | 14 | 9 | 1 | 36 |
| | % | 0.0% | 5.6% | 27.8% | 38.9% | 25.0% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39歳 | 人 | 1 | 3 | 15 | 17 | 5 | 0 | 41 |
| | % | 2.4% | 7.3% | 36.6% | 41.5% | 12.2% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49歳 | 人 | 3 | 10 | 21 | 30 | 13 | 2 | 79 |
| | % | 3.8% | 12.7% | 26.6% | 38.0% | 16.5% | 2.5% | 100.0% |
| 50～59歳 | 人 | 1 | 14 | 23 | 31 | 20 | 4 | 93 |
| | % | 1.1% | 15.1% | 24.7% | 33.3% | 21.5% | 4.3% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 3 | 27 | 41 | 65 | 38 | 11 | 185 |
| | % | 1.6% | 14.6% | 22.2% | 35.1% | 20.5% | 5.9% | 100.0% |
| 70～79歳 | 人 | 10 | 26 | 32 | 49 | 23 | 46 | 186 |
| | % | 5.4% | 14.0% | 17.2% | 26.3% | 12.4% | 24.7% | 100.0% |
| 80歳以上 | 人 | 12 | 25 | 22 | 24 | 16 | 74 | 173 |
| | % | 6.9% | 14.5% | 12.7% | 13.9% | 9.2% | 42.8% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 30 | 107 | 164 | 230 | 124 | 138 | 793 |
| | % | 3.8% | 13.5% | 20.7% | 29.0% | 15.6% | 17.4% | 100.0% |

④女性は結婚したら、家庭を中心に考えて生活したほうがよい
「賛成」が「反対」を上回る

賛成（賛成＋どちらかといえば賛成）が37.0%で、反対（どちらかといえば反対＋反対）の32.7%を上回っています。

県の調査では、反対が38.9%、賛成が39.8%と拮抗しています。

| | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
|---|-------|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 人 | 86 | 208 | 125 | 134 | 114 | 126 | 793 |
| % | 10.8% | 26.2% | 15.8% | 16.9% | 14.4% | 15.9% | 100.0% |



賛成は、男性が女性をわずかに上回る

賛成（1. 賛成＋2. どちらかといえば賛成）が37.0%ですが、男女別にみると、男性が39.0%、女性が35.7%となっており、男性の方が3.3ポイント多いという結果です。

問 17④ 「妻は家庭を中心に考えて生活した方がよい」について、あなたの意見に近いものはどれですか。

| 問1 性別 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
|-----------------|---|-------|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 男性 | 人 | 37 | 101 | 64 | 55 | 50 | 47 | 354 |
| | % | 10.5% | 28.5% | 18.1% | 15.5% | 14.1% | 13.3% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 48 | 105 | 60 | 78 | 61 | 77 | 429 |
| | % | 11.2% | 24.5% | 14.0% | 18.2% | 14.2% | 17.9% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 2 | 10 |
| | % | 10.0% | 20.0% | 10.0% | 10.0% | 30.0% | 20.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 86 | 208 | 125 | 134 | 114 | 126 | 793 |
| | % | 10.8% | 26.2% | 15.8% | 16.9% | 14.4% | 15.9% | 100.0% |

49歳までは「反対」、50歳以上は「賛成」

年代別に「妻は家庭を中心に考えて生活した方が良い」をみると、年代による差が明確に出ています。若い世代（18～49歳）は「反対」若しくは「どちらかといえば反対」が最も多く、50～79歳は、「どちらかといえば賛成」が最も多く、80歳以上は「賛成」が最も多いという結果です。

| | | 問 17④ 「妻は家庭を中心に考えて生活した方が良い」について、あなたの意見に近いものはどれですか。 | | | | | | |
|--------|----|--|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 問 2 | 年齢 | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
| 18～29歳 | 人 | 0 | 6 | 8 | 10 | 11 | 1 | 36 |
| | % | 0.0% | 16.7% | 22.2% | 27.8% | 30.6% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39歳 | 人 | 3 | 10 | 13 | 8 | 6 | 1 | 41 |
| | % | 7.3% | 24.4% | 31.7% | 19.5% | 14.6% | 2.4% | 100.0% |
| 40～49歳 | 人 | 5 | 15 | 18 | 25 | 14 | 2 | 79 |
| | % | 6.3% | 19.0% | 22.8% | 31.6% | 17.7% | 2.5% | 100.0% |
| 50～59歳 | 人 | 4 | 34 | 15 | 22 | 14 | 4 | 93 |
| | % | 4.3% | 36.6% | 16.1% | 23.7% | 15.1% | 4.3% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 12 | 58 | 41 | 32 | 31 | 11 | 185 |
| | % | 6.5% | 31.4% | 22.2% | 17.3% | 16.8% | 5.9% | 100.0% |
| 70～79歳 | 人 | 26 | 52 | 23 | 20 | 24 | 41 | 186 |
| | % | 14.0% | 28.0% | 12.4% | 10.8% | 12.9% | 22.0% | 100.0% |
| 80歳以上 | 人 | 36 | 33 | 7 | 17 | 14 | 66 | 173 |
| | % | 20.8% | 19.1% | 4.0% | 9.8% | 8.1% | 38.2% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 86 | 208 | 125 | 134 | 114 | 126 | 793 |
| | % | 10.8% | 26.2% | 15.8% | 16.9% | 14.4% | 15.9% | 100.0% |

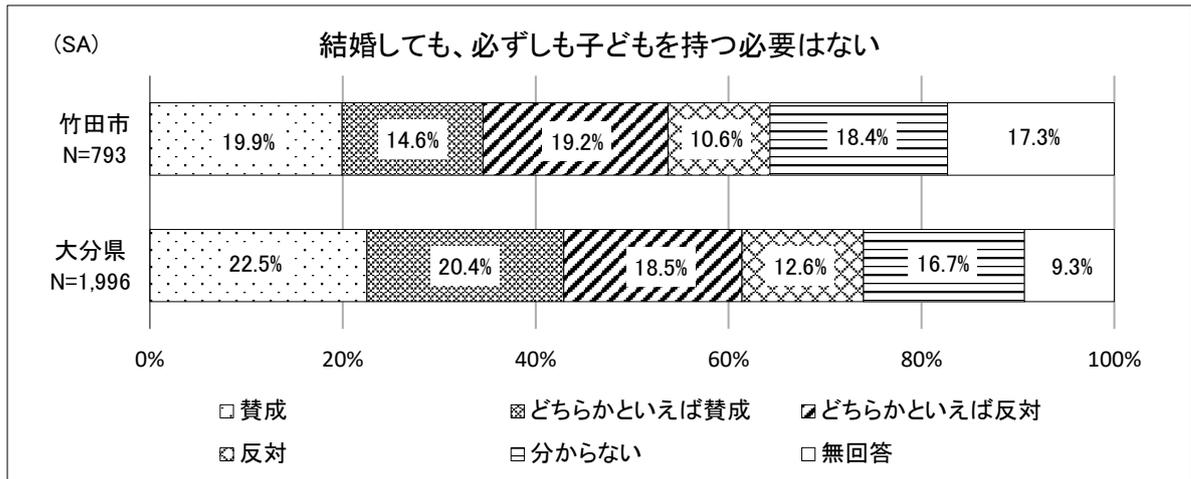
⑤結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない

賛成が反対をわずかに上回っている

賛成（1. 賛成＋2. どちらかといえば賛成）が34.5%で、反対（3. どちらかといえば反対＋4. 反対）の29.8%を上回っていますが、その差は大きくありません。

県の調査でも、同様の結果ですが、賛成が42.9%、反対が31.1%と大きく開いています。

| | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
|---|-------|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 人 | 158 | 116 | 152 | 84 | 146 | 137 | 793 |
| % | 19.9% | 14.6% | 19.2% | 10.6% | 18.4% | 17.3% | 100.0% |



「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」は女性が約4割、男性が約3割
 「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」に賛成（1. 賛成+2. どちらかといえば賛成）が34.5%ですが、男女別にみると、男性が30.5%、女性が38.0%となっており、女性の方が7.5ポイント多いという結果です。

| 問1 性別 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
|-----------------|---|-------|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 男性 | 人 | 63 | 45 | 77 | 53 | 64 | 52 | 354 |
| | % | 17.8% | 12.7% | 21.8% | 15.0% | 18.1% | 14.7% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 93 | 70 | 74 | 30 | 79 | 83 | 429 |
| | % | 21.7% | 16.3% | 17.2% | 7.0% | 18.4% | 19.3% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 2 | 10 |
| | % | 20.0% | 10.0% | 10.0% | 10.0% | 30.0% | 20.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 158 | 116 | 152 | 84 | 146 | 137 | 793 |
| | % | 19.9% | 14.6% | 19.2% | 10.6% | 18.4% | 17.3% | 100.0% |

59歳までは「賛成」、60歳以上は「反対」

年代別に「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」をみると、年代による差が明確に出ています。若い世代（18～49歳）は「賛成」が最も多く、50～59歳は「賛成」と「どちらかといえば反対」が拮抗しており、60～79歳は、「どちらかといえば反対」が最も多く、80歳以上は「反対」が最も多いという結果です。

問 17⑤ 「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」について、あなたの意見に近いものはどれですか。

| 問2 年齢 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
|---------|---|-------|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 18～29 歳 | 人 | 16 | 11 | 1 | 0 | 7 | 1 | 36 |
| | % | 44.4% | 30.6% | 2.8% | 0.0% | 19.4% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 21 | 11 | 2 | 2 | 4 | 1 | 41 |
| | % | 51.2% | 26.8% | 4.9% | 4.9% | 9.8% | 2.4% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 34 | 15 | 9 | 3 | 16 | 2 | 79 |
| | % | 43.0% | 19.0% | 11.4% | 3.8% | 20.3% | 2.5% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 25 | 16 | 24 | 8 | 16 | 4 | 93 |
| | % | 26.9% | 17.2% | 25.8% | 8.6% | 17.2% | 4.3% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 36 | 24 | 54 | 19 | 40 | 12 | 185 |
| | % | 19.5% | 13.0% | 29.2% | 10.3% | 21.6% | 6.5% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 17 | 27 | 39 | 24 | 37 | 42 | 186 |
| | % | 9.1% | 14.5% | 21.0% | 12.9% | 19.9% | 22.6% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 9 | 12 | 23 | 28 | 26 | 75 | 173 |
| | % | 5.2% | 6.9% | 13.3% | 16.2% | 15.0% | 43.4% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 158 | 116 | 152 | 84 | 146 | 137 | 793 |
| | % | 19.9% | 14.6% | 19.2% | 10.6% | 18.4% | 17.3% | 100.0% |

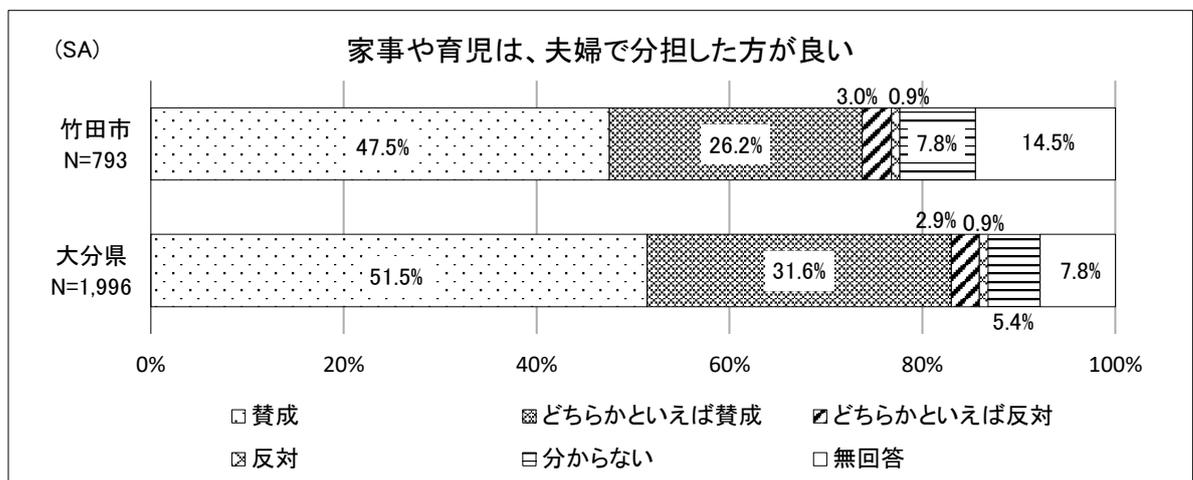
⑥家事や育児についても夫婦で分担したほうがよい

竹田市は賛成が反対を大きく上回っているが、県はさらに大きく上回っている

家事や育児についても夫婦で分担したほうがよいに賛成（1. 賛成＋2. どちらかといえば賛成）が73.7%で、反対（3. どちらかといえば反対＋4. 反対）の3.9%を大きく上回っています。

県の調査でも、同様の結果ですが、賛成が83.1%、反対が3.8%と、賛成が竹田市よりも9.4ポイント上回っています。

| | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
|---|-------|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 人 | 377 | 208 | 24 | 7 | 62 | 115 | 793 |
| % | 47.5% | 26.2% | 3.0% | 0.9% | 7.8% | 14.5% | 100.0% |



「家事や育児は夫婦で分担したほうがよい」は、女性が約8割、男性が約7割

「家事や育児についても夫婦で分担したほうがよい」に賛成（1. 賛成＋2. どちらかといえば賛成）が73.7%で、男女別にみると、男性が70.6%、女性が76.2%となっており、女性の方が5.6ポイント多いという結果です。

| | | 問 17⑥ 「家事や育児は、夫婦で分担した方がよい」について、あなたの意見に近いものはどれですか。 | | | | | | |
|-----------------|---|---|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 152 | 98 | 18 | 6 | 32 | 48 | 354 |
| | % | 42.9% | 27.7% | 5.1% | 1.7% | 9.0% | 13.6% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 220 | 107 | 6 | 1 | 30 | 65 | 429 |
| | % | 51.3% | 24.9% | 1.4% | 0.2% | 7.0% | 15.2% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 5 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 10 |
| | % | 50.0% | 30.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 20.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 377 | 208 | 24 | 7 | 62 | 115 | 793 |
| | % | 47.5% | 26.2% | 3.0% | 0.9% | 7.8% | 14.5% | 100.0% |

すべての年代で「賛成」、ただし60歳以上は減少

年代別に「家事や育児は、夫婦で分担した方がよい」をみると、全ての年代とも「賛成」が最も多くなっています。ただし、60歳以降は急激に「賛成」の割合が減少しています。

| | | 問 17⑥ 「家事や育児は、夫婦で分担した方がよい」について、あなたの意見に近いものはどれですか。 | | | | | | |
|--------|---|---|---------------|---------------|-------|----------|-------|--------|
| 問2 年齢 | | 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 | 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 | 5. 分からない | 無回答 | 総計 |
| 18～29歳 | 人 | 24 | 6 | 1 | 1 | 3 | 1 | 36 |
| | % | 66.7% | 16.7% | 2.8% | 2.8% | 8.3% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39歳 | 人 | 32 | 5 | 0 | 0 | 3 | 1 | 41 |
| | % | 78.0% | 12.2% | 0.0% | 0.0% | 7.3% | 2.4% | 100.0% |
| 40～49歳 | 人 | 57 | 13 | 0 | 1 | 6 | 2 | 79 |
| | % | 72.2% | 16.5% | 0.0% | 1.3% | 7.6% | 2.5% | 100.0% |
| 50～59歳 | 人 | 56 | 23 | 4 | | 7 | 3 | 93 |
| | % | 60.2% | 24.7% | 4.3% | 0.0% | 7.5% | 3.2% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 82 | 72 | 8 | 1 | 14 | 8 | 185 |
| | % | 44.3% | 38.9% | 4.3% | 0.5% | 7.6% | 4.3% | 100.0% |
| 70～79歳 | 人 | 73 | 51 | 5 | 2 | 16 | 39 | 186 |
| | % | 39.2% | 27.4% | 2.7% | 1.1% | 8.6% | 21.0% | 100.0% |
| 80歳以上 | 人 | 53 | 38 | 6 | 2 | 13 | 61 | 173 |
| | % | 30.6% | 22.0% | 3.5% | 1.2% | 7.5% | 35.3% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 377 | 208 | 24 | 7 | 62 | 115 | 793 |
| | % | 47.5% | 26.2% | 3.0% | 0.9% | 7.8% | 14.5% | 100.0% |

Ⅳ 高齢者の人権

①家庭の中では

大切にされていると思う 75%

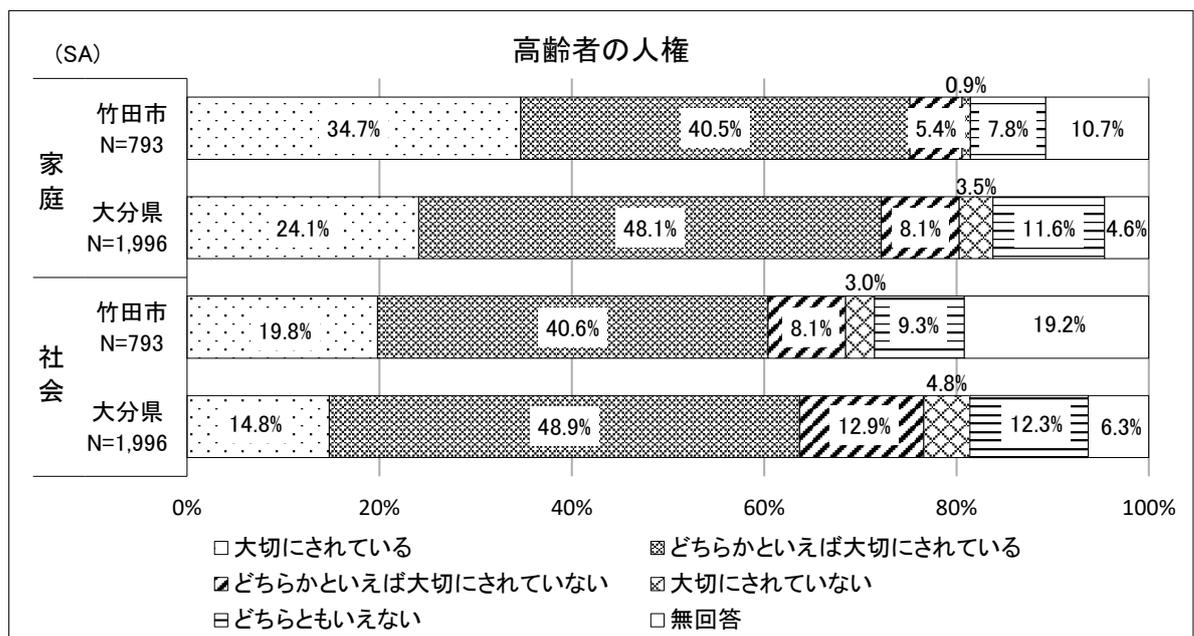
家庭では、大切にされていると思う（1.大切にされていると思う＋2.どちらかといえば大切にされていると思う）が75.2%で、大切にされていないと思う（4.大切にされていないと思う＋3.どちらかといえば大切にされていないと思う）6.3%を大きく上回っています。県の調査では、大切にされていると思うが72.2%、大切にされていないと思う11.6%で竹田市とほぼ同様の結果です。

②社会（地域生活など）では

大切にされていると思う 60%

社会でも、大切にされていると思う（1.大切にされていると思う＋2.どちらかといえば大切にされていると思う）が60.4%で、大切にされていないと思う（4.大切にされていないと思う＋3.どちらかといえば大切にされていないと思う）11.1%であり、家庭の中に比べると、若干差は縮まりますが、やはり大きく上回っています。県の調査では、大切にされていると思うが63.7%、大切にされていないと思う17.7%で竹田市とほぼ同様の結果です。

| | | 1. 大切にされている | 2. どちらかといえば大切にされている | 3. どちらかといえば大切にされていない | 4. 大切にされていない | 5. どちらともいえない | 無回答 | 総計 |
|----|---|-------------|---------------------|----------------------|--------------|--------------|-------|--------|
| 家庭 | 人 | 275 | 321 | 43 | 7 | 62 | 85 | 793 |
| | % | 34.7% | 40.5% | 5.4% | 0.9% | 7.8% | 10.7% | 100.0% |
| 社会 | 人 | 157 | 322 | 64 | 24 | 74 | 152 | 793 |
| | % | 19.8% | 40.6% | 8.1% | 3.0% | 9.3% | 19.2% | 100.0% |



男女別にみると、

①家庭の中では

家庭で大切にされていると思う割合は、男女差なし

家庭では、大切にされていると思う（1.大切にされていると思う＋2.どちらかといえば大切にされていると思う）が75.2%で、男女別にみても、男性76.5%、女性75.0%となっており、男女差はありません。

②社会（地域生活など）では

社会で大切にされていると思う割合は、男女差なし

社会でも、大切にされていると思う（1.大切にされていると思う＋2.どちらかといえば大切にされていると思う）が60.4%で、男女別にみると、男性が60.2%、女性が61.3%となっており、男女差はありません。

| 問1 性別 | | | 1. 大切にされている | 2. どちらかといえば大切にされている | 3. どちらかといえば大切にされていない | 4. 大切にされていない | 5. どちらともいえない | 無回答 | 総計 |
|---------|-----------------|-------|-------------|---------------------|----------------------|--------------|--------------|--------|--------|
| | | | | | | | | | |
| ①家庭の中では | 男性 | 人 | 123 | 148 | 18 | 5 | 22 | 38 | 354 |
| | | % | 34.7% | 41.8% | 5.1% | 1.4% | 6.2% | 10.7% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 149 | 173 | 24 | 2 | 36 | 45 | 429 |
| | | % | 34.7% | 40.3% | 5.6% | 0.5% | 8.4% | 10.5% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 3 | 0 | 1 | 0 | 4 | 2 | 10 |
| | | % | 30.0% | 0.0% | 10.0% | 0.0% | 40.0% | 20.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 275 | 321 | 43 | 7 | 62 | 85 | 793 | |
| | % | 34.7% | 40.5% | 5.4% | 0.9% | 7.8% | 10.7% | 100.0% | |
| ②社会では | 男性 | 人 | 64 | 149 | 33 | 12 | 30 | 66 | 354 |
| | | % | 18.1% | 42.1% | 9.3% | 3.4% | 8.5% | 18.6% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 91 | 172 | 31 | 12 | 40 | 83 | 429 |
| | | % | 21.2% | 40.1% | 7.2% | 2.8% | 9.3% | 19.3% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 1 | 0 | 0 | 4 | 3 | 10 |
| | | % | 20.0% | 10.0% | 0.0% | 0.0% | 40.0% | 30.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 157 | 322 | 64 | 24 | 74 | 152 | 793 | |
| | % | 19.8% | 40.6% | 8.1% | 3.0% | 9.3% | 19.2% | 100.0% | |

年代別にみると、

①家庭の中では

各年代とも「大切にされていると思う」が多い

家庭の中では、各年代で「1.大切にされていると思う」若しくは「2.どちらかといえば大切にされていると思う」が最も多い回答となっています。

②社会（地域生活など）では

各年代とも「どちらかといえば大切にされていると思う」が多い

年代別にみると、家庭の中に比べて社会では、「1.大切にされていると思う」が

18～29歳だけになり、この世代も含めて「2. どちらかといえば大切にされていると思う」が最も多くなっています。

| 問 2 年齢 | | 1. 大切にされている | 2. どちらかといえば大切にされている | 3. どちらかといえば大切にされていない | 4. 大切にされていない | 5. どちらともいえない | 無回答 | 総計 | |
|--------------|---------|-------------|---------------------|----------------------|--------------|--------------|-------|--------|--------|
| | | | | | | | | | |
| ① 家庭の中では | 18～29 歳 | 人 | 15 | 12 | 3 | 0 | 4 | 2 | 36 |
| | | % | 41.7% | 33.3% | 8.3% | 0.0% | 11.1% | 5.6% | 100.0% |
| | 30～39 歳 | 人 | 10 | 19 | 5 | 1 | 5 | 1 | 41 |
| | | % | 24.4% | 46.3% | 12.2% | 2.4% | 12.2% | 2.4% | 100.0% |
| | 40～49 歳 | 人 | 28 | 35 | 4 | 2 | 7 | 3 | 79 |
| | | % | 35.4% | 44.3% | 5.1% | 2.5% | 8.9% | 3.8% | 100.0% |
| | 50～59 歳 | 人 | 28 | 52 | 1 | 0 | 9 | 3 | 93 |
| | | % | 30.1% | 55.9% | 1.1% | 0.0% | 9.7% | 3.2% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 53 | 90 | 12 | 0 | 12 | 18 | 185 | |
| | % | 28.6% | 48.6% | 6.5% | 0.0% | 6.5% | 9.7% | 100.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 78 | 54 | 10 | 2 | 15 | 27 | 186 | |
| | % | 41.9% | 29.0% | 5.4% | 1.1% | 8.1% | 14.5% | 100.0% | |
| 80 歳以上 | 人 | 63 | 59 | 8 | 2 | 10 | 31 | 173 | |
| | % | 36.4% | 34.1% | 4.6% | 1.2% | 5.8% | 17.9% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 275 | 321 | 43 | 7 | 62 | 85 | 793 | |
| | % | 34.7% | 40.5% | 5.4% | 0.9% | 7.8% | 10.7% | 100.0% | |
| ② 地域生活など社会では | 18～29 歳 | 人 | 12 | 12 | 4 | 1 | 5 | 2 | 36 |
| | | % | 33.3% | 33.3% | 11.1% | 2.8% | 13.9% | 5.6% | 100.0% |
| | 30～39 歳 | 人 | 10 | 19 | 2 | 3 | 5 | 2 | 41 |
| | | % | 24.4% | 46.3% | 4.9% | 7.3% | 12.2% | 4.9% | 100.0% |
| | 40～49 歳 | 人 | 16 | 38 | 9 | 4 | 8 | 4 | 79 |
| | | % | 20.3% | 48.1% | 11.4% | 5.1% | 10.1% | 5.1% | 100.0% |
| | 50～59 歳 | 人 | 16 | 53 | 7 | 2 | 11 | 4 | 93 |
| | | % | 17.2% | 57.0% | 7.5% | 2.2% | 11.8% | 4.3% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 42 | 90 | 16 | 3 | 16 | 18 | 185 | |
| | % | 22.7% | 48.6% | 8.6% | 1.6% | 8.6% | 9.7% | 100.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 31 | 61 | 19 | 4 | 19 | 52 | 186 | |
| | % | 16.7% | 32.8% | 10.2% | 2.2% | 10.2% | 28.0% | 100.0% | |
| 80 歳以上 | 人 | 30 | 49 | 7 | 7 | 10 | 70 | 173 | |
| | % | 17.3% | 28.3% | 4.0% | 4.0% | 5.8% | 40.5% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 157 | 322 | 64 | 24 | 74 | 152 | 793 | |
| | % | 19.8% | 40.6% | 8.1% | 3.0% | 9.3% | 19.2% | 100.0% | |

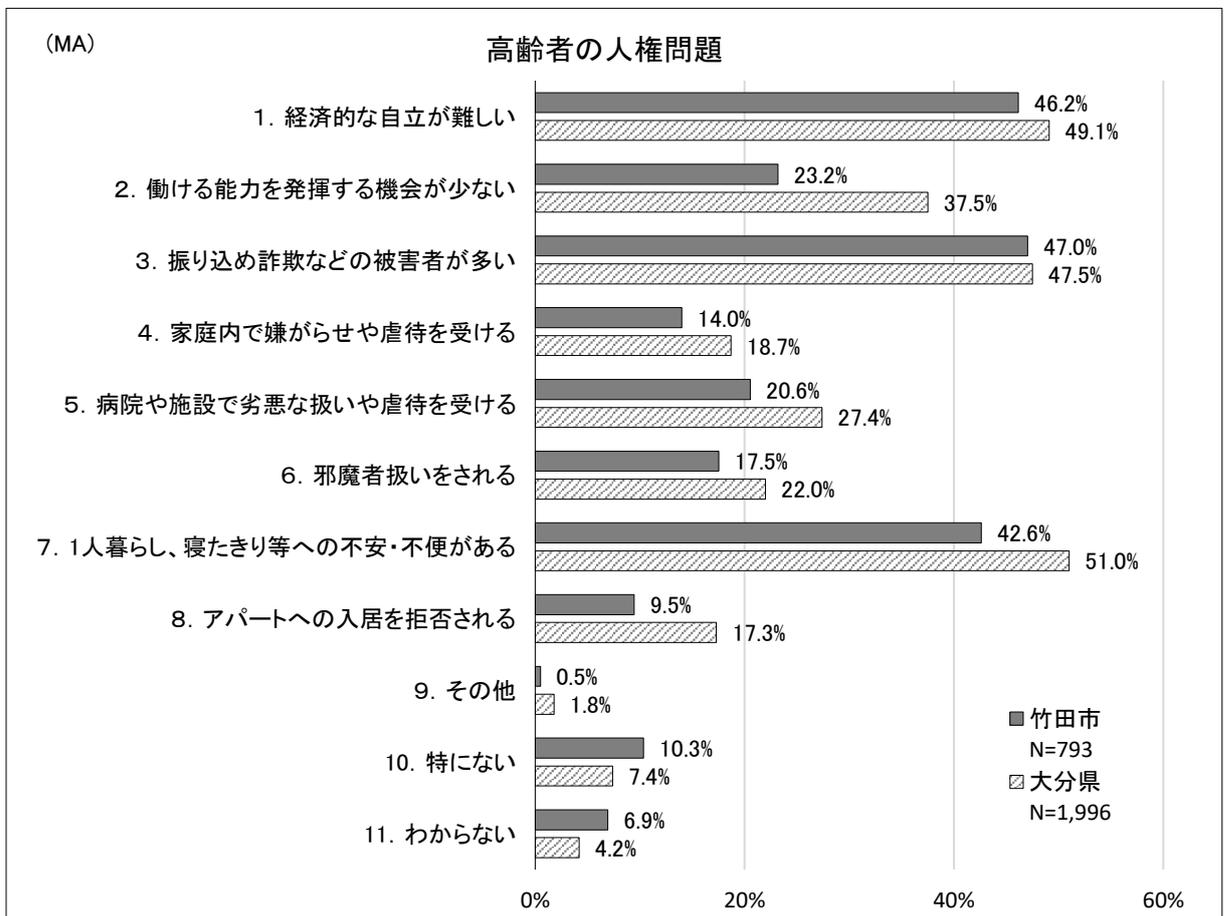
（2）現在ある高齢者の人権問題

トップ項目と3位項目が県と逆転

高齢者の人権問題の上位3つと考えられているのは、「3. 振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」47.0%、「1. 経済的な自立が難しいこと」46.2%、「7. 一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」42.6%の順となっています。

県の調査では、上位の項目は同じですが、その順番に違いがあります。県では「7. 一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」51.0%でトップ、次いで「1. 経済的な自立が難しいこと」49.1%、「3. 振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」47.5%と続いています。

| | 1. 経済的な自立が難しい | 2. 働ける能力を発揮する機会が少ない | 3. 振り込め詐欺などの被害者が多い | 4. 家庭内で嫌がらせや虐待を受ける | 5. 病院や施設で劣悪な扱いや虐待を受ける | 6. 邪魔者扱いをされる |
|---|--------------------------|---------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|--------------|
| 人 | 366 | 184 | 373 | 111 | 163 | 139 |
| % | 46.2% | 23.2% | 47.0% | 14.0% | 20.6% | 17.5% |
| | 7. 1人暮らし、寝たきり等への不安・不便がある | 8. アパートへの入居を拒否される | 9. その他 | 10. 特にな | 11. わからない | 対象者 |
| 人 | 338 | 75 | 4 | 82 | 55 | 793 |
| % | 42.6% | 9.5% | 0.5% | 10.3% | 6.9% | |



「7. 一人暮らし、寝たきり等への不安や不便があること」で男女差あり

竹田市の高齢者の人権問題の「3. 振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」、
「1. 経済的な自立が難しいこと」の上位2項目については、男女差はありませんが、三番目の「7. 一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」については、男性が39.3%、女性が45.5%となっており、6.2ポイントの差があります。

| | | 問 19 高齢者に関することで、どのような人権問題がありますか。 | | | | | |
|-----------------|---|----------------------------------|---------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|--------------|
| 問1 性別 | | 1. 経済的な自立が難しい | 2. 働ける能力を発揮する機会が少ない | 3. 振り込め詐欺などの被害者が多い | 4. 家庭内で嫌がらせや虐待を受ける | 5. 病院や施設で劣悪な扱いや虐待を受ける | 6. 邪魔者扱いをされる |
| 男性 | 人 | 162 | 82 | 163 | 54 | 66 | 63 |
| | % | 45.8% | 23.2% | 46.0% | 15.3% | 18.6% | 17.8% |
| 女性 | 人 | 200 | 98 | 203 | 53 | 93 | 73 |
| | % | 46.6% | 22.8% | 47.3% | 12.4% | 21.7% | 17.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 4 | 7 | 4 | 4 | 3 |
| | % | 40.0% | 40.0% | 70.0% | 40.0% | 40.0% | 30.0% |
| 全体 | 人 | 366 | 184 | 373 | 111 | 163 | 139 |
| | % | 46.2% | 23.2% | 47.0% | 14.0% | 20.6% | 17.5% |
| 問1 性別 | | 7. 1人暮らし、寝たきり等への不安・不便がある | 8. アパートへの入居を拒否される | 9. その他 | 10. 特にない | 11. わからない | 対象者 |
| 男性 | 人 | 139 | 25 | 2 | 32 | 19 | 354 |
| | % | 39.3% | 7.1% | 0.6% | 9.0% | 5.4% | |
| 女性 | 人 | 195 | 47 | 2 | 48 | 36 | 429 |
| | % | 45.5% | 11.0% | 0.5% | 11.2% | 8.4% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 3 | 0 | 2 | 0 | 10 |
| | % | 40.0% | 30.0% | 0.0% | 20.0% | 0.0% | |
| 全体 | 人 | 338 | 75 | 4 | 82 | 55 | 793 |
| | % | 42.6% | 9.5% | 0.5% | 10.3% | 6.9% | |

年代によって、課題に違いあり

竹田市の高齢者の人権問題を年代別にみると、18歳から49歳までは「3. 振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」が最も多く、60歳から79歳までは「1. 経済的な自立が難しいこと」が最も多く、80歳以上になると、再び「3. 振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」が最も多くなります。50～59歳は、「7. 一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」が最も多くなっています。

| | | 問 19 高齢者に関することで、どのような人権問題がありますか。 | | | | | |
|---------|---|----------------------------------|---------------------|--------------------|--------------------|-----------------------|--------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 経済的な自立が難しい | 2. 働ける能力を發揮する機会が少ない | 3. 振り込め詐欺などの被害者が多い | 4. 家庭内で嫌がらせや虐待を受ける | 5. 病院や施設で劣悪な扱いや虐待を受ける | 6. 邪魔者扱いをされる |
| 18～29 歳 | 人 | 14 | 11 | 20 | 14 | 13 | 15 |
| | % | 38.9% | 30.6% | 55.6% | 38.9% | 36.1% | 41.7% |
| 30～39 歳 | 人 | 22 | 17 | 30 | 11 | 16 | 14 |
| | % | 53.7% | 41.5% | 73.2% | 26.8% | 39.0% | 34.1% |
| 40～49 歳 | 人 | 34 | 29 | 41 | 14 | 19 | 14 |
| | % | 43.0% | 36.7% | 51.9% | 17.7% | 24.1% | 17.7% |
| 50～59 歳 | 人 | 51 | 27 | 56 | 17 | 27 | 26 |
| | % | 54.8% | 29.0% | 60.2% | 18.3% | 29.0% | 28.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 103 | 54 | 92 | 24 | 34 | 37 |
| | % | 55.7% | 29.2% | 49.7% | 13.0% | 18.4% | 20.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 88 | 30 | 74 | 21 | 33 | 20 |
| | % | 47.3% | 16.1% | 39.8% | 11.3% | 17.7% | 10.8% |
| 80 歳以上 | 人 | 54 | 16 | 60 | 10 | 21 | 13 |
| | % | 31.2% | 9.2% | 34.7% | 5.8% | 12.1% | 7.5% |
| 全体 | 人 | 366 | 184 | 373 | 111 | 163 | 139 |
| | % | 46.2% | 23.2% | 47.0% | 14.0% | 20.6% | 17.5% |
| 問 2 年齢 | | 7. 1人暮らし、寝たきり等への不安・不便がある | 8. アパートへの入居を拒否される | 9. その他 | 10. 特にない | 11. わからない | 対象者 |
| 18～29 歳 | 人 | 19 | 3 | 0 | 0 | 2 | 36 |
| | % | 52.8% | 8.3% | 0.0% | 0.0% | 5.6% | |
| 30～39 歳 | 人 | 17 | 4 | 0 | 0 | 3 | 41 |
| | % | 41.5% | 9.8% | 0.0% | 0.0% | 7.3% | |
| 40～49 歳 | 人 | 33 | 10 | 0 | 4 | 3 | 79 |
| | % | 41.8% | 12.7% | 0.0% | 5.1% | 3.8% | |
| 50～59 歳 | 人 | 61 | 25 | 1 | 4 | 7 | 93 |
| | % | 65.6% | 26.9% | 1.1% | 4.3% | 7.5% | |
| 60～69 歳 | 人 | 93 | 16 | 0 | 7 | 6 | 185 |
| | % | 50.3% | 8.6% | 0.0% | 3.8% | 3.2% | |
| 70～79 歳 | 人 | 66 | 14 | 2 | 30 | 18 | 186 |
| | % | 35.5% | 7.5% | 1.1% | 16.1% | 9.7% | |
| 80 歳以上 | 人 | 49 | 3 | 1 | 37 | 16 | 173 |
| | % | 28.3% | 1.7% | 0.6% | 21.4% | 9.2% | |
| 全体 | 人 | 338 | 75 | 4 | 82 | 55 | 793 |
| | % | 42.6% | 9.5% | 0.5% | 10.3% | 6.9% | |

V 子どもの人権

（1）家庭や社会での子どもの様子

①家庭では

幸せに過ごしている7割強（県は8割弱）

子どもは家庭では、「幸せに過ごしている（1. 幸せに過ごしているように思う＋2. どちらかといえば幸せなように思う）」が74.2%で、「幸せでない（3. どちらかといえば幸せではないように思う＋4. 幸せではないように思う）」の3.5%を大きく上回っています。

大分県の調査では、「幸せに過ごしている」が78.2%、「幸せでない」が4.8%となっています。

②学校では

幸せに過ごしている5割強（県は6割強）

子どもは学校では、幸せに過ごしている（1. 幸せに過ごしているように思う＋2. どちらかといえば幸せなように思う）が54.1%で、幸せでない（3. どちらかといえば幸せではないように思う＋4. 幸せではないように思う）の7.0%を大きく上回っています。しかしながら、学校では幸せに過ごしているは54.1%と家庭の74.2%に比べると大きくダウンしています。

大分県の調査では、「幸せに過ごしている」が64.2%、「幸せでない」が8.5%となっています。

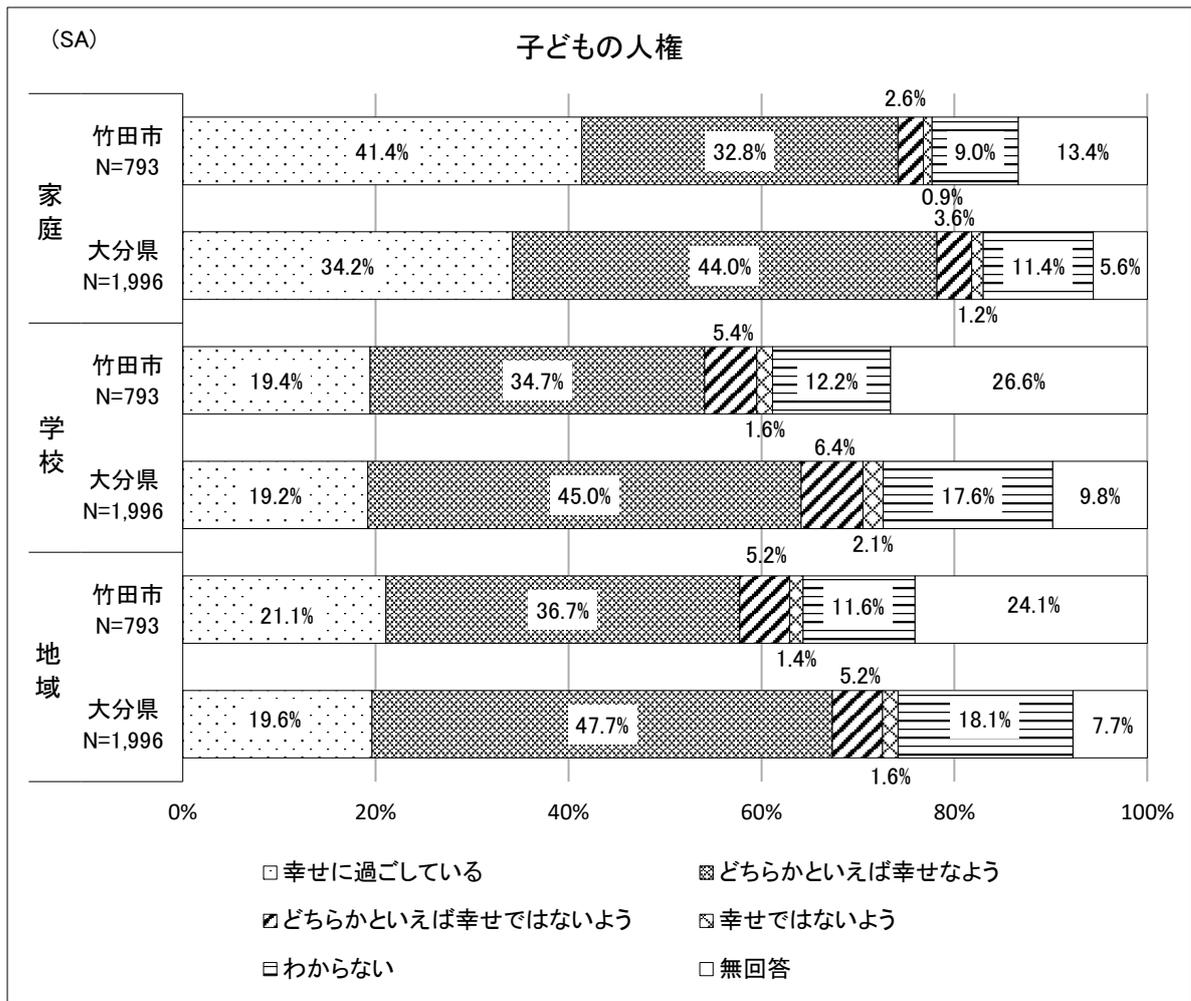
③地域では

幸せに過ごしている6割弱（県は7割弱）

子どもは地域では、幸せに過ごしている（1. 幸せに過ごしているように思う＋2. どちらかといえば幸せなように思う）が57.8%で、幸せでない（3. どちらかといえば幸せではないように思う＋4. 幸せではないように思う）の6.6%を大きく上回っています。しかしながら、地域でも学校と同様に幸せに過ごしているは57.5%と家庭の74.2%に比べると大きくダウンしています。

大分県の調査では、「幸せに過ごしている」が67.3%、「幸せでない」が6.8%となっています。

| | | 1. 幸せに過ごしている | 2. どちらかといえば幸せなよう | 3. どちらかといえば幸せではないよう | 4. 幸せではないよう | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
|----|---|--------------|------------------|---------------------|-------------|----------|-------|--------|
| 家庭 | 人 | 328 | 260 | 21 | 7 | 71 | 106 | 793 |
| | % | 41.4% | 32.8% | 2.6% | 0.9% | 9.0% | 13.4% | 100.0% |
| 学校 | 人 | 154 | 275 | 43 | 13 | 97 | 211 | 793 |
| | % | 19.4% | 34.7% | 5.4% | 1.6% | 12.2% | 26.6% | 100.0% |
| 地域 | 人 | 167 | 291 | 41 | 11 | 92 | 191 | 793 |
| | % | 21.1% | 36.7% | 5.2% | 1.4% | 11.6% | 24.1% | 100.0% |



男女別にみると、

①家庭では

男女とも、「幸せに過ごしている」7割強

子どもは家庭では、「幸せに過ごしている（1. 幸せに過ごしているように思う＋2. どちらかといえば幸せなように思う）」が、男性 74.1%、女性 74.9%で、差はありません。

②学校では

「幸せに過ごしている」男性約6割、女性約5割

子どもは学校では、幸せに過ごしている（1. 幸せに過ごしているように思う＋2. どちらかといえば幸せなように思う）が男性 57.9%、女性 50.8%で、7.1ポイントの差があります。

②地域では

男女とも、「幸せに過ごしている」6割弱

子どもは地域では、幸せに過ごしている（1. 幸せに過ごしているように思う＋2. どちらかといえば幸せなように思う）が男性 59.7%、女性 56.6%で、差はありません。

| 問1 性別 | | 1. 幸せに過ごしている | 2. どちらかといえば幸せなよう | 3. どちらかといえば幸せではないよう | 4. 幸せではないよう | 5. わからない | 無回答 | 総計 | |
|-------|-----------------|--------------|------------------|---------------------|-------------|----------|-------|-------|--------|
| | | 人 | % | 人 | % | 人 | | | % |
| ①家庭では | 男性 | 人 | 145 | 117 | 9 | 1 | 32 | 50 | 354 |
| | | % | 41.0% | 33.1% | 2.5% | 0.3% | 9.0% | 14.1% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 180 | 141 | 11 | 5 | 38 | 54 | 429 |
| | | % | 42.0% | 32.9% | 2.6% | 1.2% | 8.9% | 12.6% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 10 |
| | | % | 30.0% | 20.0% | 10.0% | 10.0% | 10.0% | 20.0% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 328 | 260 | 21 | 7 | 71 | 106 | 793 |
| | | % | 41.4% | 32.8% | 2.6% | 0.9% | 9.0% | 13.4% | 100.0% |
| ②学校では | 男性 | 人 | 70 | 135 | 18 | 7 | 40 | 84 | 354 |
| | | % | 19.8% | 38.1% | 5.1% | 2.0% | 11.3% | 23.7% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 82 | 136 | 24 | 6 | 56 | 125 | 429 |
| | | % | 19.1% | 31.7% | 5.6% | 1.4% | 13.1% | 29.1% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 4 | 1 | 0 | 1 | 2 | 10 |
| | | % | 20.0% | 40.0% | 10.0% | 0.0% | 10.0% | 20.0% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 154 | 275 | 43 | 13 | 97 | 211 | 793 |
| | | % | 19.4% | 34.7% | 5.4% | 1.6% | 12.2% | 26.6% | 100.0% |
| ③地域では | 男性 | 人 | 77 | 134 | 15 | 6 | 37 | 85 | 354 |
| | | % | 21.8% | 37.9% | 4.2% | 1.7% | 10.5% | 24.0% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 88 | 155 | 24 | 5 | 53 | 104 | 429 |
| | | % | 20.5% | 36.1% | 5.6% | 1.2% | 12.4% | 24.2% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 10 |
| | | % | 20.0% | 20.0% | 20.0% | 0.0% | 20.0% | 20.0% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 167 | 291 | 41 | 11 | 92 | 191 | 793 |
| | | % | 21.1% | 36.7% | 5.2% | 1.4% | 11.6% | 24.1% | 100.0% |

年代別にみると、

①家庭では

各年代とも、「幸せに過ごしている」が多い

年代別にみると、50～59歳で「2. どちらかといえば幸せなように思う」が最も多かった他は、「1. 幸せに過ごしているように思う」が最も多くなっています。

②学校では

80歳以上を除いて、「どちらかといえば幸せなように思う」が多い

80歳以上で「1. 幸せに過ごしているように思う」が最も多かった他は「2. どちらかといえば幸せなように思う」が最も多くなっており、家庭に比べると、幸せの度合いが学校の方が低いと感じています。

③地域では

すべての年代で、「どちらかといえば幸せなように思う」が多い

地域では、すべての年代で「2. どちらかといえば幸せなように思う」が最も多くなっており、学校と同様の結果となっています。

| | 問 2 年齢 | | 1. 幸せに過ごしている | 2. どちらかといえば幸せなよう | 3. どちらかといえば幸せではないよう | 4. 幸せではないよう | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
|---------|---------|-------|--------------|------------------|---------------------|-------------|----------|--------|--------|
| ①家庭では | 18～29 歳 | 人 | 10 | 10 | 2 | 0 | 11 | 3 | 36 |
| | | % | 27.8% | 27.8% | 5.6% | 0.0% | 30.6% | 8.3% | 100.0% |
| | 30～39 歳 | 人 | 18 | 14 | 2 | 0 | 5 | 2 | 41 |
| | | % | 43.9% | 34.1% | 4.9% | 0.0% | 12.2% | 4.9% | 100.0% |
| | 40～49 歳 | 人 | 40 | 26 | 3 | 1 | 6 | 3 | 79 |
| | | % | 50.6% | 32.9% | 3.8% | 1.3% | 7.6% | 3.8% | 100.0% |
| | 50～59 歳 | 人 | 35 | 41 | 1 | 0 | 11 | 5 | 93 |
| | | % | 37.6% | 44.1% | 1.1% | 0.0% | 11.8% | 5.4% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 75 | 74 | 5 | 2 | 10 | 19 | 185 | |
| | % | 40.5% | 40.0% | 2.7% | 1.1% | 5.4% | 10.3% | 100.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 89 | 48 | 5 | 3 | 10 | 31 | 186 | |
| | % | 47.8% | 25.8% | 2.7% | 1.6% | 5.4% | 16.7% | 100.0% | |
| 80 歳以上 | 人 | 61 | 47 | 3 | 1 | 18 | 43 | 173 | |
| | % | 35.3% | 27.2% | 1.7% | 0.6% | 10.4% | 24.9% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 328 | 260 | 21 | 7 | 71 | 106 | 793 | |
| | % | 41.4% | 32.8% | 2.6% | 0.9% | 9.0% | 13.4% | 100.0% | |
| ②学校では | 18～29 歳 | 人 | 4 | 13 | 5 | 1 | 10 | 3 | 36 |
| | | % | 11.1% | 36.1% | 13.9% | 2.8% | 27.8% | 8.3% | 100.0% |
| | 30～39 歳 | 人 | 8 | 21 | 3 | 3 | 5 | 1 | 41 |
| | | % | 19.5% | 51.2% | 7.3% | 7.3% | 12.2% | 2.4% | 100.0% |
| | 40～49 歳 | 人 | 26 | 32 | 10 | 1 | 7 | 3 | 79 |
| | | % | 32.9% | 40.5% | 12.7% | 1.3% | 8.9% | 3.8% | 100.0% |
| | 50～59 歳 | 人 | 17 | 48 | 2 | 1 | 17 | 8 | 93 |
| | | % | 18.3% | 51.6% | 2.2% | 1.1% | 18.3% | 8.6% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 34 | 84 | 9 | 6 | 17 | 35 | 185 | |
| | % | 18.4% | 45.4% | 4.9% | 3.2% | 9.2% | 18.9% | 100.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 36 | 53 | 8 | 1 | 19 | 69 | 186 | |
| | % | 19.4% | 28.5% | 4.3% | 0.5% | 10.2% | 37.1% | 100.0% | |
| 80 歳以上 | 人 | 29 | 24 | 6 | 0 | 22 | 92 | 173 | |
| | % | 16.8% | 13.9% | 3.5% | 0.0% | 12.7% | 53.2% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 154 | 275 | 43 | 13 | 97 | 211 | 793 | |
| | % | 19.4% | 34.7% | 5.4% | 1.6% | 12.2% | 26.6% | 100.0% | |
| ③地域では | 18～29 歳 | 人 | 3 | 16 | 4 | 1 | 9 | 3 | 36 |
| | | % | 8.3% | 44.4% | 11.1% | 2.8% | 25.0% | 8.3% | 100.0% |
| | 30～39 歳 | 人 | 11 | 23 | | 2 | 5 | | 41 |
| | | % | 26.8% | 56.1% | 0.0% | 4.9% | 12.2% | 0.0% | 100.0% |
| | 40～49 歳 | 人 | 26 | 34 | 8 | 0 | 8 | 3 | 79 |
| | | % | 32.9% | 43.0% | 10.1% | 0.0% | 10.1% | 3.8% | 100.0% |
| | 50～59 歳 | 人 | 21 | 49 | 4 | 1 | 14 | 4 | 93 |
| | | % | 22.6% | 52.7% | 4.3% | 1.1% | 15.1% | 4.3% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 35 | 83 | 10 | 3 | 20 | 34 | 185 | |
| | % | 18.9% | 44.9% | 5.4% | 1.6% | 10.8% | 18.4% | 100.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 42 | 54 | 8 | 2 | 16 | 64 | 186 | |
| | % | 22.6% | 29.0% | 4.3% | 1.1% | 8.6% | 34.4% | 100.0% | |
| 80 歳以上 | 人 | 29 | 32 | 7 | 2 | 20 | 83 | 173 | |
| | % | 16.8% | 18.5% | 4.0% | 1.2% | 11.6% | 48.0% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 167 | 291 | 41 | 11 | 92 | 191 | 793 | |
| | % | 21.1% | 36.7% | 5.2% | 1.4% | 11.6% | 24.1% | 100.0% | |

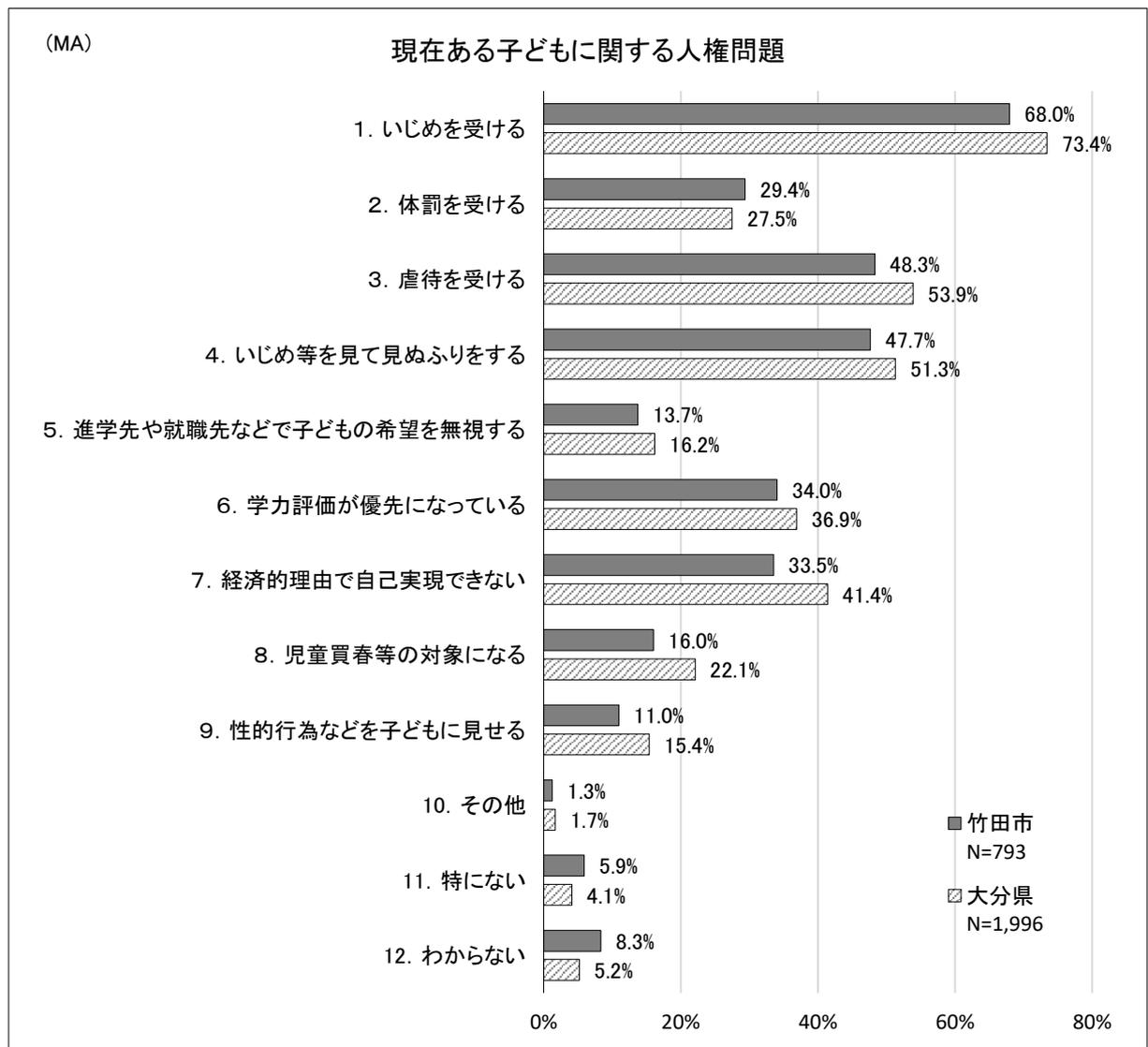
(2) 現在ある子どもに関する人権問題

「いじめ」、「虐待」が大きな問題

子どもの人権問題では、「いじめ」が最も多く68.0%、次いで「虐待」48.3%、また、いじめ・虐待を見て見ぬふりをするのが47.7%を占めています。

県の調査でも、同様の結果です。

| | | | | | | | |
|---|-------------------|----------------|-------------------|-------------------|--------------------------|------------------|-----|
| | 1. いじめを受ける | 2. 体罰を受ける | 3. 虐待を受ける | 4. いじめ等を見て見ぬふりをする | 5. 進学先や就職先などで子どもの希望を無視する | 6. 学力評価が優先になっている | |
| 人 | 539 | 233 | 383 | 378 | 109 | 270 | |
| % | 68.0% | 29.4% | 48.3% | 47.7% | 13.7% | 34.0% | |
| | 7. 経済的理由で自己実現できない | 8. 児童買春等の対象になる | 9. 性的行為などを子どもに見せる | 10. その他 | 11. 特にない | 12. わからない | 対象者 |
| 人 | 266 | 127 | 87 | 10 | 47 | 66 | 793 |
| % | 33.5% | 16.0% | 11.0% | 1.3% | 5.9% | 8.3% | |



「虐待」・「見て見ぬふりをする」は女性の方が問題視

子どもの人権問題で最も多い「いじめ」は、男性、女性とも68.1%で全く同レベルですが、「虐待」は、男性45.8%、女性50.1%、また、「いじめ・虐待を見て見ぬふりをする」ことが男性44.1%、女性50.6%となっており、女性の方が問題視しているという結果になっています。

| | | 問21 子どもに関することで、どのような人権問題があると思いますか。 | | | | | | |
|-----------------|---|------------------------------------|----------------|-------------------|-------------------|--------------------------|------------------|-----|
| 問1 性別 | | 1. いじめを受ける | 2. 体罰を受ける | 3. 虐待を受ける | 4. いじめ等を見て見ぬふりをする | 5. 進学先や就職先などで子どもの希望を無視する | 6. 学力評価が優先になっている | |
| 男性 | 人 | 241 | 99 | 162 | 156 | 47 | 109 | |
| | % | 68.1% | 28.0% | 45.8% | 44.1% | 13.3% | 30.8% | |
| 女性 | 人 | 292 | 129 | 215 | 217 | 57 | 156 | |
| | % | 68.1% | 30.1% | 50.1% | 50.6% | 13.3% | 36.4% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 6 | 5 | 6 | 5 | 5 | 5 | |
| | % | 60.0% | 50.0% | 60.0% | 50.0% | 50.0% | 50.0% | |
| 全体 | 人 | 539 | 233 | 383 | 378 | 109 | 270 | |
| | % | 68.0% | 29.4% | 48.3% | 47.7% | 13.7% | 34.0% | |
| 問1 性別 | | 7. 経済的理由で自己実現できない | 8. 児童買春等の対象になる | 9. 性的行為などを子どもに見せる | 10. その他 | 11. 特にない | 12. わからない | 対象者 |
| 男性 | 人 | 118 | 43 | 32 | 4 | 19 | 23 | 354 |
| | % | 33.3% | 12.1% | 9.0% | 1.1% | 5.4% | 6.5% | |
| 女性 | 人 | 143 | 79 | 52 | 6 | 26 | 43 | 429 |
| | % | 33.3% | 18.4% | 12.1% | 1.4% | 6.1% | 10.0% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 5 | 5 | 3 | 0 | 2 | 0 | 10 |
| | % | 50.0% | 50.0% | 30.0% | 0.0% | 20.0% | 0.0% | |
| 全体 | 人 | 266 | 127 | 87 | 10 | 47 | 66 | 793 |
| | % | 33.5% | 16.0% | 11.0% | 1.3% | 5.9% | 8.3% | |

全ての年代で「いじめを受ける」が最大の課題と認識

年代別にみると、各年代とも「いじめ」が子どもの人権問題での課題に挙げています。

| 問 21 子どもに関することで、どのような人権問題があると思いますか。 | | | | | | | | |
|-------------------------------------|---|-------------------|----------------|-------------------|-------------------|--------------------------|------------------|-----|
| 問 2 年齢 | | 1. いじめを受ける | 2. 体罰を受ける | 3. 虐待を受ける | 4. いじめ等を見て見ぬふりをする | 5. 進学先や就職先などで子どもの希望を無視する | 6. 学力評価が優先になっている | |
| 18～29 歳 | 人 | 31 | 22 | 28 | 26 | 11 | 13 | |
| | % | 86.1% | 61.1% | 77.8% | 72.2% | 30.6% | 36.1% | |
| 30～39 歳 | 人 | 33 | 20 | 29 | 26 | 10 | 17 | |
| | % | 80.5% | 48.8% | 70.7% | 63.4% | 24.4% | 41.5% | |
| 40～49 歳 | 人 | 64 | 29 | 51 | 41 | 19 | 30 | |
| | % | 81.0% | 36.7% | 64.6% | 51.9% | 24.1% | 38.0% | |
| 50～59 歳 | 人 | 73 | 33 | 62 | 59 | 22 | 46 | |
| | % | 78.5% | 35.5% | 66.7% | 63.4% | 23.7% | 49.5% | |
| 60～69 歳 | 人 | 143 | 57 | 98 | 101 | 16 | 72 | |
| | % | 77.3% | 30.8% | 53.0% | 54.6% | 8.6% | 38.9% | |
| 70～79 歳 | 人 | 113 | 41 | 76 | 83 | 20 | 61 | |
| | % | 60.8% | 22.0% | 40.9% | 44.6% | 10.8% | 32.8% | |
| 80 歳以上 | 人 | 82 | 31 | 39 | 42 | 11 | 31 | |
| | % | 47.4% | 17.9% | 22.5% | 24.3% | 6.4% | 17.9% | |
| 全体 | 人 | 539 | 233 | 383 | 378 | 109 | 270 | |
| | % | 68.0% | 29.4% | 48.3% | 47.7% | 13.7% | 34.0% | |
| 問 2 年齢 | | 7. 経済的理由で自己実現できない | 8. 児童買春等の対象になる | 9. 性的行為などを子どもに見せる | 10. その他 | 11. 特にない | 12. わからない | 対象者 |
| 18～29 歳 | 人 | 18 | 10 | 3 | 0 | 0 | 2 | 36 |
| | % | 50.0% | 27.8% | 8.3% | 0.0% | 0.0% | 5.6% | |
| 30～39 歳 | 人 | 22 | 15 | 12 | 1 | 0 | 1 | 41 |
| | % | 53.7% | 36.6% | 29.3% | 2.4% | 0.0% | 2.4% | |
| 40～49 歳 | 人 | 31 | 18 | 9 | 2 | 1 | 5 | 79 |
| | % | 39.2% | 22.8% | 11.4% | 2.5% | 1.3% | 6.3% | |
| 50～59 歳 | 人 | 51 | 26 | 20 | 2 | 1 | 6 | 93 |
| | % | 54.8% | 28.0% | 21.5% | 2.2% | 1.1% | 6.5% | |
| 60～69 歳 | 人 | 66 | 26 | 21 | 1 | 9 | 4 | 185 |
| | % | 35.7% | 14.1% | 11.4% | 0.5% | 4.9% | 2.2% | |
| 70～79 歳 | 人 | 47 | 19 | 13 | 3 | 15 | 19 | 186 |
| | % | 25.3% | 10.2% | 7.0% | 1.6% | 8.1% | 10.2% | |
| 80 歳以上 | 人 | 31 | 13 | 9 | 1 | 21 | 29 | 173 |
| | % | 17.9% | 7.5% | 5.2% | 0.6% | 12.1% | 16.8% | |
| 全体 | 人 | 266 | 127 | 87 | 10 | 47 | 66 | 793 |
| | % | 33.5% | 16.0% | 11.0% | 1.3% | 5.9% | 8.3% | |

VI 障がい者の人権

（1）障がい者の人権は保障されているか

①法律や制度の上で

保障されていると思う人は7割（県は7割弱）

障がい者の人権が法律や制度の上で保障されている（1. 保障されている＋2. どちらかといえば保障されている）と思う人が69.6%、保障されていない（3. どちらかといえば保障されていない＋4. 保障されていない）と思う人が10.8%で、大部分の人が保障されていると思っています。

②日常生活で

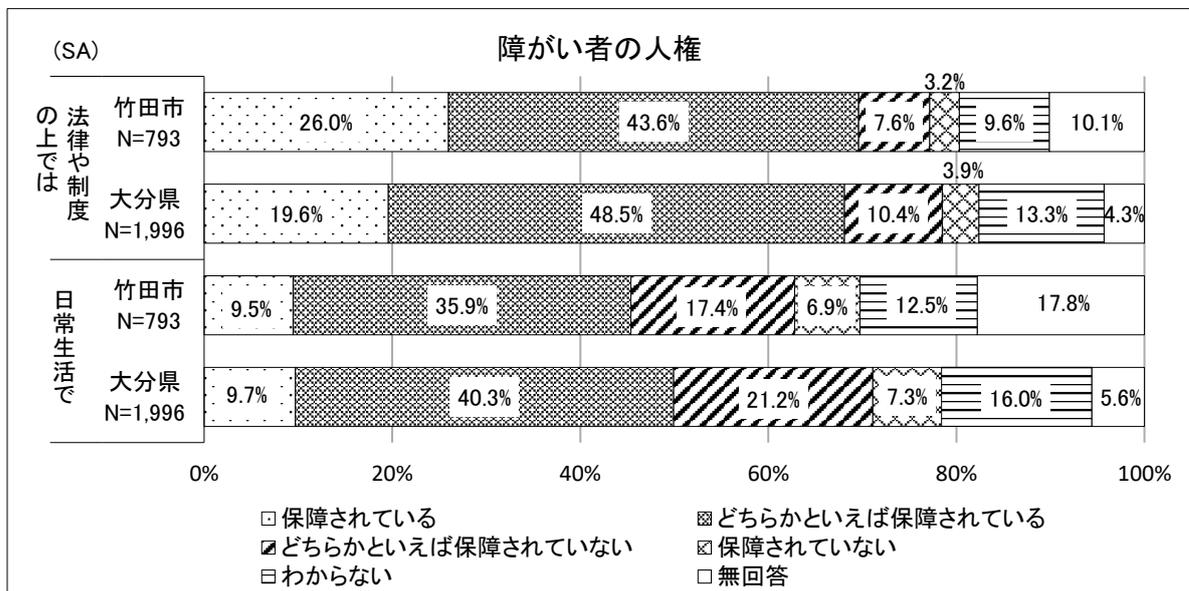
保障されていると思う人は4割強（県は5割）

障がい者の人権が日常生活で「保障されている（1. 保障されている＋2. どちらかといえば保障されている）」と思う人が45.4%、「保障されていない（3. どちらかといえば保障されていない＋4. 保障されていない）」と思う人が24.3%で、法律上に比べ日常生活では保障されていると思う人が減少しています。

大分県の調査でも、「法律や制度の上で保障されている」が68.1、「保障されていない」が14.3%に対し、「日常生活で保障されている」が50.0%、「保障されていない」が28.5%という状況です。

法整備は進んだけれども、現実がそれに追いついていない現状が表れています。

| | | 1. 保障されている | 2. どちらかといえば保障されている | 3. どちらかといえば保障されていない | 4. 保障されていない | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
|----------|---|------------|--------------------|---------------------|-------------|----------|-------|--------|
| 法律や制度の上で | 人 | 206 | 346 | 60 | 25 | 76 | 80 | 793 |
| | % | 26.0% | 43.6% | 7.6% | 3.2% | 9.6% | 10.1% | 100.0% |
| 日常生活で | 人 | 75 | 285 | 138 | 55 | 99 | 141 | 793 |
| | % | 9.5% | 35.9% | 17.4% | 6.9% | 12.5% | 17.8% | 100.0% |



男女別にみると、

①法律や制度の上で

保障されていると思う人は、男女ともに7割

障がい者の人権が法律や制度の上で保障されている（1. 保障されている＋2. どちらかといえば保障されている）と思う人が、男性70.9%、女性68.8%で差はありません。

②日常生活で

保障されていると思う人は、男性の方が多い

障がい者の人権が日常生活で「保障されている（1. 保障されている＋2. どちらかといえば保障されている）」と思う人が、男性48.6%、女性42.9%で5.7ポイントの差があります。

| 問1 性別 | | | 1. 保障されている | 2. どちらかといえば保障されている | 3. どちらかといえば保障されていない | 4. 保障されていない | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
|-----------|-----------------|-------|------------|--------------------|---------------------|-------------|----------|--------|--------|
| | | | 人 | % | 人 | % | 人 | | |
| ①法律や制度の上で | 男性 | 人 | 104 | 147 | 33 | 11 | 23 | 36 | 354 |
| | | % | 29.4% | 41.5% | 9.3% | 3.1% | 6.5% | 10.2% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 100 | 195 | 27 | 13 | 52 | 42 | 429 |
| | | % | 23.3% | 45.5% | 6.3% | 3.0% | 12.1% | 9.8% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 4 | 0 | 1 | 1 | 2 | 10 |
| | | % | 20.0% | 40.0% | 0.0% | 10.0% | 10.0% | 20.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 206 | 346 | 60 | 25 | 76 | 80 | 793 | |
| | % | 26.0% | 43.6% | 7.6% | 3.2% | 9.6% | 10.1% | 100.0% | |
| ②日常生活で | 男性 | 人 | 37 | 135 | 72 | 24 | 23 | 63 | 354 |
| | | % | 10.5% | 38.1% | 20.3% | 6.8% | 6.5% | 17.8% | 100.0% |
| | 女性 | 人 | 37 | 147 | 66 | 30 | 74 | 75 | 429 |
| | | % | 8.6% | 34.3% | 15.4% | 7.0% | 17.2% | 17.5% | 100.0% |
| | 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 3 | 0 | 1 | 2 | 3 | 10 |
| | | % | 10.0% | 30.0% | 0.0% | 10.0% | 20.0% | 30.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 75 | 285 | 138 | 55 | 99 | 141 | 793 | |
| | % | 9.5% | 35.9% | 17.4% | 6.9% | 12.5% | 17.8% | 100.0% | |

年代別にみると、

①法律や制度の上で

各年代とも「どちらかといえば保障されていると思う」が最多

各年代とも障がい者の人権が法律や制度の上では、「2. どちらかといえば保障されている」と思う人が最も多くなっています。70～79歳だけ「1. 保障されている」が最多となっています。

②日常生活で

すべての年代で、「どちらかといえば保障されていると思う」が最多

すべての年代で、障がい者の人権が日常生活では「2. どちらかといえば保障されている」と思う人最も多くなっていますが、法律や制度の上での割合よりも全体で7.7ポイント低くなっています。

| 問2 年齢 | | 問22 障がい者の人権は保障されていると思いますか。 | | | | | | | 総計 |
|---------------|---------|----------------------------|--------------------|---------------------|-------------|----------|-------|--------|--------|
| | | 1. 保障されている | 2. どちらかといえば保障されている | 3. どちらかといえば保障されていない | 4. 保障されていない | 5. わからない | 無回答 | | |
| ① 法律や制度の上で | 18～29 歳 | 人 | 6 | 19 | 2 | 2 | 4 | 3 | 36 |
| | | % | 16.7% | 52.8% | 5.6% | 5.6% | 11.1% | 8.3% | 100.0% |
| | 30～39 歳 | 人 | 10 | 14 | 7 | 5 | 4 | 1 | 41 |
| | | % | 24.4% | 34.1% | 17.1% | 12.2% | 9.8% | 2.4% | 100.0% |
| | 40～49 歳 | 人 | 20 | 48 | 6 | 2 | 2 | 1 | 79 |
| | | % | 25.3% | 60.8% | 7.6% | 2.5% | 2.5% | 1.3% | 100.0% |
| | 50～59 歳 | 人 | 26 | 43 | 8 | 2 | 10 | 4 | 93 |
| | | % | 28.0% | 46.2% | 8.6% | 2.2% | 10.8% | 4.3% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 34 | 95 | 19 | 6 | 19 | 12 | 185 | |
| | % | 18.4% | 51.4% | 10.3% | 3.2% | 10.3% | 6.5% | 100.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 59 | 24 | 12 | 4 | 15 | 22 | 186 | |
| | % | 31.7% | 12.9% | 6.5% | 2.2% | 8.1% | 11.8% | 100.0% | |
| 80 歳以上 | 人 | 51 | 53 | 6 | 4 | 22 | 37 | 173 | |
| | % | 29.5% | 30.6% | 3.5% | 2.3% | 12.7% | 21.4% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 206 | 346 | 60 | 25 | 76 | 80 | 793 | |
| | % | 26.0% | 43.6% | 7.6% | 3.2% | 9.6% | 10.1% | 100.0% | |
| ② 日常生活で | 18～29 歳 | 人 | 1 | 12 | 11 | 2 | 7 | 3 | 36 |
| | | % | 2.8% | 33.3% | 30.6% | 5.6% | 19.4% | 8.3% | 100.0% |
| | 30～39 歳 | 人 | 1 | 14 | 9 | 10 | 6 | 1 | 41 |
| | | % | 2.4% | 34.1% | 22.0% | 24.4% | 14.6% | 2.4% | 100.0% |
| | 40～49 歳 | 人 | 12 | 33 | 20 | 7 | 6 | 1 | 79 |
| | | % | 15.2% | 41.8% | 25.3% | 8.9% | 7.6% | 1.3% | 100.0% |
| | 50～59 歳 | 人 | 10 | 32 | 25 | 8 | 13 | 5 | 93 |
| | | % | 10.8% | 34.4% | 26.9% | 8.6% | 14.0% | 5.4% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 14 | 78 | 41 | 15 | 22 | 15 | 185 | |
| | % | 7.6% | 42.2% | 22.2% | 8.1% | 11.9% | 8.1% | 100.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 24 | 64 | 21 | 8 | 18 | 51 | 186 | |
| | % | 12.9% | 34.4% | 11.3% | 4.3% | 9.7% | 27.4% | 100.0% | |
| 80 歳以上 | 人 | 13 | 52 | 11 | 5 | 27 | 65 | 173 | |
| | % | 7.5% | 30.1% | 6.4% | 2.9% | 15.6% | 37.6% | 100.0% | |
| 全体 | 人 | 75 | 285 | 138 | 55 | 99 | 141 | 793 | |
| | % | 9.5% | 35.9% | 17.4% | 6.9% | 12.5% | 17.8% | 100.0% | |

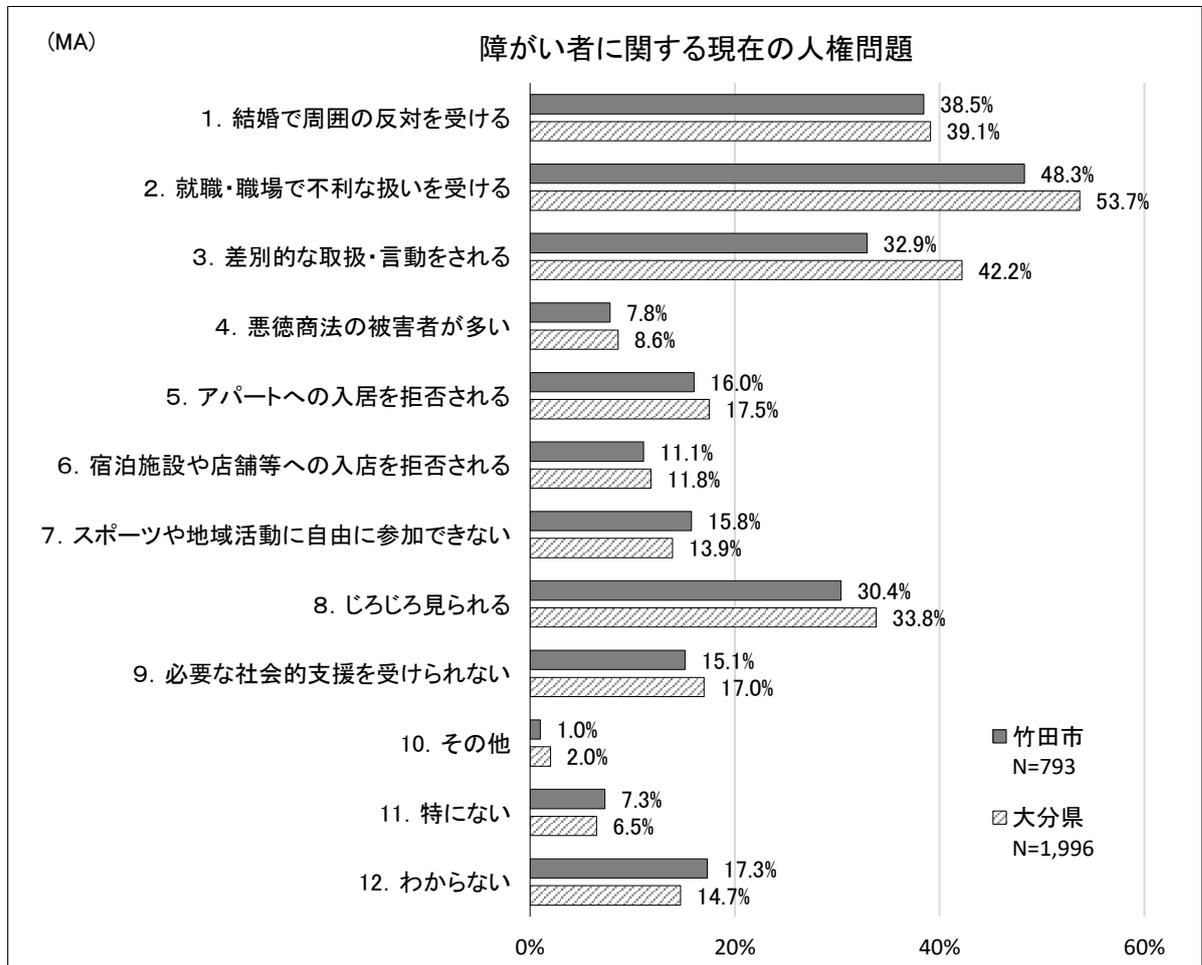
(2) 現在ある障がい者に関する人権問題

「就職・職場で不利な扱いをされる」が最大の問題

障がい者に関する人権問題では、「2. 就職・職場で不利な扱いをされること」が48.3%で最も問題と考えられています。次いで「1. 結婚で周囲の反対を受ける」が38.5%、「3. 差別的な取扱・言動をされる」が32.9%で続いています。

県の調査でも、トップは同じく「2. 就職・職場で不利な扱いをされること」で53.7%。二番目が「3. 差別的な取扱・言動をされる」で42.2%、三番目が「1. 結婚で周囲の反対を受ける」が39.1%となっています。

| | | | | | | | |
|---|------------------------|--------------------|--------------------|----------------|-------------------|-----------------------|-----|
| | 1. 結婚で周囲の反対を受ける | 2. 就職・職場で不利な扱いを受ける | 3. 差別的な取扱・言動をされる | 4. 悪徳商法の被害者が多い | 5. アパートへの入居を拒否される | 6. 宿泊施設や店舗等への入店を拒否される | |
| 人 | 305 | 383 | 261 | 62 | 127 | 88 | |
| % | 38.5% | 48.3% | 32.9% | 7.8% | 16.0% | 11.1% | |
| | 7. スポーツや地域活動に自由に参加できない | 8. じろじろ見られる | 9. 必要な社会的支援を受けられない | 10. その他 | 11. 特にない | 12. わからない | 対象者 |
| 人 | 125 | 241 | 120 | 8 | 58 | 137 | 793 |
| % | 15.8% | 30.4% | 15.1% | 1.0% | 7.3% | 17.3% | |



「就職・職場で不利な扱いをされる」は、男性の方が多い

障がい者に関する人権問題では、「2. 就職・職場で不利な扱いをされること」が48.3%で最も問題と考えられています。特に男性が50.6%、女性が46.6%で、男性の方が不利な扱いをされることが多いという状況です。

| | | 問 23 障がい者に関して、現在、どのような人権問題がありますか。 | | | | | | |
|-----------------|---|-----------------------------------|--------------------|--------------------|----------------|-------------------|-----------------------|-----|
| 問1 性別 | | 1. 結婚で周囲の反対を受ける | 2. 就職・職場で不利な扱いを受ける | 3. 差別的な取扱・言動をされる | 4. 悪徳商法の被害者が多い | 5. アパートへの入居を拒否される | 6. 宿泊施設や店舗等への入店を拒否される | |
| 男性 | 人 | 136 | 179 | 114 | 30 | 46 | 37 | |
| | % | 38.4% | 50.6% | 32.2% | 8.5% | 13.0% | 10.5% | |
| 女性 | 人 | 163 | 200 | 143 | 31 | 78 | 50 | |
| | % | 38.0% | 46.6% | 33.3% | 7.2% | 18.2% | 11.7% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 6 | 4 | 4 | 1 | 3 | 1 | |
| | % | 60.0% | 40.0% | 40.0% | 10.0% | 30.0% | 10.0% | |
| 全体 | 人 | 305 | 383 | 261 | 62 | 127 | 88 | |
| | % | 38.5% | 48.3% | 32.9% | 7.8% | 16.0% | 11.1% | |
| 問1 性別 | | 7. スポーツや地域活動に自由に参加できない | 8. じろじろ見られる | 9. 必要な社会的支援を受けられない | 10. その他 | 11. 特にない | 12. わからない | 対象者 |
| 男性 | 人 | 57 | 109 | 55 | 4 | 26 | 54 | 354 |
| | % | 16.1% | 30.8% | 15.5% | 1.1% | 7.3% | 15.3% | |
| 女性 | 人 | 66 | 129 | 62 | 3 | 31 | 81 | 429 |
| | % | 15.4% | 30.1% | 14.5% | 0.7% | 7.2% | 18.9% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1 | 2 | 10 |
| | % | 20.0% | 30.0% | 30.0% | 10.0% | 10.0% | 20.0% | |
| 全体 | 人 | 125 | 241 | 120 | 8 | 58 | 137 | 793 |
| | % | 15.8% | 30.4% | 15.1% | 1.0% | 7.3% | 17.3% | |

各年代とも、一番の問題は「就職・職場で不利な扱いをされる」と認識

年代別みると、障がい者に関する人権問題では、「2. 就職・職場で不利な扱いをされること」が各年代で最も問題と考えられています。80歳以上では「1. 結婚で周囲の反対を受ける」が「2. 就職・職場で不利な扱いをされること」をわずかに上回って最多になっています。

| | | 問 23 障がい者に関して、現在、どのような人権問題がありますか。 | | | | | | |
|---------|---|--|--------------------------------|--------------------------------|------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|-----|
| 問 2 年齢 | | 1. 結婚で 周囲の反 対を受け る | 2. 就職・ 職場で不 利な扱い を受ける | 3. 差別的 な取扱・言 動をされ る | 4. 悪徳商 法の被害 者が多い | 5. アパー トへの入 居を拒否 される | 6. 宿泊施 設や店舗 等への入 店を拒否 される | |
| 18～29 歳 | 人 | 15 | 24 | 18 | 2 | 3 | 9 | |
| | % | 41.7% | 66.7% | 50.0% | 5.6% | 8.3% | 25.0% | |
| 30～39 歳 | 人 | 23 | 29 | 25 | 6 | 11 | 10 | |
| | % | 56.1% | 70.7% | 61.0% | 14.6% | 26.8% | 24.4% | |
| 40～49 歳 | 人 | 38 | 47 | 35 | 9 | 15 | 10 | |
| | % | 48.1% | 59.5% | 44.3% | 11.4% | 19.0% | 12.7% | |
| 50～59 歳 | 人 | 42 | 57 | 37 | 8 | 23 | 22 | |
| | % | 45.2% | 61.3% | 39.8% | 8.6% | 24.7% | 23.7% | |
| 60～69 歳 | 人 | 82 | 106 | 64 | 13 | 31 | 17 | |
| | % | 44.3% | 57.3% | 34.6% | 7.0% | 16.8% | 9.2% | |
| 70～79 歳 | 人 | 64 | 82 | 49 | 11 | 32 | 15 | |
| | % | 34.4% | 44.1% | 26.3% | 5.9% | 17.2% | 8.1% | |
| 80 歳以上 | 人 | 41 | 38 | 33 | 13 | 12 | 5 | |
| | % | 23.7% | 22.0% | 19.1% | 7.5% | 6.9% | 2.9% | |
| 全体 | 人 | 305 | 383 | 261 | 62 | 127 | 88 | |
| | % | 38.5% | 48.3% | 32.9% | 7.8% | 16.0% | 11.1% | |
| 問 2 年齢 | | 7. スポー ツや地域 活動に自 由に参加 できない | 8. じろじ ろ見られ る | 9. 必要な 社会的支 援を受け られない | 10. その 他 | 11. 特 に ない | 12. わか らない | 対象者 |
| 18～29 歳 | 人 | 7 | 22 | 9 | 0 | 0 | 5 | 36 |
| | % | 19.4% | 61.1% | 25.0% | 0.0% | 0.0% | 13.9% | |
| 30～39 歳 | 人 | 12 | 22 | 11 | 0 | 1 | 4 | 41 |
| | % | 29.3% | 53.7% | 26.8% | 0.0% | 2.4% | 9.8% | |
| 40～49 歳 | 人 | 17 | 33 | 14 | 1 | 3 | 5 | 79 |
| | % | 21.5% | 41.8% | 17.7% | 1.3% | 3.8% | 6.3% | |
| 50～59 歳 | 人 | 19 | 39 | 21 | 0 | 4 | 10 | 93 |
| | % | 20.4% | 41.9% | 22.6% | 0.0% | 4.3% | 10.8% | |
| 60～69 歳 | 人 | 38 | 57 | 28 | 3 | 10 | 21 | 185 |
| | % | 20.5% | 30.8% | 15.1% | 1.6% | 5.4% | 11.4% | |
| 70～79 歳 | 人 | 21 | 41 | 23 | 4 | 19 | 40 | 186 |
| | % | 11.3% | 22.0% | 12.4% | 2.2% | 10.2% | 21.5% | |
| 80 歳以上 | 人 | 11 | 27 | 14 | 0 | 21 | 52 | 173 |
| | % | 6.4% | 15.6% | 8.1% | 0.0% | 12.1% | 30.1% | |
| 全体 | 人 | 125 | 241 | 120 | 8 | 58 | 137 | 793 |
| | % | 15.8% | 30.4% | 15.1% | 1.0% | 7.3% | 17.3% | |

（3）「障害者差別解消法」の認知度

【用語解説】障害者差別解消法

平成28年4月に施行されたこの法律では、役所や事業所は、「障がいのある人に対して、正当な理由なく障がいを理由に差別すること」（不当な差別的取扱）が禁止されるとともに、「障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応する（または対応に努める）こと」（合理的配慮の提供）が求められています。

「知っている」のは、わずか2割

「障害者差別解消法」を知っている（1. よく知っている＋2. 多少は知っている）のは、23.5%に過ぎず、知らない（3. あまり知らない＋4. 知らない）が70.9%に達しています。（県での調査はなし。）

| | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | 総計 |
|---|------------|-------------|------------|---------|------|--------|
| 人 | 26 | 161 | 268 | 294 | 44 | 793 |
| % | 3.3% | 20.3% | 33.8% | 37.1% | 5.5% | 100.0% |

「知っている」男女差なし

「障害者差別解消法」を知っている（1. よく知っている＋2. 多少は知っている）のは、男性25.7%、女性22.2%に過ぎず、男女による差はありません。

| | | 問24 障害者差別解消法を知っていますか。 | | | | | |
|-----------------|---|-----------------------|-------------|------------|---------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 18 | 73 | 118 | 126 | 19 | 354 |
| | % | 5.1% | 20.6% | 33.3% | 35.6% | 5.4% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 8 | 87 | 146 | 164 | 24 | 429 |
| | % | 1.9% | 20.3% | 34.0% | 38.2% | 5.6% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 1 | 4 | 4 | 1 | 10 |
| | % | 0.0% | 10.0% | 40.0% | 40.0% | 10.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 26 | 161 | 268 | 294 | 44 | 793 |
| | % | 3.3% | 20.3% | 33.8% | 37.1% | 5.5% | 100.0% |

各年代とも「知らない」「あまり知らない」が最多

年齢別にみると、18～59歳までは「障害者差別解消法」を「4. 知らない」が最も多く、60～79歳までは「3. あまり知らない」が最も多く、80歳以上は再び「4. 知らない」が最も多くなっています。

問 24 障害者差別解消法を知っていますか。

| 問 2 年齢 | | 問 24 障害者差別解消法を知っていますか。 | | | | | 総計 |
|---------|---|------------------------|-------------|------------|---------|-------|--------|
| | | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | |
| 18～29 歳 | 人 | 0 | 8 | 10 | 17 | 1 | 36 |
| | % | 0.0% | 22.2% | 27.8% | 47.2% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 3 | 9 | 9 | 20 | 0 | 41 |
| | % | 7.3% | 22.0% | 22.0% | 48.8% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 5 | 14 | 24 | 36 | 0 | 79 |
| | % | 6.3% | 17.7% | 30.4% | 45.6% | 0.0% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 4 | 21 | 30 | 35 | 3 | 93 |
| | % | 4.3% | 22.6% | 32.3% | 37.6% | 3.2% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 6 | 38 | 73 | 63 | 5 | 185 |
| | % | 3.2% | 20.5% | 39.5% | 34.1% | 2.7% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 4 | 41 | 70 | 60 | 11 | 186 |
| | % | 2.2% | 22.0% | 37.6% | 32.3% | 5.9% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 4 | 30 | 52 | 63 | 24 | 173 |
| | % | 2.3% | 17.3% | 30.1% | 36.4% | 13.9% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 26 | 161 | 268 | 294 | 44 | 793 |
| | % | 3.3% | 20.3% | 33.8% | 37.1% | 5.5% | 100.0% |

Ⅶ その他の人権

(1) 六曜の迷信について

「そういうもの」として日常生活に入り込んでいる

「結婚式は大安の日に行く」「友引の日の葬式は避ける」などの六曜の迷信は、「1. 当然だと思う」は9.3%しかありませんが、「2. 当然とは思わないが、そういうものだと思う」が53.0%あり、深く考えずに「そういうもの」として日常生活に入り込んでいる様子がみられます。（県での調査なし）

| | 1. 当然だと思う | 2. 当然とは思わないが、そういうものだと思う | 3. 迷信にとられるのは、間違っていると思う | 4. わからない | 無回答 | 総計 |
|---|-----------|-------------------------|------------------------|----------|------|--------|
| 人 | 74 | 420 | 201 | 60 | 38 | 793 |
| % | 9.3% | 53.0% | 25.3% | 7.6% | 4.8% | 100.0% |

女性の方に「そういうもの」として日常生活に入り込んでいる

六曜の迷信は、「1. 当然だと思う」と「2. 当然とは思わないが、そういうものだと思う」を合わせると、男性が57.9%、女性が66.2%となっており、女性の方の日常生活に入り込んでいる様子がみられます。

| | | 問 25 六曜について、どう思いますか。 | | | | | |
|-----------------|---|----------------------|-------------------------|------------------------|----------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 当然だと思う | 2. 当然とは思わないが、そういうものだと思う | 3. 迷信にとられるのは、間違っていると思う | 4. わからない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 29 | 176 | 106 | 26 | 17 | 354 |
| | % | 8.2% | 49.7% | 29.9% | 7.3% | 4.8% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 43 | 241 | 92 | 33 | 20 | 429 |
| | % | 10.0% | 56.2% | 21.4% | 7.7% | 4.7% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 3 | 3 | 1 | 1 | 10 |
| | % | 20.0% | 30.0% | 30.0% | 10.0% | 10.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 74 | 420 | 201 | 60 | 38 | 793 |
| | % | 9.3% | 53.0% | 25.3% | 7.6% | 4.8% | 100.0% |

各年代に「そういうもの」として日常生活に入り込んでいる

年代別にみると、六曜の迷信は、「2. 当然とは思わないが、そういうものだと思う」が各年代とも最も多く、日常生活に入り込んでいるといえます。

| | | 問 25 六曜について、どう思いますか。 | | | | | |
|---------|---|----------------------|---|--|--------------|-------|--------|
| 問 2 年齢 | | 1. 当然だと思 う | 2. 当然と は思わない が、そうい うものだと思 う | 3. 迷信にと られるの は、間違っ ていると思 う | 4. わからな い | 無回答 | 総計 |
| 18～29 歳 | 人 | 0 | 18 | 12 | 5 | 1 | 36 |
| | % | 0.0% | 50.0% | 33.3% | 13.9% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 3 | 19 | 15 | 4 | | 41 |
| | % | 7.3% | 46.3% | 36.6% | 9.8% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 5 | 40 | 28 | 6 | | 79 |
| | % | 6.3% | 50.6% | 35.4% | 7.6% | 0.0% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 3 | 57 | 23 | 7 | 3 | 93 |
| | % | 3.2% | 61.3% | 24.7% | 7.5% | 3.2% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 7 | 111 | 50 | 13 | 4 | 185 |
| | % | 3.8% | 60.0% | 27.0% | 7.0% | 2.2% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 21 | 98 | 46 | 13 | 8 | 186 |
| | % | 11.3% | 52.7% | 24.7% | 7.0% | 4.3% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 35 | 77 | 27 | 12 | 22 | 173 |
| | % | 20.2% | 44.5% | 15.6% | 6.9% | 12.7% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 74 | 420 | 201 | 60 | 38 | 793 |
| | % | 9.3% | 53.0% | 25.3% | 7.6% | 4.8% | 100.0% |

(2) 外国人の人権問題

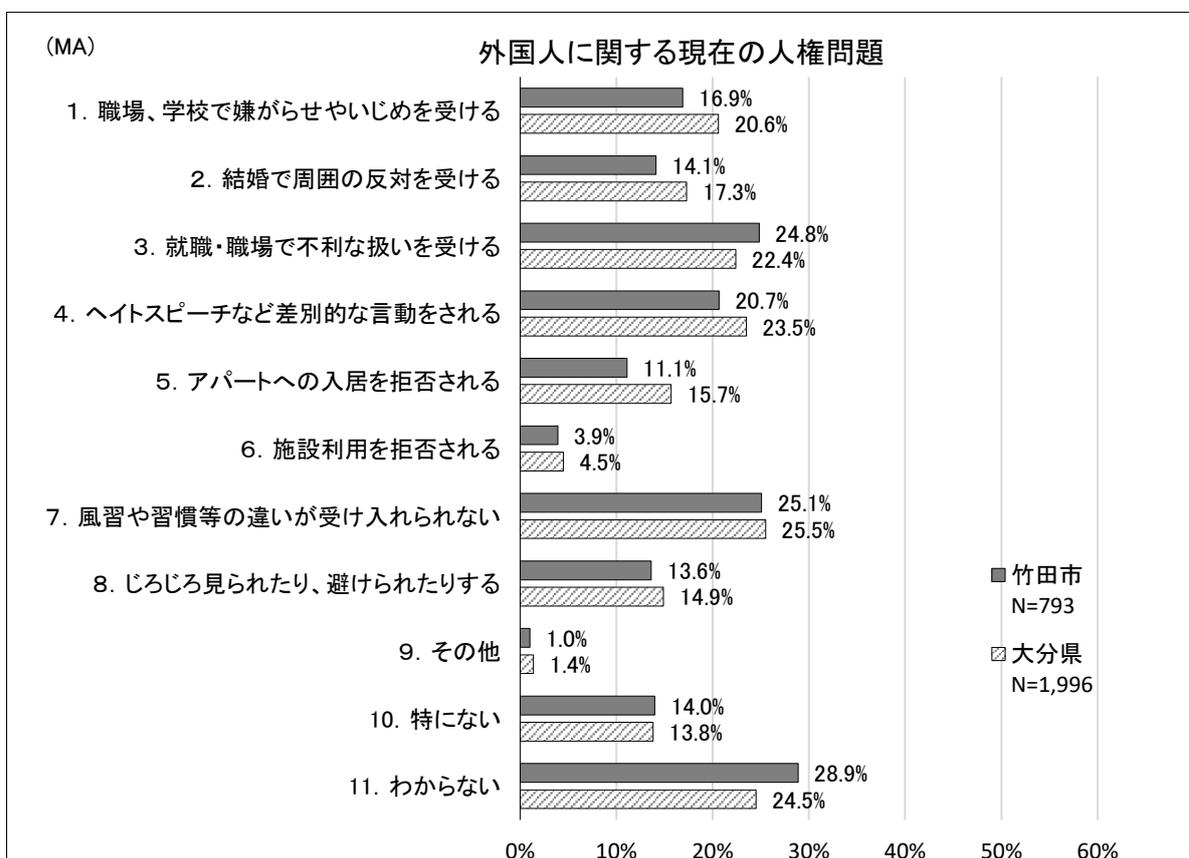
一番は「風習や習慣等の違い」への理解不足

「日本に居住している外国人に関する具体的な人権問題としては、「7. 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」が25.1%、「3. 就職・職場で不利な扱いを受けること」が24.8%、「4. 特定の民族に対するヘイトスピーチなど差別的な言動をされること」が20.7%で、多くなっています。

県の調査では、「7. 風習や習慣等への理解が足りない」が25.5%でトップ。次いで、「4. 特定の民族に対するヘイトスピーチなど差別的な言動をされること」が23.5%、「3. 就職・職場で不利な扱いを受けること」が22.4%で続いています。順番に違いは見られますが、項目としては同じであり、この3項目が課題といえます。

「11. わからない」が竹田市で28.9%、大分県で24.5%あり、多いのが特徴です。

| | | | | | | |
|---|-----------------------|-----------------------|--------------------|------------------------|-------------------|---------------|
| | 1. 職場、学校で嫌がらせやいじめを受ける | 2. 結婚で周囲の反対を受ける | 3. 就職・職場で不利な扱いを受ける | 4. ヘイトスピーチなど差別的な言動をされる | 5. アパートへの入居を拒否される | 6. 施設利用を拒否される |
| 人 | 134 | 112 | 197 | 164 | 88 | 31 |
| % | 16.9% | 14.1% | 24.8% | 20.7% | 11.1% | 3.9% |
| | 7. 風習や習慣等の違いが受け入れられない | 8. じろじろ見られたり、避けられたりする | 9. その他 | 10. 特にない | 11. わからない | 対象者 |
| 人 | 199 | 108 | 8 | 111 | 229 | 793 |
| % | 25.1% | 13.6% | 1.0% | 14.0% | 28.9% | |



女性に比べ男性の方が人権問題があると感じる人が多い

男女別にみると、日本に居住している外国人に関する具体的な人権問題として一番多い「7. 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」では、男性 27.1%、女性 23.1%となっています。二番目の「3. 就職・職場で不利な扱いを受けること」では、男性 27.7%、女性 22.1%となっています。他の項目も、ほとんど男性の方が女性よりも多いという結果になっています。

| | | 問 26 日本に居住している外国人に関して現在ある人権問題は。 | | | | | |
|-----------------|---|---------------------------------|-----------------------|--------------------|------------------------|-------------------|---------------|
| 問1 性別 | | 1. 職場、学校で嫌がらせやいじめを受ける | 2. 結婚で周囲の反対を受ける | 3. 就職・職場で不利な扱いを受ける | 4. ヘイトスピーチなど差別的な言動をされる | 5. アパートへの入居を拒否される | 6. 施設利用を拒否される |
| 男性 | 人 | 58 | 61 | 98 | 76 | 32 | 16 |
| | % | 16.4% | 17.2% | 27.7% | 21.5% | 9.0% | 4.5% |
| 女性 | 人 | 72 | 49 | 95 | 84 | 55 | 14 |
| | % | 16.8% | 11.4% | 22.1% | 19.6% | 12.8% | 3.3% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 2 | 4 | 4 | 1 | 1 |
| | % | 40.0% | 20.0% | 40.0% | 40.0% | 10.0% | 10.0% |
| 全体 | 人 | 134 | 112 | 197 | 164 | 88 | 31 |
| | % | 16.9% | 14.1% | 24.8% | 20.7% | 11.1% | 3.9% |
| 問1 性別 | | 7. 風習や習慣等の違いが受け入れられない | 8. じろじろ見られたり、避けられたりする | 9. その他 | 10. 特にな | 11. わからない | 対象者 |
| 男性 | 人 | 96 | 63 | 5 | 45 | 96 | 354 |
| | % | 27.1% | 17.8% | 1.4% | 12.7% | 27.1% | |
| 女性 | 人 | 99 | 42 | 3 | 65 | 132 | 429 |
| | % | 23.1% | 9.8% | 0.7% | 15.2% | 30.8% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 3 | 0 | 1 | 1 | 10 |
| | % | 40.0% | 30.0% | 0.0% | 10.0% | 10.0% | |
| 全体 | 人 | 199 | 108 | 8 | 111 | 229 | 793 |
| | % | 25.1% | 13.6% | 1.0% | 14.0% | 28.9% | |

大部分の年代で「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」が一番の課題

日本に居住している外国人に関する具体的な人権問題で一番問題だと思うものを年代別にみると、18～29歳は「7. 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」、30～39歳は「4. ヘイトスピーチなど差別的な言動をされる」、40～69歳は「7. 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」、70～79歳は「3. 就職・職場で不利な扱いを受ける」、80歳以上は「10. 特にな」となっています。



| | | 問 26 日本に居住している外国人に関して現在ある人権問題は。 | | | | | |
|---------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|--|-------------------------------|-----------------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 職場、 学校で嫌 がらせや いじめを 受ける | 2. 結婚で 周囲の反 対を受け る | 3. 就職・ 職場で不 利な扱い を受ける | 4. ヘイト スピーチ など差別 的な言動 をされる | 5. アパー トへの入 居を拒否 される | 6. 施設利 用を拒否 される |
| 18～29 歳 | 人 | 13 | 5 | 13 | 17 | 4 | 1 |
| | % | 36.1% | 13.9% | 36.1% | 47.2% | 11.1% | 2.8% |
| 30～39 歳 | 人 | 12 | 11 | 16 | 17 | 6 | 4 |
| | % | 29.3% | 26.8% | 39.0% | 41.5% | 14.6% | 9.8% |
| 40～49 歳 | 人 | 18 | 13 | 27 | 27 | 13 | 5 |
| | % | 22.8% | 16.5% | 34.2% | 34.2% | 16.5% | 6.3% |
| 50～59 歳 | 人 | 23 | 16 | 30 | 32 | 18 | 4 |
| | % | 24.7% | 17.2% | 32.3% | 34.4% | 19.4% | 4.3% |
| 60～69 歳 | 人 | 27 | 27 | 47 | 34 | 16 | 7 |
| | % | 14.6% | 14.6% | 25.4% | 18.4% | 8.6% | 3.8% |
| 70～79 歳 | 人 | 26 | 22 | 42 | 26 | 20 | 7 |
| | % | 14.0% | 11.8% | 22.6% | 14.0% | 10.8% | 3.8% |
| 80 歳以上 | 人 | 15 | 18 | 22 | 11 | 11 | 3 |
| | % | 8.7% | 10.4% | 12.7% | 6.4% | 6.4% | 1.7% |
| 全体 | 人 | 134 | 112 | 197 | 164 | 88 | 31 |
| | % | 16.9% | 14.1% | 24.8% | 20.7% | 11.1% | 3.9% |
| 問 2 年齢 | | 7. 風習や 習慣等の 違いが受 け入れら れない | 8. じろじ ろ見られ たり、避け られたり する | 9. その他 | 10. 特に ない | 11. わか らない | 対象者 |
| 18～29 歳 | 人 | 20 | 11 | 0 | 2 | 6 | 36 |
| | % | 55.6% | 30.6% | 0.0% | 5.6% | 16.7% | |
| 30～39 歳 | 人 | 12 | 12 | 0 | 0 | 11 | 41 |
| | % | 29.3% | 29.3% | 0.0% | 0.0% | 26.8% | |
| 40～49 歳 | 人 | 32 | 11 | 1 | 6 | 14 | 79 |
| | % | 40.5% | 13.9% | 1.3% | 7.6% | 17.7% | |
| 50～59 歳 | 人 | 39 | 13 | 1 | 8 | 20 | 93 |
| | % | 41.9% | 14.0% | 1.1% | 8.6% | 21.5% | |
| 60～69 歳 | 人 | 46 | 23 | 2 | 32 | 50 | 185 |
| | % | 24.9% | 12.4% | 1.1% | 17.3% | 27.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 35 | 26 | 1 | 29 | 62 | 186 |
| | % | 18.8% | 14.0% | 0.5% | 15.6% | 33.3% | |
| 80 歳以上 | 人 | 15 | 12 | 3 | 34 | 66 | 173 |
| | % | 8.7% | 6.9% | 1.7% | 19.7% | 38.2% | |
| 全体 | 人 | 199 | 108 | 8 | 111 | 229 | 793 |
| | % | 25.1% | 13.6% | 1.0% | 14.0% | 28.9% | |

(3) 「ヘイトスピーチ解消法」の認知度

【◆用語解説ーヘイトスピーチ解消法】

日本に居住している外国出身者やその子孫に対する差別意識を助長・誘発し、地域社会から排除することを扇動するようなヘイトスピーチ（増悪表現）の解消に取り組むことを目的として、平成28年6月施行されました。

2割にも満たない認知度

「ヘイトスピーチ解消法」を知っているのは、「1. よく知っている」に「2. 多少は知っている」を含めても、わずか16.8%しかありません。（県での調査なし）

| | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | 総計 |
|---|------------|-------------|------------|---------|------|--------|
| 人 | 18 | 115 | 257 | 356 | 47 | 793 |
| % | 2.3% | 14.5% | 32.4% | 44.9% | 5.9% | 100.0% |

女性の方が低い認知度

「ヘイトスピーチ解消法」を知っている（「1. よく知っている」＋「2. 多少は知っている」）は男性19.8%・女性13.8%で、女性の方が認知度が低いという結果です。

| | | 問27 「ヘイトスピーチ解消法」を知っていますか。 | | | | | |
|-----------------|---|---------------------------|-------------|------------|---------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 12 | 58 | 113 | 150 | 21 | 354 |
| | % | 3.4% | 16.4% | 31.9% | 42.4% | 5.9% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 6 | 53 | 144 | 201 | 25 | 429 |
| | % | 1.4% | 12.4% | 33.6% | 46.9% | 5.8% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 4 | 0 | 5 | 1 | 10 |
| | % | 0.0% | 40.0% | 0.0% | 50.0% | 10.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 18 | 115 | 257 | 356 | 47 | 793 |
| | % | 2.3% | 14.5% | 32.4% | 44.9% | 5.9% | 100.0% |

年代別認知度は、わずか8.7%から23.7%

「ヘイトスピーチ解消法」の認知度（「1. よく知っている」＋「2. 多少は知っている」）を年代別にみると、18～29歳は19.4%、30～39歳は21.9%、40～49歳は19.0%、50～59歳は23.7%、60～69歳は15.7%、70～79歳は19.4%、80歳以上は8.7%となっています。



| 問2 年齢 | | 問 27 「ヘイトスピーチ解消法」を知っていますか。 | | | | | 総計 |
|---------|---|----------------------------|-------------|------------|---------|-------|--------|
| | | 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない | 無回答 | |
| 18～29 歳 | 人 | 0 | 7 | 10 | 18 | 1 | 36 |
| | % | 0.0% | 19.4% | 27.8% | 50.0% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 3 | 6 | 15 | 17 | 0 | 41 |
| | % | 7.3% | 14.6% | 36.6% | 41.5% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 3 | 12 | 20 | 44 | 0 | 79 |
| | % | 3.8% | 15.2% | 25.3% | 55.7% | 0.0% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 4 | 18 | 34 | 34 | 3 | 93 |
| | % | 4.3% | 19.4% | 36.6% | 36.6% | 3.2% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 2 | 27 | 67 | 84 | 5 | 185 |
| | % | 1.1% | 14.6% | 36.2% | 45.4% | 2.7% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 4 | 32 | 64 | 75 | 11 | 186 |
| | % | 2.2% | 17.2% | 34.4% | 40.3% | 5.9% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 2 | 13 | 47 | 84 | 27 | 173 |
| | % | 1.2% | 7.5% | 27.2% | 48.6% | 15.6% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 18 | 115 | 257 | 356 | 47 | 793 |
| | % | 2.3% | 14.5% | 32.4% | 44.9% | 5.9% | 100.0% |

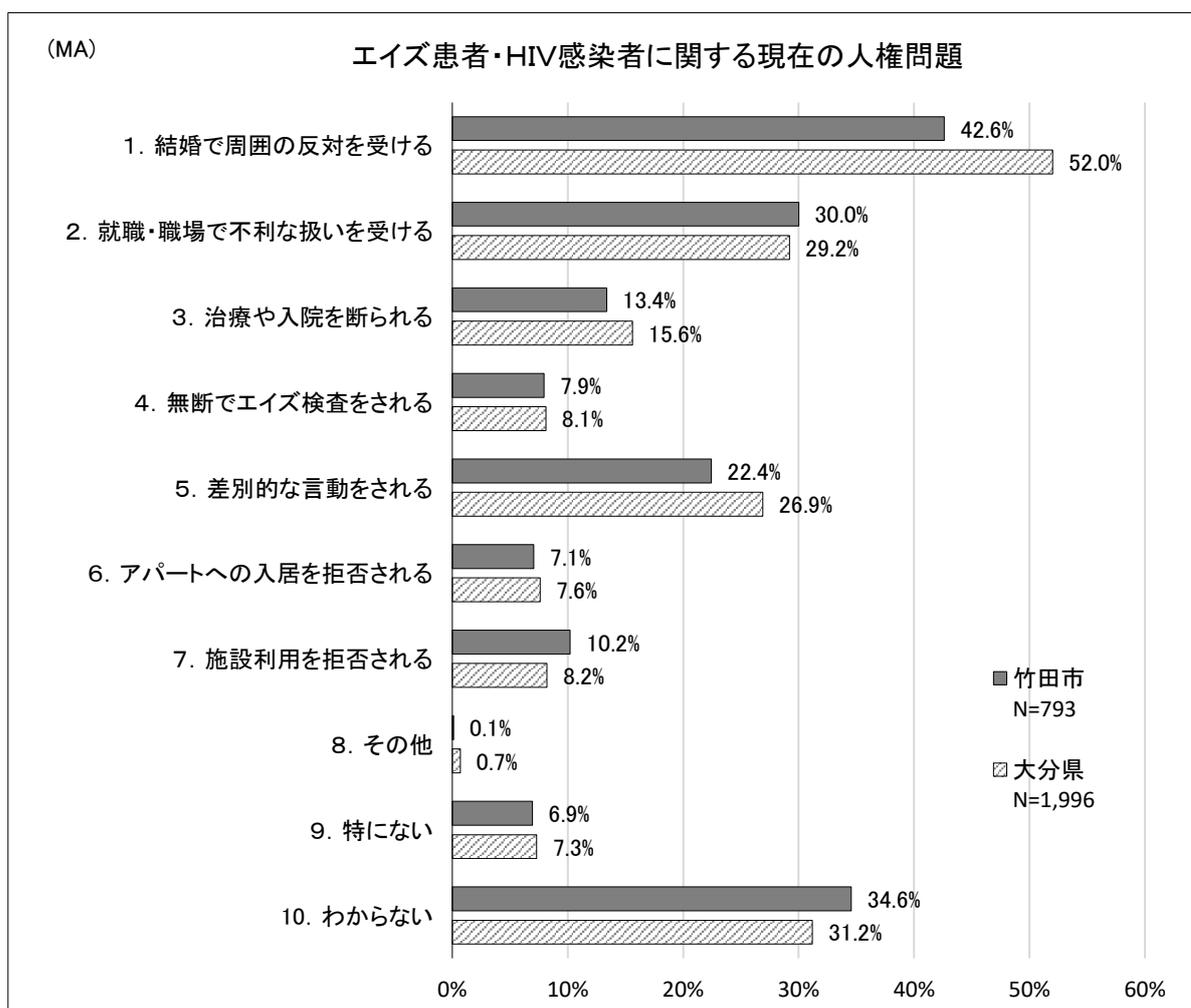
(4) エイズ患者・HIV感染者等の人権問題

一番は「結婚問題で周囲の反対を受けること」

エイズ患者・HIV感染者等の人権問題では、「1. 結婚問題で周囲の反対を受けること」が42.6%で、最大の問題といえます。次いで「2. 就職・職場で不利な扱いを受けること」が30.0%、「5. 差別的な言動をされること」が22.4%となっています。大分県の調査でも、同様の結果です。

また、「10. わからない」が竹田市で34.5%、大分県で31.2%もあることから、エイズ・HIV感染に関する知識不足・関心の低さも伺えます。

| | 1. 結婚で周囲の反対を受ける | 2. 就職・職場で不利な扱いを受ける | 3. 治療や入院を断られる | 4. 無断でエイズ検査をされる | 5. 差別的な言動をされる | 6. アパートへの入居を拒否される |
|---|-----------------|--------------------|---------------|-----------------|---------------|-------------------|
| 人 | 338 | 238 | 106 | 63 | 178 | 56 |
| % | 42.6% | 30.0% | 13.4% | 7.9% | 22.4% | 7.1% |
| | 7. 施設利用を拒否される | 8. その他 | 9. 特にない | 10. わからない | 対象者 | |
| 人 | 81 | 1 | 55 | 274 | 793 | |
| % | 10.2% | 0.1% | 6.9% | 34.6% | | |



男女間で差はなし

エイズ患者・HIV感染者等の人権問題の上位3項目である「1. 結婚問題で周囲の反対を受けること」、「2. 就職・職場で不利な扱いを受けること」、「5. 差別的な言動をされること」において、男女差はみられません。

| | | 問 28 エイズ患者・HIV感染者、その家族に関する現在の人権問題 | | | | | |
|-----------------|---|-----------------------------------|--------------------|---------------|-----------------|---------------|-------------------|
| 問1 性別 | | 1. 結婚で周囲の反対を受ける | 2. 就職・職場で不利な扱いを受ける | 3. 治療や入院を断られる | 4. 無断でエイズ検査をされる | 5. 差別的な言動をされる | 6. アパートへの入居を拒否される |
| 男性 | 人 | 152 | 113 | 48 | 33 | 86 | 22 |
| | % | 42.9% | 31.9% | 13.6% | 9.3% | 24.3% | 6.2% |
| 女性 | 人 | 181 | 122 | 56 | 28 | 89 | 32 |
| | % | 42.2% | 28.4% | 13.1% | 6.5% | 20.7% | 7.5% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 5 | 3 | 2 | 2 | 3 | 2 |
| | % | 50.0% | 30.0% | 20.0% | 20.0% | 30.0% | 20.0% |
| 全体 | 人 | 338 | 238 | 106 | 63 | 178 | 56 |
| | % | 42.6% | 30.0% | 13.4% | 7.9% | 22.4% | 7.1% |
| 問1 性別 | | 7. 施設利用を拒否される | 8. その他 | 9. 特にない | 10. わからない | 対象者 | |
| 男性 | 人 | 39 | 1 | 24 | 114 | 354 | |
| | % | 11.0% | 0.3% | 6.8% | 32.2% | | |
| 女性 | 人 | 41 | 0 | 30 | 158 | 429 | |
| | % | 9.6% | 0.0% | 7.0% | 36.8% | | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 1 | 0 | 1 | 2 | 10 | |
| | % | 10.0% | 0.0% | 10.0% | 20.0% | | |
| 全体 | 人 | 81 | 1 | 55 | 274 | 793 | |
| | % | 10.2% | 0.1% | 6.9% | 34.6% | | |

すべての年代で一番の問題は「結婚問題で周囲の反対を受けること」

エイズ患者・HIV感染者等の人権問題のうち年代別に一番問題と考えられている問題は、すべての年代で「1. 結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答しています。18～29歳は58.3%、30～39歳は61.0%、40～49歳は48.1%、50～59歳は54.8%、60～69歳は45.9%、70～79歳は39.8%、80歳以上は25.4%となっています。

| 問 28 エイズ患者・HIV感染者、その家族に関する現在の人権問題 | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|-------------------------|--------------------------------|-----------------------|-------------------------|-----------------------|---------------------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 結婚で 周囲の反対 を受ける | 2. 就職・職 場で不利な 扱いを受け る | 3. 治療や 入院を断ら れる | 4. 無断でエ イズ検査を される | 5. 差別的 な言動をさ れる | 6. アパート への入居を 拒否される |
| 18～29 歳 | 人 | 21 | 11 | 7 | 4 | 11 | 1 |
| | % | 58.3% | 30.6% | 19.4% | 11.1% | 30.6% | 2.8% |
| 30～39 歳 | 人 | 25 | 13 | 12 | 6 | 20 | 6 |
| | % | 61.0% | 31.7% | 29.3% | 14.6% | 48.8% | 14.6% |
| 40～49 歳 | 人 | 38 | 30 | 12 | 7 | 24 | 5 |
| | % | 48.1% | 38.0% | 15.2% | 8.9% | 30.4% | 6.3% |
| 50～59 歳 | 人 | 51 | 44 | 21 | 14 | 28 | 12 |
| | % | 54.8% | 47.3% | 22.6% | 15.1% | 30.1% | 12.9% |
| 60～69 歳 | 人 | 85 | 70 | 29 | 13 | 55 | 12 |
| | % | 45.9% | 37.8% | 15.7% | 7.0% | 29.7% | 6.5% |
| 70～79 歳 | 人 | 74 | 41 | 16 | 14 | 22 | 14 |
| | % | 39.8% | 22.0% | 8.6% | 7.5% | 11.8% | 7.5% |
| 80 歳以上 | 人 | 44 | 29 | 9 | 5 | 18 | 6 |
| | % | 25.4% | 16.8% | 5.2% | 2.9% | 10.4% | 3.5% |
| 全体 | 人 | 338 | 238 | 106 | 63 | 178 | 56 |
| | % | 42.6% | 30.0% | 13.4% | 7.9% | 22.4% | 7.1% |
| 問 2 年齢 | | 7. 施設利 用を拒否さ れる | 8. その他 | 9. 特にな い | 10. わから ない | 対象者 | |
| 18～29 歳 | 人 | 6 | 0 | 1 | 7 | 36 | |
| | % | 16.7% | 0.0% | 2.8% | 19.4% | | |
| 30～39 歳 | 人 | 9 | 0 | 1 | 12 | 41 | |
| | % | 22.0% | 0.0% | 2.4% | 29.3% | | |
| 40～49 歳 | 人 | 8 | 0 | 1 | 25 | 79 | |
| | % | 10.1% | 0.0% | 1.3% | 31.6% | | |
| 50～59 歳 | 人 | 17 | 1 | 8 | 20 | 93 | |
| | % | 18.3% | 1.1% | 8.6% | 21.5% | | |
| 60～69 歳 | 人 | 21 | 0 | 12 | 57 | 185 | |
| | % | 11.4% | 0.0% | 6.5% | 30.8% | | |
| 70～79 歳 | 人 | 14 | 0 | 18 | 76 | 186 | |
| | % | 7.5% | 0.0% | 9.7% | 40.9% | | |
| 80 歳以上 | 人 | 6 | 0 | 14 | 77 | 173 | |
| | % | 3.5% | 0.0% | 8.1% | 44.5% | | |
| 全体 | 人 | 81 | 1 | 55 | 274 | 793 | |
| | % | 10.2% | 0.1% | 6.9% | 34.6% | | |

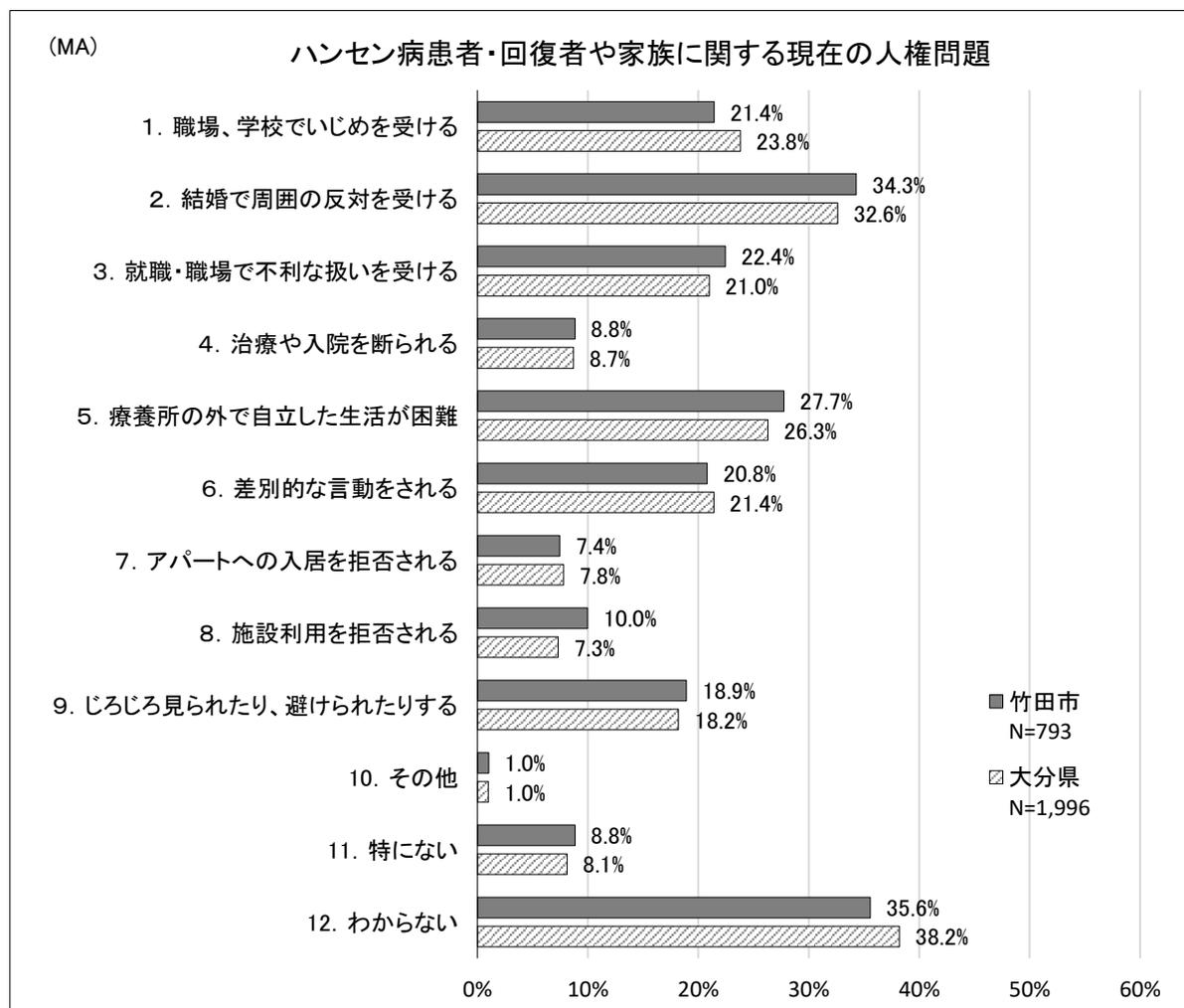
(5) ハンセン病患者・回復者やその家族に関する人権問題

一番は「結婚問題で周囲の反対を受けること」

ハンセン病患者・回復者やその家族に関する人権問題としては、エイズ患者・HIV感染者等の人と同様に、「2. 結婚問題で周囲の反対を受けること」が34.3%で最も多く、次いで「5. ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」が27.7%、「3. 就職・職場で不利な扱いを受けること」が22.4%となっています。

また、「12. わからない」が竹田市で35.6%、大分県で38.2%もあることから、ハンセン病への知識・理解不足が考えられます。

| | | | | | | | |
|---|-------------------|-----------------|-----------------------|---------------|--------------------|---------------|-----|
| | 1. 職場、学校でいじめを受ける | 2. 結婚で周囲の反対を受ける | 3. 就職・職場で不利な扱いを受ける | 4. 治療や入院を断られる | 5. 療養所の外で自立した生活が困難 | 6. 差別的な言動をされる | |
| 人 | 170 | 272 | 178 | 70 | 220 | 165 | |
| % | 21.4% | 34.3% | 22.4% | 8.8% | 27.7% | 20.8% | |
| | 7. アパートへの入居を拒否される | 8. 施設利用を拒否される | 9. じろじろ見られたり、避けられたりする | 10. その他 | 11. 特にない | 12. わからない | 対象者 |
| 人 | 59 | 79 | 150 | 8 | 70 | 282 | 793 |
| % | 7.4% | 10.0% | 18.9% | 1.0% | 8.8% | 35.6% | |



女性と男性の差はなし

ハンセン病患者・回復者やその家族に関する人権問題の一番は、「2. 結婚問題で周囲の反対を受けること」で、男性 33.1%、女性 35.2%、二番目の「5. ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」が男性 25.1%、女性 30.1%、となっています。

| | | 問 29 ハンセン病患者・回復者、その家族に関する 現在の人権問題 | | | | | | | |
|---------------------|---|--------------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|-----------------------|------------------------------------|-----------------------|-----|--|
| 問1 性別 | | 1. 職場、学校 でいじめ を受ける | 2. 結婚 で周囲 の反対を 受ける | 3. 就職・ 職場で 不利な 扱いを受 ける | 4. 治療 や入院を 断られる | 5. 療養 所の外 で自立し た生活 が困難 | 6. 差別的な言 動をされ る | | |
| 男性 | 人 | 72 | 117 | 86 | 27 | 89 | 75 | | |
| | % | 20.3% | 33.1% | 24.3% | 7.6% | 25.1% | 21.2% | | |
| 女性 | 人 | 94 | 151 | 89 | 40 | 129 | 87 | | |
| | % | 21.9% | 35.2% | 20.7% | 9.3% | 30.1% | 20.3% | | |
| 性別を答えること に抵抗を感じる | 人 | 4 | 4 | 3 | 3 | 2 | 3 | | |
| | % | 40.0% | 40.0% | 30.0% | 30.0% | 20.0% | 30.0% | | |
| 全体 | 人 | 170 | 272 | 178 | 70 | 220 | 165 | | |
| | % | 21.4% | 34.3% | 22.4% | 8.8% | 27.7% | 20.8% | | |
| 問1 性別 | | 7. アパ ートへの 入居を拒 否される | 8. 施設 利用を拒 否される | 9. じろじ ろ見られ たり、避 けられ たりする | 10. その 他 | 11. 特 に ない | 12. わか らない | 対象者 | |
| 男性 | 人 | 25 | 38 | 58 | 2 | 35 | 123 | 354 | |
| | % | 7.1% | 10.7% | 16.4% | 0.6% | 9.9% | 34.7% | | |
| 女性 | 人 | 33 | 38 | 89 | 6 | 34 | 156 | 429 | |
| | % | 7.7% | 8.9% | 20.7% | 1.4% | 7.9% | 36.4% | | |
| 性別を答えること に抵抗を感じる | 人 | 1 | 3 | 3 | 0 | 1 | 3 | 10 | |
| | % | 10.0% | 30.0% | 30.0% | 0.0% | 10.0% | 30.0% | | |
| 全体 | 人 | 59 | 79 | 150 | 8 | 70 | 282 | 793 | |
| | % | 7.4% | 10.0% | 18.9% | 1.0% | 8.8% | 35.6% | | |

すべての年代で一番の問題は「結婚問題で周囲の反対を受けること」

ハンセン病患者・回復者やその家族に関する人権問題の一番の問題を年代別にみると、すべての年代で「1. 結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答しています。18～29歳は41.7%、30～39歳は46.3%、40～49歳は39.2%、50～59歳は40.9%、60～69歳は37.3%、70～79歳は30.6%、80歳以上は24.9%となっています。

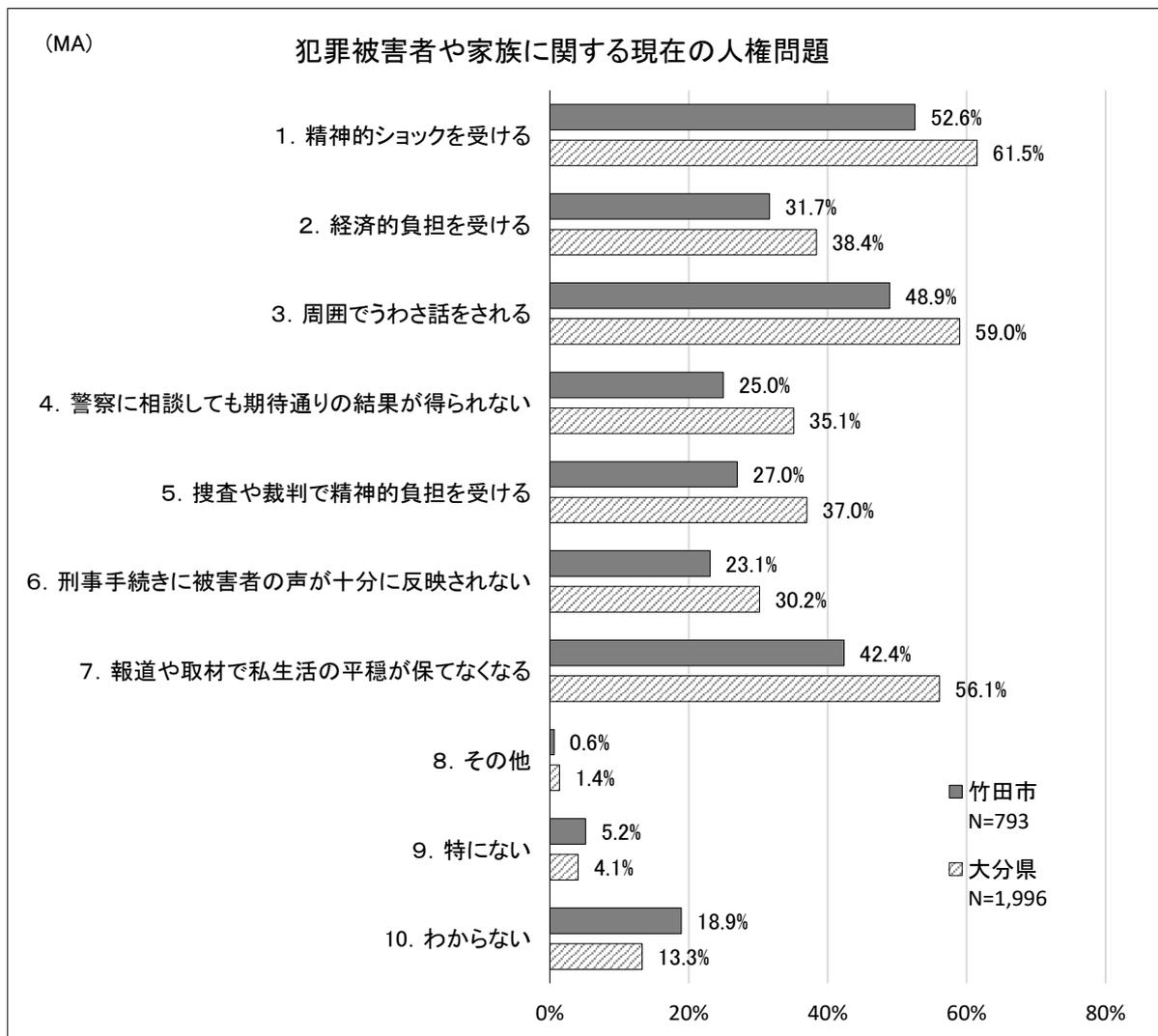
| | | 問 29 ハンセン病患者・回復者、その家族に関する現在の人権問題 | | | | | | |
|---------|---|----------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-----------------------|--------------------------------|-----------------------|-----|
| 問 2 年齢 | | 1. 職場、 学校でい じめを受 ける | 2. 結婚で 周囲の反 対を受け る | 3. 就職・ 職場で不 利な扱い を受ける | 4. 治療や 入院を断 られる | 5. 療養所 の外で自 立した生 活が困難 | 6. 差別的 な言動を される | |
| 18～29 歳 | 人 | 14 | 15 | 9 | 5 | 10 | 15 | |
| | % | 38.9% | 41.7% | 25.0% | 13.9% | 27.8% | 41.7% | |
| 30～39 歳 | 人 | 14 | 19 | 16 | 7 | 19 | 16 | |
| | % | 34.1% | 46.3% | 39.0% | 17.1% | 46.3% | 39.0% | |
| 40～49 歳 | 人 | 24 | 31 | 23 | 7 | 27 | 20 | |
| | % | 30.4% | 39.2% | 29.1% | 8.9% | 34.2% | 25.3% | |
| 50～59 歳 | 人 | 27 | 38 | 30 | 9 | 44 | 26 | |
| | % | 29.0% | 40.9% | 32.3% | 9.7% | 47.3% | 28.0% | |
| 60～69 歳 | 人 | 39 | 69 | 54 | 20 | 56 | 47 | |
| | % | 21.1% | 37.3% | 29.2% | 10.8% | 30.3% | 25.4% | |
| 70～79 歳 | 人 | 28 | 57 | 27 | 13 | 40 | 25 | |
| | % | 15.1% | 30.6% | 14.5% | 7.0% | 21.5% | 13.4% | |
| 80 歳以上 | 人 | 24 | 43 | 19 | 9 | 24 | 16 | |
| | % | 13.9% | 24.9% | 11.0% | 5.2% | 13.9% | 9.2% | |
| 全体 | 人 | 170 | 272 | 178 | 70 | 220 | 165 | |
| | % | 21.4% | 34.3% | 22.4% | 8.8% | 27.7% | 20.8% | |
| 問 2 年齢 | | 7. アパートへの入居を拒否される | 8. 施設利用を拒否される | 9. じろじろ見られたり、避けられたりする | 10. その他 | 11. 特にな | 12. わからない | 対象者 |
| 18～29 歳 | 人 | 3 | 4 | 9 | 0 | 1 | 11 | 36 |
| | % | 8.3% | 11.1% | 25.0% | 0.0% | 2.8% | 30.6% | |
| 30～39 歳 | 人 | 6 | 10 | 14 | 0 | 1 | 13 | 41 |
| | % | 14.6% | 24.4% | 34.1% | 0.0% | 2.4% | 31.7% | |
| 40～49 歳 | 人 | 6 | 8 | 17 | 1 | 1 | 29 | 79 |
| | % | 7.6% | 10.1% | 21.5% | 1.3% | 1.3% | 36.7% | |
| 50～59 歳 | 人 | 10 | 17 | 27 | 0 | 9 | 23 | 93 |
| | % | 10.8% | 18.3% | 29.0% | 0.0% | 9.7% | 24.7% | |
| 60～69 歳 | 人 | 15 | 20 | 41 | 2 | 16 | 58 | 185 |
| | % | 8.1% | 10.8% | 22.2% | 1.1% | 8.6% | 31.4% | |
| 70～79 歳 | 人 | 11 | 13 | 25 | 4 | 23 | 75 | 186 |
| | % | 5.9% | 7.0% | 13.4% | 2.2% | 12.4% | 40.3% | |
| 80 歳以上 | 人 | 8 | 7 | 17 | 1 | 19 | 73 | 173 |
| | % | 4.6% | 4.0% | 9.8% | 0.6% | 11.0% | 42.2% | |
| 全体 | 人 | 59 | 79 | 150 | 8 | 70 | 282 | 793 |
| | % | 7.4% | 10.0% | 18.9% | 1.0% | 8.8% | 35.6% | |

(6) 犯罪被害者やその家族等に関する人権問題

一番は「精神的なショックを受けること」

犯罪被害者やその家族等に関する人権問題としては、「1. 犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が52.6%で最も多く、次いで「3. 事件について周囲でうわさ話をされること」が48.9%、「7. 報道や取材で私生活の平穏が保てなくなる」42.4%となっています。

| | | | | | | |
|---|------------------------|--------------|----------------|--------------------------|--------------------|--------------------------|
| | 1. 精神的ショックを受ける | 2. 経済的負担を受ける | 3. 周囲でうわさ話をされる | 4. 警察に相談しても期待通りの結果が得られない | 5. 捜査や裁判で精神的負担を受ける | 6. 刑事手続きに被害者の声が十分に反映されない |
| 人 | 417 | 251 | 388 | 198 | 214 | 183 |
| % | 52.6% | 31.7% | 48.9% | 25.0% | 27.0% | 23.1% |
| | 7. 報道や取材で私生活の平穏が保てなくなる | 8. その他 | 9. 特にない | 10. わからない | 対象者 | |
| 人 | 336 | 5 | 41 | 150 | 793 | |
| % | 42.4% | 0.6% | 5.2% | 18.9% | | |



女性の方が男性より「犯罪被害者に関する人権問題がある」と感じる人が多い

犯罪被害者やその家族等に関する人権問題の上位3項目「1. 犯罪行為によって精神的なショックを受けること」、「3. 事件について周囲でうわさ話をされること」、「7. 報道や取材で私生活の平穏が保てなくなる」の全てで、女性の方が男性よりも影響を受けることが分かります。

| | | 問 30 犯罪被害者、その家族に関する現在の人権問題 | | | | | |
|---------------------|---|--|----------------------|------------------------|--|--------------------------------|--|
| 問1 性別 | | 1. 精神的 ショックを 受ける | 2. 経済的 負担を受 ける | 3. 周囲で うわさ話を される | 4. 警察に 相談しても 期待通り の結果が 得られな い | 5. 捜査や 裁判で精 神的負担 を受ける | 6. 刑事手 続きに被 害者の声 が十分に 反映され ない |
| 男性 | 人 | 175 | 104 | 163 | 82 | 85 | 80 |
| | % | 49.4% | 29.4% | 46.0% | 23.2% | 24.0% | 22.6% |
| 女性 | 人 | 237 | 142 | 219 | 114 | 128 | 102 |
| | % | 55.2% | 33.1% | 51.0% | 26.6% | 29.8% | 23.8% |
| 性別を答えること に抵抗を感じる | 人 | 5 | 5 | 6 | 2 | 1 | 1 |
| | % | 50.0% | 50.0% | 60.0% | 20.0% | 10.0% | 10.0% |
| 全体 | 人 | 417 | 251 | 388 | 198 | 214 | 183 |
| | % | 52.6% | 31.7% | 48.9% | 25.0% | 27.0% | 23.1% |
| 問1 性別 | | 7. 報道や 取材で私 生活の平 穏が保て なくなる | 8. その他 | 9. 特にな い | 10. わから ない | 対象者 | |
| 男性 | 人 | 135 | 3 | 25 | 60 | 354 | |
| | % | 38.1% | 0.8% | 7.1% | 16.9% | | |
| 女性 | 人 | 196 | 2 | 15 | 88 | 429 | |
| | % | 45.7% | 0.5% | 3.5% | 20.5% | | |
| 性別を答えること に抵抗を感じる | 人 | 5 | 0 | 1 | 2 | 10 | |
| | % | 50.0% | 0.0% | 10.0% | 20.0% | | |
| 全体 | 人 | 336 | 5 | 41 | 150 | 793 | |
| | % | 42.4% | 0.6% | 5.2% | 18.9% | | |

すべての年代で一番の問題は「精神的ショックを受けること」

犯罪被害者やその家族等に関する人権問題の一番の問題を年代別にみると、すべての年代で「1. 精神的ショックを受けること」と回答しています。18～29歳は66.7%、30～39歳は75.6%、40～49歳は60.8%、50～59歳は75.3%、60～69歳は55.7%、70～79歳は46.8%、80歳以上は31.2%となっています。18～29歳は、「3. 周囲でうわさ話をされる」も同率で問題と捉えています。



| | | 問 30 犯罪被害者、その家族に関する現在の人権問題 | | | | | |
|---------|---|--|------------------|------------------------|--|--------------------------------|--|
| 問 2 年齢 | | 1. 精神的 ショックを受ける | 2. 経済的 負担を受ける | 3. 周囲でう わさ話をさ れる | 4. 警察に 相談しても 期待通りの 結果が得ら れない | 5. 捜査や 裁判で精神 的負担を受 ける | 6. 刑事手 続きに被害 者の声が十 分に反映さ れない |
| 18～29 歳 | 人 | 24 | 14 | 24 | 17 | 15 | 9 |
| | % | 66.7% | 38.9% | 66.7% | 47.2% | 41.7% | 25.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 31 | 22 | 28 | 20 | 22 | 20 |
| | % | 75.6% | 53.7% | 68.3% | 48.8% | 53.7% | 48.8% |
| 40～49 歳 | 人 | 48 | 31 | 46 | 25 | 33 | 27 |
| | % | 60.8% | 39.2% | 58.2% | 31.6% | 41.8% | 34.2% |
| 50～59 歳 | 人 | 70 | 48 | 66 | 41 | 48 | 38 |
| | % | 75.3% | 51.6% | 71.0% | 44.1% | 51.6% | 40.9% |
| 60～69 歳 | 人 | 103 | 69 | 102 | 48 | 43 | 42 |
| | % | 55.7% | 37.3% | 55.1% | 25.9% | 23.2% | 22.7% |
| 70～79 歳 | 人 | 87 | 48 | 73 | 35 | 41 | 31 |
| | % | 46.8% | 25.8% | 39.2% | 18.8% | 22.0% | 16.7% |
| 80 歳以上 | 人 | 54 | 19 | 49 | 12 | 12 | 16 |
| | % | 31.2% | 11.0% | 28.3% | 6.9% | 6.9% | 9.2% |
| 全体 | 人 | 417 | 251 | 388 | 198 | 214 | 183 |
| | % | 52.6% | 31.7% | 48.9% | 25.0% | 27.0% | 23.1% |
| 問 2 年齢 | | 7. 報道や 取材で私生 活の平穏が 保てなくな る | 8. その他 | 9. 特にな い | 10. わから ない | 対象者 | |
| 18～29 歳 | 人 | 22 | 0 | 0 | 4 | 36 | |
| | % | 61.1% | 0.0% | 0.0% | 11.1% | | |
| 30～39 歳 | 人 | 30 | 0 | 0 | 4 | 41 | |
| | % | 73.2% | 0.0% | 0.0% | 9.8% | | |
| 40～49 歳 | 人 | 45 | 0 | 2 | 11 | 79 | |
| | % | 57.0% | 0.0% | 2.5% | 13.9% | | |
| 50～59 歳 | 人 | 63 | 2 | 3 | 5 | 93 | |
| | % | 67.7% | 2.2% | 3.2% | 5.4% | | |
| 60～69 歳 | 人 | 75 | 0 | 9 | 27 | 185 | |
| | % | 40.5% | 0.0% | 4.9% | 14.6% | | |
| 70～79 歳 | 人 | 72 | 2 | 12 | 38 | 186 | |
| | % | 38.7% | 1.1% | 6.5% | 20.4% | | |
| 80 歳以上 | 人 | 29 | 1 | 15 | 61 | 173 | |
| | % | 16.8% | 0.6% | 8.7% | 35.3% | | |
| 全体 | 人 | 336 | 5 | 41 | 150 | 793 | |
| | % | 42.4% | 0.6% | 5.2% | 18.9% | | |

【豆知識】竹田市犯罪被害者等支援条例

犯罪被害に遭われた方々やその家族・遺族の方々（犯罪被害者等）は、直接的被害のみならず二次的被害により、精神的にも身体的にも経済的にもさまざまな苦しみを抱えています。こうした犯罪被害者等が置かれた状況への理解を深め、その気持ちに寄り添った支援を総合的に推進することを目的として、この条例が、平成 30 年 3 月に制定しました。

(7) インターネットでの人権問題

① インターネットを1日何時間くらい見えていますか

見ている人は、約4割（1時間以内 約6割、1時間以上 約4割、）

インターネットを見ていない人が約4割、見ている人も約4割です。

全体で見ると、「2. 1時間以内」が26.2%、「3. 1時間以上」が15.6%。

見ている332人でみると、「2. 1時間以内」が62.4%、「3. 1時間以上」が37.6%となっています。（大分県での調査は、なし。）

| | 1. 見ていない | 2. 1時間以内 | 3. 1時間以上 | 無回答 | 総計 |
|---|----------|----------|----------|-------|--------|
| 人 | 338 | 208 | 124 | 123 | 793 |
| % | 42.6% | 26.2% | 15.6% | 15.5% | 100.0% |

見ている人は、男性5割、女性約3割

インターネットを見ている人は、男性が50.0%、女性が34.7%となっています。

| | | 問31 インターネットの一日の利用時間 | | | | |
|-----------------|---|---------------------|----------|----------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 見ていない | 2. 1時間以内 | 3. 1時間以上 | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 130 | 104 | 73 | 47 | 354 |
| | % | 36.7% | 29.4% | 20.6% | 13.3% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 205 | 101 | 48 | 75 | 429 |
| | % | 47.8% | 23.5% | 11.2% | 17.5% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 3 | 3 | 3 | 1 | 10 |
| | % | 30.0% | 30.0% | 30.0% | 10.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 338 | 208 | 124 | 123 | 793 |
| | % | 42.6% | 26.2% | 15.6% | 15.5% | 100.0% |

インターネットの利用は、年代差が明確にあり

インターネットの一日の利用時間を年代別にみると、年代差が明確に表れています。18～29歳は「3. 1時間以上見る」が72.2%、30～39歳も「3. 1時間以上見る」が51.2%、40～49歳になると「2. 1時間以内」になり51.9%、50～59歳も「2. 1時間以内」で52.7%、60歳以降になると「1. 見ていない」が最も多くなり、60～69歳49.2%、70～79歳は59.1%、80歳以上は61.8%となっています。



| | | 問 31 インターネットの一日の利用時間 | | | | |
|---------|---|----------------------|----------|----------|-------|--------|
| 問 2 年齢 | | 1. 見ていない | 2. 1時間以内 | 3. 1時間以上 | 無回答 | 総計 |
| 18～29 歳 | 人 | 3 | 4 | 26 | 3 | 36 |
| | % | 8.3% | 11.1% | 72.2% | 8.3% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 3 | 17 | 21 | 0 | 41 |
| | % | 7.3% | 41.5% | 51.2% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 6 | 41 | 31 | 1 | 79 |
| | % | 7.6% | 51.9% | 39.2% | 1.3% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 18 | 49 | 21 | 5 | 93 |
| | % | 19.4% | 52.7% | 22.6% | 5.4% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 91 | 61 | 21 | 12 | 185 |
| | % | 49.2% | 33.0% | 11.4% | 6.5% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 110 | 29 | 2 | 45 | 186 |
| | % | 59.1% | 15.6% | 1.1% | 24.2% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 107 | 7 | 2 | 57 | 173 |
| | % | 61.8% | 4.0% | 1.2% | 32.9% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 338 | 208 | 124 | 123 | 793 |
| | % | 42.6% | 26.2% | 15.6% | 15.5% | 100.0% |

②インターネットで人権侵害と思われるものを見たことがありますか
人権侵害を見たことのある人は、約 4 割

インターネットで人権侵害と思われるものを見たことがあると答えた人は 43.1%。(大分県での調査は、なし。)

| | 1. ある | 2. ない | 無回答 | 総計 |
|---|-------|-------|------|--------|
| 人 | 143 | 183 | 6 | 332 |
| % | 43.1% | 55.1% | 1.8% | 100.0% |

(問 31 で「2」「3」と回答した 332 人で集計)

人権侵害を見たことのある人は、男性の方が多い

インターネットで人権侵害と思われるものを「見たことがある」と答えた人を男女別にみると、男性 45.2%、女性 39.6%となっています。

| | | 問 32 人権侵害と思われるものを見たことがありますか。 | | | |
|-----------------|---|------------------------------|-------|-------|--------|
| 問 1 性別 | | 1. ある | 2. ない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 80 | 94 | 3 | 177 |
| | % | 45.2% | 53.1% | 1.7% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 59 | 88 | 2 | 149 |
| | % | 39.6% | 59.1% | 1.3% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 1 | 1 | 6 |
| | % | 66.7% | 16.7% | 16.7% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 143 | 183 | 6 | 332 |
| | % | 43.1% | 55.1% | 1.8% | 100.0% |

人権侵害閲覧経験は、年代差が明確にあり

インターネットで人権侵害と思われるものを見たことがあるかどうかを回答した人を年代別にみると、年代差が明確に表れています。18～29歳は「1. ある」が76.7%、30～39歳も「1. ある」が60.5%、40歳以降になると「2. ない」が多くなり、40～49歳は51.4%、50～59歳も51.4%、60～69歳は68.3%、70～79歳は83.9%、80歳以上は66.7%となっています。人権侵害の記事を見たかどうかは、インターネットの利用時間と密接に関連しています。1時間以上見る人は、人権侵害記事も目にする人が多く、1時間以内の人は目にしない人の割合が多くなっています。

| | | 問 32 人権侵害と思われるものを見たことがありますか。 | | | |
|---------|---|------------------------------|-------|-------|--------|
| 問 2 年齢 | | 1. ある | 2. ない | 無回答 | 総計 |
| 18～29 歳 | 人 | 23 | 7 | 0 | 30 |
| | % | 76.7% | 23.3% | 0.0% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 23 | 15 | 0 | 38 |
| | % | 60.5% | 39.5% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 35 | 37 | 0 | 72 |
| | % | 48.6% | 51.4% | 0.0% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 31 | 36 | 3 | 70 |
| | % | 44.3% | 51.4% | 4.3% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 25 | 56 | 1 | 82 |
| | % | 30.5% | 68.3% | 1.2% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 5 | 26 | 0 | 31 |
| | % | 16.1% | 83.9% | 0.0% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 1 | 6 | 2 | 9 |
| | % | 11.1% | 66.7% | 22.2% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 143 | 183 | 6 | 332 |
| | % | 43.1% | 55.1% | 1.8% | 100.0% |

③見たことがあるインターネット上での人権侵害の内容

プライバシー侵害や誹謗・中傷が最多

インターネット上での人権侵害で最も多いのは、「15. プライバシー侵害や誹謗・中傷など」で55.9%。次いで「1. 女性」46.2%、「4. 障がい者」に関するものが45.5%で、多く取り上げられています。（大分県での調査は、なし。）

| | | | | | | |
|---|----------------|------------------|--------------------|--------------|------------|------------------|
| | 1. 女性 | 2. 子ども | 3. 高齢者 | 4. 障がい者 | 5. 部落差別問題 | 6. アイヌの人々 |
| 人 | 66 | 56 | 47 | 65 | 36 | 10 |
| % | 46.2% | 39.2% | 32.9% | 45.5% | 25.2% | 7.0% |
| | 7. 中国帰国者 | 8. 在日韓国・朝鮮人 | 9. 外国人 | 10. ホームレス | 11. エイズ感染者 | 12. ハンセン病患者・回復者等 |
| 人 | 18 | 61 | 24 | 22 | 20 | 22 |
| % | 12.6% | 42.7% | 16.8% | 15.4% | 14.0% | 15.4% |
| | 13. 刑を終えて出所した人 | 14. 犯罪被害者やその家族 | 15. プライバシー侵害や誹謗・中傷 | 16. 北朝鮮拉致被害者 | 17. 性的指向 | 18. 性別違和 |
| 人 | 27 | 44 | 80 | 12 | 39 | 30 |
| % | 18.9% | 30.8% | 55.9% | 8.4% | 27.3% | 21.0% |
| | 19. 人身取引 | 20. 東日本震災に伴う人権問題 | 21. 重層的差別 | 22. その他 | 対象者 | |
| 人 | 12 | 32 | 18 | 2 | 143 | |
| % | 8.4% | 22.4% | 12.6% | 1.4% | | |

（問32で「1. 見たことがある」と回答した143人で集計）

項目によって男女差あり

インターネット上での人権侵害で多い3項目を男女別にみると、「15. プライバシー侵害や誹謗・中傷など」は男性48.8%、女性66.1%。二番目の「1. 女性」は、男性51.3%、女性40.7%、三番目の「4. 障がい者」は、男性43.8%、女性49.2%となっており、男女で差があります。

| | | 問33 ネットで見た人権侵害は、どの人権課題に関するものですか。 | | | | | |
|-----------------|---|----------------------------------|-------|---------|-------------|--------|-----|
| 問1 性別 | | 15. プライバシー侵害、誹謗・中傷 | 1. 女性 | 4. 障がい者 | 8. 在日韓国・朝鮮人 | 2. 子ども | 対象者 |
| 男性 | 人 | 39 | 41 | 35 | 35 | 33 | 80 |
| | % | 48.8% | 51.3% | 43.8% | 43.8% | 41.3% | |
| 女性 | 人 | 39 | 24 | 29 | 25 | 22 | 59 |
| | % | 66.1% | 40.7% | 49.2% | 42.4% | 37.3% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| | % | 50.0% | 25.0% | 25.0% | 25.0% | 25.0% | |
| 全体 | 人 | 80 | 66 | 65 | 61 | 56 | 143 |
| | % | 55.9% | 46.2% | 45.5% | 42.7% | 39.2% | |

見た人権侵害の内容は、年代差で差あり

インターネットで見た人権侵害で年代別に一番多いものをみると、年代差が明確に表れています。18～29歳は「1. 女性」が多く65.2%、30～39歳は「4. 障がい者」が多く69.6%、40歳以降になると「15. ネットによる人権侵害（プライバシー侵害

や誹謗・中傷など)」が多くなり、40～49歳は57.1%、50～59歳も54.8%、60～69歳は48.0%、70～79歳は80.0%となっています。80歳以上は対象者が1人のため、評価対象に入れていません。

| | | 問 33 ネットで見た人権侵害は、どの人権課題に関するものですか。 | | | | | |
|--------|---|-----------------------------------|-------------|--------|-----------|------------|------------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 女性 | 2. 子ども | 3. 高齢者 | 4. 障がい者 | 5. 部落差別問題 | 6. アイヌの人々 |
| 18～29歳 | 人 | 15 | 8 | 12 | 14 | 5 | 2 |
| | % | 65.2% | 34.8% | 52.2% | 60.9% | 21.7% | 8.7% |
| 30～39歳 | 人 | 15 | 13 | 11 | 16 | 6 | 3 |
| | % | 65.2% | 56.5% | 47.8% | 69.6% | 26.1% | 13.0% |
| 40～49歳 | 人 | 14 | 12 | 7 | 12 | 7 | 1 |
| | % | 40.0% | 34.3% | 20.0% | 34.3% | 20.0% | 2.9% |
| 50～59歳 | 人 | 10 | 12 | 7 | 12 | 11 | 2 |
| | % | 32.3% | 38.7% | 22.6% | 38.7% | 35.5% | 6.5% |
| 60～69歳 | 人 | 11 | 9 | 9 | 9 | 7 | 1 |
| | % | 44.0% | 36.0% | 36.0% | 36.0% | 28.0% | 4.0% |
| 70～79歳 | 人 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | % | 20.0% | 40.0% | 0.0% | 20.0% | 0.0% | 20.0% |
| 80歳以上 | 人 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | % | 0.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 全体 | 人 | 66 | 56 | 47 | 65 | 36 | 10 |
| | % | 46.2% | 39.2% | 32.9% | 45.5% | 25.2% | 7.0% |
| 問 2 年齢 | | 7. 中国帰国者 | 8. 在日韓国・朝鮮人 | 9. 外国人 | 10. ホームレス | 11. エイズ感染者 | 12. ハンセン病患者・回復者等 |
| 18～29歳 | 人 | 7 | 12 | 9 | 3 | 2 | 3 |
| | % | 30.4% | 52.2% | 39.1% | 13.0% | 8.7% | 13.0% |
| 30～39歳 | 人 | 3 | 12 | 6 | 6 | 5 | 5 |
| | % | 13.0% | 52.2% | 26.1% | 26.1% | 21.7% | 21.7% |
| 40～49歳 | 人 | 4 | 16 | 5 | 3 | 4 | 3 |
| | % | 11.4% | 45.7% | 14.3% | 8.6% | 11.4% | 8.6% |
| 50～59歳 | 人 | 1 | 10 | 2 | 4 | 7 | 5 |
| | % | 3.2% | 32.3% | 6.5% | 12.9% | 22.6% | 16.1% |
| 60～69歳 | 人 | 3 | 9 | 2 | 5 | 2 | 5 |
| | % | 12.0% | 36.0% | 8.0% | 20.0% | 8.0% | 20.0% |
| 70～79歳 | 人 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | % | 0.0% | 40.0% | 0.0% | 20.0% | 0.0% | 20.0% |
| 80歳以上 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | % | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 全体 | 人 | 18 | 61 | 24 | 22 | 20 | 22 |
| | % | 12.6% | 42.7% | 16.8% | 15.4% | 14.0% | 15.4% |



| | | 問 33 ネットで見た人権侵害は、どの人権課題に関するものですか。 | | | | | |
|---------|---|-----------------------------------|------------------|----------------|--------------|----------|----------|
| 問 2 年齢 | | 13. 刑を終えて出所した人 | 14. 犯罪被害者やその家族 | 15. ネットによる人権侵害 | 16. 北朝鮮拉致被害者 | 17. 性的指向 | 18. 性別違和 |
| 18～29 歳 | 人 | 7 | 12 | 13 | 1 | 9 | 4 |
| | % | 30.4% | 52.2% | 56.5% | 4.3% | 39.1% | 17.4% |
| 30～39 歳 | 人 | 7 | 10 | 14 | 1 | 8 | 9 |
| | % | 30.4% | 43.5% | 60.9% | 4.3% | 34.8% | 39.1% |
| 40～49 歳 | 人 | 6 | 10 | 20 | 2 | 8 | 5 |
| | % | 17.1% | 28.6% | 57.1% | 5.7% | 22.9% | 14.3% |
| 50～59 歳 | 人 | 4 | 9 | 17 | 2 | 7 | 8 |
| | % | 12.9% | 29.0% | 54.8% | 6.5% | 22.6% | 25.8% |
| 60～69 歳 | 人 | 2 | 3 | 12 | 4 | 6 | 4 |
| | % | 8.0% | 12.0% | 48.0% | 16.0% | 24.0% | 16.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 0 | 0 | 4 | 2 | 1 | 0 |
| | % | 0.0% | 0.0% | 80.0% | 40.0% | 20.0% | 0.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | % | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 全体 | 人 | 27 | 44 | 80 | 12 | 39 | 30 |
| | % | 18.9% | 30.8% | 55.9% | 8.4% | 27.3% | 21.0% |
| 問 2 年齢 | | 19. 人身取引 | 20. 東日本震災に伴う人権問題 | 21. 重層的差別 | 22. その他 | 対象者 | |
| 18～29 歳 | 人 | 0 | 5 | 1 | 0 | 23 | |
| | % | 0.0% | 21.7% | 4.3% | 0.0% | | |
| 30～39 歳 | 人 | 5 | 6 | 5 | 2 | 23 | |
| | % | 21.7% | 26.1% | 21.7% | 8.7% | | |
| 40～49 歳 | 人 | 2 | 6 | 3 | 0 | 35 | |
| | % | 5.7% | 17.1% | 8.6% | 0.0% | | |
| 50～59 歳 | 人 | 4 | 9 | 4 | 0 | 31 | |
| | % | 12.9% | 29.0% | 12.9% | 0.0% | | |
| 60～69 歳 | 人 | 1 | 5 | 4 | 0 | 25 | |
| | % | 4.0% | 20.0% | 16.0% | 0.0% | | |
| 70～79 歳 | 人 | 0 | 1 | 1 | 0 | 5 | |
| | % | 0.0% | 20.0% | 20.0% | 0.0% | | |
| 80 歳以上 | 人 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | % | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | |
| 全体 | 人 | 12 | 32 | 18 | 2 | 143 | |
| | % | 8.4% | 22.4% | 12.6% | 1.4% | | |

④インターネット上の書き込みをどの程度信用しますか

書き込みを「あまり信用しない」が6割

インターネット上の書き込みを「3. あまり信用しない」が60.8%、「2. まあまあ信用する」が23.8%となっています。

| | 1. すべて信用する | 2. まあまあ信用する | 3. あまり信用しない | 4. 全く信用しない | 無回答 | 総計 |
|---|------------|-------------|-------------|------------|------|--------|
| 人 | 1 | 34 | 87 | 10 | 11 | 143 |
| % | 0.7% | 23.8% | 60.8% | 7.0% | 7.7% | 100.0% |

（問32で「1. 見たことがある」と回答した143人で集計）

女性の方が、書き込みを信用する傾向大

インターネット上の書き込みを信用する（「1. すべて信用する」＋「2. まあまあ信用する」）は、男性18.8%、女性28.8%となっており、女性の方が信用する傾向にあります。

| | | 問34 インターネットの書き込みをどの程度信用しますか。 | | | | | |
|-----------------|---|------------------------------|-------------|-------------|------------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. すべて信用する | 2. まあまあ信用する | 3. あまり信用しない | 4. 全く信用しない | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 0 | 15 | 54 | 6 | 5 | 80 |
| | % | 0.0% | 18.8% | 67.5% | 7.5% | 6.3% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 1 | 16 | 33 | 4 | 5 | 59 |
| | % | 1.7% | 27.1% | 55.9% | 6.8% | 8.5% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| | % | 0.0% | 75.0% | 0.0% | 0.0% | 25.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 1 | 34 | 87 | 10 | 11 | 143 |
| | % | 0.7% | 23.8% | 60.8% | 7.0% | 7.7% | 100.0% |

ネット書き込みを信用するのは、18～29歳で約4割

インターネット上の書き込みを信用する（「1. すべて信用する」＋「2. まあまあ信用する」）を年代別にみると、18～29歳は43.5%、30～39歳は26.0%、40～49歳は22.9%、50～59歳も22.6%、60～69歳は16.0%、70～79歳は0.0%、80歳以上は0.0%となっています。

| | | 問34 インターネットの書き込みをどの程度信用しますか。 | | | | | |
|--------|---|------------------------------|-------------|-------------|------------|-------|--------|
| 問2 年齢 | | 1. すべて信用する | 2. まあまあ信用する | 3. あまり信用しない | 4. 全く信用しない | 無回答 | 総計 |
| 18～29歳 | 人 | 0 | 10 | 12 | 1 | 0 | 23 |
| | % | 0.0% | 43.5% | 52.2% | 4.3% | 0.0% | 100.0% |
| 30～39歳 | 人 | 1 | 5 | 14 | 2 | 1 | 23 |
| | % | 4.3% | 21.7% | 60.9% | 8.7% | 4.3% | 100.0% |
| 40～49歳 | 人 | 0 | 8 | 22 | 3 | 2 | 35 |
| | % | 0.0% | 22.9% | 62.9% | 8.6% | 5.7% | 100.0% |
| 50～59歳 | 人 | 0 | 7 | 19 | 1 | 4 | 31 |
| | % | 0.0% | 22.6% | 61.3% | 3.2% | 12.9% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 0 | 4 | 16 | 1 | 4 | 25 |
| | % | 0.0% | 16.0% | 64.0% | 4.0% | 16.0% | 100.0% |
| 70～79歳 | 人 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 | 5 |
| | % | 0.0% | 0.0% | 60.0% | 40.0% | 0.0% | 100.0% |
| 80歳以上 | 人 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | % | 0.0% | 0.0% | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 1 | 34 | 87 | 10 | 11 | 143 |
| | % | 0.7% | 23.8% | 60.8% | 7.0% | 7.7% | 100.0% |

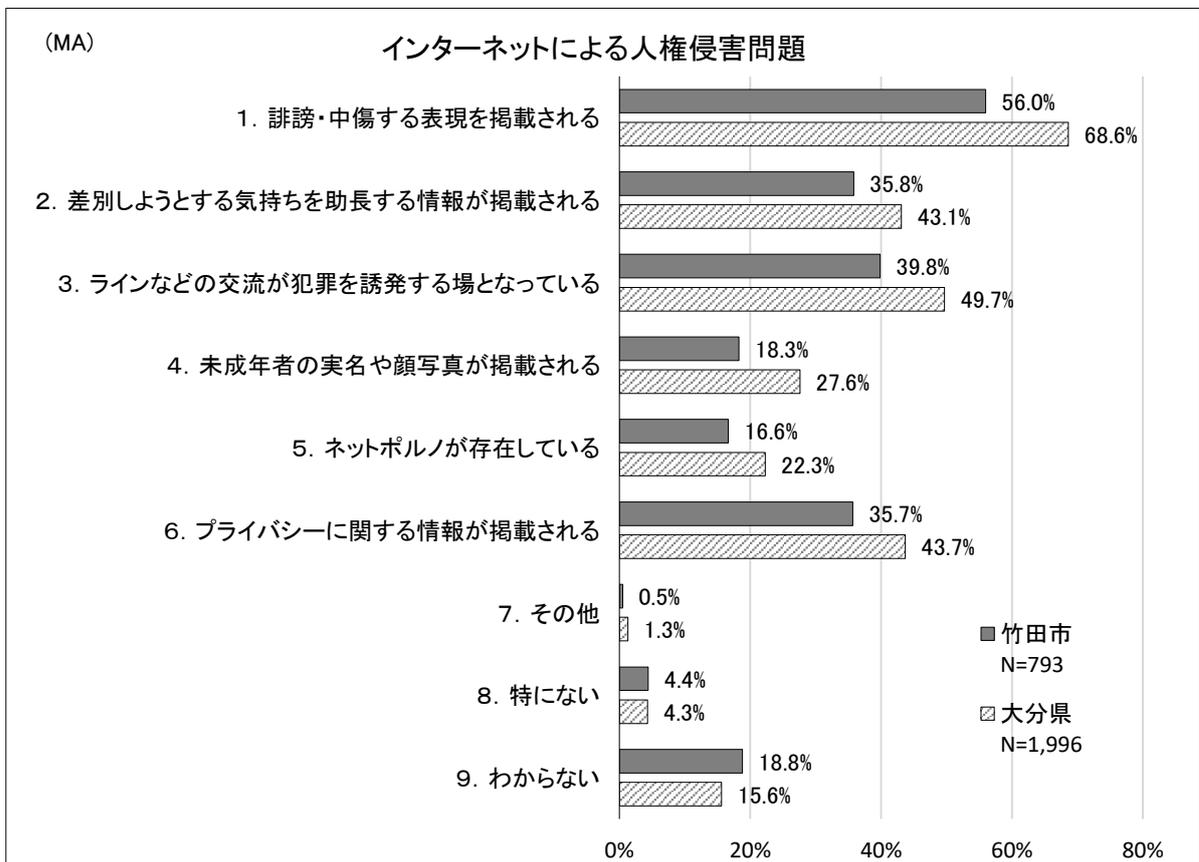
⑤インターネットによる人権侵害

「他人を誹謗(ひぼう)・中傷する表現を掲載されること」が最多

インターネットによる人権侵害で最も多いのは、「1. 他人を誹謗(ひぼう)・中傷する表現を掲載されること」で56.0%、次いで「3. ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」39.8%、「2. 他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、助長するような情報が掲載されること」35.8%、「6. プライバシーに関する情報が掲載されること」35.7%となっています。

大分県の調査では、「1. 他人を誹謗(ひぼう)・中傷する表現を掲載されること」が68.6%でトップ。次いで「3. ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」49.7%、「6. プライバシーに関する情報が掲載される」43.7%となっています。

| | 1. 誹謗・中傷する表現を掲載される | 2. 他人に差別しようとする気持ちを助長する情報が掲載される | 3. ラインなどの交流が犯罪を誘発する場となっている | 4. 捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載される | 5. ネットポルノが存在している |
|---|-----------------------|--------------------------------|----------------------------|--------------------------------|------------------|
| 人 | 444 | 284 | 316 | 145 | 132 |
| % | 56.0% | 35.8% | 39.8% | 18.3% | 16.6% |
| | 6. プライバシーに関する情報が掲載される | 7. その他 | 8. 特にない | 9. わからない | 対象者 |
| 人 | 283 | 4 | 35 | 149 | 793 |
| % | 35.7% | 0.5% | 4.4% | 18.8% | |



一部を除いて項目による男女差は、なし

インターネットによる人権侵害で男女差が大きなものは「6. プライバシーに関する情報が掲載される」で、男性 31.4%、女性 38.9%となっています。他の項目は、男女差は、ほとんどありません。

| | | 問 35 現在あるインターネットによる人権侵害 | | | | |
|-----------------|---|-------------------------|--------------------------------|----------------------------|--------------------------------|------------------|
| 問1 性別 | | 1. 誹謗・中傷する表現を掲載される | 2. 他人に差別しようとする気持ちを助長する情報が掲載される | 3. ラインなどの交流が犯罪を誘発する場となっている | 4. 捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載される | 5. ネットポルノが存在している |
| 男性 | 人 | 208 | 125 | 141 | 60 | 48 |
| | % | 58.8% | 35.3% | 39.8% | 16.9% | 13.6% |
| 女性 | 人 | 230 | 156 | 171 | 82 | 81 |
| | % | 53.6% | 36.4% | 39.9% | 19.1% | 18.9% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 6 | 3 | 4 | 3 | 3 |
| | % | 60.0% | 30.0% | 40.0% | 30.0% | 30.0% |
| 全体 | 人 | 444 | 284 | 316 | 145 | 132 |
| | % | 56.0% | 35.8% | 39.8% | 18.3% | 16.6% |
| 問1 性別 | | 6. プライバシーに関する情報が掲載される | 7. その他 | 8. 特にない | 9. わからない | 対象者 |
| 男性 | 人 | 111 | 0 | 15 | 51 | 354 |
| | % | 31.4% | 0.0% | 4.2% | 14.4% | |
| 女性 | 人 | 167 | 4 | 19 | 97 | 429 |
| | % | 38.9% | 0.9% | 4.4% | 22.6% | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 5 | 0 | 1 | 1 | 10 |
| | % | 50.0% | 0.0% | 10.0% | 10.0% | |
| 全体 | 人 | 283 | 4 | 35 | 149 | 793 |
| | % | 35.7% | 0.5% | 4.4% | 18.8% | |

一番の問題は、すべての年代で「他人を誹謗・中傷する表現を掲載される」

現在あるインターネットによる人権侵害問題で年代別に一番に挙げているものをみると、各年代とも「1. 他人を誹謗・中傷する表現を掲載される」で18～29歳は94.4%、30～39歳は85.4%、40～49歳は84.8%、50～59歳も76.3%、60～69歳は69.2%、70～79歳は40.3%、80歳以上は19.7%となっています。

| 問 35 現在あるインターネットによる人権侵害 | | | | | | |
|-------------------------|---|-----------------------------------|---|--|--|--------------------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 他人を誹 謗・中傷する 表現が掲載さ れる | 2. 他人に差別 しようとする気 持を助長す る情報が掲載 される | 3. ラインなど の交流が犯罪 を誘発する場 となっている | 4. 捜査対象と なっている未 成年者の実名 や顔写真が掲 載される | 5. ネットポルノ が存在してい る |
| 18～29 歳 | 人 | 34 | 18 | 18 | 11 | 7 |
| | % | 94.4% | 50.0% | 50.0% | 30.6% | 19.4% |
| 30～39 歳 | 人 | 35 | 27 | 26 | 16 | 15 |
| | % | 85.4% | 65.9% | 63.4% | 39.0% | 36.6% |
| 40～49 歳 | 人 | 67 | 38 | 42 | 21 | 17 |
| | % | 84.8% | 48.1% | 53.2% | 26.6% | 21.5% |
| 50～59 歳 | 人 | 71 | 52 | 51 | 27 | 25 |
| | % | 76.3% | 55.9% | 54.8% | 29.0% | 26.9% |
| 60～69 歳 | 人 | 128 | 85 | 103 | 37 | 39 |
| | % | 69.2% | 45.9% | 55.7% | 20.0% | 21.1% |
| 70～79 歳 | 人 | 75 | 50 | 57 | 23 | 19 |
| | % | 40.3% | 26.9% | 30.6% | 12.4% | 10.2% |
| 80 歳以上 | 人 | 34 | 14 | 19 | 10 | 10 |
| | % | 19.7% | 8.1% | 11.0% | 5.8% | 5.8% |
| 全体 | 人 | 444 | 284 | 316 | 145 | 132 |
| | % | 56.0% | 35.8% | 39.8% | 18.3% | 16.6% |
| 問 2 年齢 | | 6. プライバ シーに関する情 報が掲載され る | 7. その他 | 8. 特にな い | 9. わから ない | 対象者 |
| 18～29 歳 | 人 | 19 | 0 | 0 | 2 | 36 |
| | % | 52.8% | 0.0% | 0.0% | 5.6% | |
| 30～39 歳 | 人 | 25 | 0 | 0 | 4 | 41 |
| | % | 61.0% | 0.0% | 0.0% | 9.8% | |
| 40～49 歳 | 人 | 35 | 0 | 2 | 3 | 79 |
| | % | 44.3% | 0.0% | 2.5% | 3.8% | |
| 50～59 歳 | 人 | 50 | 1 | 0 | 13 | 93 |
| | % | 53.8% | 1.1% | 0.0% | 14.0% | |
| 60～69 歳 | 人 | 79 | 0 | 7 | 24 | 185 |
| | % | 42.7% | 0.0% | 3.8% | 13.0% | |
| 70～79 歳 | 人 | 51 | 2 | 15 | 40 | 186 |
| | % | 27.4% | 1.1% | 8.1% | 21.5% | |
| 80 歳以上 | 人 | 24 | 1 | 11 | 63 | 173 |
| | % | 13.9% | 0.6% | 6.4% | 36.4% | |
| 全体 | 人 | 283 | 4 | 35 | 149 | 793 |
| | % | 35.7% | 0.5% | 4.4% | 18.8% | |

(8) LGBTQなど、性的指向や性別違和に関する人権問題

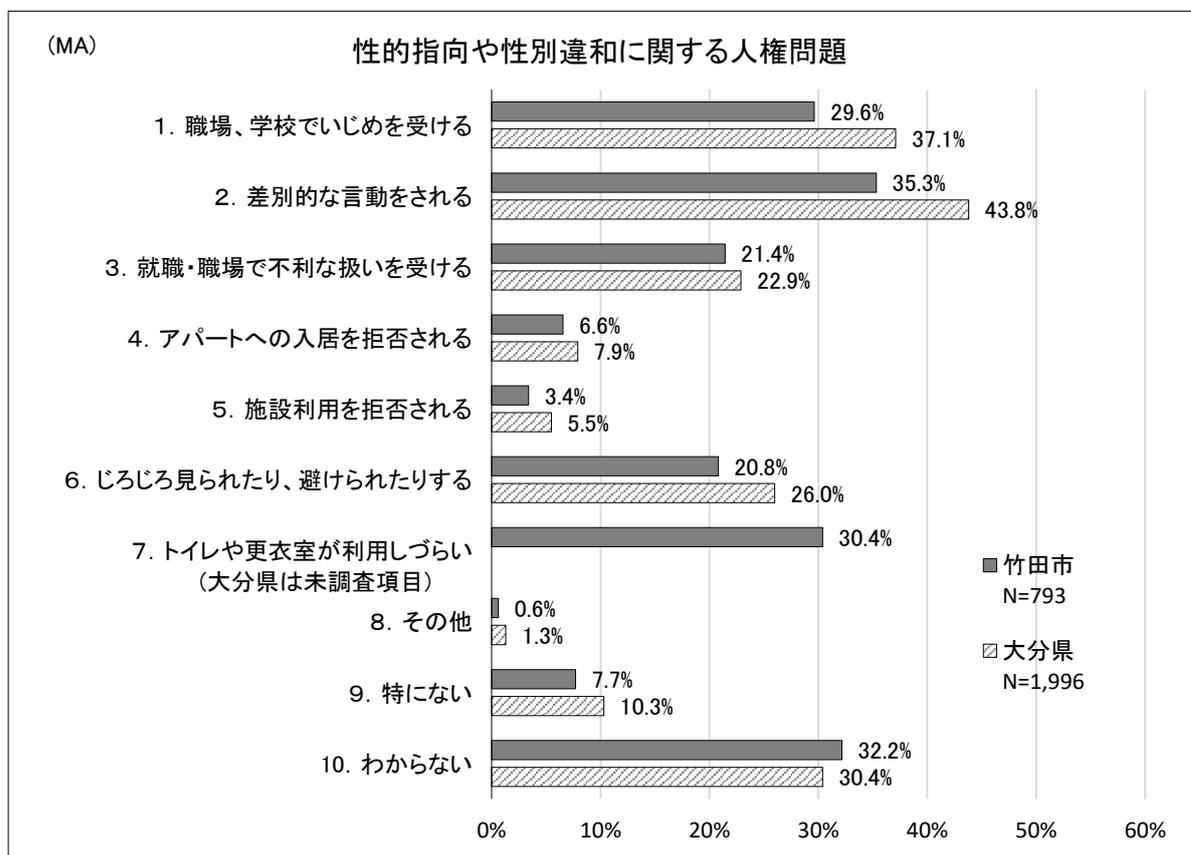
一番は「差別的な言動をされること」

LGBTQなど、性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)や性別違和(身体の性と心の性が一致しない者)に関することでの人権問題としては、「2. 差別的な言動をされること」で35.3%、次いで「7. トイレや更衣室が利用しづらいこと」30.4%、「1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」29.6%となっています。

大分県での調査では、やはり「2. 差別的な言動をされること」が43.8%でトップ。次いで「1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」37.1%、「6. じろじろ見られたり、避けられたりする」26.0%となっています。(大分県の回答選択肢には「7. トイレや更衣室が利用しづらいこと」がありませんでした。)

また、「10. わからない」が32.4%あることから、このLGBTQへの理解・知識が不足している現状がうかがえます。

| | | | | | | |
|---|-------------------|---------------|--------------------|-------------------|---------------|-----------------------|
| | 1. 職場、学校でいじめを受ける | 2. 差別的な言動をされる | 3. 就職・職場で不利な扱いを受ける | 4. アパートへの入居を拒否される | 5. 施設利用を拒否される | 6. じろじろ見られたり、避けられたりする |
| 人 | 235 | 280 | 170 | 52 | 27 | 165 |
| % | 29.6% | 35.3% | 21.4% | 6.6% | 3.4% | 20.8% |
| | 7. トイレや更衣室が利用しづらい | 8. その他 | 9. 特にない | 10. わからない | 対象者 | |
| 人 | 241 | 5 | 61 | 255 | 793 | |
| % | 30.4% | 0.6% | 7.7% | 32.2% | | |



【◆用語解説－LGBTQ】

L（レズビアン…女性同性愛）、G（ゲイ…男性同性愛）、B（バイセクシュアル…両性愛）、T（トランスジェンダー…身体の性と心の性が一致しない）、Q（クエスチョン…自分自身の性がはっきり決まっていない）の5つの文字を並べた、性的少数者を表す言葉のひとつ。

「トイレや更衣室の利用」以外は男女差なし

LGBTQなど、性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）や性別違和（身体の性と心の性が一致しない者）に関することでの人権問題を男女別にみると、「7. トイレや更衣室が利用しづらいこと」（男性 26.6%、女性 33.6%）以外は、男女差がみられません。

| | | 問 36 性的指向や性別違和に関して現在ある人権問題 | | | | | |
|-----------------|---|----------------------------|---------------|--------------------|-------------------|---------------|-----------------------|
| 問1 性別 | | 1. 職場、学校でいじめを受ける | 2. 差別的な言動をされる | 3. 就職・職場で不利な扱いを受ける | 4. アパートへの入居を拒否される | 5. 施設利用を拒否される | 6. じろじろ見られたり、避けられたりする |
| 男性 | 人 | 100 | 123 | 73 | 19 | 11 | 77 |
| | % | 28.2% | 34.7% | 20.6% | 5.4% | 3.1% | 21.8% |
| 女性 | 人 | 131 | 153 | 93 | 32 | 15 | 84 |
| | % | 30.5% | 35.7% | 21.7% | 7.5% | 3.5% | 19.6% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 4 | 4 | 1 | 1 | 4 |
| | % | 40.0% | 40.0% | 40.0% | 10.0% | 10.0% | 40.0% |
| 全体 | 人 | 235 | 280 | 170 | 52 | 27 | 165 |
| | % | 29.6% | 35.3% | 21.4% | 6.6% | 3.4% | 20.8% |
| 問1 性別 | | 7. トイレや更衣室が利用しづらい | 8. その他 | 9. 特にない | 10. わからない | 対象者 | |
| 男性 | 人 | 94 | 4 | 33 | 111 | 354 | |
| | % | 26.6% | 1.1% | 9.3% | 31.4% | | |
| 女性 | 人 | 144 | 1 | 27 | 143 | 429 | |
| | % | 33.6% | 0.2% | 6.3% | 33.3% | | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 3 | 0 | 1 | 1 | 10 | |
| | % | 30.0% | 0.0% | 10.0% | 10.0% | | |
| 全体 | 人 | 241 | 5 | 61 | 255 | 793 | |
| | % | 30.4% | 0.6% | 7.7% | 32.2% | | |

年代により「差別的な言動をされる」「トイレや更衣室が利用しづらい」「職場、学校で嫌がらせやいじめを受ける」

性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）や性別違和（身体の性と心の性が一致しない者）に関することでの人権問題で年代別に一番に挙げているものをみると、18～29歳は「2. 差別的な言動をされる」61.1%、30～39歳は「7. トイレや更衣室が利用しづらい」70.7%、40～49歳も「7. トイレや更衣室が利用しづらい」49.4%、50～59歳は「1. 職場、学校で嫌がらせやいじめを受ける」54.8%、60～69歳は「2. 差別的な言動をされる」43.2%、70～79歳も「2. 差別的な言動をされる」

23.7%、80歳以上は「1. 職場、学校で嫌がらせやいじめを受ける」12.7%となっています。

| | | 問 36 性的指向や性別違和に関して現在ある人権問題 | | | | | |
|---------|---|----------------------------|---------------|--------------------|-------------------|---------------|-----------------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 職場、学校でいじめを受ける | 2. 差別的な言動をされる | 3. 就職・職場で不利な扱いを受ける | 4. アパートへの入居を拒否される | 5. 施設利用を拒否される | 6. じろじろ見られたり、避けられたりする |
| 18～29 歳 | 人 | 20 | 22 | 11 | 4 | 2 | 15 |
| | % | 55.6% | 61.1% | 30.6% | 11.1% | 5.6% | 41.7% |
| 30～39 歳 | 人 | 24 | 27 | 16 | 4 | 6 | 16 |
| | % | 58.5% | 65.9% | 39.0% | 9.8% | 14.6% | 39.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 30 | 38 | 20 | 6 | 3 | 17 |
| | % | 38.0% | 48.1% | 25.3% | 7.6% | 3.8% | 21.5% |
| 50～59 歳 | 人 | 51 | 50 | 40 | 10 | 4 | 33 |
| | % | 54.8% | 53.8% | 43.0% | 10.8% | 4.3% | 35.5% |
| 60～69 歳 | 人 | 56 | 80 | 46 | 11 | 7 | 44 |
| | % | 30.3% | 43.2% | 24.9% | 5.9% | 3.8% | 23.8% |
| 70～79 歳 | 人 | 32 | 44 | 28 | 11 | 5 | 28 |
| | % | 17.2% | 23.7% | 15.1% | 5.9% | 2.7% | 15.1% |
| 80 歳以上 | 人 | 22 | 19 | 9 | 6 | 0 | 12 |
| | % | 12.7% | 11.0% | 5.2% | 3.5% | 0.0% | 6.9% |
| 全体 | 人 | 235 | 280 | 170 | 52 | 27 | 165 |
| | % | 29.6% | 35.3% | 21.4% | 6.6% | 3.4% | 20.8% |
| 問 2 年齢 | | 7. トイレや更衣室が利用しづらい | 8. その他 | 9. 特にな い | 10. わから ない | 対象者 | |
| 18～29 歳 | 人 | 18 | 0 | 2 | 4 | 36 | |
| | % | 50.0% | 0.0% | 5.6% | 11.1% | | |
| 30～39 歳 | 人 | 29 | 0 | 1 | 5 | 41 | |
| | % | 70.7% | 0.0% | 2.4% | 12.2% | | |
| 40～49 歳 | 人 | 39 | 1 | 5 | 15 | 79 | |
| | % | 49.4% | 1.3% | 6.3% | 19.0% | | |
| 50～59 歳 | 人 | 46 | 1 | 3 | 19 | 93 | |
| | % | 49.5% | 1.1% | 3.2% | 20.4% | | |
| 60～69 歳 | 人 | 63 | 1 | 12 | 56 | 185 | |
| | % | 34.1% | 0.5% | 6.5% | 30.3% | | |
| 70～79 歳 | 人 | 34 | 2 | 22 | 76 | 186 | |
| | % | 18.3% | 1.1% | 11.8% | 40.9% | | |
| 80 歳以上 | 人 | 12 | 0 | 16 | 80 | 173 | |
| | % | 6.9% | 0.0% | 9.2% | 46.2% | | |
| 全体 | 人 | 241 | 5 | 61 | 255 | 793 | |
| | % | 30.4% | 0.6% | 7.7% | 32.2% | | |

Ⅷ 地域での啓発活動

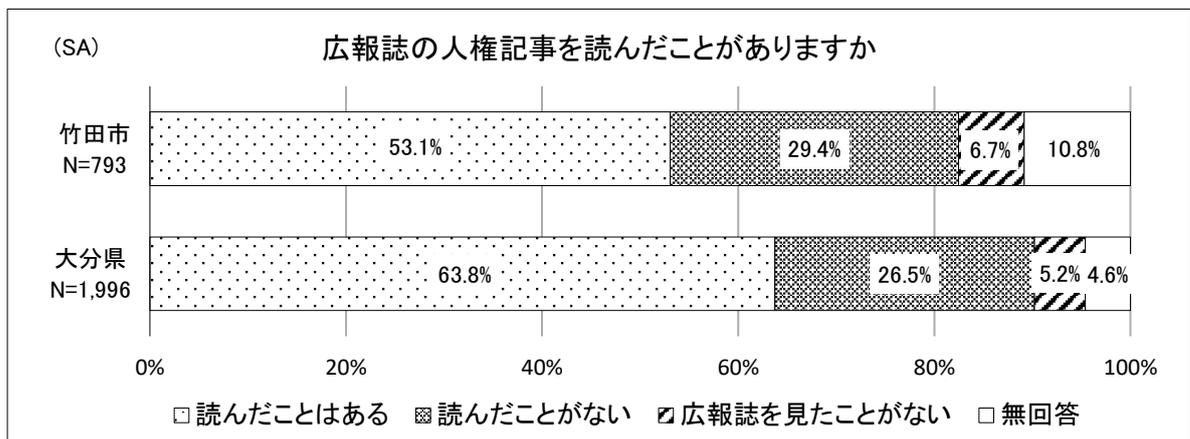
(1) 市や県が出している広報紙に掲載された人権に関する記事を読んだことの有無

「読んだことがある」は5割（県は6割）

市や県が出している広報紙に掲載された人権に関する記事を「読んだことがある」と答えた人は、5割（53.1%）でした。「読んだことがない」は約3割（29.4%）でした。

大分県の調査では、「読んだことがある」と答えた人は、6割（63.8%）でした。「読んだことがない」は約3割（26.5%）でした。

| | 1. 読んだことはある | 2. 読んだことがない | 3. 広報誌を見たことがない | 無回答 | 総計 |
|---|-------------|-------------|----------------|-------|--------|
| 人 | 421 | 233 | 53 | 86 | 793 |
| % | 53.1% | 29.4% | 6.7% | 10.8% | 100.0% |



男性の方が「読んだことがある」が多い

市や県が出している広報紙に掲載された人権に関する記事を「読んだことがある」と答えた人は、男性 55.9%、女性 51.0%でした。

| 問1 性別 | | 1. 読んだことはある | 2. 読んだことがない | 3. 広報誌を見たことがない | 無回答 | 総計 |
|-----------------|---|-------------|-------------|----------------|-------|--------|
| 男性 | 人 | 198 | 99 | 21 | 36 | 354 |
| | % | 55.9% | 28.0% | 5.9% | 10.2% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 219 | 130 | 32 | 48 | 429 |
| | % | 51.0% | 30.3% | 7.5% | 11.2% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 4 | 0 | 2 | 10 |
| | % | 40.0% | 40.0% | 0.0% | 20.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 421 | 233 | 53 | 86 | 793 |
| | % | 53.1% | 29.4% | 6.7% | 10.8% | 100.0% |

年代が上がるにつれて「読んだことがある」が増加

市や県が出している広報紙に掲載された人権に関する記事を「読んだことがある」と答えた人を年代別にみると、18～29歳は33.3%、30～39歳は43.9%、40～49歳は49.4%、50～59歳は53.8%、60～69歳は64.9%、70～79歳は55.9%、80歳以上45.1%となっています。

| 問 37 市や県の広報誌に掲載された人権の記事を読んだことはありますか。 | | | | | | |
|--------------------------------------|---|-------------|-------------|----------------|-------|--------|
| 問 2 年齢 | | 1. 読んだことはある | 2. 読んだことがない | 3. 広報誌を見たことがない | 無回答 | 総計 |
| 18～29 歳 | 人 | 12 | 15 | 8 | 1 | 36 |
| | % | 33.3% | 41.7% | 22.2% | 2.8% | 100.0% |
| 30～39 歳 | 人 | 18 | 17 | 6 | 0 | 41 |
| | % | 43.9% | 41.5% | 14.6% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 39 | 35 | 1 | 4 | 79 |
| | % | 49.4% | 44.3% | 1.3% | 5.1% | 100.0% |
| 50～59 歳 | 人 | 50 | 35 | 4 | 4 | 93 |
| | % | 53.8% | 37.6% | 4.3% | 4.3% | 100.0% |
| 60～69 歳 | 人 | 120 | 39 | 14 | 12 | 185 |
| | % | 64.9% | 21.1% | 7.6% | 6.5% | 100.0% |
| 70～79 歳 | 人 | 104 | 46 | 11 | 25 | 186 |
| | % | 55.9% | 24.7% | 5.9% | 13.4% | 100.0% |
| 80 歳以上 | 人 | 78 | 46 | 9 | 40 | 173 |
| | % | 45.1% | 26.6% | 5.2% | 23.1% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 421 | 233 | 53 | 86 | 793 |
| | % | 53.1% | 29.4% | 6.7% | 10.8% | 100.0% |

(2) 人権の各課題についての講演会や研修・学習会等への参加の頻度

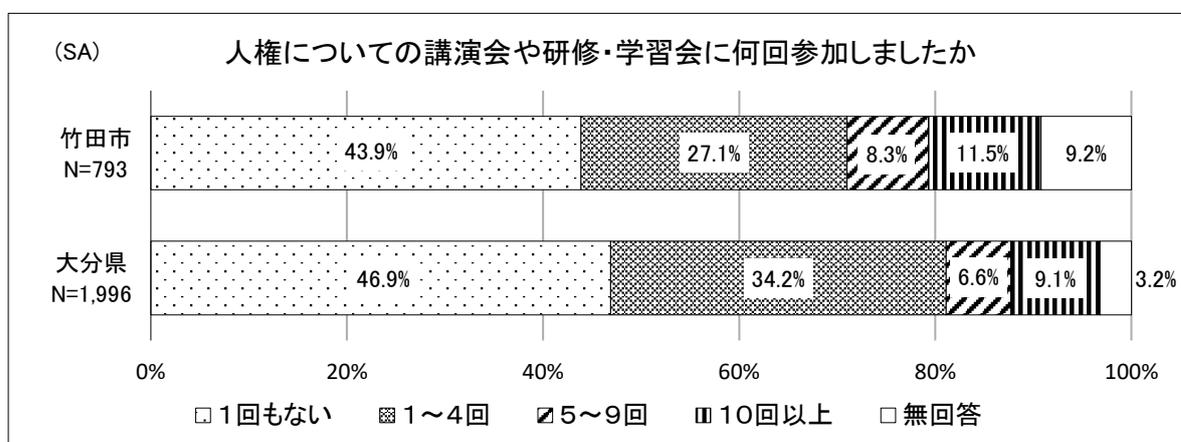
「1回もない」は4割強（県は5割弱）

人権の各課題についての講演会や研修・学習会等への参加は、「1回もない」が最も多く43.9%でした。

大分県の調査でも、「1回もない」が最も多く46.9%でした。

竹田市の方が、多回数（5回以上）の割合が大分県よりも多くなっています。竹田市は19.8%、大分県は15.7%です。

| | 1. 1回もない | 2. 1～4回 | 3. 5～9回 | 4. 10回以上 | 無回答 | 総計 |
|---|----------|---------|---------|----------|------|--------|
| 人 | 348 | 215 | 66 | 91 | 73 | 793 |
| % | 43.9% | 27.1% | 8.3% | 11.5% | 9.2% | 100.0% |



(大分県の1～4回は1～2回と3～4回の合計、5～9回は5～6回と7～9回の合計で算出)

「1回もない」は女性 約5割、男性 約4割

男女別にみると、人権の各課題についての講演会や研修・学習会等への参加は、「1回もない」は男性39.5%、女性47.6%で、女性の方が低調でした。

| | | 問38 人権の講演会や研修・学習会に何回くらい参加しましたか。 | | | | | |
|-----------------|---|---------------------------------|---------|---------|----------|-------|--------|
| 問1 性別 | | 1. 1回もない | 2. 1～4回 | 3. 5～9回 | 4. 10回以上 | 無回答 | 総計 |
| 男性 | 人 | 140 | 88 | 33 | 61 | 32 | 354 |
| | % | 39.5% | 24.9% | 9.3% | 17.2% | 9.0% | 100.0% |
| 女性 | 人 | 204 | 126 | 31 | 28 | 40 | 429 |
| | % | 47.6% | 29.4% | 7.2% | 6.5% | 9.3% | 100.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 1 | 2 | 2 | 1 | 10 |
| | % | 40.0% | 10.0% | 20.0% | 20.0% | 10.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 348 | 215 | 66 | 91 | 73 | 793 |
| | % | 43.9% | 27.1% | 8.3% | 11.5% | 9.2% | 100.0% |

「1回もない」が一番多い世代が、7世代中5世代

人権の各課題についての講演会や研修・学習会等への参加を年代別にみると、各年代で一番多いのは、18～29歳は「1. 1回もない」41.7%、30～39歳も「1. 1回もない」41.5%、40～49歳は「2. 1～4回」32.9%、50～59歳は「2. 1～4回」36.6%、60～69歳は「1. 1回もない」40.5%、70～79歳も「1. 1回もない」52.2%、80歳以上も「1. 1回もない」54.9%となっています。

「1. 1回もない」が一番多い世代が、7世代中5世代もあります。

| | | 問 38 人権の講演会や研修・学習会に何回くらい参加しましたか。 | | | | | |
|--------|---|----------------------------------|---------|---------|----------|-------|--------|
| 問 2 年齢 | | 1. 1回もない | 2. 1～4回 | 3. 5～9回 | 4. 10回以上 | 無回答 | 総計 |
| 18～29歳 | 人 | 15 | 12 | 4 | 3 | 2 | 36 |
| | % | 41.7% | 33.3% | 11.1% | 8.3% | 5.6% | 100.0% |
| 30～39歳 | 人 | 17 | 12 | 6 | 6 | 0 | 41 |
| | % | 41.5% | 29.3% | 14.6% | 14.6% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49歳 | 人 | 25 | 26 | 11 | 13 | 4 | 79 |
| | % | 31.6% | 32.9% | 13.9% | 16.5% | 5.1% | 100.0% |
| 50～59歳 | 人 | 24 | 34 | 10 | 22 | 3 | 93 |
| | % | 25.8% | 36.6% | 10.8% | 23.7% | 3.2% | 100.0% |
| 60～69歳 | 人 | 75 | 64 | 13 | 23 | 10 | 185 |
| | % | 40.5% | 34.6% | 7.0% | 12.4% | 5.4% | 100.0% |
| 70～79歳 | 人 | 97 | 44 | 14 | 13 | 18 | 186 |
| | % | 52.2% | 23.7% | 7.5% | 7.0% | 9.7% | 100.0% |
| 80歳以上 | 人 | 95 | 23 | 8 | 11 | 36 | 173 |
| | % | 54.9% | 13.3% | 4.6% | 6.4% | 20.8% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 348 | 215 | 66 | 91 | 73 | 793 |
| | % | 43.9% | 27.1% | 8.3% | 11.5% | 9.2% | 100.0% |

(3) 人権の大切さを多くの人に知ってもらうための効果的方法

竹田市トップは「講演会、シンポジウム、研修会」

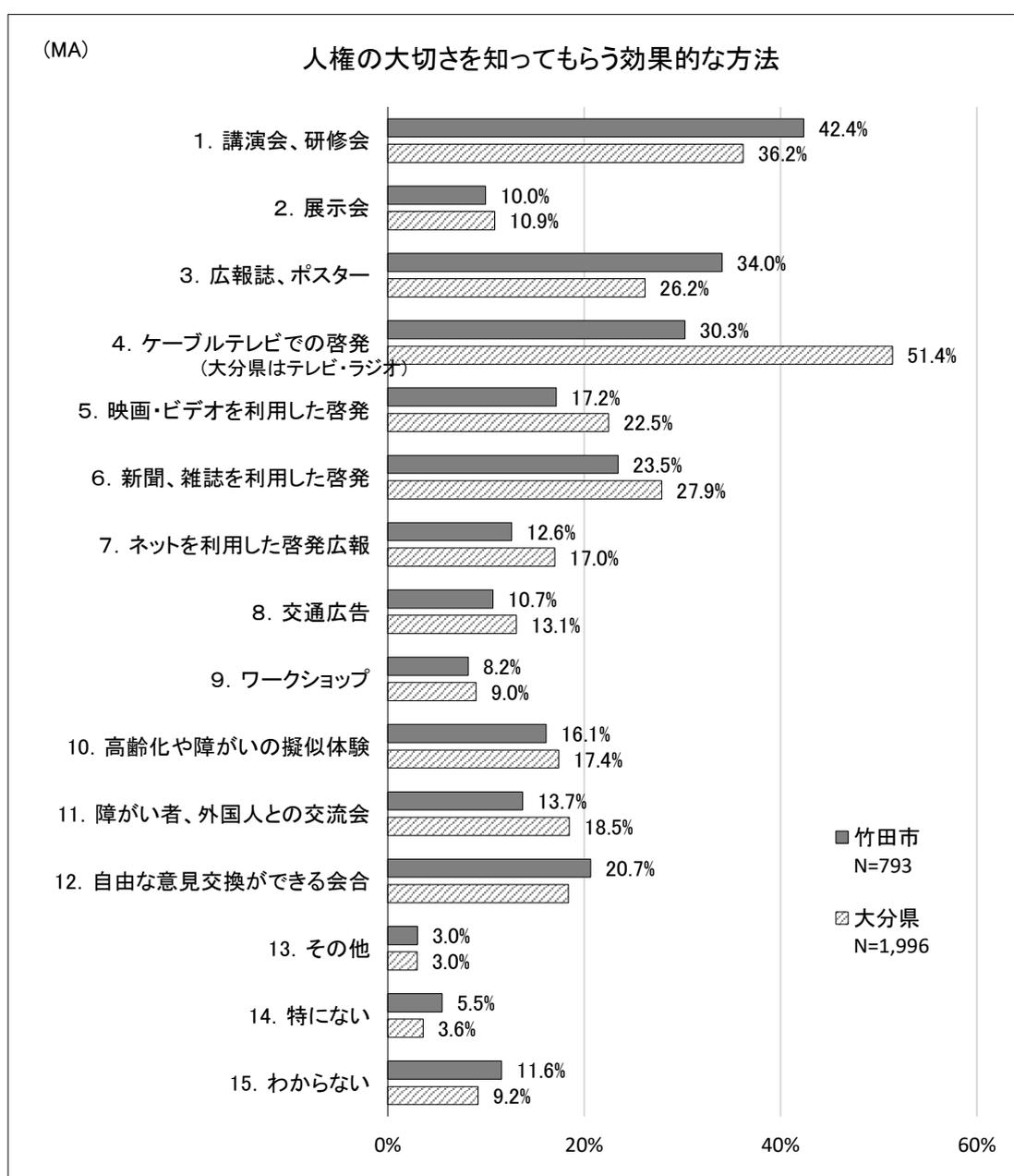
大分県トップは「テレビ、ラジオ」（竹田市での選択肢はケーブルテレビ）

人権の大切さを多くの人に知ってもらうための効果的方法としては、「1. 講演会、シンポジウム、研修会」を挙げる人が最も多く42.4%、「3. 広報紙・パンフレット・ポスター」33.5%、「4. ケーブルテレビを利用した啓発広報」30.0%となっています。

大分県のトップは、「4. テレビ、ラジオ」で51.4%、次いで「1. 講演会、シンポジウム、研修会」36.2%、「6. 新聞、雑誌を利用した啓発」27.9%となっており、マスメディア活用が中心となっています。

2. 調査結果（Ⅷ 地域での啓発活動「(2)講演会や研修・学習会への参加頻度」）

| | | | | | | |
|---|-------------------------|--------------|-----------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 1. 講演会、 研修会 | 2. 展示会 | 3. 広報誌、 ポスター | 4. ケーブル テレビでの啓 発 | 5. 映画を利用 した啓発 | 6. 新聞、雑 誌を利用した 啓発 |
| 人 | 336 | 79 | 270 | 240 | 136 | 186 |
| % | 42.4% | 10.0% | 33.5% | 30.0% | 17.2% | 23.5% |
| | 7. ネットを利用 した啓発 広報 | 8. 交通広告 | 9. ワークシ ョップ | 10. 高齢化や 障がいの擬 似体験 | 11. 障がい 者、外国人 との交流会 | 12. 自由な 意見交換が できる会合 |
| 人 | 100 | 85 | 65 | 128 | 109 | 164 |
| % | 12.6% | 10.7% | 8.2% | 16.1% | 13.7% | 20.7% |
| | 13. その他 | 14. 特にな い | 15. わから ない | 対象者 | | |
| 人 | 24 | 44 | 92 | 793 | | |
| % | 3.0% | 5.5% | 11.6% | | | |



「4. ケーブルテレビでの啓発」の選択肢が、大分県では「テレビ・ラジオ」

女性への啓発活動に再考の余地

人権の大切さを多くの人に知ってもらうための効果的方法として、一番多かった「1. 講演会、シンポジウム、研修会」を男女別にみると、男性 46.6%、女性 38.9%となっています。三番目に多かった「4. ケーブルテレビを利用した啓発広報」は、男性 33.9%、女性 26.8%となっています。他の項目では男女差がないことを考えると、女性への啓発活動の難しさが表れています。

| | | 問 39 人権の大切さを知ってもらう効果的な方法は何だと思いますか。 | | | | | |
|-----------------|---|------------------------------------|----------|-------------|------------------|-------------------|-------------------|
| 問1 性別 | | 1. 講演会、研修会 | 2. 展示会 | 3. 広報誌、ポスター | 4. ケーブルテレビでの啓発 | 5. 映画を利用した啓発 | 6. 新聞、雑誌を利用した啓発 |
| 男性 | 人 | 165 | 37 | 124 | 120 | 63 | 84 |
| | % | 46.6% | 10.5% | 35.0% | 33.9% | 17.8% | 23.7% |
| 女性 | 人 | 167 | 39 | 142 | 115 | 70 | 97 |
| | % | 38.9% | 9.1% | 33.1% | 26.8% | 16.3% | 22.6% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 4 | 3 | 4 | 5 | 3 | 5 |
| | % | 40.0% | 30.0% | 40.0% | 50.0% | 30.0% | 50.0% |
| 全体 | 人 | 336 | 79 | 270 | 240 | 136 | 186 |
| | % | 42.4% | 10.0% | 34.0% | 30.3% | 17.2% | 23.5% |
| 問1 性別 | | 7. ネットを利用した啓発広報 | 8. 交通広告 | 9. ワークショップ | 10. 高齢化や障がいの疑似体験 | 11. 障がい者、外国人との交流会 | 12. 自由な意見交換ができる会合 |
| 男性 | 人 | 49 | 33 | 27 | 53 | 50 | 71 |
| | % | 13.8% | 9.3% | 7.6% | 15.0% | 14.1% | 20.1% |
| 女性 | 人 | 49 | 49 | 36 | 72 | 56 | 90 |
| | % | 11.4% | 11.4% | 8.4% | 16.8% | 13.1% | 21.0% |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 2 | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| | % | 20.0% | 30.0% | 20.0% | 30.0% | 30.0% | 30.0% |
| 全体 | 人 | 100 | 85 | 65 | 128 | 109 | 164 |
| | % | 12.6% | 10.7% | 8.2% | 16.1% | 13.7% | 20.7% |
| 問1 性別 | | 13. その他 | 14. 特にない | 15. わからない | 対象者 | | |
| 男性 | 人 | 11 | 21 | 34 | 354 | | |
| | % | 3.1% | 5.9% | 9.6% | | | |
| 女性 | 人 | 13 | 22 | 57 | 429 | | |
| | % | 3.0% | 5.1% | 13.3% | | | |
| 性別を答えることに抵抗を感じる | 人 | 0 | 1 | 1 | 10 | | |
| | % | 0.0% | 10.0% | 10.0% | | | |
| 全体 | 人 | 24 | 44 | 92 | 793 | | |
| | % | 3.0% | 5.5% | 11.6% | | | |

すべての世代が、「講演会、研修会」が効果的方法と回答

人権の大切さを知ってもらう効果的な方法を年代別にみると、各年代で一番多いのは、すべての年代で「1. 講演会、研修会」と回答しています。しかしながら、「1回も講演会、研修会に参加していない」が一番多い世代が、7世代中5世代もあるのが現状です。

2. 調査結果（Ⅷ 地域での啓発活動「(2)講演会や研修・学習会への参加頻度」）

| | | 問 39 人権の大切さを知ってもらう効果的な方法は何だと思いますか。 | | | | | |
|---------|---|------------------------------------|--------------|-----------------|--------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 問 2 年齢 | | 1. 講演会、 研修会 | 2. 展示会 | 3. 広報誌、 ポスター | 4. ケーブル テレビでの 啓発 | 5. 映画を 利用した啓 発 | 6. 新聞、雑 誌を利用し た啓発 |
| 18～29 歳 | 人 | 18 | 8 | 13 | 12 | 14 | 12 |
| | % | 50.0% | 22.2% | 36.1% | 33.3% | 38.9% | 33.3% |
| 30～39 歳 | 人 | 25 | 9 | 16 | 17 | 11 | 14 |
| | % | 61.0% | 22.0% | 39.0% | 41.5% | 26.8% | 34.1% |
| 40～49 歳 | 人 | 36 | 10 | 23 | 23 | 14 | 19 |
| | % | 45.6% | 12.7% | 29.1% | 29.1% | 17.7% | 24.1% |
| 50～59 歳 | 人 | 41 | 7 | 28 | 25 | 26 | 19 |
| | % | 44.1% | 7.5% | 30.1% | 26.9% | 28.0% | 20.4% |
| 60～69 歳 | 人 | 86 | 23 | 73 | 64 | 34 | 41 |
| | % | 46.5% | 12.4% | 39.5% | 34.6% | 18.4% | 22.2% |
| 70～79 歳 | 人 | 66 | 14 | 66 | 65 | 24 | 42 |
| | % | 35.5% | 7.5% | 35.5% | 34.9% | 12.9% | 22.6% |
| 80 歳以上 | 人 | 64 | 8 | 51 | 34 | 13 | 39 |
| | % | 37.0% | 4.6% | 29.5% | 19.7% | 7.5% | 22.5% |
| 全体 | 人 | 336 | 79 | 270 | 240 | 136 | 186 |
| | % | 42.4% | 10.0% | 34.0% | 30.3% | 17.2% | 23.5% |
| 問 2 年齢 | | 7. ネットを 利用した啓 発広報 | 8. 交通広 告 | 9. ワークシ ョップ | 10. 高齢化 や障がいの 疑似体験 | 11. 障がい 者、外国人 との交流会 | 12. 自由な 意見交換が できる会合 |
| 18～29 歳 | 人 | 16 | 7 | 7 | 13 | 10 | 10 |
| | % | 44.4% | 19.4% | 19.4% | 36.1% | 27.8% | 27.8% |
| 30～39 歳 | 人 | 17 | 11 | 6 | 11 | 10 | 9 |
| | % | 41.5% | 26.8% | 14.6% | 26.8% | 24.4% | 22.0% |
| 40～49 歳 | 人 | 16 | 8 | 11 | 16 | 14 | 13 |
| | % | 20.3% | 10.1% | 13.9% | 20.3% | 17.7% | 16.5% |
| 50～59 歳 | 人 | 18 | 16 | 12 | 26 | 21 | 20 |
| | % | 19.4% | 17.2% | 12.9% | 28.0% | 22.6% | 21.5% |
| 60～69 歳 | 人 | 23 | 18 | 16 | 28 | 25 | 29 |
| | % | 12.4% | 9.7% | 8.6% | 15.1% | 13.5% | 15.7% |
| 70～79 歳 | 人 | 7 | 16 | 10 | 21 | 23 | 49 |
| | % | 3.8% | 8.6% | 5.4% | 11.3% | 12.4% | 26.3% |
| 80 歳以上 | 人 | 3 | 9 | 3 | 13 | 6 | 34 |
| | % | 1.7% | 5.2% | 1.7% | 7.5% | 3.5% | 19.7% |
| 全体 | 人 | 100 | 85 | 65 | 128 | 109 | 164 |
| | % | 12.6% | 10.7% | 8.2% | 16.1% | 13.7% | 20.7% |
| 問 2 年齢 | | 13. その他 | 14. 特にな い | 15. わから ない | 対象者 | | |
| 18～29 歳 | 人 | 2 | 1 | 4 | 36 | | |
| | % | 5.6% | 2.8% | 11.1% | | | |
| 30～39 歳 | 人 | 4 | 0 | 3 | 41 | | |
| | % | 9.8% | 0.0% | 7.3% | | | |
| 40～49 歳 | 人 | 4 | 1 | 5 | 79 | | |
| | % | 5.1% | 1.3% | 6.3% | | | |
| 50～59 歳 | 人 | 6 | 1 | 8 | 93 | | |
| | % | 6.5% | 1.1% | 8.6% | | | |
| 60～69 歳 | 人 | 4 | 11 | 21 | 185 | | |
| | % | 2.2% | 5.9% | 11.4% | | | |
| 70～79 歳 | 人 | 1 | 12 | 29 | 186 | | |
| | % | 0.5% | 6.5% | 15.6% | | | |
| 80 歳以上 | 人 | 3 | 18 | 22 | 173 | | |
| | % | 1.7% | 10.4% | 12.7% | | | |
| 全体 | 人 | 24 | 44 | 92 | 793 | | |
| | % | 3.0% | 5.5% | 11.6% | | | |

「講演会、研修・学習会」の効果検証

本市では毎年、人権意識の高揚、同和問題の解消を目的に、講習会・研修会を開催しています。今回の調査でも、人権の大切さを知ってもらうには、講習会・研修会が有効との結果が出ています。そこで、研修会への参加回数との関係で、人権意識の高揚や同和問題の解消にどのように有効であるのかを検証してみました。

検証の結果、有効と考えられるものを記載しています。

①今の日本で人権が尊重されていると思う割合

今の日本で人権が尊重されている（1. 尊重されていると思う＋2. どちらかといえば尊重されていると思う）と思う人が、参加回数「1回もない」66.1%、「1～4回」80.9%、「5～9回」80.3%、「10回以上」83.5%と、参加回数の増加につれて「尊重されている」と思う人が増加しており、明らかに参加により人権意識が醸成されているといえます。

| | | 問4 今の日本で人権は尊重されていると思いますか | | | | | | |
|-------------|---|--------------------------|--------------------|---------------------|-------------|----------|------|--------|
| 問38 参加回数 | | 1. 尊重されている | 2. どちらかといえば尊重されている | 3. どちらかといえば尊重されていない | 4. 尊重されていない | 5. わからない | 無回答 | 総計 |
| 1回もない | 人 | 64 | 166 | 38 | 21 | 53 | 6 | 348 |
| | % | 18.4% | 47.7% | 10.9% | 6.0% | 15.2% | 1.7% | 100.0% |
| 1から4回 | 人 | 32 | 142 | 21 | 8 | 12 | 0 | 215 |
| | % | 14.9% | 66.0% | 9.8% | 3.7% | 5.6% | 0.0% | 100.0% |
| 5から9回 | 人 | 13 | 40 | 6 | 2 | 4 | 1 | 66 |
| | % | 19.7% | 60.6% | 9.1% | 3.0% | 6.1% | 1.5% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 13 | 63 | 9 | 4 | 2 | 0 | 91 |
| | % | 14.3% | 69.2% | 9.9% | 4.4% | 2.2% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 122 | 411 | 74 | 35 | 71 | 7 | 720 |
| | % | 16.9% | 57.1% | 10.3% | 4.9% | 9.9% | 1.0% | 100.0% |

（対象 793 人のうち問38の無回答者 73 人を除いた 720 人で集計）

②人権侵害された経験

差別されたり、自分の人権が侵害された「経験がある」人の方が多くの回数参加されており、参加回数「1回もない」21.6%、「1～4回」25.1%、「5～9回」39.4%、「10回以上」33.0%と、増加しています。侵害された経験が講習会等への参加につながっているといえます。



| | | 問 5 差別されたり、人権が侵害された経験は | | | |
|--------------|---|------------------------|-------|------|--------|
| 問 38 参加回数 | | 1. ある | 2. ない | 無回答 | 総計 |
| 1回もない | 人 | 75 | 252 | 21 | 348 |
| | % | 21.6% | 72.4% | 6.0% | 100.0% |
| 1から4回 | 人 | 54 | 153 | 8 | 215 |
| | % | 25.1% | 71.2% | 3.7% | 100.0% |
| 5から9回 | 人 | 26 | 40 | 0 | 66 |
| | % | 39.4% | 60.6% | 0.0% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 30 | 61 | 0 | 91 |
| | % | 33.0% | 67.0% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 185 | 506 | 29 | 720 |
| | % | 25.7% | 70.3% | 4.0% | 100.0% |

③人権侵害相談場所の認知度

各施設の認知度は研修・学習会に参加した回数を重ねる毎に確実に上昇しており、明らかに因果関係が見受けられます。

| | | 問 6 差別や人権侵害を受けたとき、どこに相談すればよいか知っていますか。 | | | | |
|--------------|---|---------------------------------------|---------------|-----------------------|------------------|--------|
| 問 38 参加回数 | | 1. 法務局 | 2. 人権擁護 委員 | 3. 市役所や 県庁の担当 者 | 4. NPO等の 民間団体 | 5. 警察署 |
| 1回もない | 人 | 46 | 91 | 83 | 21 | 52 |
| | % | 13.2% | 26.1% | 23.9% | 6.0% | 14.9% |
| 1から4回 | 人 | 41 | 101 | 103 | 20 | 47 |
| | % | 19.1% | 47.0% | 47.9% | 9.3% | 21.9% |
| 5から9回 | 人 | 16 | 25 | 34 | 8 | 16 |
| | % | 24.2% | 37.9% | 51.5% | 12.1% | 24.2% |
| 10回以上 | 人 | 43 | 56 | 61 | 16 | 25 |
| | % | 47.3% | 61.5% | 67.0% | 17.6% | 27.5% |
| 全体 | 人 | 146 | 273 | 281 | 65 | 140 |
| | % | 20.3% | 37.9% | 39.0% | 9.0% | 19.4% |
| 問 38 参加回数 | | 6. 弁護士 | 7. その他 | 8. 知らない | 対象者 | |
| 1回もない | 人 | 57 | 5 | 139 | 348 | |
| | % | 16.4% | 1.4% | 39.9% | | |
| 1から4回 | 人 | 67 | 3 | 42 | 215 | |
| | % | 31.2% | 1.4% | 19.5% | | |
| 5から9回 | 人 | 23 | 1 | 17 | 66 | |
| | % | 34.8% | 1.5% | 25.8% | | |
| 10回以上 | 人 | 37 | 3 | 10 | 91 | |
| | % | 40.7% | 3.3% | 11.0% | | |
| 全体 | 人 | 184 | 12 | 208 | 720 | |
| | % | 25.6% | 1.7% | 28.9% | | |

④人権への関心度

人権に関心がある（1. 非常に関心がある＋2. かなり関心がある）割合が、参加回数が「1回もない」33.3%、「1から4回」52.1%、「5から9回」69.7%、「10回以上」71.5%と、人権への関心は参加回数を重ねる毎に確実に上昇しており、明らかに因果関係が見受けられます。

| | | 問7 人権に関心がありますか。 | | | | | |
|-------------|---|-----------------|-----------------|-----------------|--------------|------|--------|
| 問38 参加回数 | | 1. 非常に 関心がある | 2. かなり 関心がある | 3. あまり 関心がない | 4. 関心が ない | 無回答 | 総計 |
| 1回もない | 人 | 20 | 96 | 143 | 64 | 25 | 348 |
| | % | 5.7% | 27.6% | 41.1% | 18.4% | 7.2% | 100.0% |
| 1から4回 | 人 | 24 | 88 | 78 | 14 | 11 | 215 |
| | % | 11.2% | 40.9% | 36.3% | 6.5% | 5.1% | 100.0% |
| 5から9回 | 人 | 6 | 40 | 16 | 1 | 3 | 66 |
| | % | 9.1% | 60.6% | 24.2% | 1.5% | 4.5% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 23 | 42 | 19 | 3 | 4 | 91 |
| | % | 25.3% | 46.2% | 20.9% | 3.3% | 4.4% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 73 | 266 | 256 | 82 | 43 | 720 |
| | % | 10.1% | 36.9% | 35.6% | 11.4% | 6.0% | 100.0% |

⑤差別意識は、近い将来なくすることができる

「1回もない」に比べて参加しているのは、被差別部落の人に対する差別意識は、「近い将来なくすことは難しい」と思っている人の割合が少なくなっている。

| | | 問8-1 差別意識は、近い将来なくすことができますか。 | | | | |
|-------------|---|-----------------------------|-------------------|---------------|------|--------|
| 問38 参加回数 | | 完全になくす ことができます | かなりなくす ことができます | なくすことは難 しい | 無回答 | 総計 |
| 1回もない | 人 | 4 | 53 | 60 | 0 | 117 |
| | % | 3.4% | 45.3% | 51.3% | 0.0% | 100.0% |
| 1から4回 | 人 | 2 | 54 | 36 | 2 | 94 |
| | % | 2.1% | 57.4% | 38.3% | 2.1% | 100.0% |
| 5から9回 | 人 | 1 | 22 | 19 | 1 | 43 |
| | % | 2.3% | 51.2% | 44.2% | 2.3% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 3 | 35 | 26 | 0 | 64 |
| | % | 4.7% | 54.7% | 40.6% | 0.0% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 10 | 164 | 141 | 3 | 318 |
| | % | 3.1% | 51.6% | 44.3% | 0.9% | 100.0% |

⑥部落差別問題で起きている問題認識

参加回数が増えるほど、部落差別問題で起きている問題認識が高くなっている。

| | | 問 9-2 部落差別問題でどのような問題が起きていると思いますか。 | | | | |
|--------------|---|-----------------------------------|------------------------------|--------------------|--------------------------|-------------------|
| 問 38 参加回数 | | 1. 結婚問題 で周囲に反対 されること | 2. 就職・職場 で不利な扱い をされること | 3. 差別的言 動をされること | 4. 差別的な 落書きをされ ること | 5. 身元調査を されること |
| 1回もない | 人 | 107 | 40 | 46 | 5 | 54 |
| | % | 37.2% | 13.9% | 16.0% | 1.7% | 18.8% |
| 1から4回 | 人 | 84 | 36 | 33 | 10 | 65 |
| | % | 44.0% | 18.8% | 17.3% | 5.2% | 34.0% |
| 5から9回 | 人 | 34 | 17 | 13 | 6 | 28 |
| | % | 59.6% | 29.8% | 22.8% | 10.5% | 49.1% |
| 10回以上 | 人 | 51 | 21 | 33 | 19 | 33 |
| | % | 62.2% | 25.6% | 40.2% | 23.2% | 40.2% |
| 全体 | 人 | 276 | 114 | 125 | 40 | 180 |
| | % | 44.7% | 18.4% | 20.2% | 6.5% | 29.1% |
| 問 38 参加回数 | | 6. ネットに差 別的情報を掲 載されること | 7. その他 | 8. 特にない | 9. わからない | 対象者 |
| 1回もない | 人 | 21 | 3 | 46 | 83 | 288 |
| | % | 7.3% | 1.0% | 16.0% | 28.8% | |
| 1から4回 | 人 | 27 | 1 | 32 | 32 | 191 |
| | % | 14.1% | 0.5% | 16.8% | 16.8% | |
| 5から9回 | 人 | 15 | 0 | 5 | 5 | 57 |
| | % | 26.3% | 0.0% | 8.8% | 8.8% | |
| 10回以上 | 人 | 31 | 2 | 5 | 10 | 82 |
| | % | 37.8% | 2.4% | 6.1% | 12.2% | |
| 全体 | 人 | 94 | 6 | 88 | 130 | 618 |
| | % | 15.2% | 1.0% | 14.2% | 21.0% | |

⑦子どもの結婚問題

参加回数が増えるほど、子どもの被差別部落の人との「結婚に反対しない」割合が増加している。

| | | 問 9-3 お子さんが被差別部落の人と結婚するとしたら、どうしますか。 | | | | | | |
|--------------|---|--------------------------------------|--|--|-------------|-------|------|--------|
| 問 38 参加回数 | | 被差別部 落の人だと いうことで 反対はしな い | できれば被 差別部落 の人でない 方が良い が、反対は しない | 反対する が、本人の 意思が強 ければや むをえない | 絶対に反 対する | わからない | 無回答 | 総計 |
| 1回もない | 人 | 99 | 55 | 41 | 11 | 70 | 12 | 288 |
| | % | 34.4% | 19.1% | 14.2% | 3.8% | 24.3% | 4.2% | 100.0% |
| 1から4回 | 人 | 73 | 45 | 14 | 4 | 47 | 8 | 191 |
| | % | 38.2% | 23.6% | 7.3% | 2.1% | 24.6% | 4.2% | 100.0% |
| 5から9回 | 人 | 29 | 12 | 1 | 1 | 11 | 3 | 57 |
| | % | 50.9% | 21.1% | 1.8% | 1.8% | 19.3% | 5.3% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 50 | 11 | 4 | 2 | 12 | 3 | 82 |
| | % | 61.0% | 13.4% | 4.9% | 2.4% | 14.6% | 3.7% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 251 | 123 | 60 | 18 | 140 | 26 | 618 |
| | % | 40.6% | 19.9% | 9.7% | 2.9% | 22.7% | 4.2% | 100.0% |



⑧同和対策審議会答申の認知度

参加回数が増えるほど、同和対策審議会答申を「よく知っている」割合が増加している。

| | | 問 10 同和対策審議会答申をどの程度知っていますか。 | | | | | |
|--------------|---|-----------------------------|----------|---------|-------|------|--------|
| 問 38 参加回数 | | よく知っている | 多少は知っている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 総計 |
| 1回もない | 人 | 1 | 49 | 136 | 146 | 16 | 348 |
| | % | 0.3% | 14.1% | 39.1% | 42.0% | 4.6% | 100.0% |
| 1から4回 | 人 | 5 | 51 | 98 | 54 | 7 | 215 |
| | % | 2.3% | 23.7% | 45.6% | 25.1% | 3.3% | 100.0% |
| 5から9回 | 人 | 4 | 23 | 19 | 19 | 1 | 66 |
| | % | 6.1% | 34.8% | 28.8% | 28.8% | 1.5% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 20 | 36 | 23 | 9 | 3 | 91 |
| | % | 22.0% | 39.6% | 25.3% | 9.9% | 3.3% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 30 | 159 | 276 | 228 | 27 | 720 |
| | % | 4.2% | 22.1% | 38.3% | 31.7% | 3.8% | 100.0% |

⑨部落差別解消推進法の認知度

参加回数が増えるほど、部落差別解消推進法を「よく知っている」割合が増加している。

| | | 問 11 部落差別解消推進法を知っていますか。 | | | | | |
|--------------|---|-------------------------|----------|---------|-------|------|--------|
| 問 38 参加回数 | | よく知っている | 多少は知っている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 総計 |
| 1回もない | 人 | 1 | 30 | 106 | 200 | 11 | 348 |
| | % | 0.3% | 8.6% | 30.5% | 57.5% | 3.2% | 100.0% |
| 1から4回 | 人 | 6 | 47 | 87 | 71 | 4 | 215 |
| | % | 2.8% | 21.9% | 40.5% | 33.0% | 1.9% | 100.0% |
| 5から9回 | 人 | 3 | 21 | 27 | 12 | 3 | 66 |
| | % | 4.5% | 31.8% | 40.9% | 18.2% | 4.5% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 25 | 38 | 20 | 7 | 1 | 91 |
| | % | 27.5% | 41.8% | 22.0% | 7.7% | 1.1% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 35 | 136 | 240 | 290 | 19 | 720 |
| | % | 4.9% | 18.9% | 33.3% | 40.3% | 2.6% | 100.0% |

⑩部落差別が存在する理由の認知度

参加回数が増えるほど、現在もなお部落差別が存在する理由について関心が高くなっている。

| | | 問 12 現在もなお部落差別が存在するのは、なぜだと思いますか。 | | | | | |
|--------------|---|----------------------------------|--------------------|--------------------|------------------------|--------------------|------------------------------|
| 問 38 参加回数 | | 1. 知識が無かったり、無関心な人がいるから | 2. 差別意識を助長する人がいるから | 3. 教育や啓発が十分でなかったから | 4. 偏見や差別意識を受け入れる人が居るから | 5. 地域社会や家庭で話題となるから | 6. えせ同和行為等により、「同和問題は怖い」と思うから |
| | 人 | 81 | 42 | 49 | 154 | 25 | 42 |
| 1回もない | % | 23.3% | 12.1% | 14.1% | 44.3% | 7.2% | 12.1% |
| | 人 | 76 | 32 | 35 | 132 | 29 | 34 |
| 1から4回 | % | 35.3% | 14.9% | 16.3% | 61.4% | 13.5% | 15.8% |
| | 人 | 30 | 19 | 12 | 46 | 6 | 21 |
| 5から9回 | % | 45.5% | 28.8% | 18.2% | 69.7% | 9.1% | 31.8% |
| | 人 | 55 | 34 | 26 | 64 | 10 | 25 |
| 10回以上 | % | 60.4% | 37.4% | 28.6% | 70.3% | 11.0% | 27.5% |
| | 人 | 242 | 127 | 122 | 396 | 70 | 122 |
| 全体 | % | 33.6% | 17.6% | 16.9% | 55.0% | 9.7% | 16.9% |
| | | | 7. 部落差別は、もはや存在しない | 8. その他 | 9. 特にない | 10. わからない | 対象者 |
| 問 38 参加回数 | 人 | 31 | 11 | 29 | 66 | 348 | |
| | % | 8.9% | 3.2% | 8.3% | 19.0% | | |
| 1回もない | 人 | 18 | 9 | 5 | 23 | 215 | |
| | % | 8.4% | 4.2% | 2.3% | 10.7% | | |
| 1から4回 | 人 | 3 | 3 | 2 | 4 | 66 | |
| | % | 4.5% | 4.5% | 3.0% | 6.1% | | |
| 5から9回 | 人 | 2 | 4 | 1 | 1 | 91 | |
| | % | 2.2% | 4.4% | 1.1% | 1.1% | | |
| 10回以上 | 人 | 54 | 27 | 37 | 94 | 720 | |
| | % | 7.5% | 3.8% | 5.1% | 13.1% | | |

⑪学校での部落差別問題を学び程度と参加回数の関

学校で、部落差別問題について学んだ（「かなり学んだ」＋「少しは学んだ」）人ほど、参加回数が増えている。

| | | | 問 13 学校で、部落差別問題について教育を受けましたか。 | | | | | |
|--------------|-------|---|-------------------------------|------------|---------------|----------------------|-------|--------|
| 問 38 参加回数 | | | かなり学 んだ | 少しは学 んだ | まったく学 んでない | この学校 には行っ ていない | 無回答 | 総計 |
| ① 小学校 | 1回もない | 人 | 12 | 74 | 163 | 5 | 94 | 348 |
| | | % | 3.4% | 21.3% | 46.8% | 1.4% | 27.0% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 10 | 74 | 82 | 1 | 48 | 215 |
| | | % | 4.7% | 34.4% | 38.1% | 0.5% | 22.3% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 6 | 21 | 26 | 2 | 11 | 66 |
| | | % | 9.1% | 31.8% | 39.4% | 3.0% | 16.7% | 100.0% |
| | 10回以上 | 人 | 14 | 25 | 39 | 2 | 11 | 91 |
| | | % | 15.4% | 27.5% | 42.9% | 2.2% | 12.1% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 42 | 194 | 310 | 10 | 164 | 720 |
| | | % | 5.8% | 26.9% | 43.1% | 1.4% | 22.8% | 100.0% |
| ② 中学校 | 1回もない | 人 | 11 | 87 | 158 | 8 | 84 | 348 |
| | | % | 3.2% | 25.0% | 45.4% | 2.3% | 24.1% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 19 | 93 | 63 | 1 | 39 | 215 |
| | | % | 8.8% | 43.3% | 29.3% | 0.5% | 18.1% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 6 | 24 | 25 | 3 | 8 | 66 |
| | | % | 9.1% | 36.4% | 37.9% | 4.5% | 12.1% | 100.0% |
| | 10回以上 | 人 | 17 | 33 | 32 | 2 | 7 | 91 |
| | | % | 18.7% | 36.3% | 35.2% | 2.2% | 7.7% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 53 | 237 | 278 | 14 | 138 | 720 |
| | | % | 7.4% | 32.9% | 38.6% | 1.9% | 19.2% | 100.0% |
| ③ 高校 | 1回もない | 人 | 2 | 55 | 153 | 27 | 111 | 348 |
| | | % | 0.6% | 15.8% | 44.0% | 7.8% | 31.9% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 12 | 65 | 87 | 7 | 44 | 215 |
| | | % | 5.6% | 30.2% | 40.5% | 3.3% | 20.5% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 1 | 23 | 27 | 5 | 10 | 66 |
| | | % | 1.5% | 34.8% | 40.9% | 7.6% | 15.2% | 100.0% |
| | 10回以上 | 人 | 5 | 41 | 35 | 1 | 9 | 91 |
| | | % | 5.5% | 45.1% | 38.5% | 1.1% | 9.9% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 20 | 184 | 302 | 40 | 174 | 720 |
| | | % | 2.8% | 25.6% | 41.9% | 5.6% | 24.2% | 100.0% |
| ④ 大学 | 1回もない | 人 | 1 | 6 | 66 | 95 | 180 | 348 |
| | | % | 0.3% | 1.7% | 19.0% | 27.3% | 51.7% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 0 | 7 | 60 | 53 | 95 | 215 |
| | | % | 0.0% | 3.3% | 27.9% | 24.7% | 44.2% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 1 | 6 | 20 | 18 | 21 | 66 |
| | | % | 1.5% | 9.1% | 30.3% | 27.3% | 31.8% | 100.0% |
| | 10回以上 | 人 | 5 | 12 | 30 | 24 | 20 | 91 |
| | | % | 5.5% | 13.2% | 33.0% | 26.4% | 22.0% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 7 | 31 | 176 | 190 | 316 | 720 |
| | | % | 1.0% | 4.3% | 24.4% | 26.4% | 43.9% | 100.0% |

⑫部落差別問題解消策の知識と参加回数の関係

部落差別問題解消のためには、今後どうすれば良いですかに対し、「わからない」と回答した人が、「1回もない」人（18.1%）に比べ、参加している人の方が少ない（1.1%～6.5%）。

| | | 問 14 部落差別問題解消のためには、今後どうすれば良いですか。 | | | | |
|--------------|---|----------------------------------|-----------------------------|---------------------------|------------------------------|----------------------------|
| 問 38 参加回数 | | 1. 人権尊重 の意識をもつ と自覚する | 2. 行政がもつ と積極的に施 策を講ずる | 3. 自然に無く なっていくのを 待つ | 4. 差別的な書 き込みをする 人を処罰する | 5. えせ同和 行為をする人 を処罰する |
| 1回もない | 人 | 158 | 72 | 86 | 52 | 53 |
| | % | 45.4% | 20.7% | 24.7% | 14.9% | 15.2% |
| 1から4回 | 人 | 123 | 50 | 60 | 28 | 41 |
| | % | 57.2% | 23.3% | 27.9% | 13.0% | 19.1% |
| 5から9回 | 人 | 37 | 17 | 25 | 20 | 25 |
| | % | 56.1% | 25.8% | 37.9% | 30.3% | 37.9% |
| 10回以上 | 人 | 74 | 29 | 7 | 23 | 25 |
| | % | 81.3% | 31.9% | 7.7% | 25.3% | 27.5% |
| 全体 | 人 | 392 | 168 | 178 | 123 | 144 |
| | % | 54.4% | 23.3% | 24.7% | 17.1% | 20.0% |
| 問 38 参加回数 | | 6. 差別する 人を処罰する | 7. その他 | 8. 特にな い | 9. わから ない | 対象者 |
| 1回もない | 人 | 38 | 12 | 29 | 63 | 348 |
| | % | 10.9% | 3.4% | 8.3% | 18.1% | |
| 1から4回 | 人 | 29 | 12 | 8 | 14 | 215 |
| | % | 13.5% | 5.6% | 3.7% | 6.5% | |
| 5から9回 | 人 | 16 | 3 | 1 | 4 | 66 |
| | % | 24.2% | 4.5% | 1.5% | 6.1% | |
| 10回以上 | 人 | 11 | 7 | 1 | 1 | 91 |
| | % | 12.1% | 7.7% | 1.1% | 1.1% | |
| 全体 | 人 | 94 | 34 | 39 | 82 | 720 |
| | % | 13.1% | 4.7% | 5.4% | 11.4% | |

⑬職場での男女平等が実現と参加回数の関係

職場では、参加が「1回もない」人（7.8%）に比べ、参加している人の方が「男女平等が実現している」と回答した人が多い（11.2%～18.7%）。

| | | 問 15 職場で男女平等が実現していると思いますか。 | | | | | | | | |
|--------------|---|----------------------------|----------|------------------|------------|------------------|------------|---------------|---------|--------|
| 問 38 参加回数 | | 実現し ている | ほぼ平 等 | やや女 性に不 利益 | 女性に 不利益 | やや男 性に不 利益 | 男性に 不利益 | わか ら ない | 無回 答 | 総計 |
| 1回もない | 人 | 27 | 56 | 74 | 35 | 3 | 6 | 42 | 105 | 348 |
| | % | 7.8% | 16.1% | 21.3% | 10.1% | 0.9% | 1.7% | 12.1% | 30.2% | 100.0% |
| 1から4回 | 人 | 24 | 63 | 62 | 21 | 2 | 1 | 11 | 31 | 215 |
| | % | 11.2% | 29.3% | 28.8% | 9.8% | 0.9% | 0.5% | 5.1% | 14.4% | 100.0% |
| 5から9回 | 人 | 9 | 17 | 13 | 7 | 0 | 1 | 8 | 11 | 66 |
| | % | 13.6% | 25.8% | 19.7% | 10.6% | 0.0% | 1.5% | 12.1% | 16.7% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 17 | 23 | 28 | 7 | 0 | 1 | 6 | 9 | 91 |
| | % | 18.7% | 25.3% | 30.8% | 7.7% | 0.0% | 1.1% | 6.6% | 9.9% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 77 | 159 | 177 | 70 | 5 | 9 | 67 | 156 | 720 |
| | % | 10.7% | 22.1% | 24.6% | 9.7% | 0.7% | 1.3% | 9.3% | 21.7% | 100.0% |

⑭女性に関する人権問題の知識と参加回数の関係

女性に関する人権問題にはどのようなものがあるかということに対し、「わからない」と回答した人が、参加が「1回もない」人（18.7%）に比べ、参加している人の方が少ない（8.8%～4.4%）。

| | | 問 16 女性に関することで、どのような人権問題があると思いますか。 | | | | | |
|--------------|---|------------------------------------|-------------------------|-------|-------|------------|------------------------|
| 問 38 参加回数 | | 固定的な役割 分担意識 | 職場での差 別待遇 | DV | セクハラ | 性犯罪や売 春 | 女性を性の 対象ととらえ た風潮 |
| 1回もない | 人 | 99 | 139 | 76 | 83 | 55 | 49 |
| | % | 28.4% | 39.9% | 21.8% | 23.9% | 15.8% | 14.1% |
| 1から4回 | 人 | 93 | 114 | 76 | 81 | 52 | 50 |
| | % | 43.3% | 53.0% | 35.3% | 37.7% | 24.2% | 23.3% |
| 5から9回 | 人 | 27 | 37 | 26 | 25 | 19 | 18 |
| | % | 40.9% | 56.1% | 39.4% | 37.9% | 28.8% | 27.3% |
| 10回以上 | 人 | 58 | 51 | 42 | 44 | 36 | 27 |
| | % | 63.7% | 56.0% | 46.2% | 48.4% | 39.6% | 29.7% |
| 全体 | 人 | 277 | 341 | 220 | 233 | 162 | 144 |
| | % | 38.5% | 47.4% | 30.6% | 32.4% | 22.5% | 20.0% |
| 問 38 参加回数 | | 女性の働く 風俗営業 | 女性だけに 用いられる 言葉がある | その他 | 特にない | わからない | 対象者 |
| 1回もない | 人 | 25 | 20 | 6 | 62 | 65 | 348 |
| | % | 7.2% | 5.7% | 1.7% | 17.8% | 18.7% | |
| 1から4回 | 人 | 28 | 25 | 3 | 17 | 19 | 215 |
| | % | 13.0% | 11.6% | 1.4% | 7.9% | 8.8% | |
| 5から9回 | 人 | 11 | 8 | 1 | 7 | 3 | 66 |
| | % | 16.7% | 12.1% | 1.5% | 10.6% | 4.5% | |
| 10回以上 | 人 | 17 | 21 | 1 | 3 | 4 | 91 |
| | % | 18.7% | 23.1% | 1.1% | 3.3% | 4.4% | |
| 全体 | 人 | 81 | 74 | 11 | 89 | 91 | 720 |
| | % | 11.3% | 10.3% | 1.5% | 12.4% | 12.6% | |

⑮「結婚は個人の自由」との考え方と参加回数の関係

「結婚後、必ずしも子どもを持つ必要はない」との考え方と参加回数の関係

「家事や育児は、夫婦で分担した方が良い」との考え方と参加回数の関係

「結婚は個人の自由」に「賛成」の人と、参加回数とは明らかに関連しており、参加が「1回もない」人（35.6%）に比べ、参加している人の方が多（40.9%～50.5%）。

「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」に「賛成」の人と、参加回数とは明らかに関連しており、参加が「1回もない」人（18.7%）に比べ、参加している人の方が多（22.8%～24.2%）。

「家事や育児は、夫婦で分担した方が良い」に「賛成」の人と、参加回数とは明らかに関連しており、参加が「1回もない」人（45.1%）に比べ、参加している人の方が多（51.2%～65.9%）。



| | | 問 17 女性の結婚、家庭、出産、子育てについて | | | | | | | |
|------------------|--------------|--------------------------|-------|--------------------|--------------------|-------|-------|-------|--------|
| 問 17 | 問 38 参加回数 | | 賛成 | どちらか といえば 賛成 | どちらか といえば 反対 | 反対 | 分らない | 無回答 | 総計 |
| 結婚は個人の自由 | 1回もない | 人 | 124 | 70 | 28 | 18 | 43 | 65 | 348 |
| | | % | 35.6% | 20.1% | 8.0% | 5.2% | 12.4% | 18.7% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 93 | 51 | 33 | 11 | 17 | 10 | 215 |
| | | % | 43.3% | 23.7% | 15.3% | 5.1% | 7.9% | 4.7% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 27 | 11 | 17 | 3 | 4 | 4 | 66 |
| | | % | 40.9% | 16.7% | 25.8% | 4.5% | 6.1% | 6.1% | 100.0% |
| | 10回以上 | 人 | 46 | 16 | 15 | 4 | 5 | 5 | 91 |
| | | % | 50.5% | 17.6% | 16.5% | 4.4% | 5.5% | 5.5% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 290 | 148 | 93 | 36 | 69 | 84 | 720 |
| | | % | 40.3% | 20.6% | 12.9% | 5.0% | 9.6% | 11.7% | 100.0% |
| 必ずしも子どもを持つ必要はない | 1回もない | 人 | 65 | 52 | 54 | 36 | 71 | 70 | 348 |
| | | % | 18.7% | 14.9% | 15.5% | 10.3% | 20.4% | 20.1% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 49 | 36 | 53 | 23 | 40 | 14 | 215 |
| | | % | 22.8% | 16.7% | 24.7% | 10.7% | 18.6% | 6.5% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 16 | 9 | 15 | 9 | 14 | 3 | 66 |
| | | % | 24.2% | 13.6% | 22.7% | 13.6% | 21.2% | 4.5% | 100.0% |
| | 10回以上 | 人 | 21 | 14 | 25 | 9 | 14 | 8 | 91 |
| | | % | 23.1% | 15.4% | 27.5% | 9.9% | 15.4% | 8.8% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 151 | 111 | 147 | 77 | 139 | 95 | 720 |
| | | % | 21.0% | 15.4% | 20.4% | 10.7% | 19.3% | 13.2% | 100.0% |
| 家事や育児は、夫婦分担の方が良い | 1回もない | 人 | 157 | 84 | 14 | 2 | 38 | 53 | 348 |
| | | % | 45.1% | 24.1% | 4.0% | 0.6% | 10.9% | 15.2% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 110 | 72 | 5 | 1 | 12 | 15 | 215 |
| | | % | 51.2% | 33.5% | 2.3% | 0.5% | 5.6% | 7.0% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 35 | 19 | 4 | 1 | 4 | 3 | 66 |
| | | % | 53.0% | 28.8% | 6.1% | 1.5% | 6.1% | 4.5% | 100.0% |
| | 10回以上 | 人 | 60 | 22 | 1 | 0 | 3 | 5 | 91 |
| | | % | 65.9% | 24.2% | 1.1% | 0.0% | 3.3% | 5.5% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 362 | 197 | 24 | 4 | 57 | 76 | 720 |
| | | % | 50.3% | 27.4% | 3.3% | 0.6% | 7.9% | 10.6% | 100.0% |

⑩家庭や社会の中での高齢者の状況と参加回数の関係

家庭の中では、「大切にされている」と考えている人と、参加回数とは明らかに関連しており、「1回もない」人（31.9%）に比べ、参加している人の方が多い（36.4%～41.8%）。

社会では、「大切にされている」と考えている人と、参加回数との関連性は明確ではありませんが、「どちらかといえば大切にされている」人と、参加回数とは明らかに関連しており、参加が「1回もない」人（36.5%）に比べ、参加している人の方が多い（40.9%～56.0%）。

| | | 問 18 高齢者の状況 | | | | | | | |
|---------------------|--------------|-------------|------------------|--|---|---------------------------------------|---------------------------------------|-------|--------|
| 問 18 | 問 38 参加回数 | | 大切に されて いる | どち らか とい え ば 大 切 に さ れ て い る | どち らか とい え ば 大 切 に さ れ て い ない | 大 切 に さ れ て い ない | ど ち ら と も い え ない | 無回答 | 総計 |
| ① 家庭 の中 では | 1回もない | 人 | 111 | 145 | 20 | 6 | 32 | 34 | 348 |
| | | % | 31.9% | 41.7% | 5.7% | 1.7% | 9.2% | 9.8% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 82 | 101 | 8 | 0 | 13 | 11 | 215 |
| | | % | 38.1% | 47.0% | 3.7% | 0.0% | 6.0% | 5.1% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 24 | 24 | 6 | 1 | 7 | 4 | 66 |
| | | % | 36.4% | 36.4% | 9.1% | 1.5% | 10.6% | 6.1% | 100.0% |
| | 10回以上 | 人 | 38 | 40 | 3 | 0 | 5 | 5 | 91 |
| | | % | 41.8% | 44.0% | 3.3% | 0.0% | 5.5% | 5.5% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 255 | 310 | 37 | 7 | 57 | 54 | 720 |
| | | % | 35.4% | 43.1% | 5.1% | 1.0% | 7.9% | 7.5% | 100.0% |
| ② 社会 では | 1回もない | 人 | 64 | 127 | 34 | 14 | 38 | 71 | 348 |
| | | % | 18.4% | 36.5% | 9.8% | 4.0% | 10.9% | 20.4% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 53 | 110 | 13 | 5 | 15 | 19 | 215 |
| | | % | 24.7% | 51.2% | 6.0% | 2.3% | 7.0% | 8.8% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 15 | 27 | 7 | 1 | 9 | 7 | 66 |
| | | % | 22.7% | 40.9% | 10.6% | 1.5% | 13.6% | 10.6% | 100.0% |
| | 10回以上 | 人 | 15 | 51 | 6 | 2 | 9 | 8 | 91 |
| | | % | 16.5% | 56.0% | 6.6% | 2.2% | 9.9% | 8.8% | 100.0% |
| | 全体 | 人 | 147 | 315 | 60 | 22 | 71 | 105 | 720 |
| | | % | 20.4% | 43.8% | 8.3% | 3.1% | 9.9% | 14.6% | 100.0% |

⑪家庭での子どもの様子と参加回数の関係

学校での子どもの様子と参加回数の関係

地域での子どもの様子と参加回数の関係

家庭の中では、子どもは「幸せに過ごしている」と考えている人と、参加回数とは明らかに関連しており、「1回もない」人（37.6%）に比べ、参加している人の方が多い（44.0%～49.3%）。

学校で、子どもは「幸せに過ごしている」と考えている人と、参加回数とは明らかに関連しており、「1回もない」人（16.7%）に比べ、参加している人の方が多い（20.5%～30.8%）。

地域（家庭や学校以外）でも、子どもは「幸せに過ごしている」と考えている人と、参加回数とは明らかに関連しており、「1回もない」人（20.1%）に比べ、参加している人の方が多い（21.4%～30.8%）。

| | | 問 20 子どもの様子について | | | | | | | |
|--------|-----------|-----------------|-------------------|-------------------------------|--------------------------------------|------------------|-----------|--------|--------|
| 問 20 | 問 38 参加回数 | | 幸せに 過ごして いる | どちら かとい えば幸 せなよ う | どちら かとい えば幸 せでは ないよ う | 幸せで はない よう | わから ない | 無回答 | 総計 |
| ① 家庭では | 1回もない | 人 | 131 | 105 | 10 | 3 | 47 | 52 | 348 |
| | | % | 37.6% | 30.2% | 2.9% | 0.9% | 13.5% | 14.9% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 106 | 82 | 4 | 3 | 9 | 11 | 215 |
| | | % | 49.3% | 38.1% | 1.9% | 1.4% | 4.2% | 5.1% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 30 | 22 | 3 | 0 | 7 | 4 | 66 |
| | | % | 45.5% | 33.3% | 4.5% | 0.0% | 10.6% | 6.1% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 40 | 42 | 3 | 0 | 3 | 3 | 91 | |
| | % | 44.0% | 46.2% | 3.3% | 0.0% | 3.3% | 3.3% | 100.0% | |
| 全体 | | 人 | 307 | 251 | 20 | 6 | 66 | 70 | 720 |
| | | % | 42.6% | 34.9% | 2.8% | 0.8% | 9.2% | 9.7% | 100.0% |
| ② 学校では | 1回もない | 人 | 58 | 91 | 18 | 6 | 62 | 113 | 348 |
| | | % | 16.7% | 26.1% | 5.2% | 1.7% | 17.8% | 32.5% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 44 | 98 | 18 | 6 | 17 | 32 | 215 |
| | | % | 20.5% | 45.6% | 8.4% | 2.8% | 7.9% | 14.9% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 18 | 29 | 4 | 0 | 9 | 6 | 66 |
| | | % | 27.3% | 43.9% | 6.1% | 0.0% | 13.6% | 9.1% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 28 | 50 | 1 | 1 | 6 | 5 | 91 | |
| | % | 30.8% | 54.9% | 1.1% | 1.1% | 6.6% | 5.5% | 100.0% | |
| 全体 | | 人 | 148 | 268 | 41 | 13 | 94 | 156 | 720 |
| | | % | 20.6% | 37.2% | 5.7% | 1.8% | 13.1% | 21.7% | 100.0% |
| ③ 地域では | 1回もない | 人 | 70 | 97 | 21 | 5 | 57 | 98 | 348 |
| | | % | 20.1% | 27.9% | 6.0% | 1.4% | 16.4% | 28.2% | 100.0% |
| | 1から4回 | 人 | 46 | 109 | 12 | 3 | 19 | 26 | 215 |
| | | % | 21.4% | 50.7% | 5.6% | 1.4% | 8.8% | 12.1% | 100.0% |
| | 5から9回 | 人 | 16 | 30 | 6 | 1 | 9 | 4 | 66 |
| | | % | 24.2% | 45.5% | 9.1% | 1.5% | 13.6% | 6.1% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 28 | 47 | 2 | 2 | 4 | 8 | 91 | |
| | % | 30.8% | 51.6% | 2.2% | 2.2% | 4.4% | 8.8% | 100.0% | |
| 全体 | | 人 | 160 | 283 | 41 | 11 | 89 | 136 | 720 |
| | | % | 22.2% | 39.3% | 5.7% | 1.5% | 12.4% | 18.9% | 100.0% |

⑩障害者差別解消法を「よく知っている」人と参加回数

障害者差別解消法（正式名称：「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」）を「よく知っている」人と、参加回数とは明確な関連性があります。参加回数が「1回もない」人（0.9%）に比べ、「1から4回」の人（2.3%）、「5から9回」の人（4.5%）、「10回以上」の人（15.4%）と参加回数が増えるにつれて知識も増えている様子がみられます。

| | | 問 24 障害者差別解消法を知っていますか。 | | | | | |
|--------------|---|------------------------|----------|---------|-------|------|--------|
| 問 38 参加回数 | | よく知っている | 多少は知っている | あまり知らない | 知らない | 無回答 | 総計 |
| 1回もない | 人 | 3 | 41 | 106 | 188 | 10 | 348 |
| | % | 0.9% | 11.8% | 30.5% | 54.0% | 2.9% | 100.0% |
| 1から4回 | 人 | 5 | 58 | 85 | 62 | 5 | 215 |
| | % | 2.3% | 27.0% | 39.5% | 28.8% | 2.3% | 100.0% |
| 5から9回 | 人 | 3 | 20 | 28 | 14 | 1 | 66 |
| | % | 4.5% | 30.3% | 42.4% | 21.2% | 1.5% | 100.0% |
| 10回以上 | 人 | 14 | 34 | 31 | 10 | 2 | 91 |
| | % | 15.4% | 37.4% | 34.1% | 11.0% | 2.2% | 100.0% |
| 全体 | 人 | 25 | 153 | 250 | 274 | 18 | 720 |
| | % | 3.5% | 21.3% | 34.7% | 38.1% | 2.5% | 100.0% |

Ⅸ 自由意見

自由意見には、138 人の方から貴重な意見をいただきました。

| 年齢 | 人数（人） |
|---------|-------|
| 18～29 歳 | 5 |
| 30～39 歳 | 7 |
| 40～49 歳 | 14 |
| 50～59 歳 | 24 |
| 60～69 歳 | 29 |
| 70～79 歳 | 32 |
| 80 歳以上 | 26 |
| 年齢不詳 | 1 |
| 合 計 | 138 |

意見の内容を項目別に分けると、下記のようにになりました。今後の啓発活動の参考として活用させていただきます。

| | |
|----------------|------|
| I 人権の尊重・人権への関心 | 40 件 |
| II 部落差別問題 | 12 件 |
| III 女性の人権 | 2 件 |
| IV 高齢者の人権 | 6 件 |
| V 子どもの人権 | 1 件 |
| VI 障がい者の人権 | 2 件 |
| VII その他の人権 | 8 件 |
| VIII 地域での啓発活動 | 32 件 |
| 上記の内容に含まれないもの | 18 件 |



第3章
まとめ

まとめ

I 人権の尊重・人権への関心

(1) 今の日本で、人権は尊重されていると思いますか。

尊重されていると思う人は、約7割

「尊重されている（尊重されていると思う＋どちらかといえば尊重されていると思う）」と思う人が73.4%、「尊重されていない（どちらかといえば尊重されていないと思う＋尊重されていないと思う）」と思う人が14.8%でした。

「尊重されている」と思う人が73.4%は、県（71.8%）を1.6ポイント上回っています。

男女別にみると、男性は「尊重されている」と思う人が81.0%であるのに対し、女性は67.4%しかなく、男女間で大きな開きがあります。

年代別にみると、「尊重されている」と思う人が、18～29歳と80歳以上で少なくなっています。

(2) 自分が差別されたり、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。

4人に1人の割合で被害にあっている

差別されたり、自分の人権が侵害されたと思ったことがある人が25.2%で、4人に1人います。県（27.3%）に比べると、2.1ポイント下回っています。

男女別にみると、男性（21.8%）に比べ女性（27.0%）の方が多く、男性は5人に1人、女性は3人に1人。

年齢別にみると、30～39歳が39.0%で最も多く、80歳以上が16.2%で最も少なくなっています。傾向的には、30歳代をピークに年齢が上がるにつれ減少しています。

(3) 差別や人権侵害の内容

最も多いのは、「あらぬ噂(うわさ)、他人からの悪口、かげろ」

差別されたり、人権が侵害されたと思った事の上位3項目は、「あらぬ噂(うわさ)、悪口、かげろ」が最も多く56.0%、次いで「名誉・信用の毀損(きそん)、侮辱(ぶじょく)」が21.5%、三番目が「職場での嫌がらせ」18.0%となっています。

差別されたり、人権が侵害されたと思った事の一番目の「あらぬ噂(うわさ)、他人からの悪口、かげろ」については、男女差は大きくありません。二番目の「名誉・信用の毀損(きそん)、侮辱(ぶじょく)」については、男性が31.2%、女性が13.8%で大きな開きがあります。三番目の「職場での嫌がらせ」についても、男性が24.7%、女性が12.1%で大きな開きがあります。

年代別にみると、項目によって対処年齢はバラバラですが、傾向的には年代が上がるにつれて問題は減少する傾向にあります。30歳代に問題が多いといえます。

(4) 差別や人権侵害を受けたときの対処法**「抗議も相談もしなかった」が半数**

差別されたり、人権が侵害されたと思った時に、「抗議も相談もしなかった」が51.5%で最も多く、半数の人が相手に対して何も対応していないという結果となっています。

県では、「抗議も相談もしなかった」は39.3%しかなく、「身近な人に相談」が29.5%、「相手に抗議した」が14.1%あり、対応の仕方に相違がみられます。

対処法に男女別の差なし

男女別にみても、「抗議も相談もしなかった」が男女とも最も多く、男性49.4%、女性51.7%となっています。次いで多いのが「身近な人に相談した」で男性22.1%、女性25.0%となっており、対処法に男女差はありません。

年代別にみると、「身近な人に相談した」は18～29歳が、「相手に抗議した」は50～59歳が、「抗議も相談もしなかった」は40～49歳が最も多くなっています。

(5) 差別や人権侵害を受けたときの相談場所を知っていますか**「知らない」が3割**

差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関として、最も認知度が高かったのは「市役所や県庁の担当課」で37.5%でした。「知らない」が29.3%ありました。

県に比べて、「人権擁護委員」、「市役所や県庁の担当課」を挙げる人が多くみられます。

最も認知度が高かったのは男性では「人権擁護委員」41.5%、次いで「市役所や県庁の担当者」41.2%、三番目が「弁護士」26.3%で、「知らない」は24.3%となっています。

女性では「市役所や県庁の担当者」が最も多く34.7%、次いで「人権擁護委員」32.6%、三番目が「弁護士」21.7%で、「知らない」は33.1%となっています。

年齢別にみると、18～69歳までは「市役所や県庁の担当者」の認知度が最も高く、70歳以上は「人権擁護委員」の認知度が最も高くなっています。

「知らない」は、年代が上がるにつれ、減少傾向にあります。「知らない」が最も多いのは、30～39歳で48.8%もあり、二人に1人の割合です。

(6) 人権に関心がありますか**人権問題への関心は県と同程度**

人権問題に「関心がある（非常に関心がある＋少しは関心がある）」と回答した人が44.5%でした。県（47.0%）と比較すると、竹田市民は人権問題への関心は同程度といえます。

人権問題に「非常に関心がある」と回答した人は男性14.1%に対し女性6.8%でした。女性の方が人権問題への関心がやや低いといえます。

年代別にみると、人権問題に「関心がある」と回答した人は「18～29歳」61.1%、「30～39歳」39.0%、「40～49歳」48.1%、「50～59歳」44.1%、「60～69歳」44.9%、「70～79歳」47.3%、「80歳以上」37.6%でした。

(7) 関心がある人権課題は何ですか

最も関心が高いのは「障がい者」

最も関心が高いのは、「障がい者」で 57.5%、次いで「高齢者」で 46.7%、三番目が「子ども」で 40.9%となっています。

県も、最も関心が高いのは、「障がい者」で 54.4%ですが、二番目は「女性」・「子ども」で 40.3%、三番目が「高齢者」で 39.1%となっています。

男性の方が関心の高いものは「障がい者」で、男性 61.6%、女性 54.5%、「部落差別問題」で男性 33.0%、女性 22.3%となっています。

反対に女性の方が関心の高いものは「女性」で女性 44.3%、男性 25.5%、「高齢者」で女性 51.8%、男性 41.2%となっています。

男女とも同程度で関心の高いのが、「子ども」で女性 42.0%、男性 39.5%となっています。

年代別に関心がある人権課題をみると、「18～29歳」は「ネットによる人権侵害」、「30～39歳」は「子ども」と「障がい者」、「40～49歳」は「ネットによる人権侵害」、「50～59歳」と「60～69歳」と「70～79歳」は「障がい者」、「80歳以上」は「高齢者」でした。

II 部落差別問題（同和問題）

(1) 差別意識を持った人がまだいると思いますか

いまだに、いると思う人 > いなくなったと思う人

同和問題での差別意識を「持っていないと思う人（差別意識を持っている人はもういなくなった+ほとんどの人が差別意識は持っていない）」は、いまだに 36.6%にとどまっています。県も 37.3%で差がありません。

「まだいる（なかにはいる+まだ多い）」と思っている人は 42.0%おり、いないと思っている人を 5.4ポイント上回っています。県も同様に 2.3ポイント上回っています。

同和問題での差別意識を「持っていないと思う人」は男女ともに 36.4%で差がありません。しかしながら、差別意識が残っている人が「まだいる」と思っている人は、男性 46.3%・女性 38.5%で、男性の方が多いという結果です。

差別意識が残っている人が「まだいる」と思っている人は、「18～29歳」は 30.6%、「30～39歳」は 70.7%、「40～49歳」は 59.5%、「50～59歳」は 57.0%、「60～69歳」は 47.0%、「70～79歳」は 33.9%、「80歳以上」は 24.8%でした。

(2) 差別意識は近い将来なくすことができると思いますか

差別意識を近い将来なくすことはできると思っている人は、約半数

近い将来「なくすことはできる（完全になくすことができる+かなりなくすことができる）」と考えている人は 53.8%で、「完全になくすことができる」は 3.0%しかないことをみると、この問題解決の難しさが表れているといえます。

男女別にみると、近い将来「なくすことはできる」と考えている人も、「なくすこ

とは難しい」と考えている人も男女で差はありません。

近い将来「なくすことはできる」と考えている人は、「18～29歳」は27.3%、「30～39歳」は34.5%、「40～49歳」は51.1%、「50～59歳」は47.2%、「60～69歳」57.4%、「70～79歳」は65.0%、「80歳以上」は60.4%で、若い人ほど少ないという結果でした。

(3) 部落差別問題（同和問題）を知ったきっかけ

知ったきっかけは、学校の授業が最多

部落差別問題（同和問題）を初めて知ったきっかけで最も多いのは「学校の授業で習った」で20.9%、5人に1人の割合です。次いで、多いのは「家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」で17.2%です。「部落差別問題（同和問題）は知っているがきっかけは覚えていない」という人も12.0%います。

県の調査でも、「学校の授業で習った」が最も多く24.0%、約4人に1人の割合です。次いで、多いのは「家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた」で22.1%です。

男女別にみても、部落差別問題（同和問題）を初めて知ったきっかけで最も多いのは「学校の授業で習った」で、女性21.7%、男性20.1%で差はありません。

年齢別にみても、部落差別問題（同和問題）を初めて知ったきっかけで最も多いのは、18歳から59歳までは「学校の授業で習った」が最も多く、60歳以上では「家族から聞いた」が最も多くなっています。

(4) 部落差別問題（同和問題）を知った年代

知った年代は、「6歳～12歳未満」が最多

知った年齢は「6歳～12歳未満」が25.2%で最も多くなっています。これは、知ったきっかけが「学校の授業」が最も多かったことと符合します。

知った年代に男女差はほとんどありませんが、年齢別にみると、60歳を境として知った年齢が違ってきます。18歳から59歳までは「6～12歳未満」で知った人が圧倒的に多く、60歳以上は「18歳以上」が多くなっています。

(5) 現在起きている部落差別問題（同和問題）

「結婚問題」が最多

現在も部落差別問題（同和問題）として最も問題となるのは、「結婚問題で周囲に反対されること」で43.3%、次いで「身元調査をされること」27.8%となっています。県の調査でも、同様です。

男女別にみても最も問題となるのは、「結婚問題で周囲に反対されること」で、差がありません。

年齢別にみると、現在も部落差別問題（同和問題）として最も問題となるのは、18～29歳までは「差別的言動をされること」ですが、30～79歳までは「結婚問題で周囲に反対されること」で、80歳以上になると「特にない」という回答になっています。

(6) 子どもの結婚**「認める」が7割**

「被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない」に「できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない」、「やむを得ない」を合わせると、69.2%で、約7割の人は、結婚を「認める」という結果になっています。「絶対に反対する」2.7%、「わからない」22.8%、無回答5.3%を合わせると、まだ抵抗のある人が約3割いるというのが現状です。

県の調査でも、同様です。

男女別にみると、「認める」が男性73.0%、女性66.2%で、どちらかというとなりの方が結婚を認めるという結果になっています。

「反対はしない（被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない）+できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない」を年齢別にみると、18～29歳は74.2%、30～39歳は68.4%、40～49歳は67.1%、50～59歳は63.7%、60～69歳は63.8%、70～79歳は51.3%、80歳以上は50.7%という回答になっています。

(7) 同和対策審議会答申の認知度**「認知度」は県を上回るものの、25%**

「よく知っている」に「多少は知っている」を合わせても、「知っている」は25.4%に過ぎません。県の調査では、もっと低く18.1%しかありません。

「知っている」は、男性32.5%で、女性20.0%に過ぎません。

「知っている」を年代別にみると、18～29歳は0.0%、30～39歳は14.7%、40～49歳は15.2%、50～59歳は21.5%、60～69歳は29.2%、70～79歳は33.4%、80歳以上は27.1%という回答になっています。年齢が上がるにつれて、「知っている」がわずかずつですが増加しています。

(8) 部落差別解消推進法の認知度**「認知度」は県を上回るものの、23%**

「よく知っている」に「多少は知っている」を合わせても、「知っている」は22.6%に過ぎません。県の調査では、もっと低く16.7%しかありません。

「知っている」は、男性30.8%で、女性16.1%に過ぎません。

「知っている」を年代別にみると、18～29歳は22.3%、30～39歳は26.8%、40～49歳は25.3%、50～59歳は22.6%、60～69歳は21.0%、70～79歳は24.2%、80歳以上は20.2%という回答になっています。いずれの年齢とも、「知っている」は20%代で差はなく、低調です。

(9) なお部落差別が存在している理由**「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう」がトップ**

「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が51.2%で最も多く、次いで「部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるか

ら」が31.4%で続いています。

県の調査でも、同様の結果となっています。

男女別にみても、「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」が男性51.4%、女性51.0%で最も多く、次いで「部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから」が男性33.1%、女性29.8%で続いています。

年齢別にみても、「偏見や差別意識を受け入れる人が居るから」がすべての年齢で最も多くなっています。ただし、69歳までは60%台の割合でいますが、70～79歳は42.5%、80歳以上は27.2%と割合は少なくなっています。

(10) 部落差別問題（同和問題）について、学校で教育を受けましたか

小学校で3割・中学校で4割

「学んだ（かなり学んだ＋少しは学んだ）」の割合は、小学校が30.4%、中学校が37.6%、高校が26.2%、大学が4.9%となっており、中学生時代に教育を受けた人が最も多いという結果です。

県に比べると、各学校とも「学んだ」割合が低くなっています。

「学んだ」の割合は、小学校、中学校、高校、大学とも、男女の差はありません。

小学校及び中学校での学び方では18歳から59歳までは、「少しは学んだ」が最も多いが、60歳以降では「まったく学んでない」が最も多くなっています。

高校での学び方では18歳～39歳までは、「少しは学んだ」が最も多いが、30～39歳では「まったく学んでない」と同率であり、40歳以降は「まったく学んでない」が最も多くなっています。

大学では69歳まで「まったく学んでない」が最も多く、70歳以上では「この学校には行っていない」が最も多くなっています。

(11) どうすれば部落差別問題（同和問題）は解消できますか

「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」がトップ

部落差別問題（同和問題）を解消するためには、「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」が最も多く、51.8%。次いで「特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つべき」が24.5%、三番目が「行政がもっと積極的に教育・啓発、相談体制の充実などの施策を講ずべき」で22.2%でした。

県の調査でも、一番は「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」で49.6%。二番目と三番目が逆で、「行政がもっと積極的に教育・啓発、相談体制の充実などの施策を講ずべき」で24.3%、「特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つべき」が21.0%となっています。

男女別にみても、部落差別問題（同和問題）を解消するためには、「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」が最も多く、「えせ同和行為をする人を処罰する」を除いて男女での差はありません。

年代別にみても、部落差別問題（同和問題）を解消するためには、「人権尊重の意識を一人ひとりがもっと自覚すべき」が最も多くなっています。

Ⅲ 女性の人権

(1) 男女平等の実現度

一番遅れているのは職場での男女平等

男女平等が「ほぼ実現していると思う（男女平等が実現していると思う＋ほぼ男女平等だと思う）」割合は、①家庭では 45.6%、②職場では 31.2%、③地域生活では 37.3%となっており、職場での男女平等が一番遅れているという結果になっています。

大分県の調査でも、同様の結果となっています。

男女別に「男女平等が実現していると思う」割合をみると、①家庭では男性 23.2%、女性 14.5%、②職場では男性 14.4%、女性 6.3%、③地域生活では男性 13.6%、女性 6.3%となっており、いずれの場面でも男性の感じ方と女性の感じ方には大きな乖離がみられます。

年代別にみると、①家庭の中では、40 歳以降では「ほぼ平等」が最も多くなっていますが、18～29 歳では「やや女性に不利益」が、30～39 歳では「女性に不利益」が最も多くなっており、年代による差がみられます。

②職場では、年齢によってまちまちの評価になっています。18～39 歳までは「やや女性に不利益」が多く、40～49 歳は「ほぼ平等」が多く、60 歳以上になると、再び「やや女性に不利益」が多くなっています。ただし、18～29 歳では「実現している」も同数います。また、70～79 歳では「ほぼ平等」が同数います。

③地域生活では、50～59 歳だけが「やや女性に不利益」が多く、他の年代では「ほぼ平等」が多くなっています。

(2) 現在ある女性に関する人権問題

一番問題なのは職場での差別待遇

女性に関する人権問題としては、「職場における差別待遇」を挙げる人が最も多く、44.8%。次いで「男女の固定的な役割分担意識」36.2%となっています。県の調査でも、同様の結果です。

男女別にみても、「職場における差別待遇」を挙げる人が最も多く、男性 46.9%、女性 42.7%。次いで「男女の固定的な役割分担意識」が男性 38.1%、女性 34.3%となっており、問題意識に男女差はありません。

年齢別にみると、女性に関する人権問題としては、18～29 歳と 80 歳以上で「固定的な役割分担意識」を挙げる人が最くなっています。それ以外の年代は、すべて「職場での差別待遇」を挙げる人が最も多くなっています。しかしながら、18～29 歳と 80 歳以上でも、「職場での差別待遇」を挙げる人が「固定的な役割分担意識」と同程度いることから、課題は「2. 職場での差別待遇」といえます。

また、「3. DV」や「4. セクハラ」を挙げている人も多いことから、これらの課題への取組も必要です。

(3) 結婚、家庭、出産、子育てについての考え方

①女性の幸福は結婚にある

賛成が反対を上回る

女性の幸福は結婚にあるに「賛成（賛成+どちらかといえば賛成）」が37.6%で、「反対（どちらかといえば反対+反対）」の17.6%を大きく上回っています。

県の調査でも、同様の結果です。

男女別みると、「女性の幸福は結婚にある」に「賛成」が、男性は42.3%、女性は33.8%で、考え方に8.5ポイントの差があります。

年代別に「女性の幸福は結婚にある」への考えをみると、30~39歳だけが「どちらかといえば反対」が最も多く、他の年代は「どちらかといえば賛成」という消極的賛成が最も多くなっています。

②結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

賛成が反対を大きく上回る

「賛成（賛成+どちらかといえば賛成）」が58.0%で、「反対（どちらかといえば反対+反対）」の17.0%を大きく上回っています。県の調査でも、同様の結果ですが、賛成の割合が67.5%もあります。

男女別にみると、「賛成」が男性は56.5%、女性は59.4%となっており、男女とも「結婚するかどうかは個人の自由」と考えており、結婚への考え方に男女差はないといえます。

年代別に「結婚するかどうかは個人の自由」に「賛成」の割合をみると、各年代とも、最も大きな割合を占めています。

③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

反対が賛成を大きく上回る

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるに「反対（どちらかといえば反対+反対）」が49.7%で、「賛成（賛成+どちらかといえば賛成）」の17.3%を大きく上回っています。県の調査でも、同様の結果ですが、反対が56.4%、賛成が22.4%となっています。

男女別にみると「賛成」は、男性が19.2%、女性が15.6%となっており、男性の方が3.6ポイント多いという結果です。

年代別みると、18歳から79歳までは、夫は外で働き、妻は家庭を守るべきであるに「反対」が多く、80歳以上だけ「賛成」が最も多いという結果です。

④女性は結婚したら、家庭を中心に考えて生活したほうがよい

「賛成」が「反対」を上回る

「賛成（賛成+どちらかといえば賛成）」が37.0%で、「反対（どちらかといえば反対+反対）」の32.7%を上回っています。

県の調査では、反対が38.9%、賛成が39.8%と拮抗しています。

男女別にみると、「賛成」は男性が39.0%、女性が35.7%となっており、男性の

方が3.3ポイント多いという結果です。

年代別に「妻は家庭を中心に考えて生活した方が良い」をみると、年代による差が明確に出ています。若い世代（18～49歳）は「反対」若しくは「どちらかといえば反対」が最も多く、50～79歳は、「どちらかといえば賛成」が最も多く、80歳以上は「賛成」が最も多いという結果です。

⑤結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない

竹田市は賛成がわずかに上回って、県は賛成が大きく上回っている

「賛成（賛成+どちらかといえば賛成）」が34.5%で、「反対（どちらかといえば反対+反対）」の29.8%を上回っています。

県の調査でも、同様の結果ですが、賛成が42.9%、反対が31.1%と大きく開いています。

「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」に「賛成」を男女別にみると、男性が30.5%、女性が38.0%となっており、女性の方が7.5ポイント多いという結果です。

年代別に「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」をみると、年代による差が明確に出ています。若い世代（18～49歳）は「賛成」が最も多く、50～59歳は「賛成」と「どちらかといえば反対」が拮抗しており、60～79歳は、「どちらかといえば反対」が最も多く、80歳以上は「反対」が最も多いという結果です。

⑥家事や育児についても夫婦で分担したほうがよい

竹田市は賛成が反対を大きく上回っているが、県はさらに大きく上回っている

家事や育児についても夫婦で分担したほうがよいに「賛成（賛成+どちらかといえば賛成）」が73.7%で、「反対（どちらかといえば反対+反対）」の3.9%を大きく上回っています。

県の調査でも、同様の結果ですが、賛成が83.1%、反対が3.8%と、賛成が竹田市よりも9.4ポイント上回っています。

「家事や育児についても夫婦で分担したほうがよい」に「賛成」を男女別にみると、男性が70.6%、女性が76.2%となっており、女性の方が5.6ポイント多いという結果です。

年代別に「家事や育児は、夫婦で分担した方がよい」をみると、全ての年代とも「賛成」が最も多くなっています。ただし、60歳以降は急激に「賛成」の割合が減少しています。

IV 高齢者の人権

(1) 家庭や社会での高齢者の状況

①家庭の中では

大切にされていると思う75%

家庭では、「大切にされていると思う（大切にされていると思う+どちらかといえば大切にされていると思う）」が75.2%で、「大切にされていないと思う（大切にさ

れていないと思う＋どちらかといえば大切にされていないと思う)」の6.3%を大きく上回っています。県の調査では、大切にされていると思うが72.2%、大切にされていないと思う11.6%で竹田市とほぼ同様の結果です。

男女別にみても、家庭では「大切にされていると思う」が、男性76.5%、女性75.0%となっており、男女差はありません。

年代別にみても、各年代で「大切にされていると思う」若しくは「どちらかといえば大切にされていると思う」が最も多い回答となっています。

②社会（地域生活など）では 大切にされていると思う60%

社会でも、「大切にされていると思う（大切にされていると思う＋どちらかといえば大切にされていると思う）」が60.4%で、「大切にされていないと思う（大切にされていないと思う＋どちらかといえば大切にされていないと思う）」が11.1%であり、家庭の中に比べると、若干差は縮まりますが、やはり大きく上回っています。県の調査では、大切にされていると思うが63.7%、大切にされていないと思う17.7%で竹田市とほぼ同様の結果です。

社会でも、「大切にされていると思う」を男女別にみると、男性が60.2%、女性が61.3%となっており、男女差はありません。

年代別にみると、家庭の中に比べて社会では、「どちらかといえば大切にされていると思う」が最も多くなっています。

（2）現在ある高齢者の人権問題

トップは「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」

高齢者の人権問題の上位3つと考えられているのは、「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」47.0%、「経済的な自立が難しいこと」46.2%、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」42.6%の順となっています。

県の調査では、項目は同じですが、その順番に違いがあります。県では「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」51.0%でトップ、次いで「経済的な自立が難しいこと」49.1%、「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」47.5%と続いています。

竹田市の高齢者の人権問題の「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」、「経済的な自立が難しいこと」の上位2項目については、男女差はありませんが、三番目の「一人暮らし、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」については、男性が39.3%、女性が45.5%となっており、6.2ポイントの差があります。

年代別にみると、18歳から49歳までは「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」が最も多く、60歳から79歳までは「経済的な自立が難しいこと」が最も多く、80歳以上になると、再び「振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと」が最も多くなります。50～59歳は、「一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること」が最も多くなっています。

V 子どもの人権

(1) 家庭や社会での子どもの様子

①家庭では

幸せに過ごしている7割強（県は8割弱）

子どもは家庭では、「幸せに過ごしている（幸せに過ごしているように思う＋どちらかといえば幸せなように思う）」が74.2%で、「幸せでない（どちらかといえば幸せではないように思う＋幸せではないように思う）」の3.5%を大きく上回っています。

大分県の調査では、「幸せに過ごしている」が78.2%、「幸せでない」が4.8%となっています。

子どもは家庭では、「幸せに過ごしている」を男女別にみても、男性74.1%、女性74.9%で、差はありません。

年代別にみると、50～59歳で「どちらかといえば幸せなように思う」が最も多かった他は、「幸せに過ごしているように思う」が最も多くなっています。

②学校では

幸せに過ごしている5割強（県は6割強）

子どもは学校では、「幸せに過ごしている（幸せに過ごしているように思う＋どちらかといえば幸せなように思う）」が54.1%で、「幸せでない（どちらかといえば幸せではないように思う＋幸せではないように思う）」の7.0%を大きく上回っています。しかしながら、学校では幸せに過ごしているは54.1%と、家庭の74.2%に比べると大きくダウンしています。

大分県の調査では、「幸せに過ごしている」が64.2%、「幸せでない」が8.5%となっています。

子どもは学校では、「幸せに過ごしている」を男女別にみると、男性57.9%、女性50.8%で、7.1ポイントの差があります。

年代別にみると、80歳以上で「幸せに過ごしているように思う」が最も多かった他は「どちらかといえば幸せなように思う」が最も多くなっており、家庭に比べると、幸せの度合いが学校の方が低いと感じています。

③地域では

幸せに過ごしている6割弱（県は7割弱）

子どもは地域では、「幸せに過ごしている（幸せに過ごしているように思う＋どちらかといえば幸せなように思う）」が57.8%で、「幸せでない（どちらかといえば幸せではないように思う＋幸せではないように思う）」の6.6%を大きく上回っています。しかしながら、地域でも学校と同様に幸せに過ごしているは57.5%と家庭の74.2%に比べると大きくダウンしています。

大分県の調査では、「幸せに過ごしている」が67.3%、「幸せでない」が6.8%となっています。

男女別にみると、子どもは地域では、「幸せに過ごしている」が男性59.7%、女性

56.6%で、差はありません。

地域では、すべての年代で「どちらかといえば幸せなように思う」が最も多くなっており、学校と同様の結果となっています。

(2) 現在ある子どもに関する人権問題

「いじめ」、「虐待」が大きな問題

子どもの人権問題では、「いじめ」が最も多く68.0%、次いで「虐待」48.3%、また、いじめ・虐待を見て見ぬふりをすることが47.7%を占めています。

県の調査でも、同様の結果です。

子どもの人権問題で最も多い「いじめ」は、男性、女性とも68.1%で全く同レベルですが、「虐待」は、男性45.8%、女性50.1%、また、「いじめ・虐待を見て見ぬふりをする」ことが男性44.1%、女性50.6%となっており、女性の方が問題視している結果になっています。

年代別にみると、各年代とも「いじめ」が子どもの人権問題での課題に挙げています。

VI 障がい者の人権

(1) 障がい者の人権は保障されているか

①法律や制度の上で

保障されていると思う人は7割（県は7割弱）

障がい者の人権が法律や制度の上で「保障されている（保障されている+どちらかといえば保障されている）」と思う人が69.6%、「保障されていない（どちらかといえば保障されていない+保障されていない）」と思う人が10.8%で、大部分の人が保障されていると思っています。

男女別にみても、障がい者の人権が法律や制度の上で「保障されている」と思う人が、男性70.9%、女性68.8%で差はありません。

年代別にみると、各年代とも障がい者の人権が法律や制度の上では、「どちらかといえば保障されている」と思う人が最も多くなっています。70～79歳だけ「保障されている」が最多となっています。

②日常生活で

保障されていると思う人は4割強（県は5割）

障がい者の人権が日常生活で「保障されている（保障されている+どちらかといえば保障されている）」と思う人が45.4%、「保障されていない（どちらかといえば保障されていない+保障されていない）」と思う人が24.3%で、法律上に比べ日常生活では保障されていると思う人が減少しています。

大分県の調査でも、「法律や制度の上で保障されている」が68.1%、「保障されていない」が14.3%に対し、「日常生活で保障されている」が50.0%、「保障されていない」が28.5%という状況です。

法整備は進んだけれども、現実がそれに追いついていない現状が表れています。

男女別にみると、障がい者の人権が日常生活で「保障されている」と思う人が、男性 48.6%、女性 42.9%で 5.7 ポイントの差があります。

年代別にみると、すべての年代で、障がい者の人権が日常生活では「どちらかといえば保障されている」と思う人最も多くなっていますが、法律や制度の上での割合よりも全体で 7.7 ポイント低くなっています。

(2) 現在ある障がい者に関する人権問題

「就職・職場で不利な扱いをされる」が最大の問題

障がい者に関する人権問題では、「就職・職場で不利な扱いをされること」が 48.3% で最も問題と考えられています。次いで「結婚で周囲の反対を受ける」が 38.5%、「差別的な取扱・言動をされる」が 32.9%で続いています。

県の調査でも、トップは同じく「就職・職場で不利な扱いをされること」で 53.7%。二番目と三番目が入れ替わって、二番目が「差別的な取扱・言動をされる」で 42.2%、三番目が「結婚で周囲の反対を受ける」が 39.1%となっています。

「就職・職場で不利な扱いをされること」を男女別にみると、男性が 50.6%、女性が 46.6%で、男性の方が不利な扱いをされることが多いという状況です。

年代別みても、障がい者に関する人権問題では、「就職・職場で不利な扱いをされること」が各年代で最も問題と考えられています。

(3) 「障害者差別解消法」の認知度

「知っている」のは、わずか 2 割

「障害者差別解消法」を「知っている（よく知っている＋多少は知っている）のは、23.5%に過ぎず、「知らない（あまり知らない＋知らない）」が 70.9%に達しています。（県での調査はなし。）

「障害者差別解消法」を「知っている」を男女別にみても、男性 25.7%、女性 22.2%に過ぎず、男女による差はありません。

年代別にみると、18～59 歳までは「障害者差別解消法」を「知らない」が最も多く、60～79 歳は「あまり知らない」が最も多く、80 歳以上は再び「知らない」が最も多くなっています。

VII その他の人権

(1) 六曜の迷信について

「そういうもの」として日常生活に入り込んでいる

「結婚式は大安の日に行く」「友引の日の葬式は避ける」などの六曜の迷信は、「当然だと思う」は 9.3%しかありませんが、「当然とは思わないが、そういうものだと思う」が 53.0%あり、深く考えずに「そういうもの」として日常生活に入り込んでいる様子がみられます。（県での調査なし）

六曜の迷信は、「当然だと思う」と「当然とは思わないが、そういうものだと思う」を合わせると、男性が 57.9%、女性が 66.2%となっており、女性の方の日常生活に入り込んでいる様子がみられます。

年代別にみると、六曜の迷信は、「当然とは思わないが、そういうものだと思う」が各年代とも最も多く、日常生活に入り込んでいるといえます。

(2) 外国人の人権問題

一番は「風習や習慣等の違い」への理解不足

「日本に居住している外国人に関する具体的な人権問題としては、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」が25.1%、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が24.8%、「特定の民族に対するヘイトスピーチなど差別的な言動をされること」が20.7%で、多くなっています。

県の調査では、「風習や習慣等への理解が足りない」が25.5%でトップ。次いで、「特定の民族に対するヘイトスピーチなど差別的な言動をされること」が23.5%、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が22.4%で続いています。順番に違いは見られますが、項目としては同じであり、この3項目が課題といえます。

「わからない」が竹田市で28.9%、大分県で24.5%あり、多いのが特徴です。

男女別にみると、「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」は、男性27.1%、女性23.1%となっています。二番目の「就職・職場で不利な扱いを受けること」が、男性27.7%、女性22.1%となっています。他の項目もほとんど男性の方が女性よりも多いという結果になっています。

年代別にみると、18～29歳は「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」、30～39歳は「ヘイトスピーチなど差別的な言動をされる」、40～69歳は「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」、70～79歳は「就職・職場で不利な扱いを受ける」、80歳以上は「特にない」となっています。

(3) 「ヘイトスピーチ解消法」の認知度

2割にも満たない認知度

「ヘイトスピーチ解消法」を知っているのは、「1. よく知っている」に「2. 多少は知っている」を含めても、わずか16.8%しかありません。(県での調査なし)

「ヘイトスピーチ解消法」を「知っている(よく知っている+多少は知っている)」は男性19.8%・女性13.8%で、女性の方が認知度が低いという結果です。

「ヘイトスピーチ解消法」を「知っている」を年代別にみると、18～29歳は19.4%、30～39歳は21.9%、40～49歳は19.0%、50～59歳は23.7%、60～69歳は15.7%、70～79歳は19.4%、80歳以上は8.7%となっています。

(4) エイズ患者・HIV感染者等の人権問題

一番は「結婚問題で周囲の反対を受けること」

エイズ患者・HIV感染者等の人権問題では、「結婚問題で周囲の反対を受けること」が42.6%で、最大の問題といえます。次いで「就職・職場で不利な扱いを受けること」が30.0%、「差別的な言動をされること」が22.4%となっています。大分県の調査でも、同様の結果です。

また、「わからない」が竹田市で34.5%、大分県で31.2%もあることから、エイズ・

H I V感染に関する知識不足・関心の低さも伺えます。

エイズ患者・H I V感染者等の人権問題の上位3項目である「結婚問題で周囲の反対を受けること」、「就職・職場で不利な扱いを受けること」、「差別的な言動をされること」において、男女差はみられません。

エイズ患者・H I V感染者等の人権問題のうち年代別に一番問題と考えられている問題は、すべての年代で「結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答しています。18～29歳は58.3%、30～39歳は61.0%、40～49歳は48.1%、50～59歳は54.8%、60～69歳は45.9%、70～79歳は39.8%、80歳以上は25.4%となっています。

(5) ハンセン病患者・回復者やその家族に関する人権問題

一番は「結婚問題で周囲の反対を受けること」

ハンセン病患者・回復者やその家族に関する人権問題としては、エイズ患者・H I V感染者等の人と同様に、「結婚問題で周囲の反対を受けること」が34.3%で最も多く、次いで「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」が27.7%、「就職・職場で不利な扱いを受けること」が22.4%となっています。

また、「わからない」が竹田市で35.6%、大分県で38.2%もあることから、ハンセン病への知識・理解不足が考えられます。

男女別にみると、ハンセン病患者・回復者やその家族に関する人権問題の一番は、「結婚問題で周囲の反対を受けること」については、男性33.1%、女性35.2%、二番目の「ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと」については、男性25.1%、女性30.1%、となっています。

ハンセン病患者・回復者やその家族に関する人権問題の一番の問題を年代別にみると、すべての年代で「結婚問題で周囲の反対を受けること」と回答しています。

(6) 犯罪被害者やその家族等に関する人権問題

一番は「精神的なショックを受けること」

犯罪被害者やその家族等に関する人権問題としては、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が52.6%で最も多く、次いで「事件について周囲でうわさ話をされること」が48.9%、「報道や取材で私生活の平穏が保てなくなる」42.4%となっています。

犯罪被害者やその家族等に関する人権問題の上位3項目「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」、「事件について周囲でうわさ話をされること」、「報道や取材で私生活の平穏が保てなくなる」の全てで、女性の方が男性より人権問題があると感じる人が多くなっています。

犯罪被害者やその家族等に関する人権問題の一番の問題を年代別にみると、すべての年代で「精神的ショックを受けること」が最多となっています。

(7) インターネットでの人権侵害

① インターネットを1日何時間くらい見えていますか

見ている人は、約4割（1時間以内約6割、1時間以上約4割、）

インターネットを見ていない人が約4割、見ている人も約4割です。

全体でみると、「1時間以内」が26.2%、「1時間以上」が15.6%。

見ている332人でみると、「1時間以内」が62.4%、「1時間以上」が37.6%となっています。（大分県での調査は、なし。）

男女別にみると、インターネットを見ている人は、男性が50.0%、女性が34.7%となっています。

インターネットの一日の利用時間を年代別にみると、年代差が明確に表れています。18～29歳は「1時間以上見る」が72.2%、30～39歳も「1時間以上見る」が51.2%、40～49歳になると「1時間以内」になり51.9%、50～59歳も「1時間以内」で52.7%、60歳以降になると「見ていない」が最も多くなっています。

② インターネットの人権侵害と思われるものを見たことがありますか

人権侵害を見たことのある人は、約4割

インターネットで人権侵害と思われるものを見たことがあると答えた人は43.1%。

（大分県での調査は、なし。）

インターネットで人権侵害と思われるものを「見たことがある」と答えた人を男女別にみると、男性45.2%、女性39.6%となっています。

インターネットで人権侵害と思われるものを見たことがあるかどうかを回答した人を年代別にみると、年代差が明確に表れています。18～29歳は「ある」が76.7%、30～39歳も「ある」が60.5%、40歳以降になると「ない」が多くなっています。人権侵害の記事を見たかどうかは、インターネットの利用時間と密接に関連しています。1時間以上見る人は、人権侵害記事も目にする人が多く、1時間以内の人は目にしない人の割合が多くなっています。

③ 見たことがあるインターネット上での人権侵害の内容

プライバシー侵害や誹謗・中傷が最多

インターネット上での人権侵害で最も多いのは、「プライバシー侵害や誹謗・中傷など」で55.9%。次いで「女性」46.2%、「障がい者」に関するものが45.5%で、多く取り上げられています。（大分県での調査は、なし。）

インターネット上での人権侵害で多い3項目を男女別にみると、「プライバシー侵害や誹謗・中傷など」は男性48.8%、女性66.1%。二番目の「女性」は、男性51.3%、女性40.7%、三番目の「障がい者」は、男性43.8%、女性49.2%となっており、男女で差があります。

インターネットで見た人権侵害で年代別に一番多いものをみると、年代差が明確に表れています。18～29歳は「女性」が多く65.2%、30～39歳は「障がい者」が多く69.6%、40歳以降になると「ネットによる人権侵害（プライバシー侵害や誹謗・中傷など）」が多くなっています。

④インターネット上の書き込みをどの程度信用しますか

書き込みを「あまり信用しない」が6割

インターネット上の書き込みを「あまり信用しない」が60.8%、「まあまあ信用する」が23.8%となっています。

インターネット上の書き込みを「信用する(すべて信用する+まあまあ信用する)」は、男性18.8%、女性28.8%となっており、女性の方が信用する傾向にあります。

インターネット上の書き込みを「信用する」を年代別にみると、18～29歳は43.5%、30～39歳は26.0%、40～49歳は22.9%、50～59歳も22.6%、60～69歳は16.0%、70～79歳は0.0%、80歳以上は0.0%となっています。

⑤インターネットによる人権侵害

「他人を誹謗(ひぼう)・中傷する表現を掲載されること」が最多

インターネットによる人権侵害で最も多いのは、「他人を誹謗(ひぼう)・中傷する表現を掲載されること」で56.0%、次いで「ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」39.8%、「他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、助長するような情報が掲載されること」35.8%、「プライバシーに関する情報が掲載されること」35.7%となっています。

大分県の調査では、「他人を誹謗(ひぼう)・中傷する表現を掲載されること」が68.6%でトップ。次いで「ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること」49.7%、「プライバシーに関する情報が掲載される」43.7%となっています。

インターネットによる人権侵害で男女差が大きなものは「プライバシーに関する情報が掲載される」で、男性31.4%、女性38.9%となっています。他の項目は、男女差は、ほとんどありません。

年代別にみると、各年代とも「他人を誹謗・中傷する表現を掲載される」を一番に挙げています。

(8) LGBTQなど、性的指向や性別違和に関する人権問題

一番は「差別的な言動をされること」

LGBTQなど、性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)や性別違和(身体の性と心の性が一致しない者)に関することでの人権問題としては、「差別的な言動をされること」で35.3%、次いで「トイレや更衣室が利用しづらいこと」30.4%、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」29.6%となっています。

大分県での調査では、やはり「差別的な言動をされること」が43.8%でトップ。次いで「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」37.1%、「じろじろ見られたり、避けられたりする」26.0%となっています。(大分県の回答選択肢には「7. トイレや更衣室が利用しづらいこと」がありませんでした。)

また、「わからない」が32.4%あることから、このLGBTQへの理解・知識が不足している現状がうかがえます。

男女別にみると、「トイレや更衣室が利用しづらいこと」(男性26.6%、女性33.6%)

以外は、男女差がみられません。

年代別に一番に挙げているものをみると、18～29歳は「差別的な言動をされる」61.1%、30～39歳は「トイレや更衣室が利用しづらい」70.7%、40～49歳も「トイレや更衣室が利用しづらい」49.4%、50～59歳は「職場、学校で嫌がらせやいじめを受ける」54.8%、60～69歳は「差別的な言動をされる」43.2%、70～79歳も「差別的な言動をされる」23.7%、80歳以上は「職場、学校で嫌がらせやいじめを受ける」12.7%となっています。

VIII 地域での啓発活動

(1) 市や県が出している広報紙に掲載された人権に関する記事を読んだことの有無 「読んだことがある」は5割（県は6割）

市や県が出している広報紙に掲載された人権に関する記事を「読んだことがある」と答えた人は、5割（53.1%）でした。「読んだことがない」は約3割（29.4%）でした。

大分県の調査では、「読んだことがある」と答えた人は、6割（63.8%）でした。「読んだことがない」は約3割（26.5%）でした。

男女別にみると、「読んだことがある」と答えた人は、男性55.9%、女性51.0%でした。

年代別にみると、18～29歳は33.3%、30～39歳は43.9%、40～49歳は49.4%、50～59歳は53.8%、60～69歳は64.9%、70～79歳は55.9%、80歳以上45.1%となっています。

(2) 人権の各課題についての講演会や研修・学習会等への参加の頻度 「1回もない」は4割強（県は5割弱）

人権の各課題についての講演会や研修・学習会等への参加は、「1回もない」が最も多く43.9%でした。

大分県の調査でも、「1回もない」が最も多く46.9%でした。

竹田市の方が、多回数（5回以上）の割合が大分県よりも多くなっています。竹田市は19.8%、大分県は15.7%です。

男女別にみると、人権の各課題についての講演会や研修・学習会等への参加は、「1回もない」は男性39.5%、女性47.6%で、女性の方が低調でした。

人権の各課題についての講演会や研修・学習会等への参加を年代別にみると、各年代で一番多いのは、18～29歳は「1回もない」41.7%、30～39歳も「1回もない」41.5%、40～49歳は「1～4回」32.9%、50～59歳は「1～4回」36.6%、60～69歳は「1回もない」40.5%、70～79歳も「1回もない」52.2%、80歳以上も「1回もない」54.9%となっています。「1回もない」が一番多い世代が、7世代中5世代もあります。



(3) 人権の大切さを多くの人に知ってもらうための効果的方法

トップは「講演会、シンポジウム、研修会」

人権の大切さを多くの人に知ってもらうための効果的方法としては、「講演会、シンポジウム、研修会」を挙げる人が最も多く 42.4%、次いで「広報紙・パンフレット・ポスター」33.5%、「ケーブルテレビを利用した啓発広報」30.0%となっています。

大分県のトップは、「テレビ、ラジオ」で 51.4%、次いで「講演会、シンポジウム、研修会」36.2%、「新聞、雑誌を利用した啓発」27.9%となっており、マスメディア活用が中心となっています。

人権の大切さを多くの人に知ってもらうための効果的方法として、一番多かった「講演会、シンポジウム、研修会」を男女別にみると、男性 46.6%、女性 38.9%となっています。三番目に多かった「ケーブルテレビを利用した啓発広報」は、男性 33.9%、女性 26.8%となっています。他の項目では男女差がないことを考えると、女性への啓発活動の難しさが表れています。

すべての年代で「講演会、研修会」を人権の大切さを多くの人に知ってもらうための効果的方法と回答しています。しかしながら、「1回も講演会、研修会に参加していない」が一番多い世代が、7世代中5世代もあるのが現状です。

資料編

人権に関する市民意識調査

回答にあたっては、問いにしたがって調査票に直接ご記入ください。
ご記入は、鉛筆、ボールペン、万年筆のいずれでも結構です。

はじめに統計・分析のため、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男 2. 女 3. 男か女か答えることに抵抗を感じる

問2 あなたの年齢(平成31年4月1日現在の満年齢)を教えてください。(○は1つ)

1. 18～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳
4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70～79歳
7. 80歳以上

問3 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)

1. 自営業(農業・林業・商エサービス業等)または、その家族従業員
2. 企業・団体の正社員・正規職員
3. 企業・団体の契約社員(職員)または派遣社員(職員)
4. 公務員(国、県、市町村の機関に勤務(教職員を除く))
5. 教職員
6. 臨時、パート、アルバイト(職種は問いません)
7. 家事専業(外で働いておらず、専ら家事に従事している方)
8. 無職(外で働いておらず、家事にも従事していない方)
9. 学生
10. その他(上記の1～9のいずれにも該当しない方)

人権の尊重・人権への関心についておたずねします。

問4 あなたは、今の日本で、人権は尊重されていると思いますか。(○は1つ)

1. 尊重されていると思う
2. どちらかといえば尊重されていると思う
3. どちらかといえば尊重されていないと思う
4. 尊重されていないと思う
5. わからない

問5 あなたは、これまでに自分が差別されたり、自己的人権が侵害されたと思ったことがありますか。(○は1つ)

1. ある **問5-1へ** 2. ない **→次ページの間6へ進んでください**

問5-1 問5で「1. ある」を選んだ方におたずねします。

それは、どのような性質のものですか。(○はいくつでも)

1. あらぬ噂(うわさ)、他人からの悪口、かげ口
2. 名誉・信用の毀損(きそん)、侮辱(ぶじょく)
3. 警察官等の公務員の不当な取扱い
4. 暴力、強迫、強要(社会的地位、慣習、脅迫等により、本来しなくてもいいことを無理矢理させられたり、権利の行使を妨害された)
5. 悪臭・騒音等の公害

6. 差別待遇(人種・信条・性別・社会的身分等により、就職や結婚等の社会生活の上で不平等または不利益な取扱いをされた)
7. 地域社会での嫌がらせ
8. 学校でのいじめ
9. 職場での嫌がらせ
10. 使用者による時間外労働の強制等の不当な待遇
11. 社会福祉施設等での施設職員からの不当な取扱い
12. プライバシーの侵害
13. セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)
14. ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)
15. 児童虐待
16. その他(具体的に: _____)
17. なんとなく差別されているような感じ
18. 答えたくない

問5-2 1ページの間5で「1. ある」を選んだ方におたずねします。
そのとき、あなたはどうしましたか。(○は1つ)

1. 相手に抗議した
2. 身近な人に相談した
3. 相談機関に相談した
4. 弁護士に相談した
5. 警察に相談した
6. 抗議も相談もしなかった
7. その他(具体的に: _____)

問6 あなたは、差別や人権侵害を受けた場合に相談できる機関(場所)があることを知っていますか。
知っている機関(場所)があれば教えてください。(○はいくつでも)

1. 法務局
2. 人権擁護委員
3. 市役所や県庁の担当課
4. NPO等の民間団体
5. 警察署
6. 弁護士(又は弁護士会)
7. その他(具体的に: _____)
8. 知らない

【◆用語解説】

- 法務局…人権相談に係る総合的な窓口として、差別、いじめ、嫌がらせ等さまざまな人権に関する問題の相談を受けています。
- 人権擁護委員…地域において人権相談を受けたり、人権の考えを広める活動をしています。県内では約200名の委員が活動しています。
- 市役所、県…人権全般や女性、子どもなど各分野の関係部署が相談窓口を設置しています。
- NPO等の民間団体…女性、子どもなど各分野の専門のNPO等が相談を受けています。
- 警察…普段の生活の安全に関する不安や悩みについての相談窓口を設置しています。
- 弁護士(弁護士会)…人権救済申立てを受けて調査等をし、人権侵害の除去と改善に努めています。

問7 基本的人権は侵すことのできない永久の権利として憲法で保障されていますが、あなたは人権に関心がありますか。(○は1つ)

1. 非常に関心がある
 2. かなり関心がある
 3. あまり関心がない
 4. 関心がない →問8へ進んでください
- } 問7-1へ

【◆用語解説】

「基本的人権」には、思想・表現の自由などの「自由権」や生存権などの「社会権」、参政権などがあり、人が自分らしく幸せに生きてゆくために侵すことのできない権利です。

問7-1 上記の間7で「1」「2」「3」を選んだ方におたずねします。

日本における人権課題について、あなたの関心があるのはどの課題ですか。(○はいくつでも)

1. 女性
2. 子ども
3. 高齢者
4. 障がい者
5. 部落差別問題(同和問題)

6. アイヌの人々
7. 中国帰国者
8. 在日韓国・朝鮮人
9. 外国人
10. ホームレス
11. HIV(エイズウイルス)感染者・エイズ患者
12. ハンセン病患者・回復者等
13. 刑を終えて出所した人
14. 犯罪被害者やその家族等
15. インターネットによる人権侵害(プライバシー侵害や誹謗・中傷など)
16. 北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族等
17. 性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)
18. 性別違和(身体の性と心の性が一致しない者)
19. 人身取引(性的搾取(さくしゅ)、強制労働等を目的とした人身取引)
20. 東日本大震災に伴う人権問題
21. 上記のような条件が重なった人に対する重層的差別
(例えば、女性であり、かつ、障がい者でもあることで受ける差別等)
22. その他(具体的に: _____)

部落差別問題(同和問題)についておたずねします。

問8 あなたは、被差別部落の人を見下したり、排除しようとする差別意識を持った人がいると思いますか。
(○は1つ)

- | | | |
|------------------------|---|-------|
| 1. 差別意識を持っている人はもうなくなった | } | 問9へ |
| 2. ほとんどの人が差別意識は持っていない | | |
| 3. なかには差別意識を持っている人がいる | } | 問8-1へ |
| 4. 差別意識を持っている人はまだ多い | | |
| 5. わからない | | →問9へ |

問8-1 上記の問8で「3」「4」を選んだ方におたずねします。
あなたは、差別意識は近い将来なくすることができると思いますか。(○は1つ)

1. 完全になくすることができる
2. かなりなくすることができる
3. なくすることは難しい

問9 あなたが、部落差別問題(同和問題)を初めて知ったきっかけは何ですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1. 家族(祖父母、父母、兄弟等)から聞いた | 2. 親戚の人から聞いた |
| 3. 近所の人から聞いた | 4. 職場の人から聞いた |
| 5. 学校の友だちから聞いた | 6. 学校の授業で習った |
| 7. テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った | 8. インターネットで知った |
| 9. 部落差別問題(同和問題)の集会や研修会で知った | |
| 10. 市や県の広報紙やパンフレット等で知った | |
| 11. 部落差別問題(同和問題)は知っているがきっかけは覚えていない | |
| 12. その他(具体的に: _____) | |
| 13. 部落差別問題(同和問題)を知らない →問10へ進んでください | |

問9-1 上記の問9で「1」～「12」を選んだ方におたずねします。
あなたが、部落差別問題(同和問題)について初めて知ったのはいつ頃ですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|----------------|
| 1. 6歳未満 | 2. 6歳～12歳未満 | 3. 12歳～15歳未満 |
| 4. 15歳～18歳未満 | 5. 18歳以上 | 6. はっきりと覚えていない |

問9-2 前ページの問9で「1」～「12」を選んだ方におたずねします。
あなたは部落差別問題(同和問題)として現在、どのような問題が起きていると思いますか。
(○はいくつでも)

1. 結婚問題で周囲に反対されること
2. 就職・職場で不利な扱いをされること
3. 差別的な言動をされること
4. 差別的な落書きをされること
5. 身元調査をされること
6. インターネットを利用して差別的な情報を掲載されること
7. その他(具体的に: _____)
8. 特にない
9. わからない

問9-3 前ページの問9で「1」～「12」を選んだ方におたずねします。
あなたのお子さんが被差別部落の人と結婚するとしたら、あなたはどのようにしますか。お子さんがいない方はいるものと仮定して考えてください。(○は1つ)

1. 被差別部落の人かどうかは関係ない、そのことで反対などしない
2. できれば被差別部落の人でない方がよいが、反対はしない
3. 反対するが、本人の意思が強ければやむをえない
4. 絶対に反対する
5. わからない

次の問10以降は、全員におたずねします。

問10 あなたは、同和对策審議会答申をどの程度ご存じですか。(○は1つ)

1. よく知っている
2. 多少は知っている
3. あまり知らない
4. 知らない

◆用語解説一同和对策審議会答申】

国が同和問題の解決に向けて総合的に取り組むきっかけになったのは、同和問題が基本的人権にかかわり、その解決は国の責務であり、かつ国民的課題であることを述べた昭和40年のこの答申です。

問11 あなたは、平成28年12月に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)」を知っていますか。(○は1つ)

1. よく知っている
2. 多少は知っている
3. あまり知らない
4. 知らない

◆用語解説一部落差別解消推進法】

この法律は、現在もなお部落差別が存在し、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、日本国憲法の理念に則り、部落差別は許されないものであることを認識し、その解消を推進し、部落差別のない社会を実現することを目的として制定されたものです。

問12 現在もなお部落差別が存在するのは、なぜだと思いますか。(○はいくつでも)

1. 部落差別の知識がなかったり、無関心だったりする人がいるから
2. 落書きやインターネット上などで差別意識を助長する人がいるから
3. これまでの教育や啓発が十分でなかったから
4. 昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから
5. 地域社会や家庭において話題となるから
6. えせ同和行為(同和問題を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)などにより、「同和問題は怖い。」と思うから
7. 部落差別は、もはや存在しない
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない
10. わからない

問13 あなたは、部落差別問題(同和問題)について、学校で教育を受けましたか。
(下の①～④ごとに、右の1～4のいずれか1つに○)

| | かなり学んだ | 少しは学んだ | まったく学んでいない | この学校には行っていない |
|-----------------------|--------|--------|------------|--------------|
| ①小学校 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ②中学校(旧制の高等小学校を含む) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③高校(旧制の中等学校・高等女学校を含む) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④大学(短大・高専を含む) | 1 | 2 | 3 | 4 |

問14 あなたは、部落差別問題(同和問題)を解消するために、今後どうすればよいと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 人権尊重の意識を一人ひとりをもっと自覚すべき
2. 行政がもっと積極的に教育・啓発、相談体制の充実などの施策を講ずべき
3. 特別なことをする必要はなく、自然になくなっていくのを待つべき
4. インターネットにおける差別的な書き込みをする人を処罰すべき
5. えせ同和行為(同和問題を口実に企業や官公庁等に不当な要求をする行為)をする人を処罰すべき
6. 差別する人や差別を助長する人を処罰すべき
7. その他(具体的に: _____)
8. 特にない
9. わからない

女性の人権についておたずねします。

問15 あなたは、男女平等が実現していると思いますか。
(下の①②③それぞれについて、1～7のいずれか1つに○)

| | ①家庭の中では | ②職場では | ③地域生活(自治会活動など)では |
|----------------|---------|-------|------------------|
| 男女平等が実現していると思う | 1 | 1 | 1 |
| ほぼ男女平等だと思う | 2 | 2 | 2 |
| やや女性に不利益だと思う | 3 | 3 | 3 |
| 女性に不利益だと思う | 4 | 4 | 4 |
| やや男性に不利益だと思う | 5 | 5 | 5 |
| 男性に不利益だと思う | 6 | 6 | 6 |
| わからない | 7 | 7 | 7 |

問16 あなたは、女性に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(○はいくつでも)

1. 男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)に基づく差別的取扱いを受けること
2. 職場における差別待遇(採用、昇任、賃金などの男女差、マタニティ・ハラスメントなどの妊娠・出産等を理由とする不利益取扱等)を受けること
3. ドメスティック・バイオレンス(配偶者やパートナーからの暴力)
4. セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)
5. 強姦性交等罪、強制わいせつ等の性犯罪や売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む)
6. 女性のヌード写真等を掲載した雑誌、新聞やアダルトビデオ、ポルノ雑誌等、女性を性の対象ととらえた風潮
7. 女性の働く風俗営業
8. 「女医」、「女流作家」、「未亡人」、「家内」のように、女性だけに用いられる言葉が使われること
9. その他(具体的に: _____)
10. 特にない
11. わからない

問17 結婚、家庭、出産、子育てについての考え方で、あなたのご意見に最も近いものはどれでしょうか。
(下の①～⑥ごとに、右の1～5のいずれか1つに○)

| | 賛成 | どちらか といえ ば | どちらか といえ ば 反対 | 反対 | わ か ら な い |
|---|----|------------------|------------------------|----|-----------------------|
| ①女性の幸福は結婚にある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②結婚は個人の自由であるから、結婚しても しなくてもどちらでもよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④女性は結婚したら、夫や子どもなど家庭を 中心に考えて生活したほうがよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要は ない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥家事や育児についても夫婦で分担したほ うがよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

高齢者の人権についておたずねします。

問18 あなたは、高齢者の状況をどう感じていますか。
(下の①②それぞれについて、1～5のいずれか1つに○)

| | ①家庭の中では | ②社会(地域生活な ど)では |
|----------------------|---------|-------------------|
| 大切にされていると思う | 1 | 1 |
| どちらかといえば大切にされていると思う | 2 | 2 |
| どちらかといえば大切にされていないと思う | 3 | 3 |
| 大切にされていないと思う | 4 | 4 |
| どちらともいえない | 5 | 5 |

問19 あなたは、高齢者に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(○はいくつでも)

| |
|--|
| 1. 経済的な自立が難しいこと 2. 働ける能力を発揮する機会が少ないこと 3. 振り込め詐欺や悪徳商法の被害者が多いこと 4. 家庭内での看護や介護において、嫌がらせや虐待を受けること 5. 病院での看護や養護施設において、劣悪な扱いや虐待を受けること 6. 邪魔者扱いにされ、つまはじきにされること 7. 一人暮らし、閉じこもり、寝たきり等への不安やそれらによる不便があること 8. アパート等への入居を拒否されること 9. その他(具体的に: _____) 10. 特にない 11. わからない |
|--|

子どもの人権についておたずねします。

問20 あなたは、子どもの様子をどう感じていますか。
(下の①②③それぞれについて、1～5のいずれか1つに○)

| | ①家庭では | ②学校では | ③地域(家庭や 学校以外)では |
|---------------------|-------|-------|--------------------|
| 幸せに過ごしているように思う | 1 | 1 | 1 |
| どちらかといえば幸せなように思う | 2 | 2 | 2 |
| どちらかといえば幸せではないように思う | 3 | 3 | 3 |
| 幸せではないように思う | 4 | 4 | 4 |
| わからない | 5 | 5 | 5 |

【◆用語解説—子どもの人権】

「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」は、世界の多くの子ども(子どもについては18歳未満のすべての者と定義。)が、今日なお、飢え、貧困等の困難な状況に置かれている状況にかんがみ、世界的な観点から子どもの人権の尊重、保護の促進を目指したものです。本条約の発効を契機として、更に一層、児童生徒の基本的な人権に十分配慮し、一人一人を大切に教育が行われることが求められています。

問21 あなたは、子どもに関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(○はいくつでも)

1. いじめを受けること
2. 体罰を受けること
3. 虐待を受けること
4. いじめ、体罰や虐待を見て見ぬふりをする事
5. 進学先や就職先の選択などの子ども本人の希望(意見)を大人が無視すること
6. 学力による評価が優先し、多様な能力が評価されないこと
7. 家庭の経済状況が理由で、子どもが自己実現できないこと(子どもの貧困)
(自己実現:自分の可能性を開いたり、能力を発揮したり、希望をかなえたりすること)
8. 児童買春・児童売春・児童ポルノ等の対象となること
9. 性的行為や暴力シーンを子どもに見せること
10. その他(具体的に: _____)
11. 特にない
12. わからない

障がい者(精神障がい者を含む)の人権についておたずねします。

問22 あなたは、障がい者の人権は保障されていると思いますか。

(下の①②それぞれについて、1～5のいずれか1つに○)

| | ①法律や制度の上で | ②日常生活で |
|---------------------|-----------|--------|
| 保障されていると思う | 1 | 1 |
| どちらかといえば保障されていると思う | 2 | 2 |
| どちらかといえば保障されていないと思う | 3 | 3 |
| 保障されていないと思う | 4 | 4 |
| わからない | 5 | 5 |

問23 あなたは、障がい者に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(○はいくつでも)

1. 結婚問題で周囲の反対を受けること
2. 就職・職場で不利な扱いをされること(就職の機会がない、職場での合理的配慮に欠ける等)
3. 差別的な取扱・言動をされること
4. 悪徳商法の被害者が多いこと
5. アパート等への入居を拒否されること
6. 宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること
7. スポーツ・文化活動・地域活動に自由に参加できないこと
8. じろじろ見られたり避けられたりすること
9. 必要な社会的支援を受けられないこと
10. その他(具体的に: _____)
11. 特にない
12. わからない

問24 あなたは、平成28年4月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」を知っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|-------------|------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない |
|------------|-------------|------------|---------|

【◆用語解説—障害者差別解消法】

平成28年4月に施行されたこの法律で、役所や事業所は、「障がいのある人に対して、正当な理由なく障がい者を理由に差別すること」(不当な差別的取扱)が禁止されるとともに、「障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としている」との意思が伝えられたときに、負担が重すぎない範囲で対応する(または対応に努める)こと(合理的配慮の提供)が求められています。

その他の人権についておたずねします。

問25 「結婚式は大安の日に行う」「友引の日の葬式は避ける」などの迷信について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 当然だと思う | 2. 当然とは思わないが、そういうものだと思う |
| 3. 迷信にとられるのは、間違っていると思う | 4. わからない |

問26 あなたは、日本に居住している外国人に関することで、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること 2. 結婚問題で周囲の反対を受けること 3. 就職・職場で不利な扱いを受けること 4. 特定の民族に対するヘイトスピーチなど差別的な言動をされること 5. アパート等への入居を拒否されること 6. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること 7. 風習や習慣等の違いが受け入れられないこと 8. じろじろ見られたり、避けられたりすること 9. その他(具体的に: _____) 10. 特にない 11. わからない |
|--|

問27 あなたは、平成28年6月に施行された「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(ヘイトスピーチ解消法)」を知っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|-------------|------------|---------|
| 1. よく知っている | 2. 多少は知っている | 3. あまり知らない | 4. 知らない |
|------------|-------------|------------|---------|

【◆用語解説—ヘイトスピーチ解消法】

日本に居住している外国出身者やその子孫に対する差別意識を助長・誘発し、地域社会から排除することを扇動するような言動の解消に取り組むことを目的として、平成28年6月施行されました。

問28 あなたは、エイズ患者・HIV感染者やその家族に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 結婚問題で周囲の反対を受けること 2. 就職・職場で不利な扱いを受けること 3. 治療や入院を断られること 4. 無断でエイズ検査等をされること 5. 差別的な言動をされること 6. アパート等への入居を拒否されること 7. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること 8. その他(具体的に: _____) 9. 特にない 10. わからない |
|--|

問29 あなたは、ハンセン病患者・回復者やその家族に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること 2. 結婚問題で周囲の反対を受けること 3. 就職・職場で不利な扱いを受けること 4. 治療や入院を断られること 5. ハンセン病療養所の外で自立した生活を営むのが困難なこと 6. 差別的な言動をされること 7. アパート等への入居を拒否されること 8. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること 9. じろじろみられたり、避けられたりすること 10. その他(具体的に: _____) 11. 特にない 12. わからない |
|---|

問30 あなたは、犯罪被害者やその家族等に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。
(○はいくつでも)

1. 犯罪行為によって精神的なショックを受けること
2. 犯罪行為によって経済的負担を受けること
3. 事件について周囲でうわさ話をされること
4. 警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと
5. 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
6. 刑事手続に必ずしも被害者の声が十分反映されるわけではないこと
7. 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる
こと
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない
10. わからない

【豆知識】竹田市犯罪被害者等支援条例

犯罪被害に遭われた方々やその家族・遺族の方々(犯罪被害者等)は、直接的被害のみならず二次的被害により、精神的にも身体的にも経済的にもさまざまな苦しみを抱えています。こうした犯罪被害者等が置かれた状況への理解を深め、その気持ちに寄り添った支援を総合的に推進することを目的として、この条例が、平成30年3月に制定されました。

問31 あなたは、インターネットを1日平均何時間くらい見えていますか。(○は1つ)

1. インターネットは見えていない →問35へ進んでください
2. 1時間以内
3. 1時間以上

問32 インターネットで人権侵害と思われるものを見たことがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない →問35へ進んでください

問33 インターネットで実際に見た人権侵害は、どの人権課題に関するものですか。(○はいくつでも)

1. 女性
2. 子ども
3. 高齢者
4. 障がい者
5. 部落差別問題(同和問題)
6. アイヌの人々
7. 中国帰国者
8. 在日韓国・朝鮮人
9. 外国人
10. ホームレス
11. HIV(エイズウイルス)感染者・エイズ患者
12. ハンセン病患者・回復者等
13. 刑を終えて出所した人
14. 犯罪被害者やその家族等
15. インターネットによる人権侵害(プライバシー侵害や誹謗・中傷など)
16. 北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族等
17. 性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)
18. 性別違和(身体の性と心の性が一致しない者)
19. 人身取引(性的搾取(さくしゅ)、強制労働等を目的とした人身取引)
20. 東日本大震災に伴う人権問題
21. 上記のような条件が重なった人に対する重層的差別
(例えば、女性であり、かつ、障がい者でもあることで受ける差別等)
22. その他(具体的に: _____)

問34 あなたは、インターネット上の書き込みをどの程度信用しますか。(○は1つ)

1. すべて信用する
2. まあまあ信用する
3. あまり信用しない
4. 全く信用しない

問35 あなたは、インターネットによる人権侵害に関することで現在、どのような人権問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 他人を誹謗(ひぼう)・中傷する表現が掲載されること
2. 他人に差別しようとする気持ちを起こさせたり、助長するような情報が掲載されること
3. ラインやツイッターなどによる交流が犯罪を誘発する場となっていること
4. 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
5. ネットポルノが存在していること
6. プライバシーに関する情報が掲載されること
7. その他(具体的に: _____)
8. 特にない
9. わからない

問36 あなたは、LGBTQなど、性的指向(異性愛、同性愛、両性愛)や性別違和(身体の性と心の性が一致しない者)に関することで、現在、どのような人権問題があると思いますか。(〇はいくつでも)

1. 職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること
2. 差別的な言動をされること
3. 就職・職場で不利な扱いを受けること
4. アパート等の入居を拒否されること
5. 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
6. じろじろ見られたり、避けられたりすること
7. トイレや更衣室が利用しづらいこと
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない
10. わからない

【◆用語解説-LGBTQ】

L(レズビアン…女性同性愛)、G(ゲイ…男性同性愛)、B(バイセクシュアル…両性愛)、T(トランスジェンダー…身体の性と心の性が一致しない)、Q(クエスチョン…自分自身の性がはっきり決まっていない)の5つの文字を並べた、性的少数者を表す言葉のひとつ。

地域での啓発活動についておたずねします。

問37 市や県が出している広報紙に、人権の各課題についての記事が掲載されることがあります。あなたは、そのような記事を読んだことがありますか。(〇は1つ)

1. 読んだことがある
2. 読んだことがない(または、そのような記事は見たことがない)
3. 市や県の広報紙を見たことがない

問38 あなたは、これまでに人権の各課題についての講演会や研修・学習会等に何回くらい参加しましたか。(〇は1つ)

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 1回もない | 2. 1~4回 | 3. 5~9回 | 4. 10回以上 |
|----------|---------|---------|----------|

問39 あなたは、人権の大切さを多くの人に知ってもらうには、どんな方法が効果的だと思いますか(または、あなたならどれが良いですか)。(〇はいくつでも)

1. 講演会、シンポジウム、研修会
2. 展示会(資料、写真等)
3. 広報紙・パンフレット・ポスター
4. ケーブルテレビを利用した啓発広報
5. 映画・ビデオを利用した啓発広報
6. 新聞・雑誌・週刊誌を利用した啓発広報
7. インターネット・Eメール(メールマガジン等)を利用した啓発広報
8. 交通広告(バス等の車内広告や車体広告、駅での広告等)
9. ワークショップ(参加者による少人数の討論会や参加体験型学習等)
10. 高齢化や障がいの擬似(ぎじ)体験
11. 高齢者・障がい者・外国人等との交流会

- 
12. 自由な意見の交換ができる会合
13. その他(具体的に: _____)
14. 特にない
15. わからない

問40 最後に、人権が守られる社会を作るため考えられていることや、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書かしてください。

最後までご協力くださり、ありがとうございました。
あなたの貴重なご意見は、今後の市政に活かしてまいります。

令和2年（2020年）1月発行

「竹田市人権意識調査報告書」

発行 竹田市 人権・部落差別解消推進課

〒878-8555 大分県竹田市大字会々1650 番地

☎0974-63-4820

